

# Panasonic®

## 取扱説明書

### メモリーカードカメラレコーダー

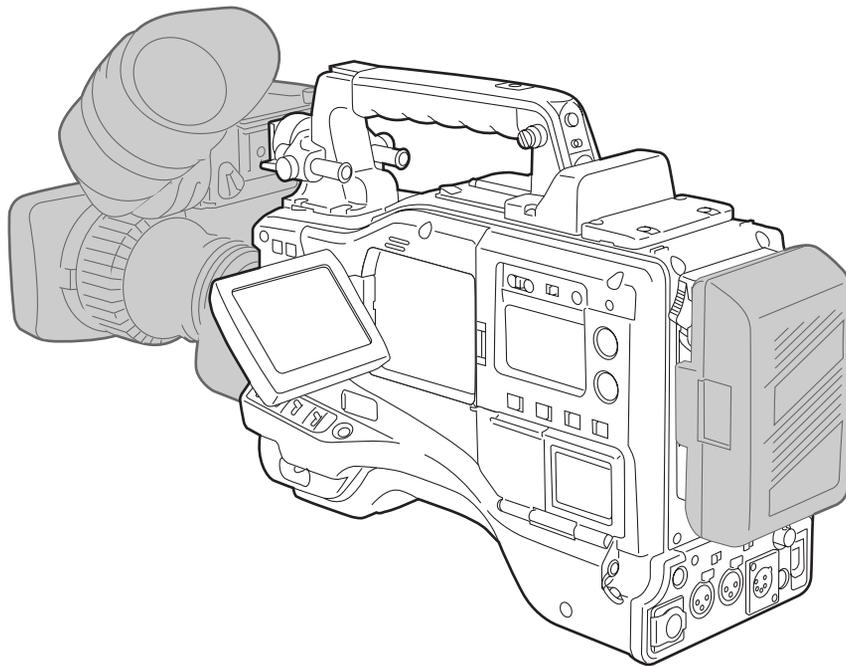


品番 **AJ-SPX800**

**DVCPRO 50**

**DVCPRO**

**DV**



このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

**保証書別添付**

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

# 目次

安全上のご注意.....	5	4-3 記録信号および記録方式の選択.....	39
第1章 概要.....	9	4-3-1 記録信号の選択.....	39
1-1 カメラ部の特長.....	9	4-3-2 記録方式の選択.....	40
1-2 記録・再生部の特長.....	10	4-4 音声入力の選択と録音レベルの調整.....	40
1-3 システム構成.....	12	4-4-1 音声入力信号の選択.....	40
第2章 各部の名称と機能.....	13	4-4-2 録音レベルの調整.....	41
2-1 電源部およびアクセサリ取り付け部.....	13	4-4-3 CH3/CH4の録音レベルについて.....	41
2-2 音声機能部（入力系）.....	14	4-5 タイムデータの設定.....	42
2-3 音声機能部（出力系）.....	15	4-5-1 ユーザーズピットの設定.....	42
2-4 撮影・記録 / 再生機能部.....	16	4-5-2 内蔵時計の日付 / 時刻の設定.....	43
2-5 メニュー操作部.....	19	4-5-3 タイムコードの設定.....	44
2-6 タイムコード関連部.....	20	4-5-4 タイムコードを外部ロックさせる.....	44
2-7 警告 / 状態表示部.....	21	4-5-5 カメラIDの設定.....	46
2-8 表示窓内表示.....	21	4-5-6 UMID情報の設定.....	46
2-9 液晶モニター部.....	22	4-5-7 CTLカウンタの設定と表示.....	47
2-10 ビューファインダー部.....	23	4-5-8 状態確認画面の表示 (MODE CHECK ボタン機能).....	47
第3章 記録と再生.....	24	4-6 ビューファインダー画面上の メニュー表示.....	48
3-1 P2カードについて.....	24	4-6-1 メニューの構成.....	48
3-2 P2カード記録データの取り扱いに ついて.....	26	4-6-2 メニューの基本操作.....	48
3-3 基本手順.....	27	4-6-3 USER MENUの選択.....	49
3-4 通常の記録.....	29	4-7 ビューファインダーの状態表示.....	50
3-5 PRE RECORDING 機能.....	29	4-7-1 ビューファインダーのランプ表示.....	50
3-6 LOOP REC 機能.....	30	4-7-2 ビューファインダー画面の状態表示の構成.....	50
3-7 INTERVAL REC 機能.....	30	4-7-3 ビューファインダー画面の表示項目の選択.....	50
3-8 REC REVIEW 機能.....	32	4-7-4 表示モードと設定変更 / 調整結果メッセージ.....	57
3-9 通常再生および変速再生.....	33	4-7-5 マーカー表示の設定.....	58
3-10 ボイスメモ機能.....	33	4-7-6 マーカー確認画面の表示 (MARKER SELECT ボタン機能).....	58
3-11 ショットマーク機能.....	34	4-7-7 リターンビデオ信号の ビューファインダーでの確認.....	58
3-12 記録設定と動作モード.....	34	4-8 液晶モニターの調整と設定.....	59
第4章 記録のための調整と設定.....	35	4-9 メニューによる各機能のセットアップ.....	60
4-1 ホワイトバランス / ブラックバランスの調整.....	35	4-9-1 USER SW GAINの切替えの設定.....	60
4-1-1 ホワイトバランスの調整.....	35	4-9-2 映像出力信号の選択.....	60
4-1-2 ブラックバランスの調整.....	37	4-9-3 FRONT AUDIO LEVEL つまみの機能の選択.....	60
4-2 電子シャッターの設定.....	38	4-9-4 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け.....	61
4-2-1 シャッターモードについて.....	38	4-9-5 マニュアルでの色温度の設定.....	61
4-2-2 シャッターモード / スピードの設定.....	38	4-10 データの取り扱い.....	62
4-2-3 シンクロスキャンモードの設定.....	39	4-10-1 SDメモリーカードの取り扱い.....	62
		4-10-2 SDメモリーカードの操作.....	62
		4-10-3 ユーザーデータの使い方.....	66
		4-10-4 シーンファイルデータの使い方.....	67
		4-10-5 メニュー設定状態の工場標準設定値への復帰方法.....	69
		4-10-6 レンズファイルデータ.....	69

<b>第5章 準備</b> .....	<b>70</b>	<b>6-17 プロパティ</b> .....	<b>94</b>
5-1 電源の供給.....	70	6-17-1 クリップのプロパティ.....	94
5-1-1 バッテリーの取り付け および設定.....	70	6-17-2 P2 カードの状態表示.....	94
5-1-2 外部 DC 電源の使用.....	73	6-17-3 SD メモリーカードの状態表示.....	96
5-2 ビューファインダーの取り付け および位置調整.....	73	6-17-4 メタデータアップロードの確認.....	96
5-3 レンズの取り付けおよび フランジバック調整と ホワイトシェーディング調整.....	74	6-17-5 ビデオエンコーダーカードの状態表示 (オプション).....	96
5-4 音声入力の準備.....	78	<b>第7章 保守・点検</b> .....	<b>97</b>
5-4-1 フロントマイクを使用する場合.....	78	7-1 撮影前の点検.....	97
5-4-2 ワイヤレスレシーバーを使用する場合.....	78	7-1-1 点検の準備.....	97
5-4-3 オーディオ機器を使用する場合.....	79	7-1-2 カメラ部の点検.....	97
5-5 USB 2.0 端子を用いたパーソナル コンピューターとの接続について.....	79	7-1-3 メモリー記録部の点検.....	98
5-6 三脚への取り付け.....	80	7-2 メンテナンス.....	99
5-7 ショルダーベルトの取り付け.....	81	7-2-1 ビューファインダー内のクリーニング.....	99
5-8 レインカバーの取り付け.....	81	7-2-2 CCD カメラ特有の現象について.....	99
5-9 エクステンションコントローラ (AJ-EC3P) の接続.....	81	7-2-3 バックアップ電池の交換.....	99
5-10 FRONT AUDIO LEVEL つまみノブの取り付け.....	82	7-2-4 コネクタ信号の内容.....	100
<b>第6章 クリップのサムネール操作</b> ...	<b>83</b>	7-3 警告システム.....	101
6-1 サムネール操作の概要.....	83	7-3-1 警告内容一覧.....	101
6-2 サムネール画面.....	84	7-3-2 エラーコード.....	103
6-3 サムネールの選択.....	85	7-3-3 カード警告コード.....	103
6-4 クリップの再生.....	85	7-3-4 サムネール操作での警告 / エラー表示.....	104
6-5 サムネール表示の切り替え.....	86	<b>第8章 MENU 一覧</b> .....	<b>105</b>
6-6 ショットマーク.....	86	8-1 メニュー構成.....	105
6-7 ボイスメモ.....	87	8-2 SYSTEM SETTING.....	106
6-7-1 ボイスメモの再生.....	87	8-2-1 SYSTEM MODE.....	106
6-7-2 ボイスメモの記録.....	87	8-2-2 OPTION MODE 1.....	107
6-7-3 ボイスメモの削除.....	88	8-2-3 OPTION MODE 2.....	107
6-8 クリップの削除.....	88	8-2-4 REC FUNCTION.....	108
6-9 クリップの修復.....	88	8-2-5 OUTPUT SEL.....	109
6-10 不完全クリップの連結.....	88	8-2-6 LCD MONITOR.....	109
6-11 クリップのコピー.....	89	8-2-7 GENLOCK.....	110
6-12 クリップメタデータの設定.....	90	8-3 PAINT.....	110
6-13 プロキシ機能の設定 (オプション).....	91	8-3-1 ROP.....	110
6-14 P2 カードのフォーマット.....	92	8-3-2 MATRIX.....	111
6-15 SD メモリーカードのフォーマット.....	92	8-3-3 COLOR CORRECTION.....	111
6-16 サムネールの表示設定.....	93	8-3-4 LOW SETTING.....	112
		8-3-5 MID SETTING.....	112
		8-3-6 HIGH SETTING.....	113
		8-3-7 ADDITIONAL DTL.....	113
		8-3-8 SKIN TONE DTL.....	114
		8-3-9 KNEE/LEVEL.....	114
		8-3-10 GAMMA.....	115
		8-3-11 FLARE.....	115
		8-3-12 CAMERA SETTING.....	115

<b>8-4 VF</b> .....	<b>116</b>
8-4-1 VF DISPLAY .....	116
8-4-2 VF MARKER .....	116
8-4-3 USER BOX .....	116
8-4-4 VF INDICATOR1 .....	117
8-4-5 VF INDICATOR2.....	117
8-4-6 MODE CHECK IND.....	118
8-4-7 !LED.....	119
<b>8-5 CAM OPERATION</b> .....	<b>119</b>
8-5-1 CAMERA ID.....	119
8-5-2 SHUTTER SPEED .....	119
8-5-3 SHUTTER SELECT .....	120
8-5-4 USER SW .....	120
8-5-5 SW MODE.....	121
8-5-6 WHITE BALANCE MODE.....	121
8-5-7 USER SW GAIN .....	122
8-5-8 IRIS .....	122
<b>8-6 MAIN OPERATION</b> .....	<b>123</b>
8-6-1 BATTERY/P2CARD.....	123
8-6-2 BATTERY SETTING1.....	124
8-6-3 BATTERY SETTING2.....	125
8-6-4 MIC/AUDIO1.....	126
8-6-5 MIC/AUDIO2.....	127
8-6-6 TC/UB .....	127
8-6-7 UMID SET/INFO.....	128
<b>8-7 FILE</b> .....	<b>128</b>
8-7-1 SD CARD READ/WRITE .....	128
8-7-2 SD CARD R/W SELECT .....	129
8-7-3 LENS FILE.....	129
8-7-4 SCENE.....	129
8-7-5 INITIALIZE.....	129
<b>8-8 MAINTENANCE</b> .....	<b>130</b>
8-8-1 SYSTEM CHECK .....	130
8-8-2 LENS ADJ.....	130
8-8-3 BLACK SHADING.....	130
8-8-4 WHITE SHADING .....	130
8-8-5 DIAGNOSTIC1 .....	130
8-8-6 DIAGNOSTIC2 .....	131
8-8-7 HOURS METER .....	131
<b>8-9 OPTION MENU</b> .....	<b>131</b>
8-9-1 OPTION.....	131

<b>第 9 章 カメラアダプタ端子での接続</b> ..	<b>132</b>
9-1 26ピン延長装置との接続 .....	132
9-2 外部VTRとの接続 .....	132
9-3 デジタルトリアックスとの接続.....	132
<b>第 10 章 本機搭載ファームウェアの アップデート</b> .....	<b>133</b>
<b>第 11 章 保 障・アフターサービス</b> ..	<b>134</b>
<b>第 12 章 定 格</b> .....	<b>135</b>

# 安全上のご注意 ■必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 危険

**充電するときは、必ずバッテリーパックメーカー指定の充電器を使用する**



指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。

(充電器は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

**バッテリーパックの説明書をお読みのうえ、正しく使用する**



誤った使い方をされると、液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

(バッテリーパックは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

# 安全上のご注意

■必ずお守りください

## ⚠ 危険

<p><b>付属品・オプションは、指定の製品を使用する</b></p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。</p>	<p><b>水場で使用しない</b></p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p><b>水場 使用禁止</b></p>	<p><b>メモリーカード(別売品)は、乳幼児の手の届く所に置かない</b></p> <p> 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。</p> <p>●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
<p><b>異常があったときは、バッテリーを外す</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき</li><li>●落下などで外装ケースが破損したとき</li><li>●煙や異臭、異音などが出たとき</li></ul> <p> そのまま使うと、火災・感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●外部 DC 電源で使っている場合は、DCコードを外してください。</li><li>●販売店に相談してください。</li></ul>	<p><b>DC コードが破損するようなことはしない(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)</b></p> <p> 傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。(DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</li></ul>	<p><b>外部 DC 電源を使用するときは、電源電圧、およびDC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する</b></p> <p> 誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。詳しくは 73 ページを参照してください。</p> <p>(DC電源は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p>
<p><b>乗り物を運転しながら使わない</b></p> <p> 事故の誘発につながります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。</li></ul>	<p><b>分解や改造をしない</b></p> <p> 内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</li></ul>	<p><b>DCコードのプラグは、根元まで確実に差し込む</b></p> <p> 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。</p> <p>(DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p>
<p><b>内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない</b></p> <p> ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</li></ul>	<p><b>指定のカバー以外は外さない</b></p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p><b>分解禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。</li></ul>	<p><b>不安定な場所に置かない</b></p> <p> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p>

# 安全上のご注意

■必ずお守りください

## ⚠ 注意

<p><b>長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDCコードを外す</b></p> <p> 火災や感電の原因になります。</p>	<p><b>接続したコードは通路を引き回さない</b></p> <p> 足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因にもなります。</p>	<p><b>飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う</b></p> <p> 本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。</p> <p>●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。</p>
<p><b>直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない</b></p> <p> 特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。</p>	<p><b>本機の放熱を妨げない</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください</li><li>●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください</li><li>●通風孔やファンがある場合は、ふさがないようにしてください</li><li>●横倒し、逆さまにしないでください</li></ul>	<p><b>電源を入れたまま長時間直接触れて使用しない</b></p> <p> 本機の温度の高い部分に、長時間直接触れていると低温やけど*の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。</p> <p>* 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人など(高齢者)は、低温やけどになりやすい傾向があります。</p>
<p><b>本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない</b></p> <p> ●落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。</p> <p>●重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。</p>	<p><b>移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する</b></p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因になります。</p>	<p><b>油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない</b></p> <p> 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。</p>
<p><b>不安定な場所で、三脚を使わない</b></p> <p> 倒れると、けがの原因になります。</p>	<p><b>コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。</b></p> <p></p>	<p><b>DCコードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない</b></p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になります。</p> <p>●必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。</p>
<p><b>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する</b></p> <p> けがや事故の原因になります。</p>	<p><b>レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない</b></p> <p> レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、感電、故障の原因となります。</p>	<p>(DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p>

---

## ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



Ni-MH  
Ni-Cd  
Li-ion

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。

---

## レーザー光線についてのご注意

レーザー光線がCCDに照射されると、CCDを破壊する恐れがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

---

## 次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機およびP2カードの使用時、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。
- ファンの異常などにより、ファンが停止した状態で動作を続けると、カメラ映像出力/記録/再生が正常に行われない場合があります。

---

## メモリーカードを破棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

---

## 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびにGNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL/LGPLの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。LDOCという名前のフォルダを参照してください。(なお、原文(英文)で記載しております。)

また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。MITの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。LDOCという名前のフォルダを参照してください。(なお、原文(英文)で記載しております。)

- 
- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● Unislotは池上通信機株式会社の登録商標です。</li><li>● その他会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。</li></ul> |
|--|

本機は、プログレッシブ駆動に対応した2/3型オンチップレンズ付き3CCDを搭載したカメラ部と、DVCPR050、DVCPROおよびDVフォーマットに対応した記録・再生部を一体化したカメラレコーダーです。

カメラはインターレース駆動とプログレッシブ駆動の選択が可能です。また、制作用途としてはフィルムライクガンマ機能、報道用途としては蓄積型ゲインアップ機能などを有していますので、制作から報道と幅広い用途に使用できます。

記録メディアとしてメカニズムを必要としないP2カードを採用していますので、収録中の衝撃や振動にきわめて強く、過酷な状況下でのニュース取材においても安定した収録が可能になるなど、カメラレコーダーとして高い応答性、操作性および機動性を実現しています。

## 1-1 カメラ部の特長

### ■ プログレッシブ駆動対応2/3型オンチップレンズ付き3CCD搭載

アスペクト比は16:9と4:3に対応しています。またインターレース駆動とプログレッシブ駆動の選択を可能にし、制作用途の幅を広げています。

なお記録・再生部への信号受け渡しは、プログレッシブ駆動時はインターレース信号に変換しています。

### ■ 新開発14ビットA/D変換デジタル信号処理回路搭載

新開発14ビット線形AD変換により映像処理をデジタル化しており、信号処理部は36 MHzで動作させることにより、より繊細な映像再現を可能にし、安定性、信頼性を向上させています。

### ■ 蓄積型高感度機能搭載

プログレッシブ駆動による蓄積型のゲインアップ機能を搭載しています。通常のゲインアップから更に最大20dBの高感度化が可能になります。

### ■ デジタルズーム機能搭載

プログレッシブ機能によるデジタルズーム機能を搭載しています。よりズームアップしたいときに効果を発揮します。

### ■ 12軸独立色補正機能搭載

ペイント機能として、12軸を独立して色補正する事が可能です。細かな画作りに効果を発揮します。

### ■ フィルムライクガンマ機能搭載

4種類のガンマを選択可能にしています。標準モードに加え、フィルムライクな2種類のガンマは制作での映像表現を広めます。また新開発のニュースガンマは、暗部の変化はそのままに、ハイライト部の白飛びを低減します。ニュース取材の現場などで有効です。

#### <ノート>

本機はプログレッシブ駆動に対応していますが、CCDの特性上、蓄積型のゲインアップをあげていくと画面左上部がうっすらと明るくなる現象が発生します。またプログレッシブ駆動時は映像信号のダイナミックレンジがインターレース時の約半分になります。

### ■ 自動追尾型オートホワイトバランス

被写体に応じて、リアルタイムにホワイトバランスを自動調整します。オートホワイトバランスによる調整を行う余裕がない、緊急時の収録に威力を発揮します。

### ■ データ管理機能搭載

本機単独で、1つのユーザーデータと、4つのシーンファイルデータを登録可能です。またSDメモリーカードをセットアップカードとして使用する事で、最大8つのセットアップデータを保存する事が可能です。

SDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意>(19ページ)を参照してください。

### ■ カスタマイズ可能なUSERボタン/USER MENU

使用頻度の高い機能を割り当て、ワンタッチで実行可能なUSERボタンを3個備えています。また、オンスクリーンメニューはカスタマイズが可能です。よく使うメニュー項目を選んで独自のUSER MENU画面を作成し、MENUボタンをワンタッチすることで表示することができます。

### ■ MARKER SELECT ボタンを搭載

本機の前面部に、ビューファインダー画面上のマーカー情報の確認用ボタンを搭載しています。撮影時の画角の確認などに有効です。

### ■ ECU対応

本機は、エクステンションコントロールユニットAJ-EC3Pに対応しています。

## 1-2 記録・再生部の特長

### ■ マルチスロット記録機能

P2カードスロットを5つ装備しています。P2カードを5枚まで装填して連続記録できるほか、メモリーカードならではの新しい記録機能を実現しています。

#### ● ホットスワップREC機能

記録中でも他のカードが交換できるホットスワップ機能を装備しています。カードを順次交換し続けることで連続記録が可能になります。

#### ● LOOP REC機能

指定した記録領域内で順次ループ記録することにより常に過去一定時間の収録を保持することができます。

#### ● PRE RECORDING機能

スタンバイ状態でカメラに入る映像・音声を最大15秒(DVCPRO/DVの場合)まで常時メモリーしていますので、PRE RECORDING機能をONにすれば、記録をスタートした時点から、設定した秒数をさかのぼって記録されます。決定的な瞬間の撮り逃しをリカバーできます。

#### ● INTERVAL REC/ONE SHOT REC機能

最短で1フレーム間隔での間欠記録機能を搭載しています。特に、科学・自然番組の撮影に効果を発揮します。またワンショット記録を使用すれば、ひとコマ撮りが簡単にできます。

#### ● プロキシ記録機能 (AJ-YAX800G装着時)

別売のビデオエンコーダーカード(AJ-YAX800G)を装着することによって、本機で撮影した本素材の映像音声とは別に、MPEG4形式の映像記録と、タイムコードデータなどのリアルタイムメタデータをP2カードおよびSDメモリーカードに同時記録できます。クリップ確認や編集作業に効果的です。

なお、SDメモリーカードへのプロキシ記録時間の目安については「SDメモリーカードのプロキシ(オプション)記録時間のめやす」を参照してください。また<SDメモリーカード使用上の注意>(19ページ)も参照してください。

#### ● データの保護

P2カードのデータはファイル消去やカードの初期化を行わない限り上書きによって消去することはありません。収録はカードの空き領域のみに行われます。

### ■ DVCPR050/DVCPRO/DVスイッチャブル

映像は、最新の圧縮技術を採用したコンポーネントデジタル記録方式で圧縮し、音声は、S/N・周波数帯域・波形特性・微細部分の再現特性などに優れた非圧縮のPCM記録を採用。一層の高画質化、高音質化を実現しています。

なお、画質を優先させる場合はDVCPR050に、経済性を優先させる場合はDVCPROにと用途に応じた記録フォーマットの選択が可能です。またDV記録にも対応しています。

#### <ノート>

メニューで選択したものと異なるフォーマットのクリップを再生するとき、フォーマットの切替のため映像が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

### ■ 全フォーマット4chデジタルオーディオ収録

DVCPR050はもちろん、DVCPROやDVでも、すべてのフォーマットで高音質(48kHz/16bit)の4チャンネルデジタルオーディオの収録が可能です。

### ■ クリップサムネール機能

#### ● サムネールの自動生成

記録カット(クリップ)ごとのサムネール画像を自動生成します。これはノンリニア編集やサーバーへのアップ後だけでなく、本機でも利用できます。

#### ● LCDモニターへのサムネール表示

本機側面に装備された3.5型カラー液晶モニターに、クリップサムネールを12画マルチスクリーン表示が可能です。選択したクリップへ瞬時にアクセスして再生できます。

#### ● 選択クリップのシームレス再生

複数のクリップをサムネール画面から指定して、シームレスな映像として連続再生・送出不が可能です。

#### <ノート>

記録フォーマットが異なるクリップ間を連続再生する場合、シームレス再生ができません。

#### ● クリップ情報の表示

クリップを選択して、録画した時間やボイスメモ、ショットマーク、メタデータなどのクリップに付加された情報を確認することができます。

### ■ ボイスメモ&ショットマーク

各クリップには、音声によるコメントをタイムコードに関連づけて付けられるボイスメモや、OKカット/NGカットなどの区別を容易にするショットマークを付加することができます。

どちらも収録中はもちろん、収録後にクリップを選択して行うこともでき、収録後の作業をサポートします。

### ■ SDI出力対応 (AJ-YA902AG装着時)

本機は、拡張ボードAJ-YA902AGを装着したとき、VIDEO OUT端子からSDI信号を出力することが可能になります。

### ■ FRONT音声レベル調整ボリューム機構搭載

本機の前面部に、音声記録レベルの微調整用ボリュームを装備しています。特に、一人での撮影時における音声レベルの調整に有効です。なお、このボリュームを無効にする事も可能です。

### ■ Unislotワイヤレス内蔵機構対応

本機は、別売りのスロットインワイヤレスに対応した構造になっております。

### ■ REC REVIEW機能

記録した最後の約2~10秒間を、自動的に戻って再生しますので、記録内容の確認を速やかに行うことができます。

## ■ タイムコードジェネレーター / リーダー内蔵

専用のサブコード領域にタイムコード情報を記録し、再生することができます。

## ■ META DATA対応

本機は、METADATAのUMID情報として、GPSユニットAJ-GPS900G（別売品）からの位置情報（緯度・経度・標高）を記録する事が可能です。また、SDメモリーカードにあらかじめ登録した撮影者名やリポーター名、プログラム名などの情報を記録することが可能です。クリップの情報管理としても有効です。なおSDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意>（19 ページ）も参照してください。

## ■ USB2.0端子搭載

外部パーソナルコンピューターなどとUSB2.0で接続し、本機に挿入したP2カードをマストレージとして扱うことが可能です。

## ■ DVCPRO/DV（IEEE1394 デジタル入出力）接続機能（AJ-YAD800G装着時）

別売のIEEE1394インターフェイスボード（AJ-YAD800G）を装着すると、IEEE1394 準拠の外部デバイスを接続して、データの入出力を行うことができます。

## ■ 記録時間

P2カードの記録時間（使用枚数：1枚）

カード品番	記録方法	
	DVCPRO	DVCPR050
AJ-P2C002SG	約8分	約4分
AJ-P2C004HG	約16分	約8分
AJ-P2C008HG	約32分	約16分
AJ-P2C016RG	約64分	約32分
AJ-P2C032RG	約128分	約64分

（詳細は、メモリーカードの取扱説明書をご覧ください）

## <ノート>

- 本機で動作検証済みのP2カードは以下の通りです。
  - ・AJ-P2C002SG（2GB）
  - ・AJ-P2C004HG（4GB）
  - ・AJ-P2C008HG（8GB）
  - ・AJ-P2C016RG（16GB）
  - ・AJ-P2C032RG（32GB）
- 本機で8GB以上のP2カードを使用した場合、1回の連続記録時間が下表に示す時間を越えると、自動的に別のクリップとして記録を続けます。
 

なお、上記のようなクリップはP2機器でサムネール操作（表示、削除、修復、コピーなど）を行う場合、1つのクリップとして操作可能です。ただしノンリニア編集ソフトおよびパーソナルコンピューターなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録フォーマット	記録時間
DVCPR050	約10分
DVCPR0/DV	約20分

## SDメモリーカードのプロキシ（オプション）記録時間のめやす

カード品番（容量）	MPEG4記録レート		
	192 kbps	768 kbps	1500 kbps
256 MB	約2時間 17分	約35分	約19分
512 MB	約4時間 27分	約69分	約38分
1 GB	約8時間 56分	約2時間 19分	約77分
2 GB	約18時間 11分	約4時間 44分	約2時間 37分
SDHC 4 GB	約35時間 42分	約9時間 18分	約5時間 12分
SDHC 8 GB	約72時間 45分	約19時間	約10時間 34分

（連続して記録した場合の当社製品での参考値です。記録時間はシーンやクリップ数によって異なります。また Class 表記のある SD または SDHC メモリーカードの場合、短い記録を繰り返すと、記録可能な時間は空き容量に比べ大きく減少することがあります）

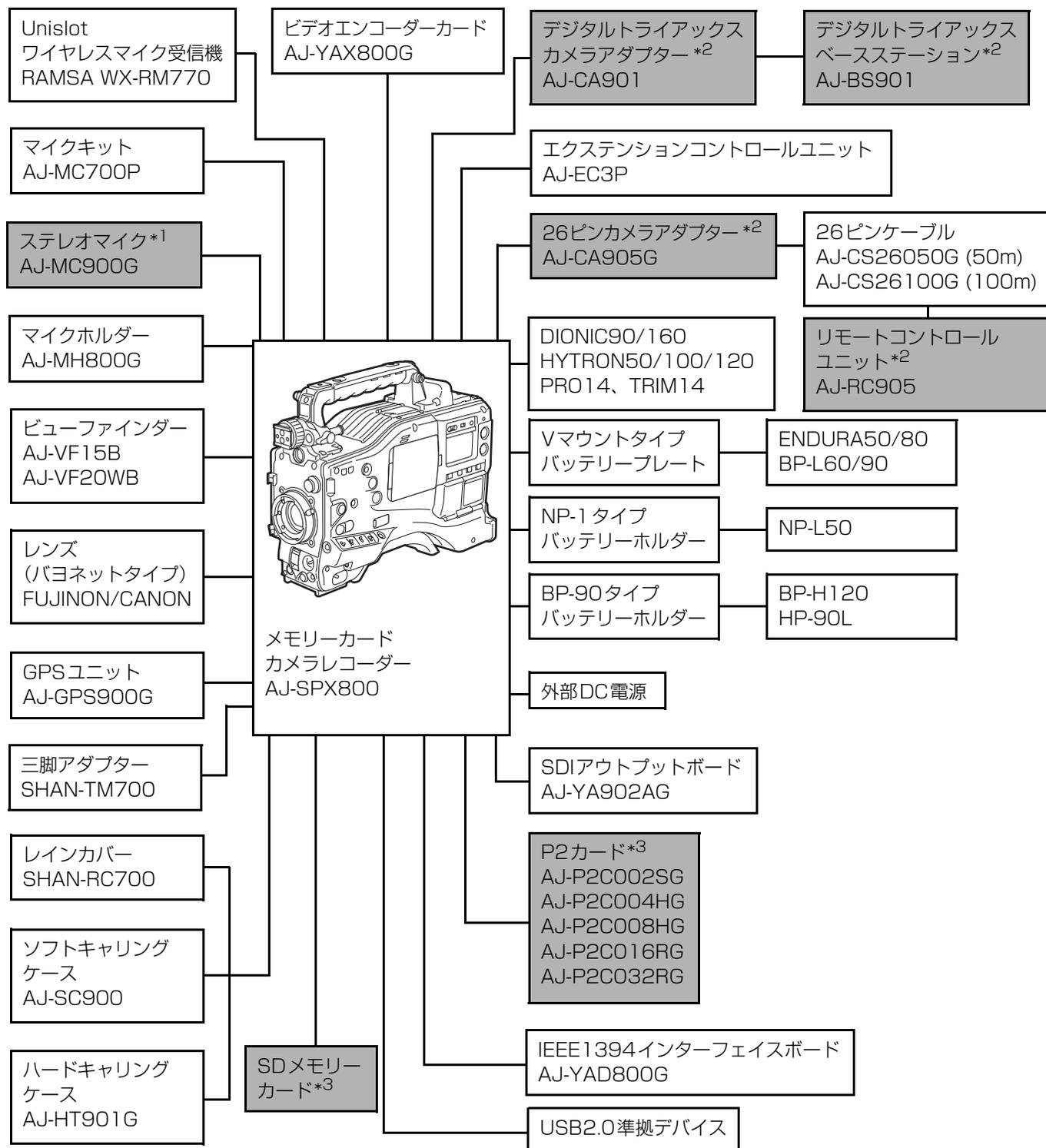
プロキシ記録動作検証済み SD メモリーカードについては、下記ウェブサイトより P2 のサポートページをご覧ください。なお、ご使用の SD メモリーカードの種類によっては、本機に搭載されたドライバーをアップデートする必要があります。アップデートについては「第 10 章 本機搭載ファームウェアのアップデート」を参照してください。

P2カード、およびSDメモリーカードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

# 1-3 システム構成



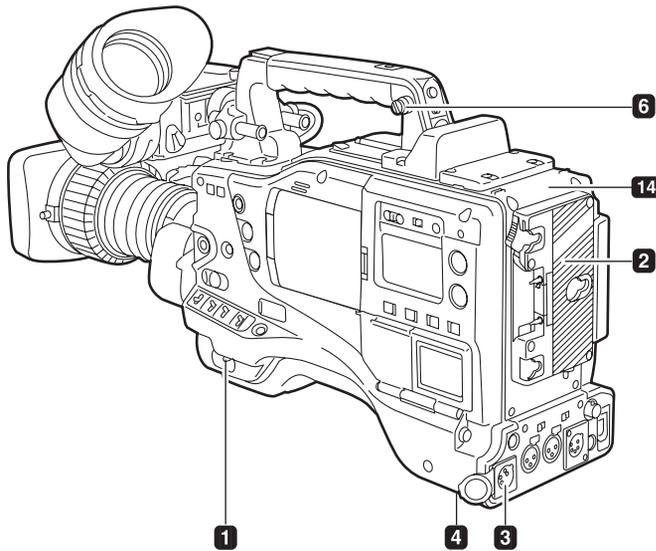
- \*1 ステレオマイクの取り付けには、別途改造が必要になります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- \*2 26ピン延長装置、デジタルトライアックスをご使用になる場合は、詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- \*3 P2カード、およびSDメモリーカードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語： <http://panasonic.biz/sav/>  
 英語： <https://www.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

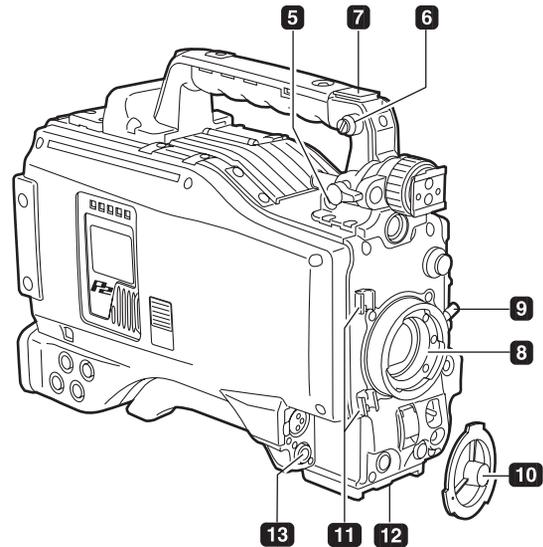
## 第2章 各部の名称と機能

### 2-1 電源部およびアクセサリ取り付け部

2

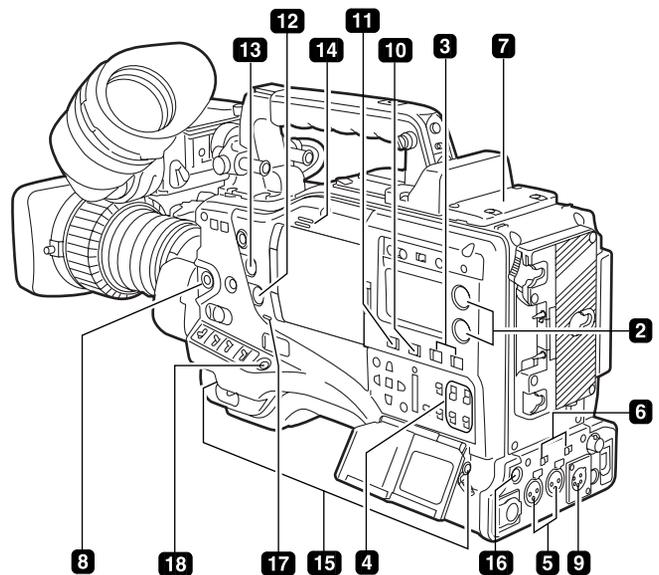
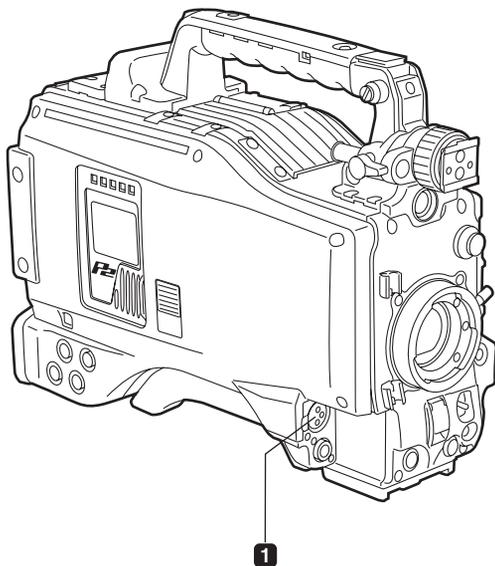


- 1 POWERスイッチ**  
電源をON/OFFするスイッチです。
- 2 バッテリーマウント**  
アントン・パウアー製のバッテリーパックを取り付けます。
- 3 DC IN (外部電源入力) 端子 (XLR、4P)**  
外部DC電源と接続します。
- 4 BREAKERスイッチ**  
何らかの異常で、本機内部に過大な電流が流れると、ブレーカーが動作して電源が自動的に切れ、機器を保護します。本機内部の点検および修理を行った後、このボタンを押し込んでください。異常がなければ、再び電源が入ります。
- 5 GPS端子**  
別売のGPSユニットAJ-GPS900Gからのコネクタを接続します。
- 6 ショルダーベルト取付金具**  
ショルダーベルトを取り付けます。
- 7 ライトシュー**  
ビデオライトなどを取り付けます。
- 8 レンズマウント (バヨネット型)**  
レンズを取り付けます。
- 9 レンズ固定レバー**  
レンズをレンズマウントに取り付けたあと、レバーを締め、レンズを固定します。



- 10 レンズマウントキャップ**  
レンズ固定レバー**9**を押し上げて、キャップを取り外します。レンズを取り付けていないときは、キャップをはめ込んでおきます。
- 11 レンズケーブル/マイクロホンケーブルクランプ**  
レンズケーブルやマイクロホンケーブルを固定するためのクランプです。
- 12 三脚マウント**  
本機を三脚に固定するときに、別売品の三脚アダプター (SHAN-TM700) を取り付けます。
- 13 LENS端子 (12ピン)**  
レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書をお読みください。
- 14 カメラアダプタ端子**  
使用するときには、ネジを外しコネクタカバーを取り外します。接続する機器については「第9章 カメラアダプタ端子での接続」を参照してください。

## 2-2 音声機能部 (入力系)



### 1 MIC IN (マイク入力) 端子 (XLR、3ピン)

マイクロホン (別売品) を接続します。マイク用の電源はこの端子から供給されます。

ファントムマイクの使用も可能です。ただし使用する際には、FRONT MIC POWER項目か REAR MIC POWER項目で、使用する端子の電源をONに設定してください。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO2>画面から選択します。

ステレオマイクの使用も可能ですが、取り付けには端子の交換が必要になります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

### 2 AUDIO LEVEL CH 1/CH 2 (音声チャンネル1/2 録音レベル調整) つまみ

AUDIO SELECT CH 1/CH 2スイッチ3を「MAN」にすると、これらのつまみで音声チャンネル1/2の録音レベルが調整できます。

なお、つまみのロック機構を設けていますので、調整する時はつまみを押し込みながら回して調整してください。

### 3 AUDIO SELECT CH 1/CH 2 (音声チャンネル1/2自動/手動レベル調整切り替え) スイッチ

音声チャンネル1/2の録音レベルを調整する方法を選びます。

AUTO: 自動調整をします。

MAN: 手動調整をします。

### 4 AUDIO IN (音声入力切り替え) スイッチ

音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選びます。

FRONT: MIC IN 端子1に接続したマイク入力信号を録音します。

W.L. (WIRELESS):

スロットインワイヤレスからの入力信号を録音します。

REAR: AUDIO IN CH1/CH2 端子5に接続したオーディオ機器からの音声入力信号を録音します。

### <ノート>

ステレオマイク (AJ-MC900G・別売品) を使用する場合、CH1、CH2の両方を「FRONT」にしてください。L CHはCH1に、R CHはCH2にそれぞれ記録されます。

### 5 AUDIO IN CH 1/CH 2 (音声入力チャンネル1/2) 端子 (XLR、3ピン)

オーディオ機器または、マイクロホンを接続します。

### 6 LINE/MIC/+48V (ライン入力/マイク入力/マイク入力+48V) 切り替えスイッチ

AUDIO IN CH1/CH2端子5に接続した音声入力信号を切り替えます。

LINE: ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号

MIC: 内部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給しません)

+48V: 外部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給します)

### 7 ワイヤレススロット

Unislotワイヤレスレシーバー (別売品) を取り付けることができます。

### 8 FRONT AUDIO LEVEL (音声録音レベル調整) つまみ

音声チャンネル1および2の録音レベルが調整できます。AUDIO SELECT スイッチの位置に関係なくレベルの調整が可能です。

なお、FRONT VR CH1項目とFRONT VR CH2項目で、このボリュームの操作を、有効にするか無効にするかを設定できます。各項目は、MAIN OPERATION ページの<MIC/AUDIO1>画面から選択します。

## 2-3 音声機能部（出力系）

### 9 AUDIO OUT端子（XLR、5ピン）

音声チャンネル1/2、または音声チャンネル3/4に記録された音声信号を出力します。

出力される信号は、MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4切り替えスイッチで選択します。

### 10 MONITOR SELECT（音声チャンネル選択） CH1/2 / CH3/4切り替えスイッチ

スピーカー、イヤホンおよびAUDIO OUT端子に出力される音声チャンネルを切り替えます。

CH1/2：音声チャンネル1および2の信号を出力します。

CH3/4：音声チャンネル3および4の信号を出力します。

また、このスイッチに連動して、表示窓とビューファインダー内のオーディオレベルメーターのチャンネル表示が切り替わります。

ただし、ボイスメモ再生中はこのスイッチの設定にかかわらず、スピーカーおよびイヤホンにボイスメモの音声出力されます。

### 11 MONITOR（音声選択）CH1/3 / ST / CH2/4 切り替えスイッチ

MONITOR SELECTスイッチに連動して、スピーカー、イヤホンおよびAUDIO OUT端子からの音声出力を選択します。

CH1/3：音声チャンネル1か、音声チャンネル3の信号を出力します。

ST：音声チャンネル1と2のステレオ音声信号か音声チャンネル3と4のステレオ音声信号が出力されます。なおメニュー設定で、ステレオ音声をMIX信号に変更が可能です。

CH2/4：音声チャンネル2か、音声チャンネル4の信号を出力します。

MONITOR スイッチ	MONITOR SELECTスイッチ	
	CH1/2	CH3/4
CH1/3	音声チャンネル1	音声チャンネル3
ST	音声チャンネル1と2の ステレオ*	音声チャンネル3と4の ステレオ*
CH2/4	音声チャンネル2	音声チャンネル4

\* MONITOR SELECT項目でSTEREOかMIXの切り替えが可能です。MONITOR SELECT項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO2>画面から選択します。

### 12 MONITOR（音量調整）つまみ

モニタースピーカーやイヤホンの音量を調節します。

### 13 ALARM（警告アラーム音量調節）つまみ

スピーカー<sup>14</sup>、またはPHONES端子<sup>15</sup>に接続したイヤホンからの警告アラーム音量を調節します。

最小の位置にすると、警告アラームは聞こえません。

### 14 スピーカー

記録中はEE音声を、再生中は再生音をモニターできます。警告ランプや警告表示の点滅・点灯にあわせて警告アラームを出します。

PHONES端子<sup>15</sup>にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音は自動的に切れます。

### 15 PHONES（イヤホン）端子（ミニジャック）

オーディオモニター用イヤホン（ステレオ）端子です。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に切れます。

出力する音声は両端子（フロント側、リア側）とも同じです。

### 16 DC OUT（DC電源）出力端子

DC 12 Vの出力端子です。最大1 Aの電流を取り出すことができます。

### 17 ボイスメモマイク

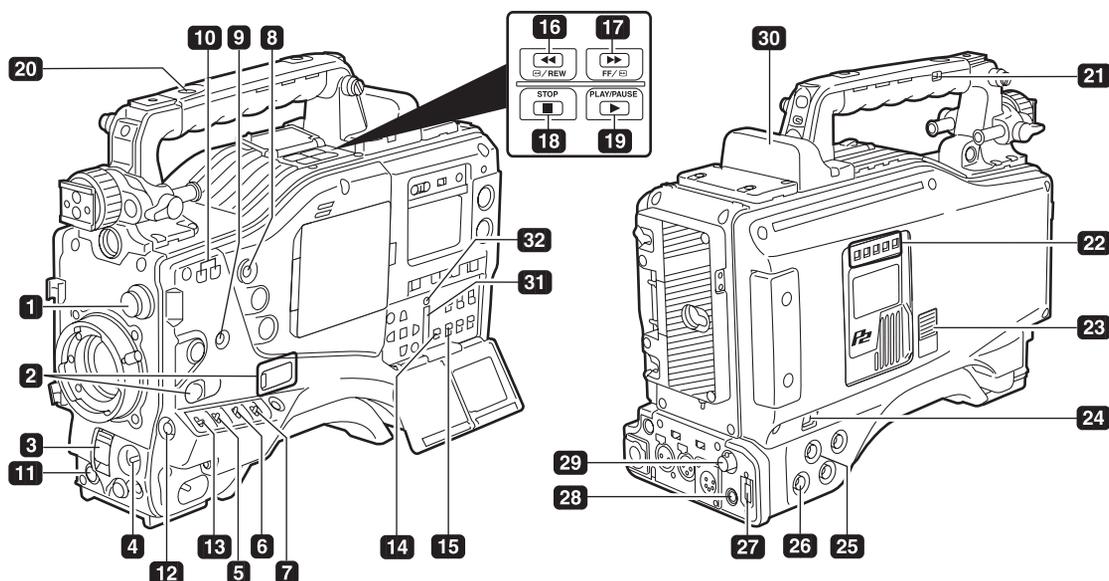
ボイスメモを録音するためのマイクです。

ボイスメモについて、詳しくは「3-10 ボイスメモ機能」を参照してください。

### 18 ボイスメモボタン

記録/再生中、または記録/再生の一時停止中に押すと、ボイスメモを記録できます。再度押すとボイスメモの記録を停止します。

## 2-4 撮影・記録/再生機能部



### ■ 撮影・記録 (カメラ部)

#### 1 CC/ND FILTER (フィルター切替) つまみ

被写体の照度や色温度に合わせてフィルターを選択します。  
DISP MODE 項目が「3」に設定されている場合、このつまみを切り替えると、新しく切り替えられたフィルター番号がビューファインダーに表示されます。

撮影条件に応じたフィルターの選択例

CC/ND FILTER つまみの設定	フィルターの内容	撮影条件
1	3200K	日の出、日没、スタジオ内
2	5600K+1/8	晴天の屋外
3	5600K	曇天・雨天の屋外
4	5600K+1/64	雪景色、高い山、海辺など、澄み切っていて明るい景色

#### 2 USER MAIN、USER1/USER2 ボタン

メニュー操作で、ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り付けることができます。ボタンを押すことで、割り付けられた機能の動作をします。  
詳しくは「4-9-4 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け」を参照してください。

#### 3 シャッタースイッチ

電子シャッターのON/OFF切り替えスイッチです。

**OFF:** 電子シャッターは動作しません。

**ON:** 電子シャッターが動作します。

**SEL:** 電子シャッターのスピードを変更するときに、使用します。

このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。操作するごとに、シャッタースピードが変化します。  
詳しくは、「4-2 電子シャッターの設定」の内容を参照してください。

#### 4 AUTO W/B (WHITE/BLACK) BALスイッチ

**AWB:** ホワイトバランスを自動調整します。

側面のWHITE BALスイッチを「A」または「B」の位置にして、このスイッチを操作すると、調整された値がメモリーに記録されます。

ただし、AWB A項目とAWB B項目で「VAR」が選択されている場合は、メニューで設定された値となり動作しません。なお、各項目はCAM OPERATION ページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択します。  
また「PRST」の位置のときも動作しませんのでご注意ください。

**ABB:** ブラックバランスを自動調整します。

5秒間以上AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に押し続けると、ブラックシェーディングを自動的に補正します。

#### <ノート>

ホワイトバランスやブラックバランスの自動調整を行っているときに、再度「AWB」側や「ABB」側に切り替えると、それぞれの自動調整を中止します。  
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

#### 5 ゲイン切り替えスイッチ

撮影時の照明の状態に合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。

L、M、Hの設定に対するゲイン値は、あらかじめ設定メニューで指定します。

出荷時の設定はL=0dB、M=9dB、H=18dBです。

**6 OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチ**

カメラ部からメモリー記録部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号の選択スイッチです。

**CAM. AUTO KNEE ON :**

カメラで撮影している映像が出力されます。AUTO KNEE 回路が動作します。

**CAM. AUTO KNEE OFF :**

カメラで撮影している映像が出力されます。MANUAL KNEEになります。

**BARS :**

カラーバー信号が出力されます。AUTO KNEE 回路は動作しません。

カラーバー信号は、4種類の中から選択することができます。詳しくは「8-5-5 SW MODE」を参照してください。

**AUTO KNEE 機能**

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようにときにAUTO KNEE機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。AUTO KNEE機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

- ・晴天時に日陰の人物を撮るとき
- ・車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
- ・コントラストの強い場面を撮るとき

**7 WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ**

ホワイトバランスの調整方法を切り替えます。

**PRST :** ホワイトバランスを調整する時間がないときなどは、この位置に設定します。工場出荷時は、3200Kに設定しています。また、メニュー設定で任意の色温度に変更が可能です。詳しくは「4-9-5 マニュアルでの色温度の設定」を参照してください。

**AまたはB :** AUTO W/B BALスイッチ**4**を「AWB」側に押しとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリーA、またはメモリーBに記憶されます。詳しくは「4-1-1 ホワイトバランスの調整」を参照してください。

工場出荷時は、調整値を記憶するように設定されています。メニュー設定で、自動追尾方式のオートトラッキングホワイトバランス (ATW) はBに、あるいは任意の色温度をA、Bそれぞれに割り当てることも可能です。詳しくは「4-1-1 ホワイトバランスの調整」を参照してください。

**8 MODE CHECK ボタン**

このボタンを押すごとに、カメラの設定状態として4つの画面表示 (STATUS画面表示、!LED画面表示、FUNCTION画面表示、AUDIO画面表示) がビューファインダー上で順番に切り替わります。

カメラの出力信号には影響ありません。

**9 MARKER SELECT ボタン**

ビューファインダー画面上のマーカ―情報表示を切り替えます。メニューで設定されたA、Bの2種類のマーカ―情報表示画面を、このボタンを押すごとにA (Aマーカ―表示) →B (Bマーカ―表示) →OFF (マーカ―表示なし) と切り替えます。なお、電源ON時は電源OFFする直前の状態で表示されます。

詳しくは「4-7-6 マーカ―確認画面の表示 (MARKER SELECT ボタン機能)」を参照してください。

**10 シンクロスキャン調整スイッチ**

シャッタースイッチ**3**を「ON」にし、シンクロスキャンが選択されているときに有効です。

シンクロスキャンのスピードを調整するスイッチです。

－のスイッチを押すとシャッタースピードが遅くなり、＋のスイッチを押すとシャッタースピードが速くなります。パソコンモニターを撮影する場合などでは、ビューファインダー内の横バーノイズが少なくなる位置に調整してください。

**■ 撮影・記録/再生機能部 (記録部)****11 REC START/STOP ボタン**

押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。

このボタンは、ハンドル部のRECボタン**20**や、レンズ側のVTRボタンと同じ働きをします。

**12 ショットマークボタン**

記録中に押すと、そのクリップのサムネールにショットマークをつけることができます。また液晶モニターでサムネールを選択し、このボタンを押してショットマークをつけることもできます。

ショットマークについて、詳しくは「3-11 ショットマーク機能」を参照してください。

**13 SAVE ON/OFF スイッチ**

出力各部の電源供給状態を切り替えます。

**ON :** SAVE SW項目で選択した出力をパワーセーブします。SAVE SW項目はSYSTEM SETTINGページのOPTION MODE 1画面から選択できます。

**OFF :** パワーセーブを解除します。

**<ノート>**

記録中は、このスイッチを切り替えても効果が現れません。記録終了後に電源供給状態が切り替わります。

**14 VIDEO OUT CHARACTER スイッチ**

VIDEO OUT 端子から出力される映像へのキャラクターの重畳を制御します。

**ON :** キャラクターを重畳します。

**OFF :** キャラクターを重畳しません。

なおキャラクターの種類は、「4-9-2 映像出力信号の選択」を参照してください。

## 15 OUTPUT SEL (出力信号切り替え) スイッチ

VIDEO OUT 端子および MON OUT 端子の出力信号を切り替えます。

**MEM** : 記録など EE 時はカメラ映像を出力し、再生など VV 時は P2 カードの再生信号を出力します。

**CAM** : 常にカメラ映像を出力します。

**OFF** : 映像出力を停止します。電力削減モードとなります。

なお、音声出力も映像に同期します。

映像出力の種類は、「4-9-2 映像出力信号の選択」を参照してください。

### <ノート>

- 記録中にこのスイッチを切り替えても、記録動作を停止するまで、出力信号が切り替わりません。
- このスイッチを「CAM」にしても、REC SIGNAL 項目で「VIDEO」か「1394」を選択していると「MEM」を選択したときと同じ動作をします。REC SIGNAL 項目は、SYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE> 画面から選択できます。

## 16 REW (早戻し) ボタン/ランプ

停止中に押しと高速逆再生になります。このときランプが点灯します。

再生中に押しと約4倍速の高速逆再生になります。PLAY ランプとREW ランプが点灯します。

また、再生の一時停止状態のときに押しと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態(頭出し状態)になります。

## 17 FF (早送り) ボタン/ランプ

停止中に押しと高速再生になります。このときランプが点灯します。

再生中に押しと約4倍速の高速再生になります。PLAY ランプとFF ランプが点灯します。

また、再生の一時停止状態のときに押しと、次クリップの先頭で一時停止した状態(頭出し状態)になります。

## 18 STOP (停止) ボタン

再生を停止するときに押します。

## 19 PLAY/PAUSE (再生/一時停止) ボタン

ビューファインダー画面上やカラービデオモニターを使って、再生画像を見るときに押します。再生中はランプが点灯します。

再生中に押しと、再生モードでの一時停止(PLAY PAUSE)となりランプが点滅します。

## 20 REC ボタン

押しと記録が始まり、再度押しと記録が停止します。

このボタンは、REC START/STOP ボタン<sup>11</sup>やレンズ側のVTR ボタンと同じ動きをします。

このボタンはREC 禁止スイッチ<sup>21</sup>で、操作を無効にすることができます。

## 21 REC 禁止スイッチ

ハンドル部の REC ボタン<sup>20</sup>の操作を禁止するスイッチです。

**ON** : REC ボタンの操作が有効

**OFF** : REC ボタンの操作が無効

## 22 P2 カードアクセス LED

各カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

## 23 スライドロックボタン

P2 カード挿入部のスライドとびらを開くボタンです。このボタンを押し下げながら、スライドとびらを左に引いて開けます。

## 24 USB 2.0 端子

USB 2.0 ケーブルを接続します。

USB 項目を ON に設定していると、USB 2.0 を使ったデータ転送が可能になります。また、このとき本機で記録再生や、クリップの操作はできません。

USB 項目は、SYSTEM SETTING ページの SYSTEM MODE 画面から選択できます。詳しくは、「5-5 USB 2.0 端子を用いたパーソナルコンピュータとの接続について」を参照してください。

## 25 GENLOCK IN 端子

カメラ部に GENLOCK をかける時、またはタイムコードを外部ロックする時に基準信号を入力します。また REC SIGNAL 項目で「VIDEO」を選択することにより、本信号を記録することもできます。

REC SIGNAL 項目は、SYSTEM SETTING ページの SYSTEM MODE 画面から選択できます。

### <ノート>

- 入力基準信号は、標準の VBS (バースト付きコンポジット信号) を供給してください。
- REC SIGNAL 項目で、「VIDEO」を選択したときに、本機を入力信号に同期させて記録したい場合は、GENLOCK 項目を「EXT」に設定してください。GENLOCK 項目は、SYSTEM SETTING ページの GENLOCK 画面から選択できます。

## 26 MON OUT (モニター出力) 端子

モニター用映像の出力端子です。OUTPUT SEL スイッチに連動した映像が出力されます。ただし、キャラクターの重畳は、VIDEO OUT 端子とは独立に内部の MENU で設定が可能です。詳しくは、「4-9-2 映像出力信号の選択」を参照してください。

## 27 端子カバー

このカバーを取り外し、DVCPRO/DV 端子を取り付けます。詳しい取り付け方については、IEEE 1394 インターフェイスボード (AJ-YAD800G・別売品) の取扱説明書を参照してください。

## 28 ECU (リモートコントロール) 端子

エクステンションコントロールユニット AJ-EC3P (別売品) を接続します。

## 2-5 メニュー操作部

2

### 29 VIDEO OUT (ビデオ信号出力) 端子

映像の出力端子です。OUTPUT SEL スイッチに連動した映像が出力されます。

### 30 OPTION SLOT

ビデオエンコーダカード (AJ-YAX800G・別売品) を装着します。装着方法、およびプロキシ記録機能については、AJ-YAX800Gの取扱説明書をご覧ください。

### 31 SDメモリーカード挿入部

SDメモリーカード (別売品) の挿入口です。SDメモリーカードは、カメラの設定メニューやレンズファイルの記録/呼び出し、メタデータのアップロードや、プロキシ記録 (オプション) などで使用します。

#### <SDメモリーカード使用上の注意>

本機には、SD規格またはSDHC規格に準拠したSDメモリーカードを入れてご使用ください。

マルチメディアカードは、使用できません。(撮影することができなくなることがありますのでご注意ください)

また、mini SDを本機で使用する場合は、必ず、mini SD専用のアダプターを装着してご使用ください。(mini SDアダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません。アダプターには、必ずメモリーカードを入れてご使用ください)

当社製のSDメモリーカードおよびmini SDカードをご使用いただくことをおすすめします。またフォーマットは、必ず本機で行ってください。

パーソナルコンピュータでフォーマットする必要がある場合は、専用ソフトウェアを下記のサポートサイトよりダウンロードしてご使用ください。

本機では、以下の容量 (8 MB ~ 2 GB まで) のSDメモリーカードおよび4 GB、8 GBのSDHCメモリーカードが使用できます。

8 MB	16 MB	32 MB	64 MB
128 MB	256 MB	512 MB	1 GB
2 GB	4 GB (SDHC)	8 GB (SDHC)	

なお、プロキシ (オプション) を記録する場合は、「High Speed」などの表示がある256 MB、512 MB、1 GB、2 GBのSDメモリーカードまたは4 GB、8 GBのSDHCメモリーカードをご使用ください。

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

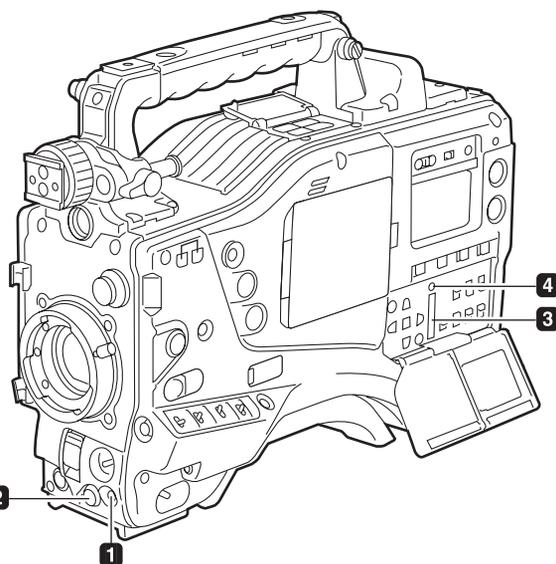
- SDHCカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。
- SDカードロゴは、登録商標です。
- MMC (Multi Media Card) は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。

### 32 BUSY (動作状態表示) ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプです。動作時に点灯します。

#### <ノート>

ランプ点灯時にはカードを出し入れしないでください。



#### 1 MENU ボタン

メニューのON/OFF切り替えボタンです。

#### 2 JOGダイヤルボタン

メニューを開いている状態で、メニューのページ移動、項目の選択や設定を行います。

メニューの操作方法については、「4-6 ビューファインダー画面上のメニュー表示」を参照してください。

#### 3 SDメモリーカード挿入部

SDメモリーカード (別売品) の挿入口です。メニューデータの書き込み/保存をするとき使用します。

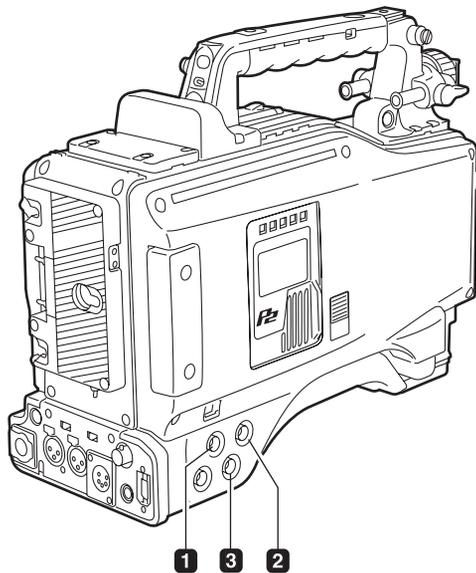
#### 4 BUSY (動作状態表示) ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプです。動作時に点灯します。

#### <ノート>

ランプ点灯時にはカードを出し入れしないでください。

## 2-6 タイムコード関連部



### 1 GENLOCK IN端子 (BNC)

カメラ部にGENLOCKをかける時、またはタイムコードを外部ロックする時に基準信号を入力します。

### 2 TC IN端子 (BNC)

タイムコードを外部ロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。

### 3 TC OUT端子 (BNC)

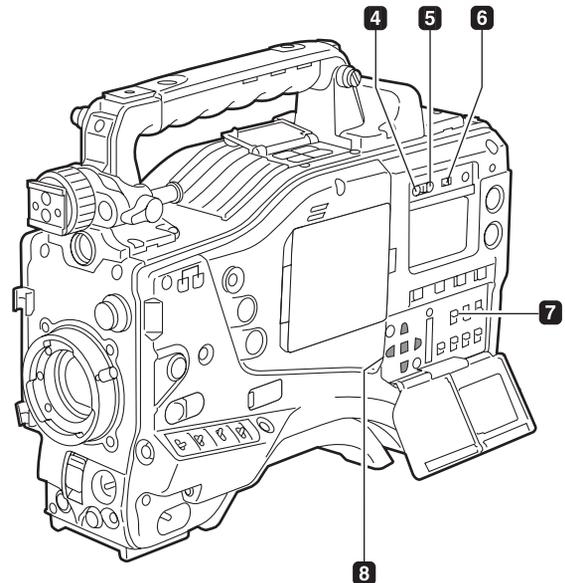
外部機器のタイムコードを、本機のタイムコードにロックさせるときに、外部機器のタイムコード入力 (TC IN) 端子と接続します。

### 4 HOLDボタン

押した瞬間に、カウンタ表示部のタイムデータ表示が保持されます。ただし、タイムコードジェネレータは歩進し続けます。再度押すと、保持状態が解除されます。あるシーンを撮影したタイムコード、またはCTLを知りたいときなどに使用します。

### 5 RESETボタン

カウンタ表示部のタイムデータ (CTL) を“00:00:00:00”にリセットします。また、TCGスイッチ<sup>7</sup>を「SET」の位置にして、このボタンを押すと、タイムコードデータ、ユーザーズビットデータをそれぞれ0にリセットし、リアルタイムデータを初期値に戻します。



### 6 DISPLAY (カウンタ表示切り替え) スイッチ

このスイッチと TCG スイッチ<sup>7</sup>の設定位置に応じて、CTL、タイムコード、ユーザーズビットを表示窓のカウンタ表示部に表示させます。また、HOLDボタン<sup>4</sup>を押すと、DATE/TIME/タイムゾーンを表示することもできます。

UB： ユーザーズビットを表示します。

TC： タイムコードを表示します。

CTL： CTLを表示します。

### 7 TCG (タイムコード切り替え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレータの歩進モードを設定します。

**F-RUN**： P2 カード記録の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。タイムコードを時刻に合わせてたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどに、この位置にします。

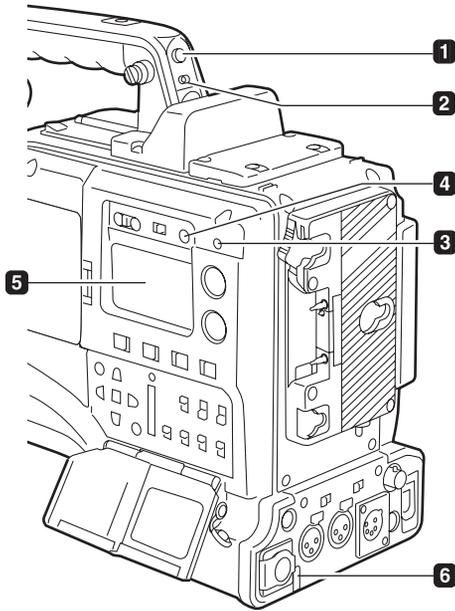
**SET**： タイムコードやユーザーズビットを設定するときに使用します。

**R-RUN**： 記録中のみにタイムコードを歩進させるときに使用します。つなぎ撮りをしたP2カード上のタイムコードは、連続して記録されます。

### 8 カーソル・SETボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定に使用します。4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。タイムコード、ユーザーズビットの設定方法については「4-5 タイムデータの設定」を参照してください。

## 2-7 警告/状態表示部



### 1 バックタリーランプ

バックタリースイッチ<sup>2</sup>を「ON」に設定すると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。

### 2 バックタリースイッチ

バックタリーランプ<sup>1</sup>とリアタリーランプ<sup>6</sup>の動きをコントロールします。

**ON:** バックタリーランプとリアタリーランプが動作します。

**OFF:** バックタリーランプとリアタリーランプが動作しません。

### 3 WARNINGランプ

メモリー記録部に何らかの異常が発生すると、点滅または点灯します。

### 4 LIGHTボタン

表示窓の照明をコントロールします。  
押すごとに表示窓<sup>5</sup>の照明の点灯/消灯を切り換えます。

### 5 表示窓

メモリー記録部に関する、警告・バッテリー残量・音声レベル・タイムデータなどを表示します。

### 6 リアタリーランプ

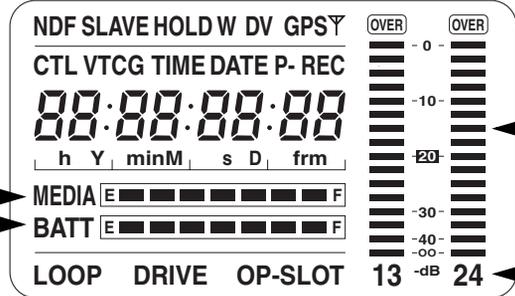
バックタリースイッチ<sup>2</sup>を「ON」に設定すると、バックタリーランプと同様に動作します。

## 2-8 表示窓内表示

### P2カード・バッテリー残量、音声レベルの表示

#### MEDIA 残量表示バー

P2カード残量を7個のセグメントで表示します。  
1個のセグメントが示すP2カード残量時間は、CARD REMAIN/■項目で3分または5分に設定します。設定された時間ごとに、セグメントが1個ずつ消えていきます。CARD REMAIN/■項目は、MAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。



#### バッテリー残量表示バー

デジタル表示(%表示)のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が70%以上のときにFの位置までセグメントが7個点灯します。

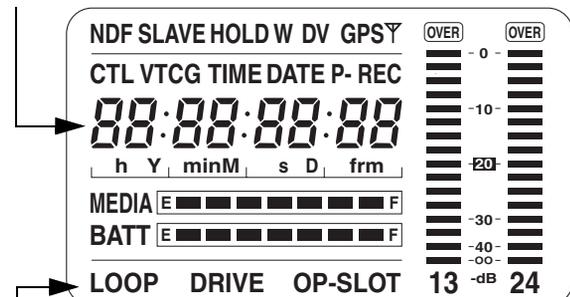
バッテリー残量が70%未満より10%減るごとに、セグメントが1個ずつ消えます。MAIN OPERATIONの<BATTERY/P2CARD>画面のBATT REMAIN FULL項目で「100%」を選択すると100%でセグメントを7個点灯する設定にすることも可能です。

#### 音声チャンネルレベルメーター

MONITOR SELECT CH1/2/CH3/4スイッチを「CH1/2」に設定すると、音声チャンネル表示数字1と2を表示し、CH1とCH2の音声レベルを表示します。「CH3/4」に設定すると、音声チャンネル表示数3と4を表示し、CH3とCH4の音声レベルを表示します。

### メモリー記録部の動作/状態に関する表示

エラーコード表示(詳しくは「7-3 警告システム」をご覧ください)



#### 情報表示

**LOOP:** LOOP RECモード時に点灯します。LOOP RECモードについては「3-6 LOOP REC機能」を参照してください。

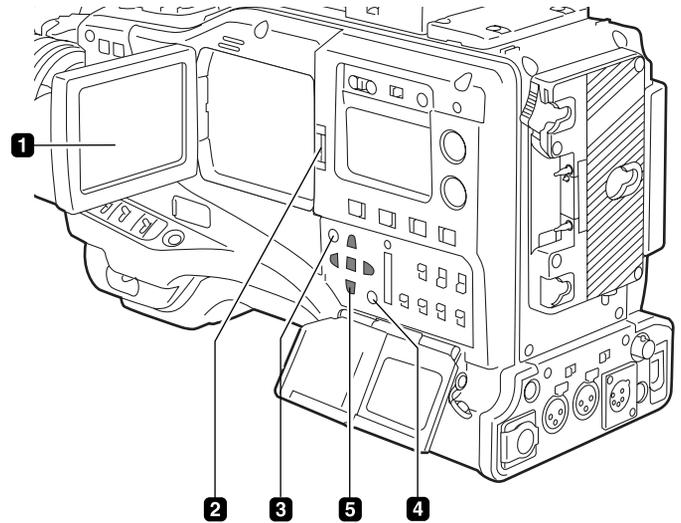
**DRIVE:** USB項目が「ON」に設定されているときに点灯します。USB項目はSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

**OP-SLOT:** オプションスロットでビデオエンコーダーカードなどが動作しているときに点灯します。

## 2-9 液晶モニター部

### モード表示

**W:** 16:9モード時に点灯  
**DV:** 記録/再生フォーマットがDVのときに点灯  
**GPS:** GPS動作中、GPSの電波を受信できていないときに点灯  
**GPS∇:** GPS動作中、GPSの電波を受信しているときに点灯  
**P-REC:** PRE REC MODE 項目の設定がONのときに点灯し、記録のタリールンプ消灯後、記録継続中は点滅  
**iREC:** INTERVAL RECモードで記録中は点灯、記録待機中は点滅  
**i:** INTERVAL RECモードを選択時に点滅



### タイムコードに関する表示

**NDF:** タイムコードがノンドロップフレーム時に点灯  
**DF:** タイムコードがドロップフレーム時に点灯  
**SLAVE:** タイムコードが外部ロック時に点灯  
**HOLD:** タイムコードジェネレーター/リーダー値をホールドした時に点灯  
**CTL:** DISPLAYスイッチで「CTL」を選択し、CTLカウント値を表示しているときに点灯  
**TCG:** DISPLAYスイッチで「TC (もしくは UB)」を選択し、TC (もしくは UB) ジェネレーター値を表示時に点灯  
**TC:** DISPLAYスイッチで「TC (もしくは UB)」を選択し、TC (もしくは UB) リーダー値を表示時に点灯  
**VTCG:** DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、VIUBジェネレーター値を表示時に点灯  
**VTC:** DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、VIUBリーダー値を表示時に点灯  
**TIME:** DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムの時分秒値を表示時に点灯  
**DATE:** DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムの年月日値を表示時に点灯  
**無表示:** DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムのタイムゾーン時分値を表示時は、VTCG、TIME、DATEは消灯します。

### タイムカウンター表示:

タイムコード、ユーザーズビット、CTL、リアルタイムを表示

### <ノート>

DISPLAYスイッチでUBを選択時、HOLDボタンを押すごとに、VTCG (VTC) → DATE → TIME → 無表示 (タイムゾーン) → TCG (TC) を繰り返します。

### 1 液晶モニター

ビューファインダー内の映像を表示します。また、P2カードのクリップを、サムネイル表示することもできます。サムネイル表示時は、メニューバーボタン<sup>4</sup>やカーソル・SETボタン<sup>5</sup>を使って、クリップの操作や削除、またP2カードのフォーマットなどができます。

### 2 OPENボタン

液晶モニターを開くときに使用します。

### 3 サムネイルボタン

液晶モニター<sup>1</sup>の映像を、ビューファインダー内の映像からクリップのサムネイル表示に切り替えます。もう一度押すと元のビューファインダー内の映像に戻ります。ただし、記録・再生中には切り替わりません。

### 4 メニューバーボタン

サムネイル表示中に押すと、メニューバーの操作に移り、クリップの削除などが可能になります。

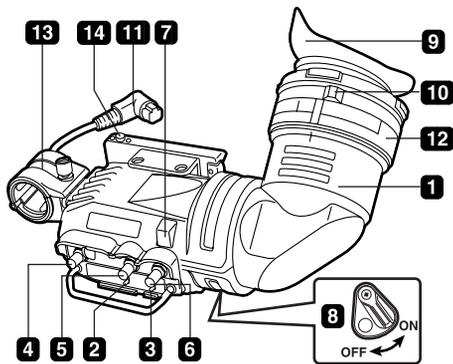
### 5 カーソル・SETボタン

4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。サムネイルの選択やメニューバーの操作に使用します。詳しくは「第6章 クリップのサムネイル操作」を参照してください。

## タイムコード関連スイッチの設定と表示項目

DISPLAYスイッチの位置	TCGスイッチの位置	表示項目
CTL	SET	タイムコード
	F-RUN または R-RUN	CTL
TC	F-RUN/SET/ R-RUN	タイムコード
UB		ユーザーズビット またはリアルタイム、 タイムゾーン

## 2-10 ビューファインダー部



- 1 ビューファインダー (別売品)**  
記録・再生中に、白黒の映像を見ることができます。本機の動作状態や設定に関する警告表示・メッセージ・ゼブラパターン・マーカー（セーフティーゾーンマーカー、センターマーカー）なども見ることができます。
- 2 ZEBRA (ゼブラパターン) スイッチ**  
ビューファインダー内にゼブラパターンを表示させます。  
ON：ゼブラパターンを表示させます。  
OFF：ゼブラパターンは表示されません。
- 3 タリースイッチ**  
フロントタリーランプ**7**をコントロールします。  
HIGH：フロントタリーランプが明るくなります。  
OFF：フロントタリーランプが消灯します。  
LOW：フロントタリーランプが暗くなります。
- 4 PEAKING (ピーキング) つまみ**  
ピントを合わせやすくするために、ビューファインダー内の映像の輪郭を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。
- 5 CONTRAST (濃淡) つまみ**  
ビューファインダー内の画面の濃淡を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。
- 6 BRIGHT (明るさ) つまみ**  
ビューファインダー内の画面の明るさを調整します。カメラの出力信号には影響ありません。
- 7 フロントタリーランプ**  
タリースイッチ**3**が「HIGH」または「LOW」の位置のときに動作し、撮影中に点灯します。また、ビューファインダー内のRECランプと同様に点滅し、警告表示も行います。点灯時の明るさは、TALLY スイッチ（「HIGH」または「LOW」）で切り替えることができます。

- 8 バックタリーランプ**  
撮影中に点灯します。また、ビューファインダー内のRECランプと同様に点滅し、警告表示も行います。レバーを「OFF」側にすると、バックタリーランプが隠れます。

- 9 アイピース**  
<ノート>  
アイピースを太陽に向けたままにしないでください。内部の機器が損傷する恐れがあります。

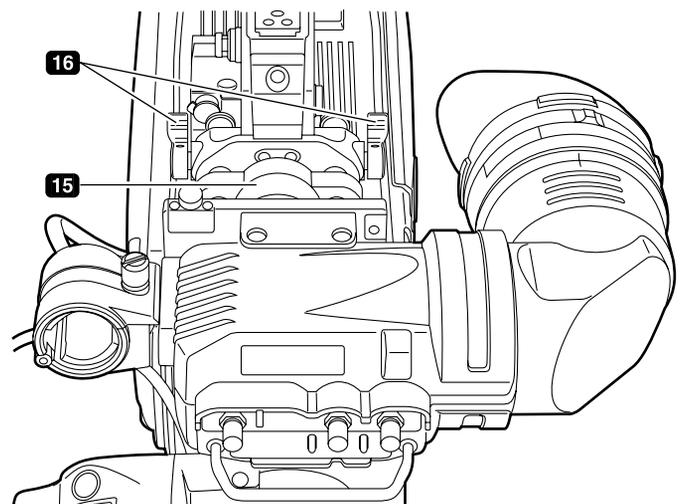
- 10 視度調整リング**  
カメラマンの視度に合わせて、ビューファインダー画面上の映像が最もはっきり見えるように調整します。

- 11 接続プラグ**

- 12 ロックリング**

- 13 マイクホルダー**

- 14 ビューファインダーストッパー**  
ビューファインダーの取り付け、取り外しに使用します。



- 15 ビューファインダー左右位置固定リング**  
ビューファインダーの左右の位置を調整するとき使用します。

- 16 ビューファインダー前後位置固定レバー**  
ビューファインダーの前後の位置を調整するとき使用します。

- <ノート>  
詳しくは、ビューファインダーの取扱説明書を参照してください。

# 第3章 記録と再生

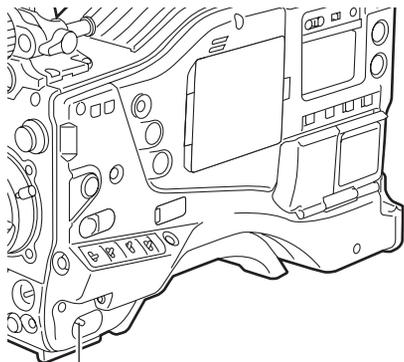
## 3-1 P2カードについて

### P2カードを入れる

#### <ノート>

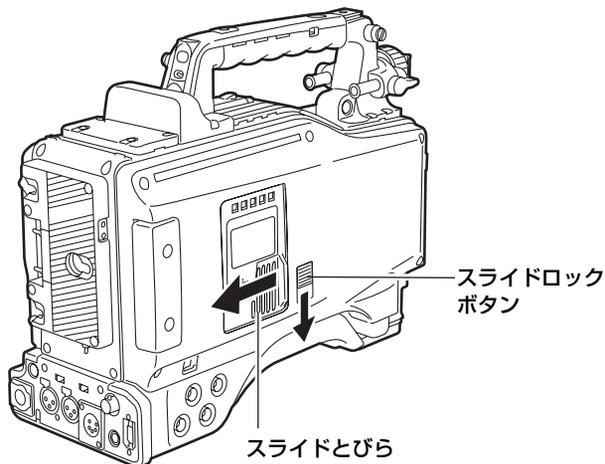
本機を最初に使用する時には、必ずタイムデータの設定を先に行ってください。タイムデータの設定方法については「4-5 タイムデータの設定」を参照してください。

**1** POWERスイッチをONにします。



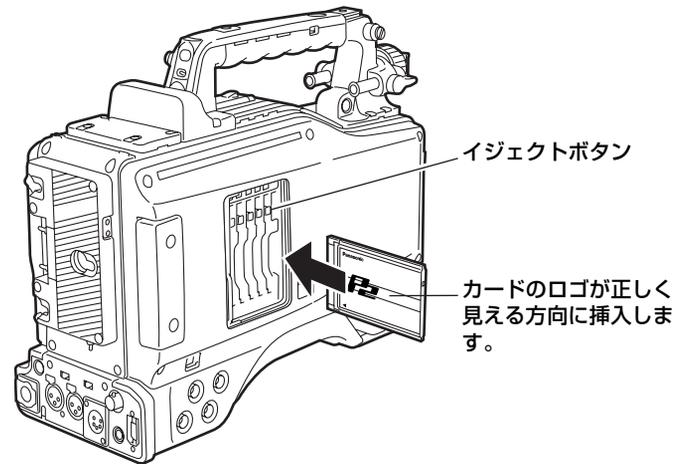
POWER: ON

**2** スライドロックボタンを押し下げながら、スライドとびらを左に引きます。  
スライドとびらが開きます。



スライドとびら

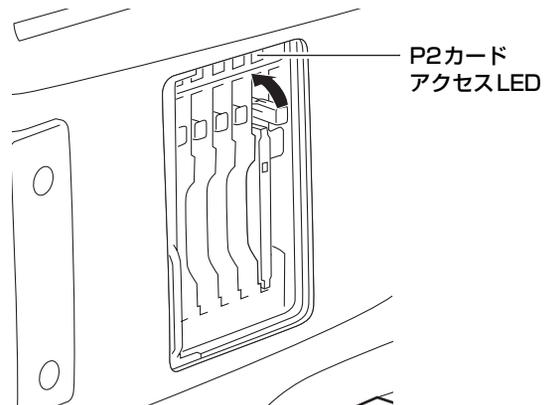
**3** P2カードスロットにP2カードを挿入し、イジェクトボタンが飛び出てくるまで押し入れます。



イジェクトボタン

カードのロゴが正しく見える方向に挿入します。

**4** 飛び出たイジェクトボタンを上にも倒し、P2カードをロックします。



P2カードアクセスLED

**5** 本機にP2カードを挿入すると、スロットのP2カードアクセスLEDにP2カードの状態が表示されます。  
P2カードの状態表示については、次ページの「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」を参照してください。

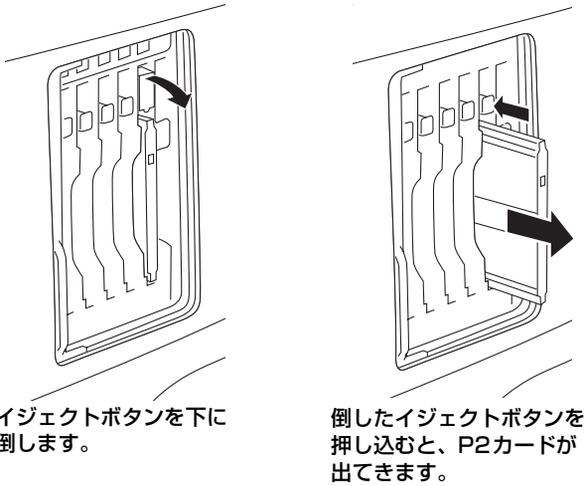
**6** スライドとびらを閉めます。

#### <ノート>

スライドとびらを開いた状態のまま、本機を移動しないでください。

## P2カードを取り出す

- 1 スライドロックボタンを押し下げながら、スライドとびらを左に引きます。  
スライドとびらが開きます。
- 2 イジェクトボタンを下に倒します。
- 3 押しこむとP2カードが出てきますので、取り外してください。



### <ノート>

- P2カードの故障の原因になりますので、アクセス中や、挿入後、認識中（P2 カードアクセスLED がオレンジ色に点滅）に、P2カードは取り出さないでください。
- ただし、P2カードアクセスLEDを点灯しない設定でご使用の場合は、記録/再生を停止したあと、PRE RECORDING（P-REC表示の点滅）や、ボイスメモ記録（ビューファインダーのVマーク、またはVOICE REC表示）が終了していることを確認の上、取り出しを行ってください。
- 万が一、アクセス中のP2カードを取り出した場合、ビューファインダーに“TURN POWER OFF”と表示され、アラーム、WARNING LEDなどで警告表示を行います。また、P2カードアクセスLEDは、すべてオレンジ色の早い点滅となります。一度、電源を切ってください。警告表示について、詳しくは「7-3 警告システム」を参照してください。
- アクセス中に取り出されたP2カードは、クリップが不正規の状態になることがあります。クリップをご確認のうえ、修復を行ってください。クリップの修復について、詳しくは「6-9 クリップの修復」を参照してください。
- フォーマット中のP2カードを抜いた場合、抜いたP2カードのフォーマットは保証されません。また、このときビューファインダーに“TURN POWER OFF”と表示されます。一度電源を切り、再度ONしてから、P2カードのフォーマットをやり直してください。
- 再生中は、他のスロットにP2カードを挿入しても認識されず、P2カードアクセスLEDは点灯しません。再生が終了してから、P2カードの認識を始めます。
- 記録中、空きスロットにP2カードを挿入しても、下記の期間中はすぐに認識されません。
  - ◆ PRE RECORDINGの直後
  - ◆ 2つ以上のカードに連続記録（ホットスワップ記録）を行う場合の、記録するP2カードが切り替わる前後

### <参考>

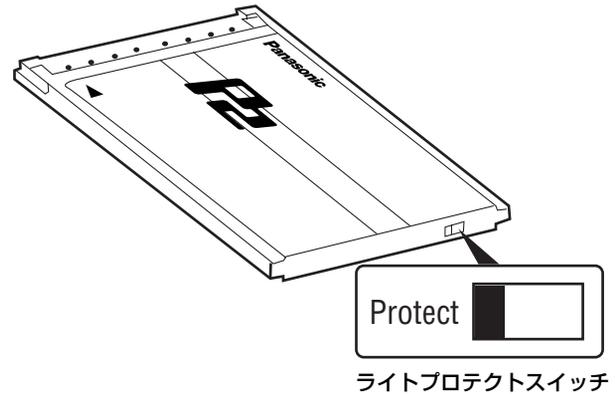
P2 カードアクセスLED は、SYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE> 画面のACCESS LED 項目で、常に消灯する設定にできます。

### 誤消去を防ぐには

P2 カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2 カードのライトプロテクトスイッチを「Protect」側にします。

### <ノート>

ライトプロテクトスイッチは、記録中や再生中など、アクセス中に切り替えても、再生や記録を終了してアクセス状態が終わるまで効果は現れません。



### P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について

P2カードアクセスLED	MODE CHECK 表示*	P2カードの状態
緑色に点灯	ACTIVE	書き込み / 読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	ACTIVE	書き込み / 読み出しとも可能で、現在記録（LOOP RECを含む）の対象になっています。
オレンジ色に点灯または緑色に点灯	ACTIVE !	書き込み / 読み出しとも可能ですが、P2 カードに記録されたクリップのうち、正常な読み出しができないものがあります。
オレンジ色の点滅	ACCESSING	現在、書き込み / 読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	INFO READING	P2カードを認識中です。
緑色の遅い点滅	FULL	P2 カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。
	PROTECTED	P2 カードのライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっています。読み出しのみ可能です。
消灯	NOT SUPPORTED	本機では使用できないカードです。カードを交換してください。
	FORMAT ERROR	P2 カードが正規のフォーマットをされていません。フォーマットをやり直してください。
	NO CARD	P2 カードが挿入されていません。

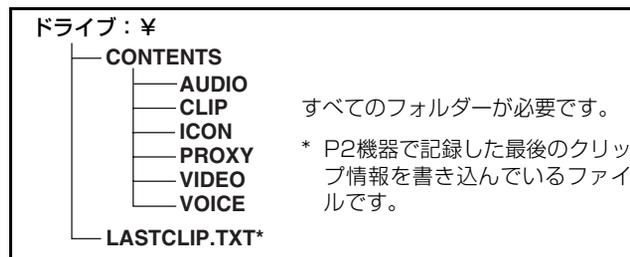
\* MODE CHECK はビューファインダー内に表示されます。詳しくは「4-7-2 ビューファインダー画面の状態表示の構成」を参照してください。

## 3-2 P2カード記録データの取り扱いについて

P2カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器「DVCPRO P2シリーズ」の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

- DVCPRO P2 フォーマットの記録データはファイル形式のため、PCとの親和性に優れていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXFファイル化される映像、音声データだけではなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成で関連付けられています。

これらの情報が一部分でも変更、もしくは削除されると、P2データとして認識できない、もしくはP2カードがP2機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。



- P2カード内のデータをPCなどに転送したり、PCに格納したデータをP2カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2ビューアー」を下記ウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。  
(対応OS：Windows Vista/Windows XP/Windows2000)

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

- Microsoft Windows ExplorerやApple Finderなど、一般のITツールを使用してPCに転送する場合は、下記のように行ってください。  
なお、P2カードへ戻す場合は、必ずP2ビューアーを使用してください。

- ◆ CONTENTSフォルダーとLASTCLIP.TXTファイルごとに行ってください。  
CONTENTSフォルダー以下は操作しないでください。  
コピーする際はCONTENTSフォルダーと同時に、LASTCLIP.TXTファイルも行ってください。
- ◆ 複数のP2カードをPCに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2カードごとにフォルダーを作成してください。
- ◆ P2カード内のデータ消去は行わないでください。
- ◆ フォーマットする場合は、必ずお使いのP2機器、もしくはP2ビューアーで行ってください。

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- AppleおよびMacは、米国Apple,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

### 3-3 基本手順

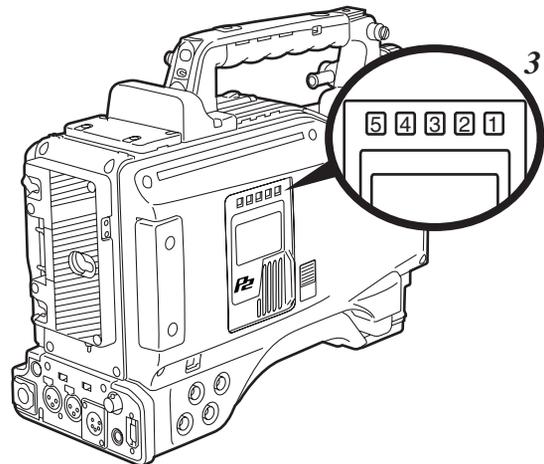
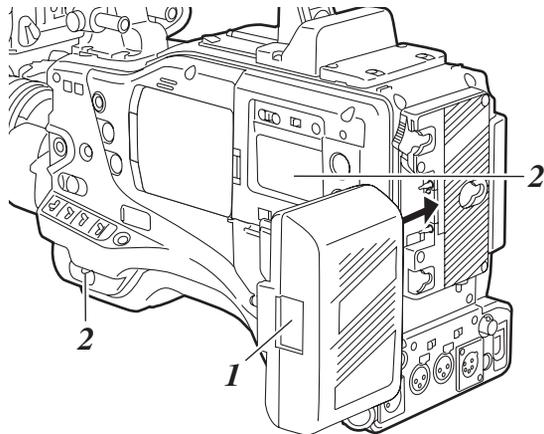
ここでは、撮影・記録に関する基本操作手順を説明します。実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、システムが正常に機能することを確認してください。

\*点検のしかたについては、「7-1 撮影前の点検」をお読みください。

#### 電源の準備からP2カードを入れるまで

- 1 充電済みのバッテリーパックを入れます。
- 2 POWERスイッチをONにし、バッテリー残量表示バーが5個以上点灯していることを確認します。
  - バッテリー残量表示バーが5個以上点灯していないときは、まずバッテリー設定を確認し、設定が正しければ完全に充電したバッテリーと交換します。
- 3 P2カードを挿入し、P2カードアクセスLEDがオレンジ色、または緑色に点灯しているのを確認して、スライドとびらを閉めます。P2カードスロットに複数のP2カードが挿入されている場合、スロット番号の小さいP2カードから順番に記録されます。ただしP2カードを後から挿入すると、そのP2カードが記録対象になるのは、スロット番号にかかわらず、それまでに挿入されたP2カードより後になります。

**例** :5つのスロットすべてにP2カードを挿入すると、スロット番号1→2→3→4→5の順で記録対象のP2カードになります。しかし、一度スロット番号1のP2カードを取り出して再び挿入した場合、スロット番号2→3→4→5→1の順で記録対象のP2カードになります。



なお、電源をOFFした後も記録対象のP2カード番号は保持され、次に電源をONにしたときは、電源をOFFする前と同じP2カードに続けて記録できます。

#### <ノート>

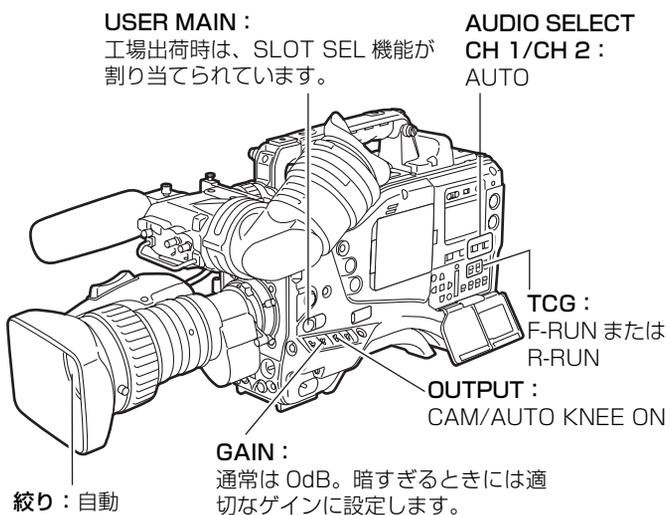
P.ON REC SLOT SEL項目で“SLOT1”を選択すると、電源をONにするたびにスロット番号の小さいP2カードから順に記録します。

P.ON REC SLOT SEL項目は、SYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面で選択できます。

#### 各スイッチ設定まで

電源を準備し、P2カードを入れた後、各スイッチを次のように設定してから操作を始めてください。

##### 撮影・記録のためのスイッチの設定



#### <ノート>

- USER MAINボタンは、工場出荷時、SLOT SEL機能が割り当てられており、複数挿入されたP2カードから、記録対象のP2カードを切り替えることができます。また、記録対象のP2カードが切り替わると、記録対象になったP2カードが挿入されたP2カードスロットの番号が、ビューファインダー内のP2カード残量表示部に表示されません。ビューファインダー内の表示について、詳しくは、「4-7-2 ビューファインダー画面の状態表示の構成」を参照してください。
- 記録中もSLOT SEL機能は有効です。記録対象のP2カード切り替えが完了するまでの間、ビューファインダーに“SLOT SEL”の表示が点滅します。なお、記録開始直後や記録対象のP2カード切り替えを行った直後などでSLOT SELが行えなかった場合は“SLOT SEL INVALID”と表示します。

## 撮影するには

### ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで

撮影するには、以下の手順で操作します。

**1** 照明条件に合わせてフィルターを選びます。

**2A** ホワイトバランスがすでにメモリーされているとき  
WHITE BALスイッチを「A」または「B」にします。

**2B** ホワイトバランスやブラックバランスがメモリーされておらず、ホワイトバランスを調整する時間がないとき  
WHITE BALスイッチを「PRST」にします。  
FILTERつまみの設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

**2C** その場でホワイトバランスを調整するとき

照明条件にあったフィルターを選び、WHITE BALスイッチを「A」または「B」にして画面中央で白い被写体を撮影し、次の手順でホワイトバランスを調整します。

1. AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押して、ホワイトバランスを調整します。
2. AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に押して、ブラックバランスを調整します。
3. AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押して、再度ホワイトバランスを調整します。

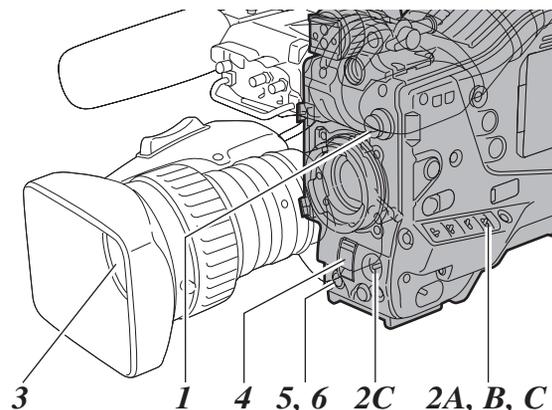
調整の仕方については、「4-1-1 ホワイトバランスの調整」および「4-1-2 ブラックバランスの調整」を参照してください。

**3** カメラを被写体に向け、フォーカスとズームを調整します。

**4** 電子シャッターを使用する場合は、シャッタースピード/動作モードを設定します。  
詳しくは、「4-2 電子シャッターの設定」をお読みください。

**5** REC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押して記録を開始します。  
記録中は、ビューファインダー内のRECランプが点灯します。

**6** 停止するときは、再度 REC START/STOP ボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押します。  
ビューファインダー内のRECランプが消えます。



#### 操作ボタンについて

記録中は、操作ボタン (REW、FF、PLAY/PAUSE、STOP) は動作しません。

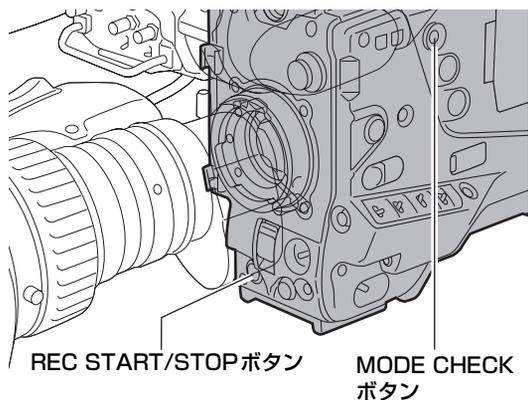
### 3-4 通常の記録

REC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押すと、P2カードに映像・音声の記録を始めます。

一回の撮影で生成される画像・音声、およびボイスメモなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータをクリップといいます。

#### <ノート>

- 24P、24PAのときは、5フレーム周期の先頭から記録が開始されます。そのため、24P、24PA以外のクリップに続けて記録すると、タイムコードが不連続になることがあります。
- P2カードを挿入後、あるいは電源をONした直後に記録を開始した場合でも、本機の内部メモリーを使用して記録が開始されます。この場合、P2カードの認識が終わるまで、記録を停止できません。  
ただし挿入されたカードを、記録可能なP2カードではないと認識した場合は、その時点で内部メモリーの記録を破棄し、ビューファインダーに“CANNOT REC”と表示します。  
P2カードの状態は、MODE CHECK ボタンを押し、ビューファインダーに表示されるP2CARD STATUSでご確認ください。  
なお、多数のクリップが記録されたP2カードを挿入して、すぐ記録を開始した場合、タイムコードをリジエネ設定にしても、挿入したP2カードのタイムコードにリジエネしない場合があります。



### 3-5 PRE RECORDING機能

本機の内部メモリーを利用して、カメラで撮影する映像、音声データを常に数秒間分貯えておくことにより、REC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押して記録を開始した時、その数秒前からの映像、音声を記録することができます。

本機能を使用するためには、メニュー操作でPRE REC MODE項目をONにする必要があります。内部メモリーへの蓄積時間は、同じくメニュー操作でPRE REC TIME項目より設定が可能です。

PRE REC MODE項目、およびPRE REC TIME項目はSYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。

また、USER MAIN SW/USER1 SW/USER2 SW項目でPRE REC MODE項目をそれぞれのUSERボタンに割り付けることができます。

各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択できます。

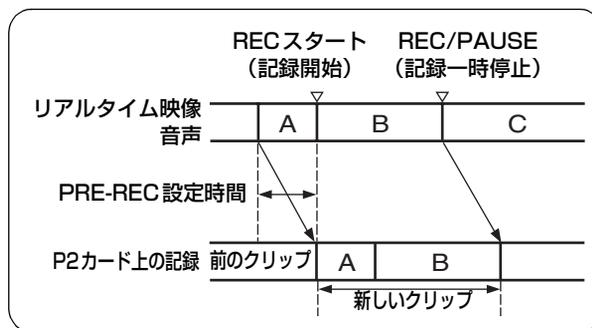
以下がPRE REC TIME項目の設定内容です。

- 1～15SEC (DVCPRO 25MまたはDVで記録時)
- 1～8SEC (DVCPRO 50Mで記録時)

REC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押してから、さかのぼって記録できる時間を設定します。

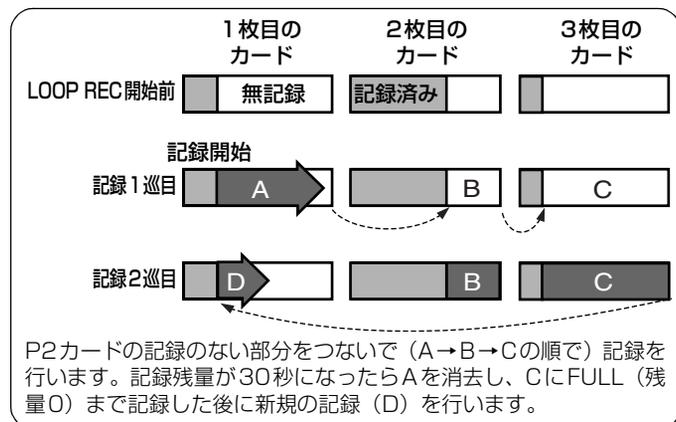
#### <ノート>

- PRE REC MODE項目をOFFに設定時の「P-REC」表示について  
本機はPRE REC MODE項目をOFFに設定していても、記録を停止した後、P2カードに完全に映像・音声を記録し終えるまでの間、「P-REC」表示を行います。  
「P-REC」表示について、詳しくは「4-7-2 ビューファインダー画面の状態表示の構成」を参照してください。
- 電源ON直後や、メニュー操作でPRE REC TIME項目を選択したり、設定時間を変えたりした直後は、内部メモリーの内容が不定になっていますので、操作後すぐにREC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押して記録を開始しても、設定時間どおりの映像・音声は記録はできません。
- P2カードをスロットに挿入した直後は、カードの認識に時間がかかりますので、挿入後すぐにREC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押して記録を開始しても、設定時間どおりの映像・音声は記録できない場合があります。
- 再生やレックレビューを行っている間は、内部メモリーに映像・音声を貯えないため、再生やレックレビューを行った間の映像・音声はさかのぼって記録することはできません。
- 記録を開始したとき、P2カードの認識が終了するまでの間、タイムコード(TCG)表示がホールド表示になることがあります。
- IEEE1394入力を記録時、およびINTERVAL REC機能が動作時は、PRE RECORDING機能は働きません。



## 3-6 LOOP REC機能

P2カードスロットに2枚以上のP2カードが挿入されているとき、順次カードを切り替えながら記録する機能です。P2カードの記録残量がなくなった時点で最初に戻って、古い記録を消去しながら新規に記録を行いますので、継続的な記録が可能です。本機能を使用するには、LOOP REC MODE項目を“ON”にする必要があります。LOOP REC MODE項目は、メニュー操作でSYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。



### <ノート>

- LOOP RECには、1分以上の記録残量があるP2カードをご使用ください。
- LOOP REC中は、記録に使用するP2カードのP2カードアクセスLEDが、すべてオレンジ色に点灯します。これらのP2カードを抜くと、LOOP RECは停止しますのでご注意ください。
- LOOP REC MODE項目がONのときは、ビューファインダー内、および表示窓に“LOOP”と表示されます。ただしLOOP REC MODE項目がONのときでも、カードが一枚しか挿入されていなかったり、カードの記録残量が1分未満だとLOOP RECができません。この場合、ビューファインダー内、および表示窓の“LOOP”表示が点滅します。
- LOOP REC MODE項目がONのとき、P2カード残量は最低記録保証時間を表示します。最低記録保証時間とは、古い記録を消去直後にLOOP RECを停止したとき、さかのぼってクリップに記録されている時間の保証値のことです。
- IEEE1394入力を記録時、およびINTERVAL REC機能が動作時は、LOOP REC機能は働きません。

### LOOP RECモードを終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 本機のPOWERスイッチをOFFにする。
- メニュー操作で、LOOP REC MODE項目を“OFF”に設定する。

## 3-7 INTERVAL REC機能

本機の内部メモリーを利用して、記録時間が最短で1フレーム単位(60i、30Pモード時)と5フレーム単位(24P、24PAモード時)でのインターバル記録をすることができます。本機能を使用するためには、メニュー操作で、SYSTEM SETTINGページから<REC FUNCTION>画面を開き、INTERVAL REC MODE項目でインターバル記録モードの選択、記録時間(REC TIME)、間欠の待機時間(PAUSE TIME)、撮影に要する時間(TAKE TOTAL TIME)を設定する必要があります。設定が完了すると、収録に必要なP2カードのトータル記録時間(TOTAL REC TIME)が自動的に計算され、表示されます。

以下がINTERVAL REC MODE項目の設定内容です。

#### OFF:

インターバル記録をしません。

#### ON:

インターバル記録を行います。

#### ONE SHOT:

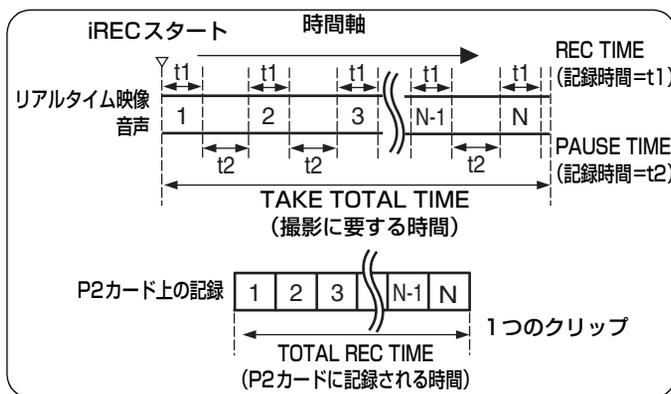
REC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押すたびにREC TIMEで設定された時間を1回だけ記録します。

### <ノート>

- 24P、24PAでご使用時は、インターバル記録の記録時間と待機時間は5フレーム単位に切り捨てた動作となります。
- インターバル記録動作時は、1394 CONTROL項目や26PIN CONTROL項目を“BOTH”に設定しても、外部機器の制御はできません。

## INTERVAL REC のON モードでの撮影手順

- 1 「3-3 基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定します。
- 2 表示枠内に「i」が点滅し、インターバル記録モードが選択されていることを確認します。
- 3 本機のREC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押します。  
インターバル記録が開始します。設定されたTAKE TOTAL TIME が終了すると自動的に記録を終了し、全体を1つのクリップとして生成します。  
インターバル記録モードが選択されると、表示枠内に「i」が点滅します。記録に入ると「iREC」が点灯します。記録待機中は「iREC」が点滅します。  
なお、ビューファインダー内の表示も表示窓と同様です。  
記録中はタリーランプが点灯します。また待機時間が2分以上の設定の場合、5秒おきにタリーランプが点滅し、待機中であることを知らせます。このとき記録に入る3秒前にも、タリーランプは点滅します。



### 続けて記録する場合は

再度 REC START/STOP ボタン、ハンドル部の REC ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押します。再び、インターバル記録が開始されます。

### 途中で記録を中止するには

STOP ボタンを押します。記録は中止されます。このとき、その瞬間までメモリーに貯えられた映像を記録するため、P2カードにアクセスし、インターバル記録開始からSTOPボタンを押すまでの記録を、1つのクリップとして生成します。

### インターバル記録モードを終了するには

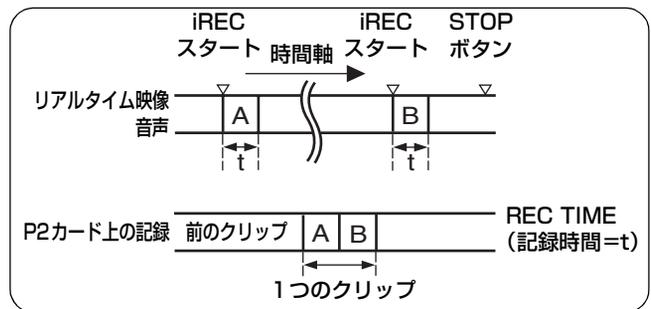
以下の2通りの方法があります。

- 本機のPOWER スイッチをOFFにする。
- メニュー操作で、INTERVAL REC MODE項目を“OFF”に設定する。

## インターバル記録のONE SHOTモードでの撮影手順

インターバル記録モードの設定が終了したのち、以下の手順で撮影を行います。

- 1 「3-3 基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定します。
- 2 本機のREC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押します。  
設定されたREC TIME が終了すると自動的にONE SHOTモードの待機状態になります。
- 3 REC START/STOPボタン、ハンドル部のRECボタン、またはレンズのVTRボタンを押すたびに、設定されたREC TIMEだけ記録を行い、ONE SHOTモードの待機状態に戻ります。
- 4 STOPボタンを押します。  
それまでに記録された映像・音声は1つのクリップとして生成されます。



### 待機中に今までの記録を確認するには

レンズのRETボタンを押すと、REC REVIEWを行うことができます。REC REVIEW後もONE SHOT動作は続きます。

### 途中でクリップを分ける、または記録するP2カードを交換するには

ONE SHOTモードでも、STOPボタンを押すまではP2カードにクリップが生成されていません。STOPボタンを押し、ONE SHOTモードの動作を停止させてください。

### インターバル記録のONE SHOTモードを終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 本機のPOWER スイッチをOFFにする。
- メニュー操作で、INTERVAL REC MODEを“OFF”に設定する。

## インターバル記録モードでの共通の注意事項

### ● 音声について

インターバル記録中に音声を記録するか、しないかは <REC FUNCTION> 画面の AUDIO REC 項目の “ON” あるいは “OFF” で設定します。

### ● 記録／再生操作ボタンについて

インターバル記録モードで動作中は、STOP 以外の操作ボタン (EJECT、REW、FF、PLAY/PAUSE) は働きません。ただし ONE SHOT の待機中は、レンズの RET ボタンを受け付けます。

### ● 記録中に本機の POWER スイッチを OFF にした場合

インターバル記録モードで動作中に本機の電源を OFF にした場合、その瞬間までメモリーに貯えられた映像を P2 カードに記録してから、自動的に電源が切れます。

### ● 待機中に緊急で記録するには

事前に USER MAIN、USER1 / USER2 ボタンのいずれかに REC スイッチを選択しておくこと、待機中にそのボタンを押している間、緊急記録ができます。緊急記録を行った後も待機時間計測は正常に続きます。

#### <ノート>

ただし本機の記録信号が 24P、または 24PA のときは動作しません。

### ● タイムコード表示について

記録を開始したときは、P2 カードの認識が終了するまでの間、タイムコード (TCG) 表示がホールド表示になることがあります。

### ● カードの引き抜きについて

インターバル記録モードで動作中は、記録対象となっているスロットの P2 カードアクセス LED は、オレンジ色に点滅します。この P2 カードは抜かないでください。万が一抜いてしまったときは、クリップの修復を行ってください。ただし修復を行った場合でも、記録した最後の 3～4 秒間ほどの、P2 カードをまたいだ記録中に引き抜いた場合は最大 10 秒ほどの映像が失われることがあります。クリップの修復について、詳しくは「6-9 クリップの修復」を参照してください。

### ● 動作モードについて

REC SIGNAL 項目で “1394” を選択していると、INTERVAL REC 機能は働きません。REC SIGNAL 項目は、SYSTEM SETTING ページの <SYSTEM MODE> 画面から選択できます。詳しくは「3-12 記録設定と動作モード」を参照してください。

### ● サムネール動作とメニュー操作

インターバル記録モードで動作中はサムネールの操作はできません。サムネールの操作は STOP ボタンを押して動作を停止させてから行ってください。

また待機中にメニュー操作を行うことはできますが、以下の制限があります。

- ◆ SD メモリーカードの読み込み、書き出しはできません。
- ◆ REC SIGNAL、CAMERA MODE、REC MODE、25M REC CH SEL、USB 項目を変更した場合、STOP ボタンを押して動作を停止するまで、設定の変更は有効になりません。

## 3-8 REC REVIEW 機能

記録を一時停止し、レンズの RET ボタンを押すと、記録したばかりのクリップの最後の 2 秒間が自動的に頭出しされ、その部分の再生画像がビューファインダーに表示されます。これにより記録が正しく行われたかどうかを確認できます。

再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。

RET ボタンを押し続けると、最大 10 秒前までの再生が可能です。ただしクリップが短い場合、クリップの先頭まで戻ると、それ以上 RET ボタンを押し続けても、それ以前のクリップは再生されません。

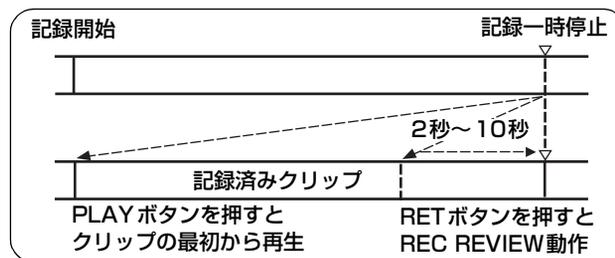
USER MAIN SW / USER1 SW / USER2 SW 項目で、RET ボタン機能をそれぞれ USER ボタンに割り付けることができます。各項目は、CAM OPERATION ページの <USER SW> 画面から選択します。

また、記録を一時停止した状態から PLAY / PAUSE ボタンを押すと、最後に記録したクリップをはじめから再生します。再生終了後、本機は停止状態となります。

#### <ノート>

サイドパネルの OUTPUT SEL スイッチが「MEM」になっている場合、REC REVIEW 動作の間、ビューファインダーだけでなく、映像出力端子 (VIDEO OUT 端子、MON OUT 端子) にも REC REVIEW の画像が出力されます。

バックアップ機器を接続して、バックアップ画像を記録中の場合、この REC REVIEW の画像が記録されてしまいますので、ご注意ください。



### 3-9 通常再生および変速再生

PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ビューファインダーで白黒の再生画を、液晶モニターでカラーの再生画を見ることができます。同時に本機のVIDEO OUT 端子、MON OUT 端子にカラービデオモニターを接続するとカラーの再生画を見ることができます。

なお拡張ボードAJ-YA902AGを装着時は、VIDEO OUT 端子からSDIでの再生画を見ることができます。(再生画を見る場合は、サイドパネルのOUTPUT SEL スイッチをMEMにする必要があります)

#### 変速再生

FF、REW ボタンを使うと、32 倍速や4倍速の高速再生/高速逆再生が可能です。

再生一時停止状態からFFボタンを押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態(頭出し状態)になります。

再生一時停止状態からREW ボタンを押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態(頭出し状態)になります。

#### <ノート>

- P2カードを抜き差しした直後や、電源をONした直後に再生を行うと、クリップ情報を読み出すために時間がかかることがあります。その間、ビューファインダーには“UPDATING”と表示されます。
- 再生中に別のカードスロットにP2カードを挿入しても、そのカードのクリップは再生できません。再生中に挿入したP2カードの認識は、再生を停止したのちに行われます。
- 複数のP2カードにまたがったクリップを変速再生する場合、音声が一瞬途切れることがあります。故障ではありません。

### 3-10 ボイスメモ機能

ボイスメモとは、クリップに通常に記録される音声とは別に、クリップに関連して付加できる音声データです。

記録/再生中、または記録/再生の一時停止中に記録することができます。またサムネールの表示中に、ボイスメモの再生が可能です。

#### <ノート>

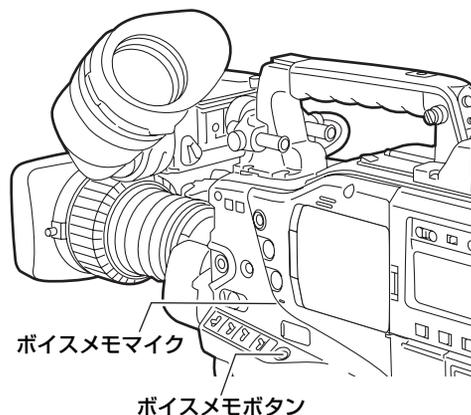
ボイスメモはひとつのクリップにつき、テキストメモとあわせて100個まで記録できます。

テキストメモについては「6-12 クリップメタデータの設定」を参照してください。

VOICE MEMO RESERV項目で“ON”を設定していると、クリップの記録一時停止中や記録終了後に、一枚のP2カードにつき最低10分のボイスメモを記録できます。

#### ボイスメモの記録

記録/再生中、または記録/再生の一時停止中に、ボイスメモボタンを押すと、ボイスメモマイクからボイスメモをクリップに記録することができます。再度ボイスメモボタンを押すと、ボイスメモの記録を終了します。

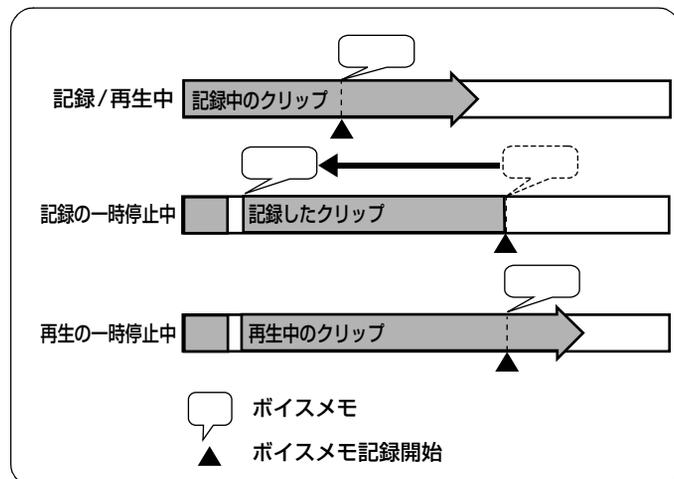


#### <ノート>

- ボイスメモの記録は、液晶モニターでサムネール表示しながらでも可能です。詳しい方法については「6-7-2 ボイスメモの記録」を参照してください。
- カラーバー出力中や、GENLOCK IN端子のビデオ入力、および1394入力(オプション)を記録中、またはLOOP RECモード時、インターバル記録モード時などは、ボイスメモは記録できません。
- ボイスメモを記録中は、ボイスメモマイクに本機のスピーカー音が入らないように、スピーカー音を絞ってご使用ください。
- クリップの記録/再生中にボイスメモ記録を行うと、そのクリップの記録/再生終了時に、自動的にボイスメモ記録も終了します。また、クリップ再生中にボイスメモを記録する場合、ボイスメモボタンを押してボイスメモ記録を終了すると、そのクリップの再生も自動的に終了します。
- 記録中にSLOT SEL機能で記録対象のP2カード切り替えを行うと、切り替えが完了するまでボイスメモボタンの操作を受け付けません。また既にボイスメモを記録中の場合、ボイスメモの記録は終了します。
- クリップの再生中にボイスメモ記録を行うと、約3分ごとに再生映像・音声が一時フリーズすることがありますが、故障ではありません。再生映像・音声を送出中は、ボイスメモ記録を行わないでください。

### ボイスメモとクリップの関連付け

ボイスメモがクリップのどの位置に関連付けられるかは、ボイスメモを記録するときのクリップの状態によって変化します。記録/再生中にボイスメモを記録すると、ボイスメモボタンを押した時点の映像に関連付けられます。記録の一時停止中にボイスメモを記録すると、直前に記録したクリップの先頭の画像に関連付けられます。再生の一時停止中にボイスメモを記録すると、一時停止した時点の静止映像に関連付けられます。



#### <ノート>

PRE RECORDING を実行している際、ボイスメモを記録すると、ボイスメモボタンを押した時点より以前の映像に、ボイスメモが関連付けられることがあります。

### ボイスメモの再生・削除

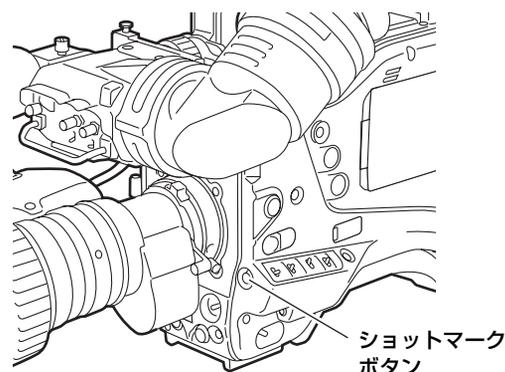
ボイスメモの再生・削除については、「6-7-1 ボイスメモの再生」および「6-7-3 ボイスメモの削除」を参照してください。

## 3-11 ショットマーク機能

ショットマークとは、他のクリップと区別するためにクリップのサムネールにつける目印です。液晶モニターでショットマークをつけたクリップのみを表示したり、再生することも可能です。

### ショットマークをつけるには

映像を記録中、ショットマークボタンを押してください。ビューファインダーに“MARK ON”と表示され、記録中のクリップのサムネールにショットマークがつきます。もう一度押しとショットマークを消すことができます。



また、クリップのサムネール操作でもショットマークの付加/消去が可能です。詳しくは「6-6 ショットマーク」を参照してください。

#### <ノート>

- カラーバー出力中とLOOP RECモード、INTERVAL REC中、GENLOCK IN端子のビデオ入力およびIEEE1394入力（オプション）を記録中は、ショットマークの付加/削除はできません。
- 不完全クリップ（84 ページ参照）にはショットマークを付加できません。
- 複数のP2カードにまたがって記録されたクリップや、P2カード内で分割されたクリップ（11 ページの「記録時間」参照）の場合、先頭のクリップにのみショットマークが付加されます。

## 3-12 記録設定と動作モード

本機の記録モードは、メニューおよびスイッチの設定によって、下表の優先順で動作します。

機能動作モード	システム/記録関連メニュー					スイッチ		プロキシ記録（オプション）
	USB	REC SIGNAL	INTERVAL REC MODE	LOOP REC MODE	PRE REC TIME	ボイスメモの記録	ショットマーク	
USBドライブ	ON	無効	無効	無効	無効	無効	無効	無効
IEEE1394入力記録（オプション）	OFF	1394（オプション）	無効	無効	無効	無効	無効	無効
INTERVAL REC		CAMERA または VIDEO	ONまたは ONE SHOT	無効	無効	無効	無効	無効
LOOP REC			OFF	ON	有効 1s~8s/15s	無効	無効	無効
通常の記録				OFF	有効 1s~8s/15s	有効*1	有効*1	有効

\*1 CAMERA記録のみ有効（VIDEO IN記録、カラーバーのときは無効）

## 第4章 記録のための調整と設定

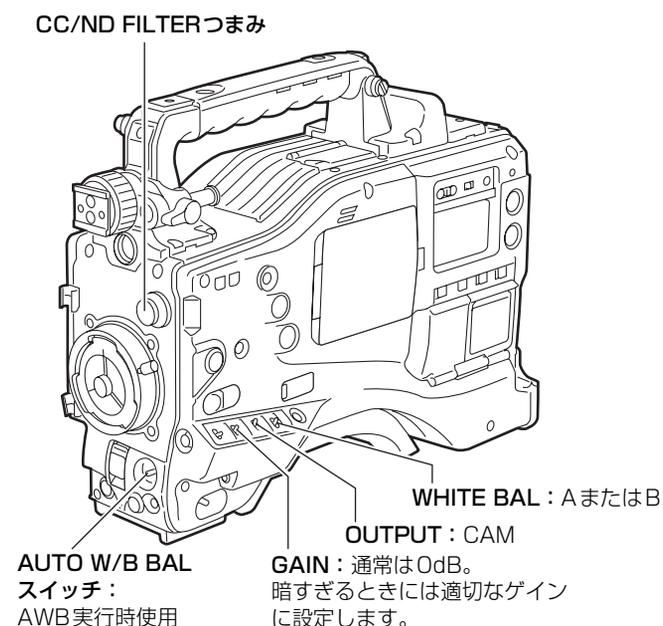
本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。なお、より高画質を得るためには、AWB（ホワイトバランスの調整）→ ABB（ブラックバランスの調整）→ AWB（ホワイトバランスの調整）の順に行うことを推奨します。

### 4-1 ホワイトバランス/ ブラックバランスの調整

#### 4-1-1 ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。以下の手順でホワイトバランスを自動調整します。

**1** 図のようにスイッチを設定します。



**2** 照明条件に合わせて、CC/ND FILTERつまみの設定を切り替えます。

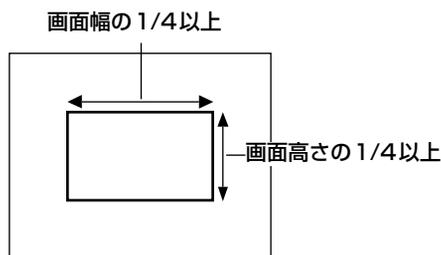
<ノート>

CC/ND FILTERつまみの設定例については「2-4 撮影・記録/再生機能部」を参照してください。

**3** 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映します。被写体近くの白い物（白布、白壁）で代用することもできます。必要な白の大きさは、図の通りです。

<ノート>

- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 白い物は、画面の中心に写してください。



**4** レンズの絞りを調整します。

**5** AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押し上げて、スイッチを離します。スイッチが中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。

<ノート>

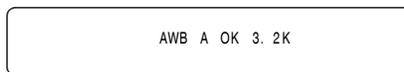
ホワイトバランスの自動調整を行っているとき（“AWB ACTIVE”とビューファインダーに表示されます）に、再度AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に切り替えると、調整を中止します。このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

**6** 調整中、ビューファインダー画面には、次のようなメッセージが表示されます。



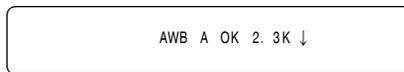
**7** 数秒で調整が完了し、下図のようなメッセージが表示されます。

調整値は、ステップ1で設定したメモリー（「A」または「B」）に自動的に記憶されます。



**8** CC/ND フィルターが3200Kの場合、被写体の色温度が、2300Kよりも低い場合や9900Kよりも高い場合は、図のようなメッセージが表示されます。

矢印のうち、下向きの矢印（↓）は表示温度よりも低い状態を示し、上向きの矢印（↑）は表示色温度よりも高い状態を示します。

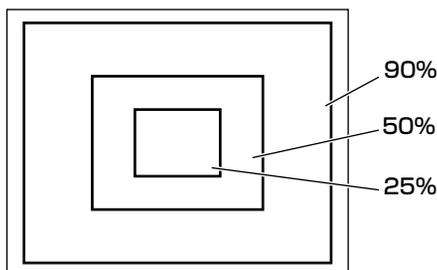


## ホワイトバランスの検出領域について

AWB AREA項目でホワイトバランス検出領域を90%、50%、25%から選択できます。

AWB AREA 項目は、CAM OPERATION ページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択できます。

工場出荷設定は、25%です。



## ホワイトバランスを調整する時間がないとき

WHITE BALスイッチを「PRST」にします。

CC/ND FILTERつまみの設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

## ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面にエラーメッセージが表示されます。下記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は内部点検が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

エラーメッセージ	意味	処置
COLOR TEMP. HIGH	色温度が高すぎる。	適切なフィルターを選択する。
COLOR TEMP. LOW	色温度が低すぎる。	適切なフィルターを選択する。
LOW LIGHT	光量が不足している。	光量を多くする。または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量が多すぎる。	光量を少なくする。または、ゲインを下げる。
CHECK FILTER	フィルター切り替えつまみの設定位置がずれている。	フィルター切り替えつまみを確認する。
TIME OVER	時間内でAWBが終了しなかった。	撮影条件が不安定な可能性があります。リッカラーであればシャッターを入れ、安定した条件下で再度実行する。

## ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも再度ホワイトバランスをとるまで保存されます。ホワイトバランスのメモリーはA、Bの2系統があります。

FILTER INH項目の設定が“ON”の場合（初期設定）、A、B各系統のメモリー数はそれぞれ1個に限定されています。この場合、メモリーの内容はフィルターには連動しません。

FILTER INH項目はCAM OPERATION ページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択します。

FILTER INH項目を“OFF”にした場合、WHITE BALスイッチの設定（AまたはB）に対応するメモリーに、各フィルターごとの調整値を自動的に記憶させることもできます。本機は4つのフィルターを内蔵していますので、合計8個（4×2）の調整値を記憶します。

なお、AWB A、AWB B項目で“VAR”を選択すると、COLOR TEMP A、COLOR TEMP Bで設定した色温度固定となり、AWBスイッチによるホワイトバランスの調整はできません。各項目は、CAM OPERATION ページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択できます。

## オートトラッキングホワイトバランス（ATW）の設定について

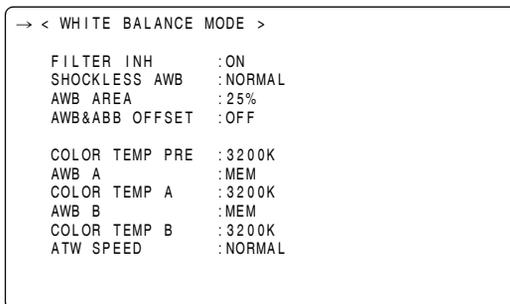
本機は、照明条件に応じて画像のホワイトバランスを自動追尾させるオートトラッキングホワイトバランス（ATW）機能を備えています。

このATW機能は、WHITE BALスイッチの「B」に設定できません。AWB B項目で“ATW”を選択してください。AWB B項目は、CAM OPERATION ページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択できます。

また、USER MAIN/USER1/USER2ボタンにATW機能を割り当てることもできます。詳しくは「4-9-4 USER MAIN、USER1 およびUSER2ボタンへの機能割り付け」を参照してください。

## オートトラッキングホワイトバランスを解除するには

ATWを割り付けたUSERボタンを再度押すか、WHITE BALスイッチを切り替えます。ただしWHITE BALスイッチの「B」にATWを設定している場合は、USERボタンでは解除されません。



## <ノート>

本機能は、ホワイトバランスの精度を100%保証する機能ではありません。照明条件の変化に対する追従性およびホワイトバランスの引き込み精度には、多少余裕を持たせていますので、本機能の取り扱いにはご注意ください。

## ホワイトバランス関連のビューファインダー表示について

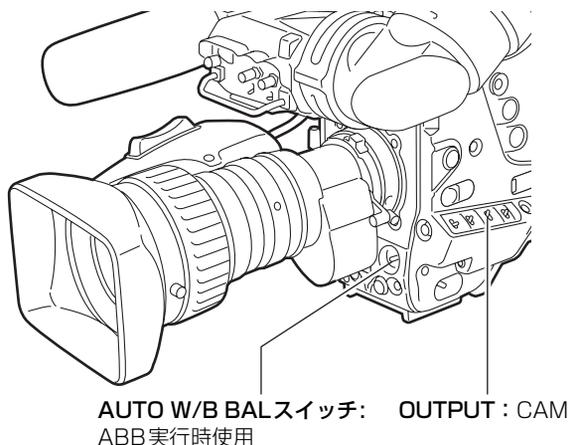
「4-7 ビューファインダーの状態表示」を参照してください。

## 4-1-2 ブラックバランスの調整

ブラックバランスは、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用する時
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する時
- ゲイン切り替え値を変更した時
- USER MAIN/USER1/USER2 ボタンを使用して S.GAIN (スーパーゲイン) の設定をした時

**1** 図のようにスイッチを設定します。



**2** AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に倒し、スイッチを離します。  
スイッチは中央に戻り、調整が実施されます。

**3** 調整中、ビューファインダー画面には次のようなメッセージが表示されます。



### <ノート>

調整中はレンズ絞りが自動的にCLOSEになります。

**4** 数秒で調整が完了し、図のようなメッセージが表示されま



調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

### <ノート>

- レンズコネクタが接続されていること、レンズ絞りがCLOSEになっていることを確認してください。
- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り替え回路が自動的に切り替わります。  
また、ビューファインダー画面上にフリッカーやノイズが現れることがありますが、故障ではありません。
- オートブラックバランス動作が終了した後も、ブラックシェーディングが気になる場合は、DETECTION項目でカーソル(→)を移動し、JOGダイヤルボタンを押して、ブラックシェーディング調整を実行してください。  
DETECTION項目は、MAINTENANCEページの<BLACK SHADING>画面から選択します。  
またABBスイッチを5秒以上長押しすると、オートブラックバランス動作に続いてブラックシェーディングの自動調整を行うことができます。(詳しくは「8-5-5 SW MODE」のSHD. ABB SW CTL項目を参照してください)
- ブラックバランスの自動調整を行っているとき(“ABB ACTIVE”とビューファインダーに表示されます)に、再度AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に押し下げると、調整を中止します。  
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

### ブラックバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも保存されます。

## 4-2 電子シャッターの設定

ここでは、本機の電子シャッターに関する説明、設定および操作方法について示します。

### 4-2-1 シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次の通りです。

モード	シャッタースピード	用途
標準	POSITION1～6	動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合
SYNCHRO SCAN	60.3 Hz～249.7 Hz の範囲 (60i) 30.1 Hz～248.7 Hz の範囲 (30P)	垂直走査周波数が60 Hzを超えるモニター画面を、水平方向の縞模様が少なくなるように撮影したい場合
SUPER V		垂直解像度を上げたい場合

#### <ノート>

- 電子シャッターをどのモードで使用しても、シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。

### 4-2-2 シャッターモード/スピードの設定

シャッターモードでのシャッタースピードは、シャッタースイッチを切り替えて設定します。

SYNCHRO SCAN モードでのシャッタースピードは、サイドパネルのシンクロスキャン調整スイッチ (+/-) で簡単に変更できます。

なお<SHUTTER SPEED>画面と<SHUTTER SELECT>画面から、シャッタースピードの選択範囲を必要な範囲にあらかじめ制限したり、SYNCHRO SCAN モードおよび SUPER V モードを使用するかどうかあらかじめ選択したりすることができます。各画面は、メニュー操作でCAM OPERATIONページから開くことができます。

一度選択したシャッタースピードは、本機の電源を切ったあとでも保持されます。

```

-> < SHUTTER SPEED >

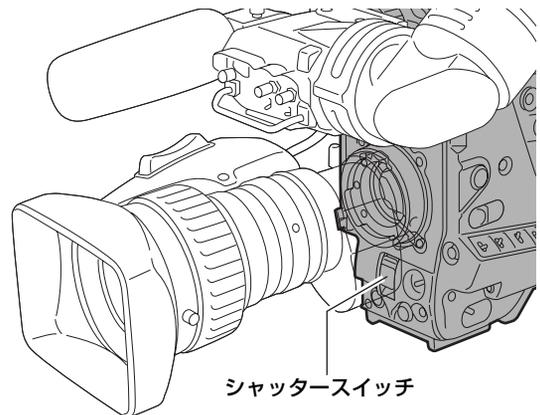
SYNCHRO SCAN :ON
SUPER V      :OFF
POSITION1    :ON
POSITION2    :ON
POSITION3    :ON
POSITION4    :ON
POSITION5    :ON
POSITION6    :ON
    
```

```

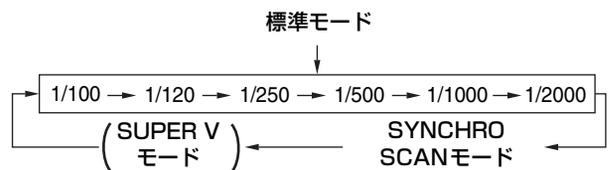
-> < SHUTTER SELECT >

SUPER V MODE   :FRM1
POSITION1 SEL  :1/100
POSITION2 SEL  :1/120
POSITION3 SEL  :1/250
POSITION4 SEL  :1/500
POSITION5 SEL  :1/1000
POSITION6 SEL  :1/2000
    
```

- 1 シャッタースイッチを、「ON」の位置から「SEL」側に押しします。



- 2 もう一度、シャッタースイッチを「SEL」側に押し、希望のモードまたはスピードがビューファインダー上に表示されるまで、この操作を繰り返します。全てのモードとスピードが表示される場合は、以下の順序で表示が切り替わります。



#### <ノート>

出荷時の状態では、SUPER V モードはビューファインダー上に表示されません。表示されるようにするには、CAM OPERATIONページの<SHUTTER SPEED>画面で、SUPER V項目を“ON”に設定してください。

### シャッター関連のビューファインダー画面表示について

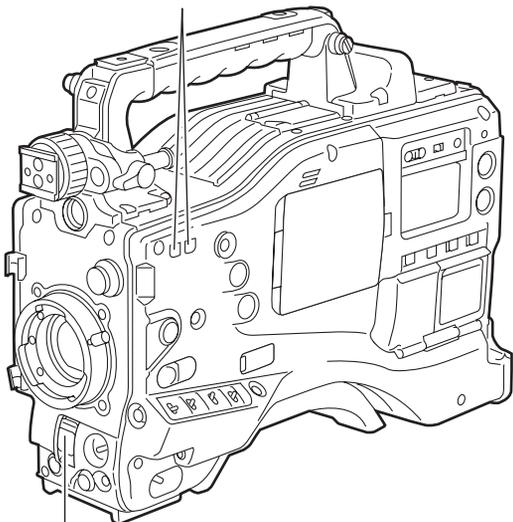
「4-7 ビューファインダーの状態表示」を参照してください。

## 4-2-3 シンクロスキャンモードの設定

以下の手順で操作します。

- 1 シャッタースイッチを「ON」から「SEL」側に押し、SYNCHRO SCANモードに設定します。

シンクロスキャン調整スイッチ (+/-)



シャッタースイッチ

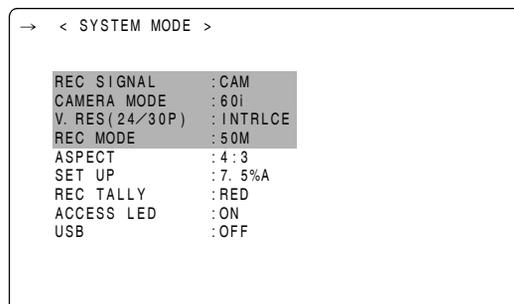
- 2 SYNCHRO SCAN モード時は、シンクロスキャン調整スイッチ (+/-) を操作して 1/60.3 秒から 1/249.7 秒の範囲内で連続的に切り替えることができます。(60i モードの場合)

## 4-3 記録信号および記録方式の選択

本機は記録する信号と記録するフォーマットの選択が可能です。

### 4-3-1 記録信号の選択

REC SIGNAL 項目と CAMERA MODE 項目で記録する信号を選択します。各項目は、メニュー操作で SYSTEM SETTING ページの <SYSTEM MODE> 画面から選択できます。



#### 設定項目と設定内容について

REC SIGNAL 項目で記録する信号を選択します。

- CAM** : カメラからの信号を記録します。
- VIDEO** : GENLOCK IN 端子からの信号を記録します。
- 1394** : DVCPRO/DV 端子からの信号を記録します。  
(IEEE 1394 インターフェイスボード装着時)

CAMERA MODE 項目で、記録するカメラの動作モードを選択します。(REC SIGNAL 項目が “CAM” のとき有効)

- 60i** : 本機のカメラを 59.94i で動作させます。
- 30P** : 本機のカメラを 29.97P で動作させます。
- 24P** : 本機のカメラを 23.98P の 2:3 プルダウン方式で動作させます。
- 24PA** : 本機のカメラを 23.98P の 2:3:3:2 プルダウン方式で動作させます。

30P、24P または 24PA で動作させるときは、V.RES (24/30P) 項目で垂直解像度モードを選択します。(REC SIGNAL 項目が “CAM” のとき有効)

- INTRLCE** : ラインミックスした自然な画像になります。スタンダードのインターレース信号で素材を扱う場合に設定します。
- PROG.** : ラインミックスせず、完全なプログレッシブのセグメントフレーム画像となります。HD に変換して使用する場合や、編集装置、ディスプレイをプログレッシブ信号として使用する場合に設定します。

なお、プログレッシブモード (30P、24P、24PA) で動作させる時も、P2 カードへの記録信号は、プログレッシブ (30P、24P、24PA) → インターレース (60i) 変換されます。

### <ノート>

- REC SIGNAL 項目で“VIDEO”を選択した場合、GENLOCK IN 端子からの信号がノンスタンダード信号のとき、映像が乱れる場合があります。
- V.RES (24/30P) 項目で“PROG”を選択して使用する場合は、セグメントフレーム画像となり、完全なプログレッシブ編集が可能になります。ただし垂直方向のディテール(V.DTL)を付加すると不自然な画像になりますので、V.DTLは0に設定して使用されることをおすすめします。
- プログレッシブモードでは、よりフィルムらしい動画を得るために、強制的に50%のシャッターを入れています。このシャッターを解除したい場合は、オプションメニューから<OPTION>画面を開き、P HALF SHUT項目を“OFF”にする必要があります。
- 60iまたは30Pから、24Pまたは24PAに切り替えたとき、5フレーム周期を合わせるため、映像の乱れが一瞬発生しますが、本機の異常ではありません。

## 4-3-2 記録方式の選択

REC MODE項目で、記録フォーマットを選択します。  
またASPECT項目で画面比を選択します。  
REC MODE 項目、ASPECT 項目とも、SYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE>画面から選択します。

### REC MODE項目の設定内容

- 50M** : DVCPRO50 フォーマット (50Mbps) 記録を行います。
- 25M** : DVCPRO フォーマット (25Mbps) 記録を行います。
- DV** : DV フォーマット記録を行います。

### ASPECT項目の設定内容

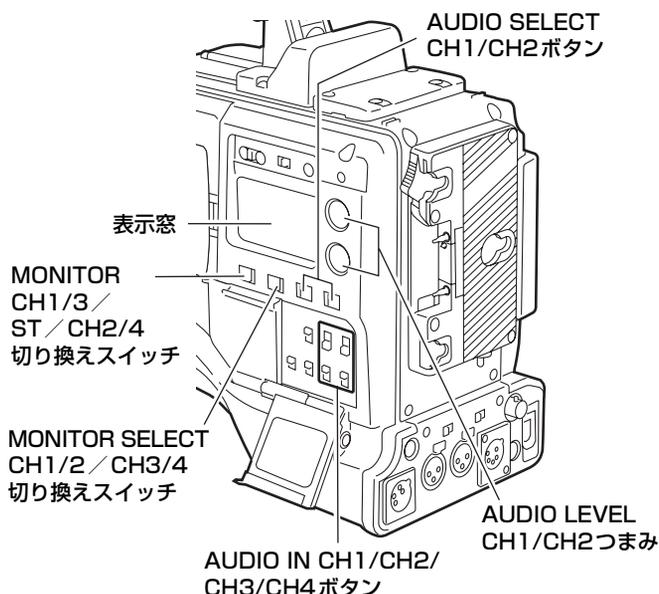
- 16:9** : 画面比 16 : 9 で記録を行います。
- 4:3** : 画面比 4 : 3 で記録を行います。

## 4-4 音声入力を選択と録音レベルの調整

本機は、すべての記録フォーマット(DVCPRO50/DVCPRO/DV)で音声独立4チャンネル記録が可能です。  
AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチを「AUTO」にすると、音声チャンネル1/2に録音されるレベルは自動的に調整されます。また「MAN」側にすると手動で調整することもできます。なお、音声チャンネル3/4に録音されるレベルはメニューにより選択できます。

### 4-4-1 音声入力信号の選択

AUDIO IN スイッチで音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選択します。詳しくは「2-2 音声機能部(入力系)」を参照してください。



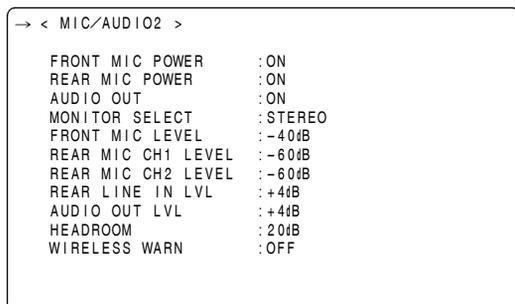
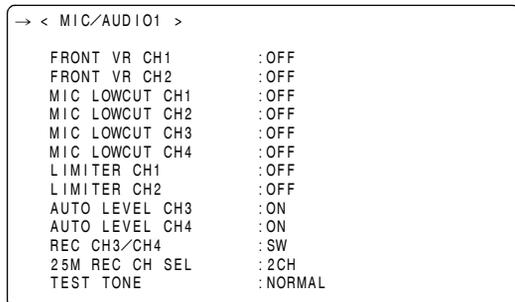
DVCPROかDVフォーマットで使用する場合、工場出荷時の状態では音声チャンネル3/4は記録を行わないように設定されています。4チャンネル記録を行うときは25M REC CH SEL項目を“4CH”に設定してください。  
また、音声チャンネル3/4に記録される音声信号は、REC CH3/4項目、および25M REC CH SEL項目の設定によって下記のように変化します。  
各項目は、MAIN OPERATIONページのMIC/AUDIO1画面から選択します。

REC CH3/4 メニュー	25M REC CH SEL メニュー	CH3/4の記録	
		DVCPRO50 フォーマット	DVCPROまたは DVフォーマット
SW	2CH	AUDIO IN CH3/CH4 スイッチで選択した入力を記録します。	記録しません。
	4CH		AUDIO IN CH3/CH4 スイッチで選択した入力を記録します。
CH1/2	2CH	音声チャンネル3には音声チャンネル1と同じ入力を、音声チャンネル2には音声チャンネル4と同じ入力を記録します。	記録しません。
	4CH		音声チャンネル3には音声チャンネル1と同じ入力を、音声チャンネル2には音声チャンネル4と同じ入力を記録します。

## <ノート>

- 音声チャンネル 1/2は、常にAUDIO IN CH1、CH2スイッチで選択した入力が記録されます。
- 拡張ボードAJ-YA902AG (別売品) を装着時は、4チャンネル記録される音声信号が、そのままSDI出力されます。

音声関連の詳細設定は、MAIN OPERATION ページの<MIC/AUDIO1>画面と<MIC/AUDIO2>画面で行います。詳しくは「8-6 MAIN OPERATION」を参照してください。

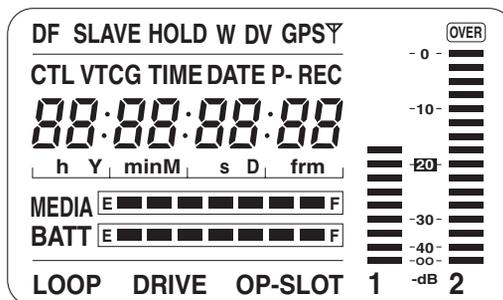


## 4-4-2 録音レベルの調整

音声チャンネル 1/2 に録音されるレベルを手動調整する手順は以下の通りです。

- 1 表示窓のオーディオレベルメーター表示が CH1、CH2 を示すように、MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4 切り替えスイッチを CH1/2 側にし、表示窓の表示が 1、2 であることを確認してください。  
また、FRONT AUDIO LEVEL つまみを有効にするかどうかは、あらかじめ FRONT VR CH1 項目と、FRONT VR CH2 項目で設定してください。なお、工場出荷時は、動作しないモードになっています。  
各項目は、MAIN OPERATION ページの MIC/AUDIO1 画面から選択できます。
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチを「MAN」にします。
- 3 表示窓の音声チャンネルレベルメーター、またはビューファインダー内のオーディオレベルメーター表示を見ながら AUDIO LEVEL CH1/CH2 つまみを調整します。  
なお、最上段のバー (0 dB) を超えると OVER 表示が点灯し入力音量が過大であることを示します。最大でも 0 dB まで表示しないように調整する必要があります。

表示窓オーディオレベルメーター表示



ビューファインダー内オーディオレベルメーター表示



本機を一人で操作する場合、音声レベルの調整には、FRONT AUDIO LEVEL つまみのご使用を推奨します。あらかじめ調整したいオーディオチャンネルを選択し、ビューファインダー画面上でのレベルメーターを見ながら、過大入力にならないよう、FRONT AUDIO LEVEL つまみで調整します。

## 4-4-3 CH3/CH4の録音レベルについて

AUTO LEVEL CH3項目とAUTO LEVEL CH4項目の設定条件と入力レベル設定により、音声チャンネル3/4の録音レベル動作は、以下の表のように変わります。なお、手動での調整はできません。

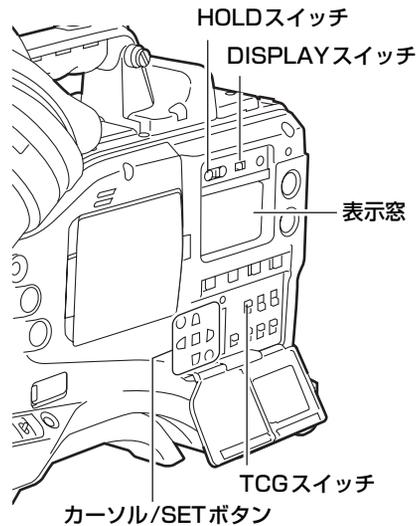
各項目は、MAIN OPERATION ページから<MIC/AUDIO1>画面で選択が可能です。

AUTO LEVEL CH3/CH4	入力レベル	
	LINE	MIC
ON	AGC ON	AGC ON
OFF	AGC/LIMITER OFF	LIMITER ON

## 4-5 タイムデータの設定

### 4-5-1 ユーザーズビットの設定

ユーザーズビットを設定することにより、16進数8桁までのメモ（日付、時刻）などの情報をサブコード領域に記録できます。



- 1 DISPLAYスイッチを「UB」にします。
- 2 TCGスイッチを「SET」にします。  
左の桁が点滅し、数値が変更可能になります。
- 3 カーソルボタンでユーザーズビットを設定します。  
▷ ボタン： 設定を行う(点滅している)桁が右に移ります。  
◁ ボタン： 設定を行う(点滅している)桁が左に移ります。  
△ ボタン： 点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。  
▽ ボタン： 点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。
- 4 TCGを「F-RUN」または「R-RUN」にします。
- 5 MAIN OPERATION ページから<TC/UB>画面を開き、UB MODE項目で“USER”を選択します。

#### <ノート>

TCGスイッチを「SET」に切り替えている間は、サムネール操作はできません。

### ユーザーズビットのメモリー機能について

ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

### ユーザーズビットのカード連続性について

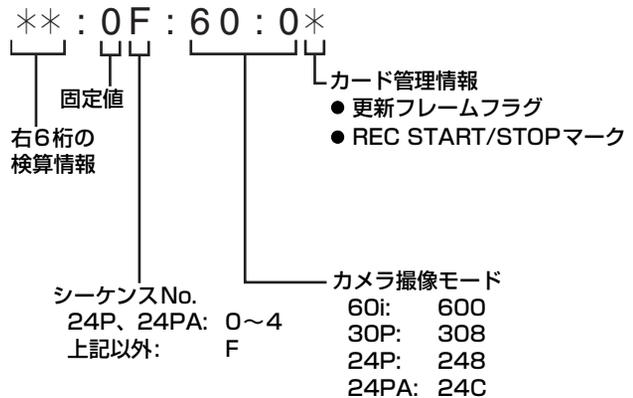
UB MODE項目で“REGEN”を選択すると、P2カードに最後に記録されたクリップ（記録日時が最も新しいクリップ）の最後のフレームに記録されているユーザーズビットを読み出し、その値を継続して記録することができます。ただし、設定した内容は記録できません。

UB MODE項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面から選択します。

#### <ノート>

本機はVIDEO AUX領域にもタイムコード/ユーザーズビットを記録しています。タイムコード（VITC）はサブコード領域のタイムコード（LTC）と同一の値です。ユーザーズビット（VITCのユーザーズビット）は、撮像フレームレートなどの特殊情報も記録しています。

#### VITCのユーザーズビット



## 4-5-2 内蔵時計の日付/時刻の設定

- 1 DISPLAYスイッチを「UB」にします。
- 2 HOLDボタンを押し表示窓にDATEを表示させます。
- 3 TCGスイッチを「SET」にします。
- 4 カーソルボタンで年月日（Y/M/D）を設定します。  
なお、年の設定の上限は2030年です。  
▷ ボタン：設定を行う(点滅している)桁が右に移ります。  
◁ ボタン：設定を行う(点滅している)桁が左に移ります。  
△ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。  
▽ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。
- 5 HOLDボタンを押し、表示窓にTIMEを表示させます。
- 6 カーソルボタンで時分秒（h/min/s）を設定します。
- 7 TCG スイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。  
スイッチを切り替えた時から内蔵時計が動作を開始します。
- 8 HOLDボタンを押し、表示窓にTIME ZONE（世界標準時からの時差）を表示させます。
- 9 TCGスイッチを「SET」にします。
- 10 △ボタン、▽ボタンで時分（h/min）と世界標準時からの進み（無表示）/遅れ（‘-’表示）を設定します。  
例) 時差5:00遅れ(New York)の場合  
“05:00 -”と設定  
タイムゾーンは日付/時刻とともに常にメタデータとして記録されます。  
右表を参考に現地時刻に合わせて設定してください。
- 11 TCGスイッチを、「F-RUN」または「R-RUN」にしてタイムゾーンを確定させます。

### <ノート>

- 本機を初めて使用する前には、必ず本設定を行ってください。また、途中で設定変更を行わないでください。
- TCG スイッチを「SET」に切り替えている間は、サムネール操作はできません。

時 差	地 域	時 差	地 域
00:00	グリニッジ	- 00:30	
- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30	
- 02:00	中部大西洋	- 02:30	
- 03:00	ブエノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島
- 04:00	ハリファックス	- 04:30	
- 05:00	ニューヨーク	- 05:30	
- 06:00	シカゴ	- 06:30	
- 07:00	デンバー	- 07:30	
- 08:00	ロスアンゼルス	- 08:30	
- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島
- 10:00	ハワイ	- 10:30	
- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30	
- 12:00	クワジャリン	+ 11:30	ノーフォーク島
+ 13:00		+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド
+ 12:00	ニュージーランド	+ 09:30	ダーウィン諸島
+ 11:00	ソロモン諸島	+ 08:30	
+ 10:00	グアム	+ 07:30	
+ 09:00	東京	+ 06:30	ラングーン
+ 08:00	北京	+ 05:30	ボンベイ
+ 07:00	バンコク	+ 04:30	カブール
+ 06:00	ダッカ	+ 03:30	テヘラン
+ 05:00	イスラマバード	+ 02:30	
+ 04:00	アプダビ	+ 01:30	
+ 03:00	モスクワ	+ 00:30	
+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 12:45	チャタム諸島
+ 01:00	中央ヨーロッパ		

### <ノート>

- ステップ4で年月日を設定後、TCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にしても、スイッチを切り換えたときから内蔵時計が動作を開始します。  
年月日、時分秒、タイムゾーンの設定中に設定をキャンセルしたい場合は、SETボタンを押しながらTCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。
- 時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。正確な時刻を必要とする場合は、電源ON時に、時刻確認、再設定を行ってください。  
なお、GPSユニットAJ-GPS900Gを装着して時刻を受信できているときは、受信時刻（世界標準時）とタイムゾーンから、内蔵時計の時刻（現地の日時）を正確に保ちます。DATE、TIME表示が現地時刻とずれているときは、タイムゾーンの設定がずれている可能性があります。再度タイムゾーンの設定を確認してください。（DATE、TIMEを再設定する必要はありません）

### 4-5-3 タイムコードの設定

- 1 DISPLAYスイッチを「TC」にします。
- 2 TCGスイッチを「SET」にします。
- 3 TC MODE項目で“DF”または“NDF”に切り換えます。ドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときは“DF”に、ノンドロップフレームモードで歩進させるときは“NDF”に設定します。ただし24P、24PAでは常にNDFで動作します。TC MODE項目は、MAIN OPERATION ページの<TC UB>画面から選択します。

- 4 カーソルボタンでタイムコードを設定します。タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00～23:59:59:29です。

- ▷ ボタン：設定を行う(点滅している)桁が右に移ります。
- ◀ ボタン：設定を行う(点滅している)桁が左に移ります。
- △ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。
- ▽ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。

- 5 TCGスイッチを切り替えます。タイムコードをフリーランで歩進させるときは「F-RUN」に切り替え、レックランで歩進させるときは「R-RUN」に切り替えます。

#### <ノート>

- 24Pまたは24PAでご使用時は、タイムコードの設定は5フレーム単位に調整されます。また記録中にタイムコードの設定はできません。
- TCG スwitchを「SET」に切り替えている間は、サメネル操作はできません。

### タイムコードのリジェネについて

FIRST REC TC 項目で“REGEN”を選択すると、P2カードに最後に記録されたクリップ(記録日時が最も新しいクリップ)の最後のフレームに記録されているタイムコードを読み出し、その値を継続して記録することができます。FIRST REC TC 項目は、MAIN OPERATION ページの<TC/UB>画面から選択します。

#### <ノート>

ただしP2カードを抜き差ししたり、USERボタンのSLOT SEL機能で記録対象カードを変更した場合、記録対象になったP2カードの最後に記録されたクリップに、タイムコードが継続して記録されます。記録されたクリップがない場合は、本機のTCジェネレータ値から記録されます。

### バッテリー交換時のタイムコードについて

バッテリー交換時にもバックアップ機構が働いて、タイムコードジェネレータは長時間(約1年間)動作を続けます。

#### <ノート>

POWERスイッチをON→OFF→ONと切り替えた場合、フリーランのタイムコードのバックアップ精度は約±2フレームです。

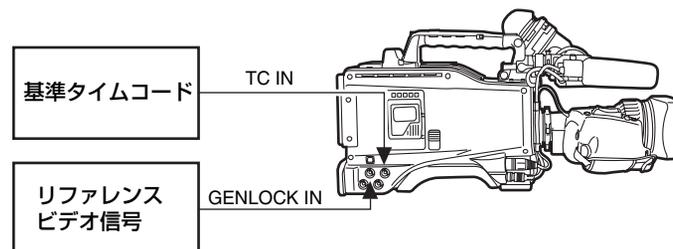
### 4-5-4 タイムコードを外部ロックさせる

本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターにロックさせることができます。また、外部機器のタイムコードジェネレーターを本機の内部ジェネレーターにロックさせることもできます。

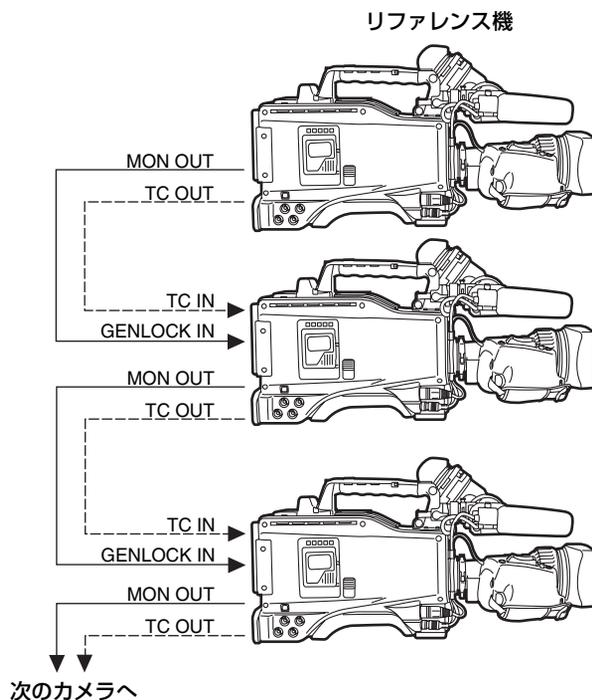
#### 外部ロックさせる為の接続例

図の様に、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続します。

例1：外部の信号にロックさせる場合



例2：本機を複数台つなぎ、1台をリファレンス機とする場合



## 外部ロックの操作手順

以下の手順で、外部ロックさせます。

- 1 POWERスイッチをONにします。
- 2 TCGスイッチを「F-RUN」にします。
- 3 DISPLAYスイッチを「TC」にします。
- 4 GENLOCK項目を“EXT”に設定します。  
GENLOCK項目は、SYSTEM SETTINGページの<GENLOCK>画面から選択します。
- 5 タイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子へそれぞれ供給します。

これで内蔵タイムコードジェネレータは、基準タイムコードにロックします。

ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

### <ノート>

- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がカウンター表示部に出ます。シンクジェネレータが安定するまでの数秒間は、記録モードにしないでください。
- 24P、または24PAで外部ロックさせるときは、必ずノンドロップフレームのタイムコードを入力してください。ドロップフレームでは外部ロックできません。  
また外部ロックした瞬間、画像が乱れることがありますが、5フレーム周期を合わせるためであり、異常ではありません。
- IEEE1394インターフェースボード(AJ-YAD800G・別売品)を装着時、REC SIGNAL項目で“1394”を選択していると、TC IN端子に入力されるタイムコードに同期させることはできません。REC SIGNAL項目は、SYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

## 外部ロック時のユーザーズビットの設定について

タイムコードの外部ロックでは、タイムデータのみが外部からのタイムコードのタイムデータにロックされます。

したがってユーザーズビットは、各機ごとに個別に設定することができます。

また、UB MODE項目で“EXT”を選択すると、ユーザーズビットも、外部からのタイムコードのユーザーズビットにロックさせることができます。

UB MODE項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面から選択します。

## 外部ロックを解除するには

外部タイムコードの供給を止めてから、TCGスイッチを「R-RUN」に設定します。

## 外部ロック中に、電源をバッテリーから外部電源に切り替える時の注意

タイムコードジェネレータの電源の連続性を保つため、DC IN端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックを抜いてください。バッテリーパックを先に抜いたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

## 外部ロック中のカメラ部の外部同期について

外部ロック中、GENLOCK IN端子に入力されるリファレンスビデオ信号により、カメラ部はGENLOCKがかかります。

### <ノート>

- 本機をマスター機として複数台に外部ロックさせる場合は、本機のカメラモードと同一モードにする必要があります。インターレースとプログレッシブ混在等のシステムでは映像・タイムコードの連続性が保証されませんのでご注意ください。
- 本機のMON OUT端子をリファレンスビデオ信号として使用する場合は、サイドパネルのOUTPUT SELスイッチを「CAM」側にしてご使用ください。

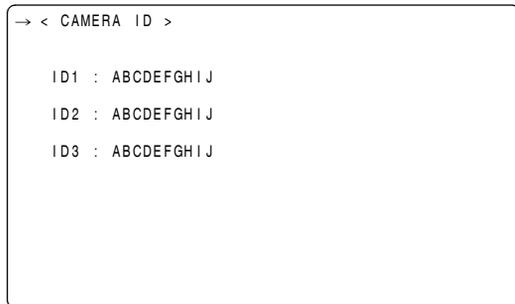
## 4-5-5 カメラIDの設定

カメラIDの設定は、<CAMERA ID>画面で設定します。  
10文字以内の英数字や記号、スペースが使用できます。

### <ノート>

設定メニューの表示中は、カラーバー信号を出力してもカメラIDは表示されません。

- 1 CAM OPERATIONページから<CAMERA ID>画面を開きます。



- 2 JOGダイヤルボタンを回して、「ID 1 : ~ 3 :」の項目に矢印（カーソル）を移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がID入力エリアに移動して入力モードになります。
- 4 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が  
スペース : □  
↓  
アルファベット : A~Z  
↓  
数字 : 0~9  
↓  
記号 : '、>、<、/、-  
の順に切り替わります。
- 5 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4~5の操作を繰り返して、文字を設定します。
- 7 文字の入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。
- 8 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「ID 1 : ~ 3 :」の項目に戻ります。
- 9 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

### <ノート>

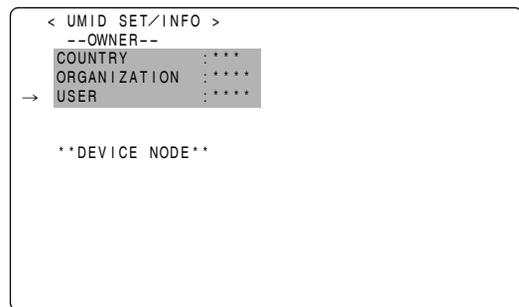
CAMERA ID項目を“BAR”に設定すると、カメラIDがカラーバー信号と同時に記録されます。  
CAMERA ID項目は、VFページの<VF INDICATOR 1>画面から開いてください。

## 4-5-6 UMID情報の設定

本機はメタデータのUMIDに対応しています。UMID情報として最初にユーザーの属する国名（3文字以内）と、組織名あるいは会社名（4文字以内）と、ユーザー名（4文字以内）を設定する必要があります。国名はISO3166 Country Code\*1を元に入力してください。

ここではユーザー名を例に説明します。

- \*1 例：中国 CHN  
アメリカ USA  
カナダ CAN  
日本 JPN



- 1 MAIN OPERATIONページから<UMID SET/ INFO>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、「USER」の項目に矢印（カーソル）を移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がUSER入力エリアに移動して入力モードになります。
- 4 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が  
スペース : □  
↓  
アルファベット : A~Z  
↓  
数字 : 0~9  
↓  
記号 : '、>、<、/、-  
の順に切り替わります。

### <ノート>

COUNTRY項目のみ、選択できるのはスペースとアルファベットのみです。

- 5 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4~5の操作を繰り返して、文字を設定します。
- 7 最後の文字まで設定してJOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「USER」の項目に戻ります。
- 8 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

## 4-5-7 CTLカウンタの設定と表示

DISPLAYスイッチをCTLにすると、LCD表示窓のタイムカウンター表示部にCTLカウンター値を表示します。カウンター値は、ノンドロップフレームの±12時間表示です。なお、P2カードに記録されたクリップの再生順序は、VTRのようにリニアではなく、サムネール操作やP2カードの一部入れ替えなどによってそのつど再編成され、今まで記録したクリップの位置づけが変わります。したがって記録モードと再生モードでは別々のカウンター値が表示されます。

### 記録モードでのCTLカウンター（記録CTL）

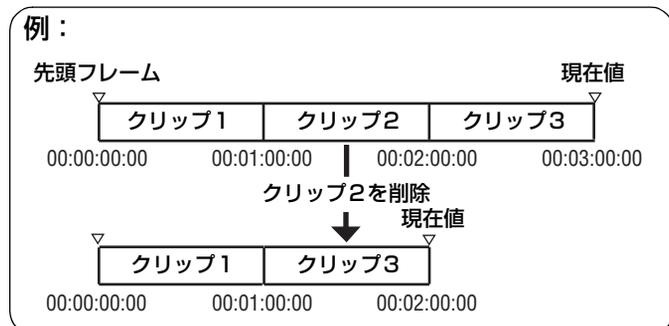
記録モード（REC、REC/PAUSE、STOP、および REC REVIEW）では記録CTLカウンター値を表示し、前回の記録終了点の値に連続してカウントします。電源オフ後も記録CTLカウンター値は保持され、次に電源をONにした後、前の値に連続してカウントしていきます。

#### <ノート>

記録CTLカウンター値を表示中にRESETボタンを押すと、記録CTLカウンター値のみリセットされます。ただし、REC REVIEW中はリセットできません。

### 再生モードでのCTLカウンター（再生CTL）

再生モード（PLAY、FF、REW、PLAY/PAUSE状態）では再生CTLカウンター値を表示します。再生CTLカウンター値は、クリップの再生順序が変更される（記録日時順にクリップを並べ替える）たびに、今までの再生CTLカウンター値を無効にして、最初のクリップの先頭フレームを基準値として再計算して表示します。



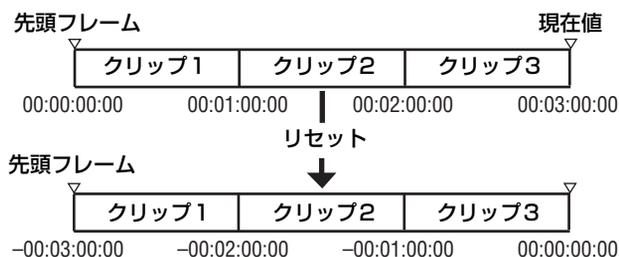
なお、クリップ再生順序の変更には、次の場合があります。

- クリップの削除、コピー、修復、P2カードのフォーマットを行った場合
- サムネール表示の切り替えを行った場合（詳しくは「6-5 サムネール表示の切り替え」を参照してください）
- P2カードを挿入したり、または引き抜いた場合

また、基準値（最初のクリップの先頭フレームの値）の変更には、次の場合があります。

- 電源をONした場合、先頭フレームは0になります。
- 再生CTLカウンター値をリセットした場合、現在の再生位置を0として、基準値だった箇所はマイナスの数値になります。

例：



#### <ノート>

再生CTLカウンター値を表示中にRESETボタンを押すと、再生CTLカウンター値のみリセットされます

## 4-5-8 状態確認画面の表示 (MODE CHECK ボタン機能)

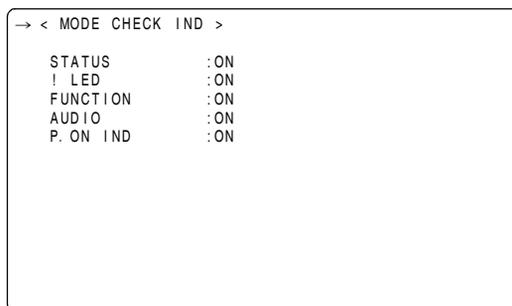
本機の各設定や状態が確認できる画面を、ビューファインダー上に表示できます。

本機のMODE CHECKボタンを押すたびに、4つの画面表示が切り替わります。

STATUS画面表示→!LED画面表示→FUNCTION画面表示→AUDIO画面表示→無表示

なお、各々の画面の表示時間は約3秒です。表示中にMODE CHECKボタンを押すと次の画面に移行します。

またメニュー操作で、VFページの<MODE CHECK IND>画面から、各画面表示のON/OFFを選択することができます。



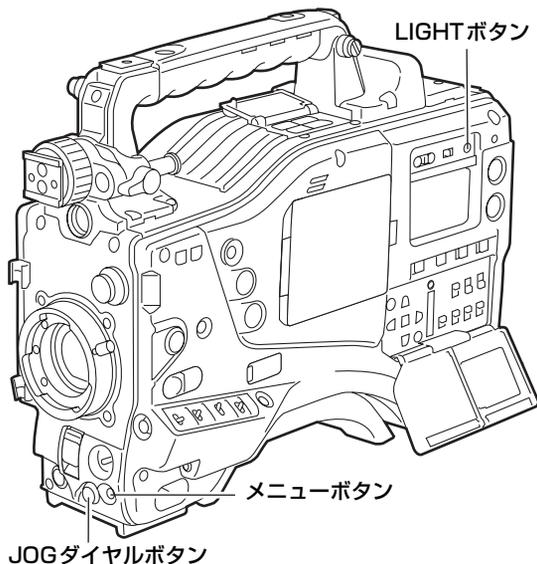
## 4-6 ビューファインダー画面上のメニュー表示

### 4-6-1 メニューの構成

**USER MENU:** 出荷時に USER MENU を設定しています。また、ユーザー独自にメニュー操作で、MAIN MENU ページから<USER MENU SELECT> 画面を開き、各項目について使用目的や設定頻度に応じた項目を選択して、ユーザー固有のメニュー構成にすることができます。詳しくは「4-6-3 USER MENU の選択」を参照してください。MENU ボタンを押すと表示されます。

**MAIN MENU:** 設定メニューの全項目を設定できます。使用目的や、設定頻度などに応じてカテゴリ別に階層化した構成にしています。MENU ボタンを3秒以上押すと表示されます。

**OPTION MENU:** 将来的な機能追加等を考慮したメニューを準備しています。LIGHT ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと表示されます。詳しくは販売店にご相談ください。



### 4-6-2 メニューの基本操作

メニュー設定の操作は、MENU ボタンと JOG ダイヤルボタンで操作します。

メニューは、メインメニューとサブメニュー、および設定項目メニューに分かれています。

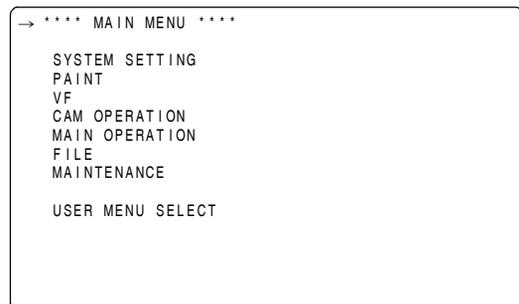
設定されたデータは、本機の内部メモリーに書き込まれ、保存されます。

ここでは、MAIN MENU での操作について説明しますが、メニュー画面の呼び出し方以外の操作方法は、他のメニューも同じです。

#### <ノート>

サムネール操作中は、ビューファインダーに“THUMBNAIL OPEN”と表示され、メニュー操作はできません。

- 1 MENU ボタンを3秒間以上押します。各カテゴリ別のメニュー画面が表示されます。



#### SYSTEM SETTING :

本機の記録信号や、記録方式などを決める時に使用する項目です。

**PAINT :** 波形モニターを使用してカメラの出力波形を監視しながら、細かな画像調整をする場合の項目です。通常ビデオエンジニアのサポートが必要です。このメニュー項目の設定は、外部のリモートコントローラなどでも行えますが、本機を単体で使用する場合に有効です。

**VF :** ビューファインダー画面上に表示される内容を選択する場合の項目です。

#### CAM OPERATION :

本機を運用する時、被写体の条件などによって設定を変更する項目です。

#### MAIN OPERATION :

オーディオやタイムコード、バッテリーやP2カードの残量など、記録全般にかかわる設定を行う項目です。

**FILE :** SDメモリーカードの読み書きや、レンズファイルなどファイル関連操作を行う項目です。

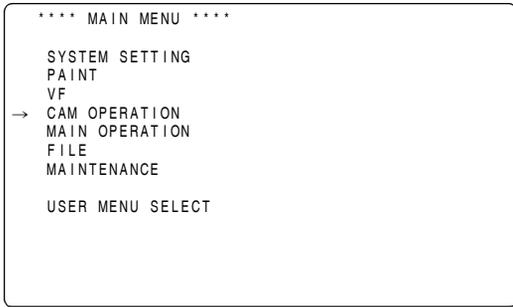
#### MAINTENANCE :

本機の保守点検を行う項目です。

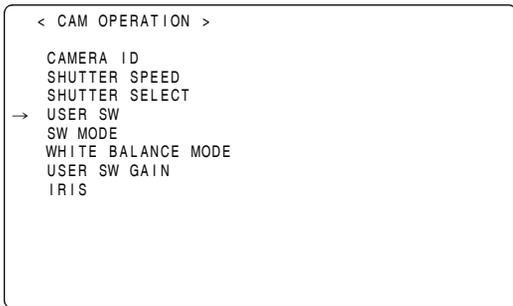
#### USER MENU SELECT :

USER MENU を編集する時に使用する項目です。

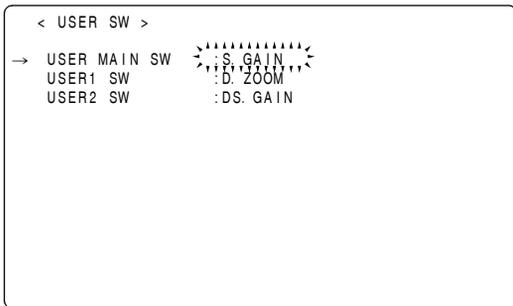
- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、設定したい項目にマーク(→)を移動し、JOGダイヤルボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。



- 3 JOG ダイヤルボタンを回して、設定したい項目にマーク(→)を移動し、JOGダイヤルボタンを押すと設定項目メニュー画面が表示されます。



- 4 JOG ダイヤルボタンを回して、設定したい項目にマーク(→)を移動し、JOGダイヤルボタンを押すと設定値内容が点滅します。



- 5 JOGダイヤルボタンを回して、設定値を変更します。  
**設定値を増加させるには**  
JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。

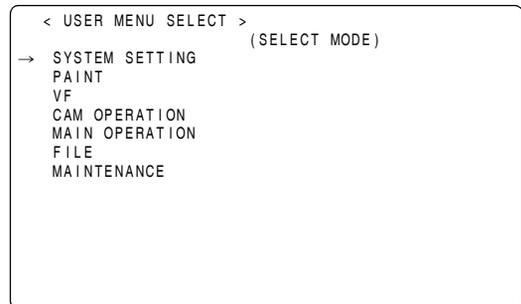
**設定値を減少させるには**  
JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。  
回すたびに1段階切り替わります。早く回すと数値が速く変化し、ゆっくり回すと微調整ができます。

**ON/OFFを切り替えるには**  
ONを選択するときは、JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。  
OFFを選択するときは、JOGダイヤルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。

- 6 JOGダイヤルボタンを押します。  
設定値の点滅が停止し、設定値が確定します。
- 7 続けて同じページの設定項目を変更する場合には、手順4~6を繰り返します。
- 8 設定が終了すると、MENUボタンを押します。  
メニュー設定モードが終了し、通常の操作モードに戻ります。

### 4-6-3 USER MENUの選択

メニュー操作で、MAIN MENU から USER MENU SELECT ページを開き、さらに各設定項目メニュー画面を開き、USER MENUに必要な項目のみを選択します。  
設定された項目のみがUSER MENUとして表示されます。  
操作方法は、「4-6-2 メニューの基本操作」を参照してください。



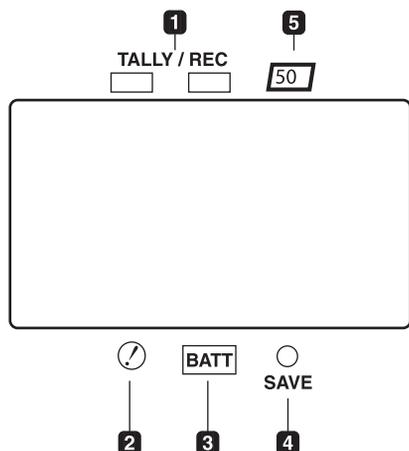
#### <ノート>

設定項目は「\*」表示で有効になります。ただし設定可能な項目はカメラ関連が3ページ分、14×3=42項目と、メモリー記録部関連1ページ分14項目となります。

## 4-7 ビューファインダーの状態表示

ビューファインダー内では、映像の他に本機の設定や動作の状態を示すランプや文字、メッセージ、センターマーカ、セーフティーゾーンマーカ、カメラIDなどが表示されます。

### 4-7-1 ビューファインダーのランプ表示



表示例はAJ-VF20WBPの表示です。(ビューファインダーに関する内容は、別売のビューファインダーの取扱説明書をご覧ください)

#### 1 TALLY/REC (記録) ランプ

記録時に赤く点灯します。また、異常が発生したときには点滅します。

詳しくは、「7-3 警告システム」を参照してください。

#### 2 (変則動作状態警告) ランプ

サブメニュー !LED 項目で“ON”に設定した項目のうち、本機が変則動作状態になると点灯します。

ランプ表示の対象となる項目の選択については、「8-4-7 !LED」の<!LED>画面の項目を参照してください。

#### 3 BATT (バッテリー) ランプ

バッテリーの電圧が下がり、使用できなくなる数分前に点滅を始め、使用できなくなると点灯します。動作の中断を防ぐため、バッテリーの消耗間近になる前に、バッテリーを交換してください。

詳しくは「7-3 警告システム」を参照してください。

#### 4 SAVEランプ

##### 通常時

SAVEスイッチを「ON」にし、かつ映像・音声の出力がパワーセーブされているときに点灯します。

##### SAVE LED 項目を“P2CARD”に設定時

SAVE LED 項目を“P2CARD”に設定していると、P2カードの残量が少なくなったときに点灯します。

SAVE LED 項目は、メニュー操作でVFページの<VF INDICATOR2>から選択できます。

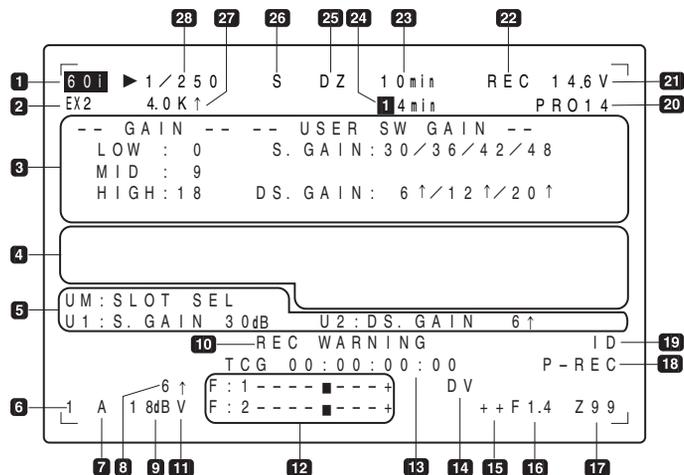
#### 5 50 (50 Mbps記録・再生) ランプ

本機がDVCPRO50 (50Mbps) フォーマットが設定されているとき、およびDVCPRO50フォーマットで再生しているときに点灯します。

なお、工場出荷時は点灯しない設定になっています。詳しくは「8-4-1 VF DISPLAY」の50M INDICATOR項目を参照してください。

## 4-7-2 ビューファインダー画面の状態表示の構成

表示できるすべての項目は、下の図のように配置されています。



詳しくは次ページ以降をご覧ください。

## 4-7-3 ビューファインダー画面の表示項目の選択

ビューファインダー画面に表示項目の選択は、VFページから<VF INDICATOR1>画面と<VF INDICATOR2>画面を開き、各々の項目で表示のON/OFFまたは種類を切り替えます。操作方法は「4-6-2 メニューの基本操作」を参照してください。

```

-> < VF INDICATOR1 >

EXTENDER      :ON
SHUTTER       :ON
FILTER        :ON
WHITE         :ON
GAIN          :ON
IRIS          :S+IRIS
CAMERA ID     :BAR
ID POSITION    :UPPER L
DATE/TIME     :OFF
ZOOM LVL     :ON
COLOR TEMP    :ON
CAMERA MODE   :ON
    
```

```

-> < VF INDICATOR2 >

P2CARD REMAIN :ON
BATTERY       :ON
AUDIO LVL     :ON
TC            :OFF
SYSTEM INFO   :NORMAL
SAVE LED      :SAVE
DV            :ON
VOICE MEMO    :ON
REC STATUS    :OFF
PROXY REC     :OFF
    
```

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
① 撮像のカメラモード	60i, 30P, 24P, 24PA	撮像のカメラモード（プログレッシブ/インターレース）の状態を表示します
② エクステンダ	EX2	レンズエクステンダが使用されているときに表示します。
③ MODE CHECK 専用表示エリア (STATUS: マスターゲイン、USER SW GAIN)	LOW/MID/HIGH -3~30 S.GAIN 30/36/42/48 DS.GAIN 6↑/12↑/20↑	マスターゲインの設定値を表示します。 例) LOW : 0 S.GAINとDS.GAINが割り当てられているゲイン値を表示します。
(!LED点灯要因: 画面全体に表示します) ● !LED メニューで選択されている項目には「!」マークがつきます。 ● 現在 !LED 点灯の対象になっている項目には「!!」マークがつきます。	GAIN (0 dB) GAIN (-3 dB) DS.GAIN SHUTTER WHITE PRE. EXTENDER BLACK STR. MATRIX COLOR COR. FILTER SUPER V 50M/25M/DV ATW D.ZOOM	GAIN状態を表示します。 GAIN状態を表示します。 DS.GAIN値を表示します。 シャッターの状態を表示します。 ホワイトバランスの状態を表示します。 エクステンダの状態をEX2/OFFで表示します。 ブラックストレッチの状態をON/OFFで表示します。 MATRIXの状態をA/B/OFFで表示します。 COLOR CORRECTIONの状態をON/OFFで表示します。 フィルターの状態を表示します。 SUPER Vの状態をON/OFFで表示します。 記録モードを50M/25M/DVで表示します。 ATWの状態をON/OFFで表示します。 デジタルズームの状態をON/OFFで表示します。
(FUNCTION : VIDEO OUT)	SW: MEM/CAM/OFF SELECT: VBS/VF/Y/SDI  CHAR: ON/OFF	OUTPUT SELスイッチの位置を表示します。 VIDEO OUT SEL項目の設定状態を表示します。VIDEO OUT SEL項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択できます。 VIDEO OUT CHARACTERスイッチの位置を表示します。
(FUNCTION : MONI OUT)	SW: MEM/CAM/OFF CHAR: ON/OFF	OUTPUT SELスイッチの位置を表示します。 MONITOR OUT CHAR項目の設定状態を表示します。MONITOR OUT CHAR項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択します。
(FUNCTION : P2CARD STATUS)	TOTAL  SLOT1/SLOT2/SLOT3/ SLOT4/SLOT5   OP-SLOT	1~5のP2カードスロットに挿入されたP2カード全ての記憶残量/総容量を表示します。 一枚ごとのカードの状態と、記録残量/容量を表示します。数字はP2カードスロットの番号に対応しています。 表示されるカードの状態には下記の種類があります。 ACTIVE/ACTIVE!/ACCESSING/INFO READING/FULL/PROTECTED/ NOT SUPPORTED/FORMAT ERROR/NO CARD/PROXY 各状態の内容については、「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(25 ページ)を参照してください。 オプションスロットの状態を表示します。 表示されるカードの状態には下記の種類があります。 PROXY/NO CARD/NOT SUPPORTED
(AUDIO : FRONT AUDIO LEVELつまみの許可、禁止)	CH1: ON/OFF  CH2: ON/OFF	FRONT AUDIO LEVELつまみの操作が、CH1に対して有効ならばON、無効ならOFFを表示します。 FRONT AUDIO LEVELつまみの操作が、CH2に対して有効ならばON、無効ならOFFを表示します。
(AUDIO : マイク用の電源の状態)	FRONT: ON/OFF REAR: ON/OFF	フロントマイクの電源の状態を表示します。 リアマイクの電源の状態を表示します。 詳しくは「8-6-5 MIC/AUDIO2」をご覧ください。
(AUDIO : 各CHの入力信号とレベル)	FRNT/W.L./REAR CH1/2/3/4	各チャンネルの入力信号とレベルを表示します。

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
<b>4</b> カメラ警告、 通報表示エリア (AWB、ABB、およびス イッチ操作関連)	AWB A ACTIVE AWB B ACTIVE AWB A OK *.*K AWB B OK *.*K AWB BREAK *.*K AWB NG  COLOR TEMP LOW COLOR TEMP HIGH LEVEL OVER LOW LIGHT TIME OVER AWB PRESET *.*K ATW MODE CHECK FILTER AWB A VAR *.*K AWB B VAR *.*K ABB ACTIVE ABB OK ABB BREAK ABB NG W-SHD ACTIVE W-SHD OK W-SHD BREAK W-SHD NG LVL OVER B-SHD READY  B-SHD ACTIVE B-SHD OK B-SHD BREAK B-SHD NG	AchでAWB動作時に表示します。 BchでAWB動作時に表示します。 AchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 BchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 AWB動作を強制的に終了したときに表示します。 AWB動作が正常に終了しなかったときに表示します。2行目にその状態が表示 されます。 色温度が低すぎることを警告しています。 色温度が高すぎることを警告しています。 輝度が高すぎることを警告しています。 輝度が低すぎることを警告しています。 動作時間内に処理が実行できなかったことを警告しています。 AWBスイッチが「PRE」に設定され、AWBが実行できないときに表示します。 ATW動作中にAWBが実行できないことを表示します。 AWB動作時、フィルター切り替えつまみの位置の再確認を警告しています。 「A」が「VAR」に設定されていて、AWB動作が実行できない時に表示します。 「B」が「VAR」に設定されていて、AWB動作が実行できない時に表示します。 ABB動作時に表示します。 ABB動作が正常に終了したときに表示します。 ABB動作を強制的に終了したときに表示します。 ABB動作が正常に終了しなかったときに表示します。 ホワイトシェーディング動作時に表示します。 ホワイトシェーディング動作が終了したときに表示します。 ホワイトシェーディング動作を強制終了したときに表示します。 ホワイトシェーディング動作時、輝度が高すぎるため、正常に終了しなかつたこ とを表示します。 ABB動作中、ABBスイッチの長押しでブラックシェーディング動作を受け付け たときに表示します。 ブラックシェーディング動作時に表示します。 ブラックシェーディング動作が終了したときに表示します。 ブラックシェーディング動作を強制終了したときに表示されます。 ブラックシェーディング動作が正常に終了しなかったときに表示します。
(スイッチ切り換え表示)	WHITE: # *.*K  AUTO KNEE: ON/OFF GAIN: **dB SS: 1/**** SS: ▶ 1/**** SS: SUPER V FILTER: *.*K EXTENDER: ON/OFF IRIS: ** F *.*	WHITE BALスイッチを切り替えたとき、表示します。#にはA/B/ PREのいず れかが表示されます。「A」、「B」が「VAR」に設定されているときは、 VAR *.*Kと表示します。また「B」にATWが割り当てられているときはATW MODEと表示します。 AUTO KNEEスイッチをON/OFFしたときに表示します。 GAIN切り換えスイッチやUSERボタンでGAINを切り替えたときに表示します。 シャッタースピードを切り替えたとき、その値を表示します。 シャッタースピードがシンクロスキャンを選択したときに表示します。 シャッタースピードでSUPER Vを選択したときに表示します。 フィルターの位置と内容を切り替えたときに表示します。 レンズエクステンダがON/OFFされたときに表示します。 アイリスオーバーライドの補正値を変化させるとときに表示します。
(LOW LIGHT警告表示)	LOW LIGHT	輝度が低下したとき、表示します。
(CALL表示)	CALL	延長装置からCALL要求があったときに表示します。
(Y GETの値)	***.*%	出力輝度レベル(センターマーカ付近を約3秒間・%単位)を測定する機能 (Y GET機能)を実行時、センターマーカ付近の出力輝度レベルを%表示しま す。
(MARKER表示)	MKR: A/B/OFF	現在表示しているマーカの種類を表示します。
<b>5</b> USERボタンの 割り当て情報 UM: USER MAIN ボタン U1: USER1 ボタン U2: USER2 ボタン	INH S.GAIN **dB/OFF DS.GAIN **:/OFF S.IRIS ON/OFF I.OVR ON/OFF S.BLK -**/OFF B.STR ON/OFF AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW Y GET ON RET SW ATW ON/OFF D.ZOOM ON/OFF NEWS-G ON/OFF SLOT SEL PRE REC USB	USERボタンを動作させないとき、INHを表示します。 選択されたS.GAINを表示します。 選択されたDS.GAINを表示します。 S.IRISのON/OFFを表示します。 IRIS OVERRIDE設定が可能(ON) なとき、表示します。 SUPER BLACKのON/OFFを、またON時は設定値も表示します。 BLACK STRETCH(黒レベルの階調補正)のON/OFFを表示します。 音声チャンネル1に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 音声チャンネル2に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 USERボタンがRECスイッチとして機能しているとき、表示されます。 Y GET機能がONのとき表示します。 USERボタンがRETスイッチとして機能しているとき、表示されます。 ATWが動作しているとき、表示します。 デジタルズームのON/OFFを表示します。 ニュースガンマのON/OFFを表示します。 記録対象カードを切り替えるスイッチに設定されているとき、表示されます。 PRE RECORDINGモードが切り替えられたときに表示します。 USBドライブモードのON/OFFを表示します。

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
<b>6</b> フィルター ポジション	1~4 —	CC/NDフィルターの位置を表示します。 フィルターポジションが正規の位置に設定されていません。
<b>7</b> WHITE BAL スイッチポジション	A B P T	WHITE BALスイッチが「A」に設定されています。 WHITE BALスイッチが「B」に設定されています。 WHITE BALスイッチが「PRE」に設定されています。 ATWモードが設定されています。ただし輝度、および色が動作範囲外の時は点滅します。
<b>8</b> 蓄積ゲイン表示	6↑/12↑/20↑	蓄積GAIN (DS.GAIN) が働いているとき、その値を表示します。
<b>9</b> ゲイン値	**dB	現在のGAIN値を表示します。
<b>10</b> システム情報、 および警告	SYSTEM ERROR-**  TURN POWER OFF  CARD ERR *  REC WARNING BACKUP BATT EMPTY WIRELESS-RF EOM BOS EOS CANNOT REC  CANNOT PLAY  COMM ERROR VOICE CANNOT REC  VOICE REC VOICE PLAY MARK ON/OFF  SHOT MARK INVALID UPDATING  USB DRIVE  THUMBNAIL OPEN 1394 INITIAL ERROR  PROXY REC P2&SD  PROXY REC P2  NEAR END (SD)  EOM (SD)  PROXY CARD ERROR  SD CARD WRITE ERR  SLOT SEL  SLOT SEL INVALID  DIR NG CARD SLOT1/2/3/4/5 RUN DOWN CARD SLOT1/2/3/4/5	内部マイコンの通信や基準信号などの異常が発生したときに表示します。以後、記録・再生はできません。**にはエラーコードを表示します。詳しくは「7-3-2 エラーコード」を参照してください。 記録/再生中やフォーマット中など、P2カードにアクセス中にP2カードを取り出し、それ以降の動作ができなくなった場合に表示します。 記録/再生中にP2カードにエラーが発生した場合に表示します。*には、エラーが発生したP2カードのスロット番号が表示されます。 記録中に映像や音声に異常が発生したときに表示します。 バックアップ電池の交換時期です。 ワイヤレスからのRF信号が低下しています。 P2カードの記憶容量がないときに表示します。 再生位置が全クリップの先頭にあるとき表示します。 再生位置が全クリップの最後にあるとき表示します。 電源をONにした直後やP2カード挿入後など、P2カードに記録ができないときに表示します。詳しい情報はMODE CHECKのFUNCTION画面で確認できます。 <b>3</b> MODE CHECK専用エリアを参照してください。 クリップがP2カード上にない、P2カードが挿入されていないなどで、再生できないときに表示します。 マイコン間の通信が、一定時間以上不通になったとき表示します。 P2カードの記録残量がないときや、同一のクリップに100個以上のボイスメモを記録しようとしたときなど、ボイスメモの記録ができないときに表示します。 ボイスメモの記録中、表示します。 ボイスメモを再生中に表示します。 ショットマークを付加/消去したときに表示します。ショットマークについては「3-11 ショットマーク機能」を参照してください。 ショットマークが付加できないとき表示します。 再生のためのクリップ情報を更新中で、再生動作を受け付けられない状態のときに表示します。 USBモードに設定されているときに表示されます。通信できていないときには点滅します。 サムネール操作中に表示します。 DVCPRO/DV端子の接続状態に異常があるとき表示します。(AJ-YAD800G装着時) プロキシをP2カードおよびSDメモリーカードに記録開始したときに表示します。(AJ-YAX800G装着時) プロキシをP2カードに記録開始したときに表示します。(AJ-YAX800G装着時) プロキシを記録中、SDメモリーカードの記憶残量が残り1分未満になると表示します。(AJ-YAX800G装着時) プロキシをSDメモリーカードに記録中、SDメモリーカードの記憶容量がなくなったときに表示します。(AJ-YAX800G装着時) ビデオエンコーダーカードの異常、またはストリームの異常が発生し、プロキシ記録を中止したときに表示します。(AJ-YAX800G装着時) プロキシを記録中、SDメモリーカードに異常が発生し、SDメモリーカードへの記録のみを中止したときに表示します。(AJ-YAX800G装着時) SLOT SEL機能を割り当てたUSERスイッチを押し、P2カードの記録スロット切り替え処理を行っている間に点滅します。 SLOT SEL機能を割り当てたUSERスイッチを押し、P2カードの記録スロット切り替えができないときに表示します。 ディレクトリ配置が不正規のP2カードが挿入されたとき、または挿入された状態で記録したとき、記録開始時や終了時に表示します。 使用寿命に到達したP2カードが挿入されたとき、または挿入された状態で記録したとき、記録開始時や終了時に表示します。
<b>11</b> ボイスメモ表示	<b>V</b>	ボイスメモの記録中に表示されます。また、ボイスメモの記録残量が残り1分未満になると、点滅します。
<b>12</b> AUDIO入力系統と レベルメーター	----■-----+ F W R	選択したチャンネルとそのオーディオレベルを表示します。 AUDIO INスイッチがFRONTのときに表示します。 AUDIO INスイッチがWIRELESSのときに表示します。 AUDIO INスイッチがREARのときに表示します。

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
<b>13</b> タイムコード表示	TCG 12:59:59:20 TCR 12:59:59:20 (V)UBG AB CD EF 00 (V)UBR 12 34 56 78 CTL -1:59:59:20	TCG (タイムコードジェネレーター値) を表示します。 TCR (タイムコードリーダー値) を表示します。 UBG VUBG表示を表示します。 UBR VUBRを表示します。 CTLカウンタ値を表示します。
<b>14</b> DVフォーマット表示	DV	DVフォーマットに設定されているとき、およびDVフォーマットで再生しているときに表示します。
<b>15</b> アイリス オーバーライド表示	++ + (無表示) — ---	アイリスオーバーライドが働いている時、その補正段階を表示します。 ++ : 1絞り開きざみ + : 0.5絞り開きざみ + : 1絞り閉じざみ — : 0.5絞り閉じざみ 無表示: 基準状態
<b>16</b> アイリス、F値	NC OPEN F1.7~F16 CLOSE	レンズケーブルが接続されていないときに表示されます。 レンズの絞りが開放されているときに表示されます。 レンズの絞り値を表示します。 レンズの絞りが閉じているときに表示されます。 <ノート> 絞り値の表示機能を持ったレンズを使用している場合に表示されます。また、アイリスオーバーライド可変中は点滅します
<b>17</b> ズーム表示	Z00~Z99	ズーム量を表示します。ただし、ズームポジションのリターンがないレンズの場合、表示設定がONになっていても、この項目は表示されません。
<b>18</b> INTERVAL REC/ PRE RECORDING表示/ SDメモリーカード残量 (MODE CHECK時)	<b>I</b> <b>I</b> REC (点滅) <b>I</b> REC (点滅) **h**m/**s P-REC (点滅)  <b>SD</b> **h **m	INTERVAL RECモード時、動作スタート前/終了後に表示します。 INTERVAL REC実行中に表示します。 INTERVAL REC待機中、次の記録までの待機時間を表示します。 記録停止したあと、P2カードに完全に映像・音声記録が終わるまでの間、表示します。また、USERスイッチにPRE RECが割り当てられた場合、USERスイッチを押してPRE RECORDINGモードが切り替わると、「P-REC OFF」または設定時間「1s - 8/15s」を表示します。 ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) を装着し、SDメモリーカードにプロキシ記録を行っているときに、MODE CHECKボタンを押すと、SDメモリーカードの記憶残量を表示します。
<b>19</b> ID記録表示	ID	カメラ映像にIDを重畳して記録するように設定されているとき、表示します。
<b>20</b> バッテリーの種類	PRO14~AC_ADPT	メニューでセレクトされているバッテリー種類を表示します。また外部DC電源を接続している場合は、AC_ADPTと表示します。
<b>21</b> バッテリー残量/電圧	**.*V ***% EMP MAX	バッテリー残量を0.1V単位で表示します。 デジタルバッテリー残量を%で表示します。 デジタルバッテリー残量がないときに表示します。 デジタルバッテリーがFULL充電時、表示します。
<b>22</b> 本機のREC表示	REC	26ピン延長装置やトライアックスでシステムカメラとして使用するとき、本機の記録状態をキャラクタで表します。記録中に点灯します。 <SYSTEM MODE>のREC TALLY項目を“CHAR”に設定することで表示されます。 また本機単体で使用時、記録中に表示することもできます。 <VF INDICATOR2>のREC STATUS項目を“ON”に設定することで表示されます。
<b>23</b> P2カード残量	**.*min END WP LOOP  INFO P2 */*	通常時は“**.*min”が点灯し、ニアエンド中は点滅します。 カードエンド時には“END”が点灯します。 P2カードにライトプロテクトがかけられているときに点灯します。 LOOP RECモードに設定されているときに点灯します。また、P2カードの残量がないなどの理由でLOOP RECできない場合は点滅します。 P2カードを認識中に表示します。 MODE CHECK時はそのとき挿入されているP2カードを合計した残量/容量を表示します。 <ノート> P2CARD REMAIN項目を“ONE CARD”に設定すると、現在記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と、記録残量が表示されます。詳しくは「P2カード残量/容量表示」(55 ページ) を参照してください。
<b>24</b> P2カード残量 (MODE CHECK時)	<b>1</b> **.*min	MODE CHECK時に、記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と、記録残量を表示します。LOOP RECモード時は最低記録保証時間 (「3-6 LOOP REC機能」を参照) を表示します。また、USERボタンで記録の対象になるP2カードを切り替えたときにも表示します。
<b>25</b> D.ZOOM	DZ	デジタルズームモードのときに表示します。
<b>26</b> スーパーアイリスON/ スーパーブラックON	S B SB	スーパーアイリスがONの時に表示します。 スーパーブラックがONの時に表示します。 スーパーアイリスとスーパーブラックが両方ONのときに表示します。
<b>27</b> 色温度	*.*K	WHITE BALスイッチのA、B、PREに割り付けられた色温度を表示します。 (AWB実行時のメモリー値の場合と、メニュー設定値の場合があります) ATW MODEのときは表示しません。

表示項目	表示内容	表示されたときの状態
<b>23</b> シャッタースピード/ モード	▶1/**.* 1/100~1/2000 SUPER V	シャッタースピードがシンクロスキャンに設定されています。 固定のシャッタースピードが設定されています。 SUPER V（高垂直解像度モード）に設定されています。

## P2カード残量/容量表示

本機の状態	記録状態	P2CARD REMAIN 項目*1	<b>23</b> P2カード残量の表示*2	<b>24</b> P2カード残量 (MODE CHECK時)の表示*2
通常時	LOOP RECモード* 以外	TOTAL	P2カードスロットに挿入されたすべてのP2カードの合計残量が表示されます。(単位は分) 例：30min	表示されません。
		ONE CARD	記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と記録残量が表示されます。(単位は分) 例： <b>1</b> 8min	表示されません。
		OFF	表示されません。	表示されません。
MODE CHECK 中	LOOP RECモード* 以外	TOTAL/ONE CARD	「LOOP」と表示されます。	表示されません。
		OFF	表示されません。	表示されません。
	LOOP RECモード*	TOTAL/ONE CARD/ OFF	P2カードスロットに挿入されたすべてのP2カードの合計残量/合計容量が表示されます。(単位は分) 例：20/40	記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と記録残量が表示されます。(単位は分) 例： <b>1</b> 8min
			「LOOP」と表示されます。	最低記録保証時間が表示されます。(単位は分) 例：7min

\*1 P2CARD REMAIN項目はVFページの<VF INDICATOR2>画面から選択します。

\*2 残量および容量が999min以上の場合は、999minと表示します。

## ビューファインダー画面の表示選択

	メニューで表示/ 非表示を選択	該当の状態に なった時、 状態を表示	MODE CHECK で表示*1	表示を消すことが できる	再生時表示する
1 撮像のカメラモード	○	—	●	○	—
2 エクステンダ	○	○	●	○	—
3 MODE CHECK専用表示エリア	—	—	○	○	—
4 カメラ警告、通報表示エリア	—	○	○	○	—
5 USERボタンの割り当て情報	—	○	○	○	—
6 フィルターポジション	○	—	●	○	—
7 WHITE BALスイッチポジション	○	—	●	○	—
8 蓄積ゲイン表示	○	—	●	○	—
9 ゲイン値	○	—	●	○	—
10 システム情報と警告	○	○	●	○	○
11 ボイスメモ表示	○	○	●	○	○
12 AUDIO入力系統とレベルメーター	○	—	4ch全入力情報	○	—
13 タイムコード表示	○	—	●	○	○
14 DVフォーマット表示	○	○	●	○	○
15 アイリスオーバーライド表示	○	○	●	○	—
16 アイリス、F値	○	—	●	○	—
17 ズーム表示	○	—	●	○	—
18 INTERVAL REC/PRE RECORDING 表示/SDメモリーカード残量 (MODE CHECK)	—	○	●	—	—
19 ID記録表示	—	○	●	—	—
20 バッテリーの種類	—	—	●	○	—
21 バッテリー残量/電圧	○	—	●	○	—
22 本機のREC表示	○	○	●	○	—
23 P2カード残量	○	—	●	○	—
24 P2カード残量 (MODE CHECK)	—	—	●	○	—
25 D.ZOOM	—	○	●	○	—
26 スーパーアイリスON / スーパーブラックON	○	○	●	○	—
27 色温度	○	○	●	○	—
28 シャッタースピード/モード	○	○	●	○	—

\*1 ○: VFページの<MODE CHK IND>画面のSTATUS項目をOFFに設定していると、表示しません。

●: メニューの設定にかかわらず、表示します。

## 4-7-4 表示モードと設定変更/調整結果 メッセージ

ビューファインダーに表示される、設定変更の内容や調整結果を知らせるメッセージは、DISP MODE 項目の設定によって、表示させる項目を一部に絞るか、全くさせないかなどの表示方法を選択できます。DISP MODE 項目は、VF ページの <VF DISPLAY> 画面から選択します。

操作方法は「4-6-2 メニューの基本操作」を参照してください。

```

-> < VF DISPLAY >

DISP CONDITION      :NORMAL
DISP MODE           :3
VF OUT              :Y
VF DTL              :3
ZEBRA1 DETECT       :070%
ZEBRA2 DETECT       :085%
ZEBRA2              :SPOT
LOW LIGHT LVL       :35%
ECU MENU DISP.      :OFF
50M INDICATOR       :OFF
MARKER/CHAR LVL     :50%
  
```

### 設定変更/調整結果メッセージと DISP MODE 項目の設定

メッセージが表示される状況	メッセージ	DISP MODE 項目の設定		
		1	2	3
CC/ND フィルターの選択を変更したとき	FILTER : n (n=1, 2, 3, 4)	×	×	○
ゲインの設定を変更したとき	GAIN : n dB (n=-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30)	×	×	○
WHITE BAL スイッチの設定を変更したとき	WHITE : n (n=A, B, PRE)	×	×	○
OUTPUT/AUTO KNEE スイッチを「AUTO KNEE」または、「OFF」に設定したとき	AUTO KNEE : ON (またはOFF)	×	○	○
シャッタースピード/モードの設定を変更したとき	SS : 1/100 (または 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, ▶1/**.*)	×	○	○
ホワイトバランスを調整したとき (AWB)	例) AWB A OK 3.2 K	×	○	○
ブラックバランスを調整したとき (ABB)	例) ABB OK	×	○	○
エクステンダが選択されたとき	例) EXTENDER ON	×	×	○
USER ボタンが選択されたとき	例) UM : S.GAIN 30 dB	×	○	○
MARKER SELECT ボタンが選択されたとき	例) MKR : A	×	×	○
IRIS OVERRIDE 状態になったとき	例) ++ F 5.6	×	○	○

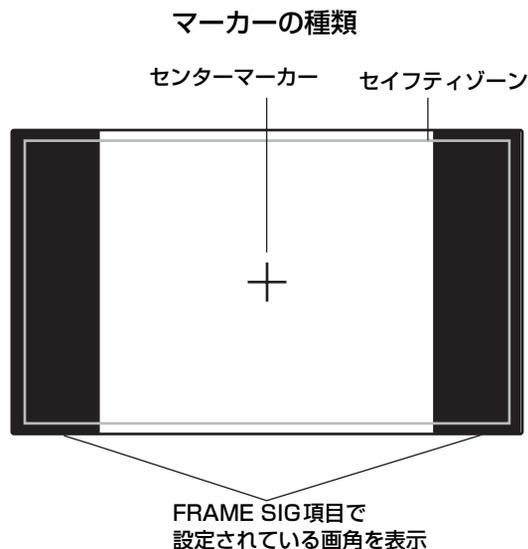
○ : 表示されます。  
× : 表示されません。

## 4-7-5 マーカー表示の設定

センターマーカー、セーフティゾーンマーカー、セーフティゾーンエリア、フレームマーカーの表示のON/OFFおよび種類を選択します。選択は、VFページから<VF MARKER>画面を開き、各項目で表示モードを選択します。

操作方法は「4-6-2 メニューの基本操作」を参照してください。

-> < VF MARKER >		MKR: A
TABLE	: A	
CENTER MARK	: 1	
SAFETY ZONE	: 2	
SAFETY AREA	: 90%	
FRAME SIG	: 4:3	
FRAME MARK	: OFF	
FLAME LVL	: 15	



### <ノート>

右上のMKR:A表示が現在の表示状態を示します。TABLE Bを確認するときはMARKER SELECT ボタンを押してMKR:Bにすると、その設定条件が確認できます。

## 4-7-6 マーカー確認画面の表示 (MARKER SELECT ボタン機能)

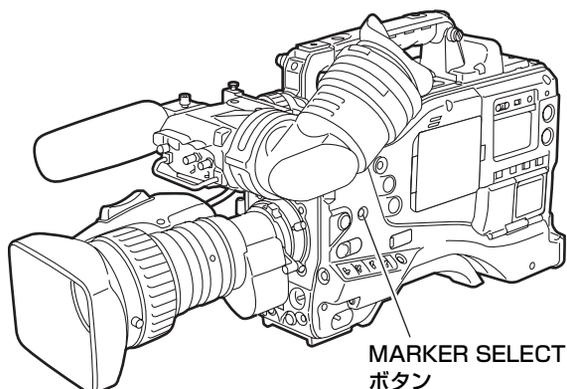
本機のマーカー状態が確認できる画面を、ビューファインダー上に表示できます。

本機のMARKER SELECT ボタンを押すごとに、

Aマーカー表示→Bマーカー表示→無表示

と、表示が切り替わります。

例えば、Aのマーカー情報としてFRAME SIG項目を16:9に設定し、Bのマーカー情報としてFRAME SIG項目を4:3に設定すると、必要に応じてこのボタン操作で16:9の画角と4:3の画角の確認等が簡単にできます。



## 4-7-7 リターンビデオ信号の ビューファインダーでの確認

レンズのRET ボタンを押している間、GENLOCK IN 端子に入力されたリターンビデオ信号をビューファインダー上で見ることができます。

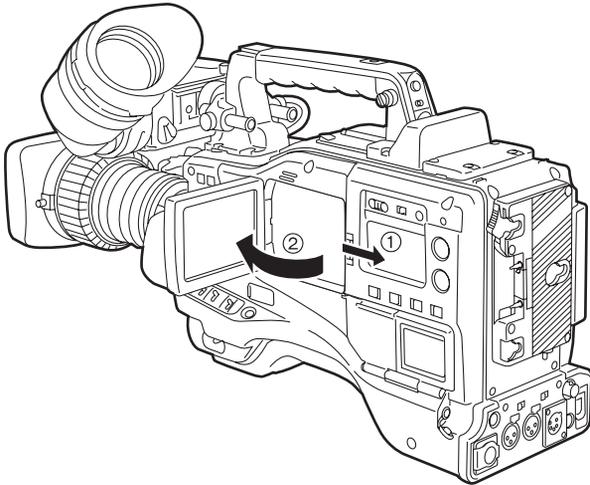
本機能を動作させるには、RET SW項目でCAM RETを選択します。RET SW 項目は、CAM OPERATION ページの<SW MODE>画面から選択します。

< SW MODE >	
-> RET SW	: REC CHECK
S. BLK LVL	: -10
AUTO KNEE SW	: ON
SHD, ABB SW CTL	: ON
COLOR BARS	: SMPTE
S. GAIN OFF	: L/M/H
DS. GAIN OFF	: DS. GAIN
D. ZOOM SEL	: ZOOM
ECU DATA SAVE	: OFF
ECU REC CHK SW	: R. REVIEW

## 4-8 液晶モニターの調整と設定

### 液晶モニターを使う

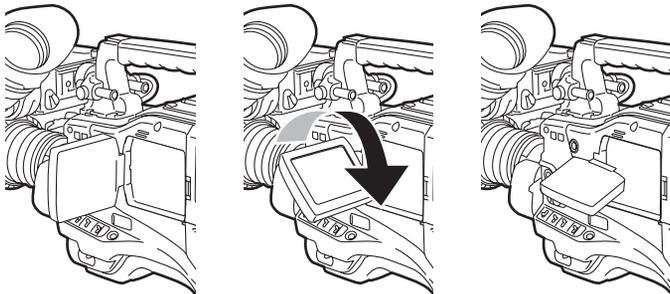
- 1 本機のPOWERスイッチをONにします。
- 2 OPENボタンを矢印①の方向に押し、液晶モニターを開きます。



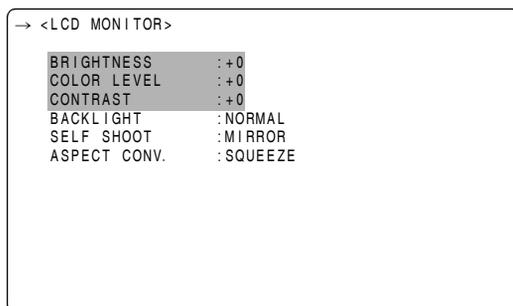
- 3 液晶モニターの画面が、一番見やすい位置にします。レンズ方向に180°、手前方向に90°まで回転します。

#### <ノート>

開いた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。

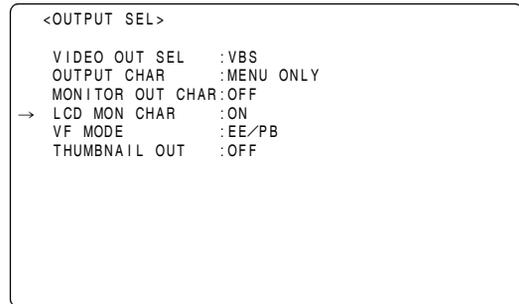


- 4 BRIGHTNESS項目で画面の明るさを、COLOR LEVEL項目で画面の色濃度を、CONTRAST項目で画面のコントラストを表示します。各項目はSYSTEM SETTINGページの<LCD MONITOR>画面から選択します。



- 5 メニューのLCD MON CHAR項目で、液晶モニターにビューファインダーと同じキャラクタ表示をするかどうかを設定します。

LCD MON CHAR項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択します。



#### <ノート>

- 液晶モニターを閉じるときは、確実に閉じてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラレコーダーが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

#### 対面撮影について

液晶モニターをレンズ側に180°回転させて撮影を行うとき、SELF SHOOT項目で“MIRROR”を選択すると、液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。鏡を見ているイメージでの撮影が可能になります。

ただし、左右反転されるのは液晶モニターの表示のみです。記録は正常どおり行われます。

SELF SHOOT項目は、SYSTEM SETTINGページの<LCD MONITOR>画面から選択します。

#### <ノート>

SELF SHOOT項目で“MIRROR”を選択した状態で液晶モニターを180°回転させた場合、LCD MON CHAR項目の設定にかかわらず、液晶モニターにはビューファインダーと同様の状態表示は行いません。

## 4-9 メニューによる 各機能のセットアップ

本機のメニューを使用して、各機能のセットアップをします。

### 4-9-1 USER SW GAINの切換えの設定

本機は、L/M/Hの標準的なゲインとは別に、30dB以上のアナログゲインアップ S.GAIN（スーパーゲイン）モードとプログレッシブ駆動を利用した蓄積型のゲインアップ DS.GAIN（デジタルスーパーゲイン）モードが使用できます。

本機能を使用する場合は、S.GAIN項目とDS.GAIN項目でそれぞれ使用するGAINをあらかじめ設定する必要があります。

例えば、USER MAINボタンかUSER1ボタンかUSER2ボタンいずれかに S.GAIN と DS.GAIN 機能を割り付けた場合、各USERボタンとの組み合わせで3通りのゲインアップが可能となります。

各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW GAIN>画面から選択します。

#### 1) ノイズ感を増さずにゲインアップしたい場合

L/M/HゲインとDS.GAIN機能を組み合わせます。

#### 2) 通常のアナログのゲインアップをしたい場合

(ノイズ感は増します)

S.GAIN機能のみを使用します。

#### 3) 超高感度モードとして使用したい場合

S.GAIN 機能と DS.GAIN 機能を組み合わせて使用します。(MAX 68dBのゲインアップが可能になります)

ただし、DS.GAINのゲインアップの値が大きいくらい程、動きのある被写体では残像が目立ちますので取り扱いには十分ご注意ください。

動きのある被写体では、+12dB↑(1/15)まででご使用ください。

なお、本機をプログレッシブモードで使用時は、DS.GAIN機能は働きません。

-> < USER SW GAIN >	
S. GAIN	
*30dB	
*36dB	
*42dB	
*48dB	
DS. GAIN	
* 6dB↑(1/30)	
*12dB↑(1/15)	
*20dB↑(1/6)	

### 設定項目と設定内容について

**S.GAIN:** \* マークのあるアナログゲインアップが有効となります。

\* マークのないアナログゲインアップは機能しません。

**DS.GAIN:** \* マークのある蓄積型のゲインアップが有効となります。

\* マークのない蓄積型のゲインアップは機能しません。

### 4-9-2 映像出力信号の選択

VIDEO OUT 端子、MON OUT 端子からの出力信号を選択します。

VIDEO OUT SEL 項目でビデオ出力信号を選択、OUTPUT CHAR 項目でビデオ出力およびモニター出力のキャラクターを選択、MONITOR OUT CHAR項目でモニター出力にキャラクターを重畳するかしないかなどを選択します。各項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択します。

拡張ボードAJ-YA902AG（別売品）を装着時は、VIDEO OUTの信号選択として、SDI信号が出力可能となります。

詳しくは「8-2-5 OUTPUT SEL」を参照してください。

-> < OUTPUT SEL >	
VIDEO OUT SEL	: VBS
OUTPUT CHAR	: MENU ONLY
MONITOR OUT CHAR	: OFF
LCD MON CHAR	: ON
VF MODE	: EE/PB
THUMBNAIL OUT	: OFF

### 4-9-3 FRONT AUDIO LEVELつまみの機能の選択

FRONT AUDIO LEVELつまみでも、録音レベルの調整をすることができます。

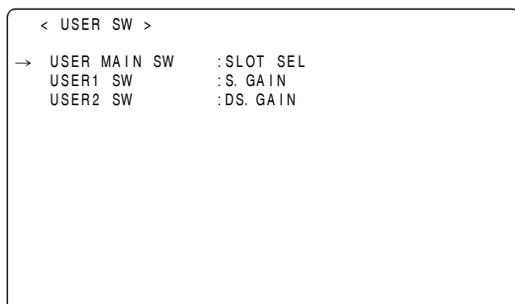
FRONT VR CH1項目とFRONT VR CH2項目で、入力信号として選択された系統に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみの操作を有効にするかしないかを設定します。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO1>画面から選択します。詳しくは「8-6-4 MIC/AUDIO1」を参照してください。

-> < MIC/AUDIO1 >	
FRONT VR CH1	: OFF
FRONT VR CH2	: OFF
MIC LOWCUT CH1	: OFF
MIC LOWCUT CH2	: OFF
MIC LOWCUT CH3	: OFF
MIC LOWCUT CH4	: OFF
LIMITER CH1	: OFF
LIMITER CH2	: OFF
AUTO LEVEL CH3	: ON
AUTO LEVEL CH4	: ON
REC CH3/CH4	: SW
25M REC CH SEL	: 2CH
TEST TONE	: NORMAL

## 4-9-4 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け

USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンに選択した機能を割り当てることができます。

USER MAIN SW項目とUSER1 SW項目とUSER2 SW項目で、各々に割り当てる機能を設定します。各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択します。



### 選択可能な機能について

- INH :** 機能を割り付けません。
- S.GAIN :** S.GAIN機能を割り付けます。
- DS.GAIN :** DS.GAIN機能を割り付けます。
- S.IRIS :** スーパーアイリス機能を割り付けます。逆光補正を行う時に有効です。
- I.OVR :** アイリスオーバーライド機能を割り付けます。オートアイリスモードでの目標値（基準値）を変更します。目標値を変更するには、本モードに設定してから、JOGダイヤルボタンを押すと目標値の変更が可能になります。JOGダイヤルボタンを左右に回し、目標値を変更します。ビューファインダー画面上のアイリス表示部の左側に+、++、-または--が表示されます。変更したい位置で JOG ダイヤルボタンの回転を止め、JOGダイヤルボタンを押すと目標値の変更が確定します。なお、このモードを解除した時や、一度電源OFFにすると基準値に戻ります。
- + : 絞りを0.5開きぎみにします。
  - ++ : 絞りを1開きぎみにします。
  - : 絞りを0.5閉じぎみにします。
  - : 絞りを1閉じぎみにします。
- 無表示 :** 基準値です。
- S.BLK :** スーパーブラック機能を割り付けます。黒レベルをペダスタルレベル以下にする機能です。
- B.STR :** ブラックストレッチ機能を割り付けます。黒の階調を強調する機能です。
- D.ZOOM :** 画角を縦横2倍にズームアップします。
- <ノート>**  
記録するカメラの動作モードが60iに設定されているとき、本機能を動作させると、動作中は強制的に30Pモードになります。
- ATW :** 自動追尾式のホワイトバランス機能を割り付けます。
- Y GET :** センターマーカ一部の輝度レベルを表示させる機能を割り付けます。

**NEWS-G :** ニュースガンマの ON/OFF を切り替える機能を割り付けます。

#### <ノート>

ニュースガンマは白つぶれや黒つぶれを押さえた階調を再現可能なガンマ設定です。ニュース取材の撮影等に適しています。

ただし、USER ボタンに NEWS-G を割り付けていても、GAMMA MODE SEL項目で“STD”を選択していないと、USER ボタンでのニュースガンマのON/OFFは無効になります。

GAMMA MODE SEL 項目は PAINT ページの<GAMMA>画面から選択します。

**AUDIO CH1 :** 音声チャンネル1の入力信号を切り替える機能を割り付けます。

押すごとにFRONT→W.L.→REARの順番で切り替わります。このときAUDIO INスイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。

**AUDIO CH2 :** 音声チャンネル2の入力信号を切り替える機能を割り付けます。

押すごとにFRONT→W.L.→REARの順番で切り替わります。このときAUDIO INスイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。

**REC SW :** REC START/STOP ボタンの機能を割り付けます。

**RET SW :** レンズのRETボタンの機能を割り付けます。

**SLOT SEL :** P2カードを複数挿入しているとき、記録対象のカードを切り替える機能を割り付けます。

**PRE REC :** PRE RECORDING の ON/OFF を切り替える機能を割り付けます。

**USB :** USBドライブモードのON/OFFを切り替える機能を割り付けます。

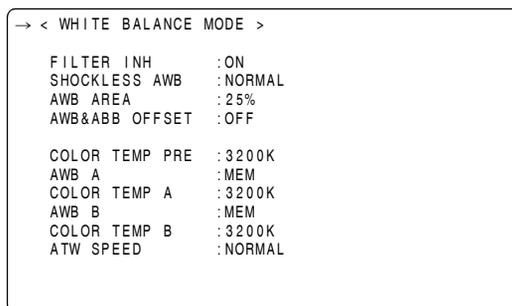
## 4-9-5 マニュアルでの色温度の設定

ホワイトバランスを、色温度設定により手動で調整することができます。マニュアルの色温度設定は、WHITE BAL スイッチのPRST、A、Bそれぞれの位置に対して設定可能です。

AWB A項目、AWB B項目でVARを選択した時、マニュアルの色温度が有効になります。

色温度の設定は、COLOR TEMP PRE項目、COLOR TEMP A項目と、COLOR TEMP B項目で設定します。

各項目は、CAM OPERATIONページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択します。



## 4-10 データの取り扱い

### SDメモリーカードによるセットアップ

SDメモリーカード（別売品）をセットアップカードとして使用し、設定メニューの内容を8ファイルまで記憶させることができます。

このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

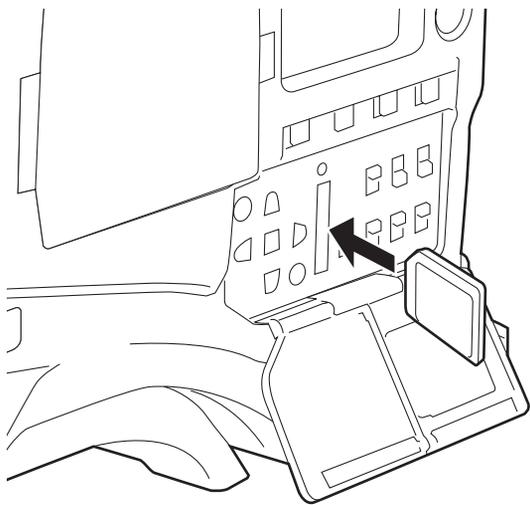
SDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意>（19ページ）をご覧ください。

### 4-10-1 SDメモリーカードの取り扱い

SDメモリーカードは、電源を入れる前でも入れた後でも出し入れすることができます。

#### SDメモリーカードを入れるには

スイッチカバーの蓋を開け、SDメモリーカード（別売品）の切り欠き部を上にして、SDメモリーカード挿入口に差し込み、スイッチカバーの蓋を閉めます。



#### <ノート>

SDメモリーカードの向きが正しいことを確認してからSDメモリーカードを入れてください。入れる際に抵抗があって入りにくいときは、SDメモリーカードが裏向き、または上下が逆になっている可能性があります。無理に押し込まず、向きを再度確認して正しく入れ直してください。

#### SDメモリーカードを取り出すには

スイッチカバーの蓋を開け、BUSYランプが点灯していないことを確認してからSDメモリーカードを更に本体側へ押し込みます。SDメモリーカードが挿入口から浮いてきますので、SDメモリーカードをつかみ引き抜き、スイッチカバーの蓋を閉めます。

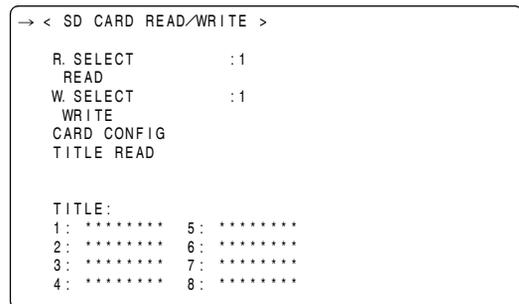
#### 使用時、保管時は以下の点にご注意ください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

SDメモリーカードは、本機に挿入してふたを閉めた状態で保存してください。

## 4-10-2 SDメモリーカードの操作

SDメモリーカードのフォーマットや、設定データのSDメモリーカードへの書き込み、または書き込まれたデータの読み出し操作は、メニュー操作でFILEページから<SD CARD READ/WRITE>画面を開いて行います。



また、本機以外の機器でSD規格およびSDHC規格以外のフォーマットを行ったSDメモリーカードを挿入すると、画面右上に“FORMAT ERROR”と表示されます。この場合は、以下の手順でフォーマットしてください。

なお、本メニューページを開いたまま、SDメモリーカードを入れ替えても“FORMAT ERROR”表示は消えません。SDメモリーカードを入れ替えた場合は、TITLE READを実行してください。

#### <ノート>

インターバル記録モードの動作中に本メニューを操作しても、SDメモリーカードの読み出し/書き込みはできません。インターバル記録を停止してから行ってください。

#### SDメモリーカードをフォーマットするには

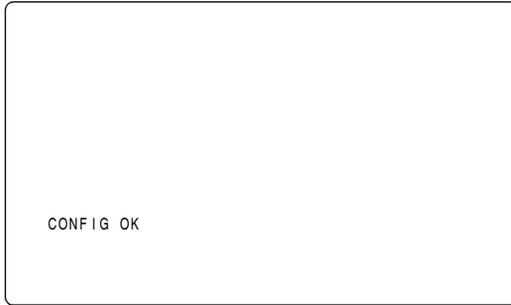
#### <ノート>

SDメモリーカードは、サムネール画面からもフォーマットが可能です。詳しくは「6-15 SDメモリーカードのフォーマット」を参照してください。

- 1 メニュー操作を行い、<SD CARD READ/WRITE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をCARD CONFIGの項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- 4 SDメモリーカードのフォーマットを行う場合は、JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。SDメモリーカードのフォーマットが終わると、次のようなメッセージが表示されます。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、フォーマットは実行されません。

エラーメッセージ	対策
CONFIG NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
CONFIG NG ERROR (フォーマットができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換します。
CONFIG NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
CONFIG NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度フォーマットを行ってください。

- 5 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

#### <ノート>

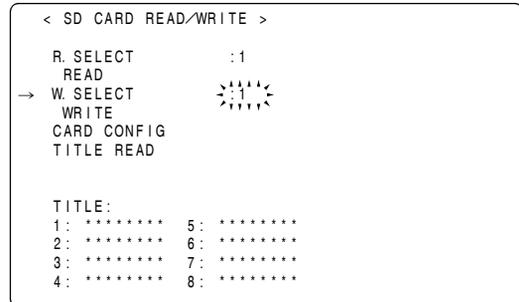
<SD CARD READ/WRITE> 画面が開いている状態でSDメモリーカードを挿入、または取り出したときは、データのタイトルを更新できません。TITLE READの項目に矢印（カーソル）を移動し、JOGダイヤルボタンを押してください。データのタイトルを更新します。

## 設定したデータをSDメモリーカードに書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、<SD CARD READ/WRITE> 画面を開きます。

### ファイルNo. を選択するには

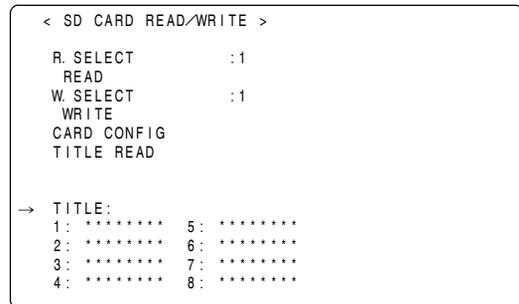
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「W. SELECT」項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。



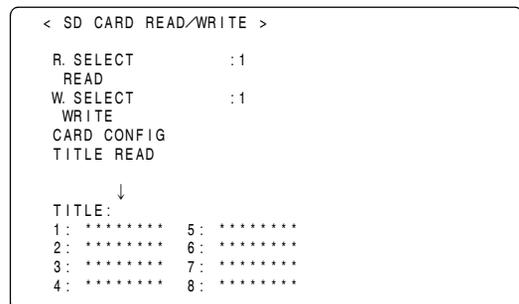
- 3 JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

### 選択したファイルNO.にタイトルを付けるには

- 4 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「TITLE:」の項目に移動します。



- 5 JOGダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。



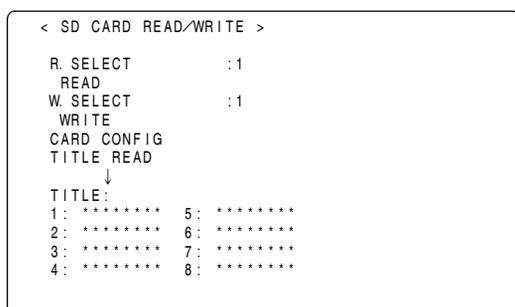
- 6** 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。  
 JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が  
 スペース : □  
 ↓  
 アルファベット : A～Z  
 ↓  
 数字 : 0～9  
 ↓  
 記号 : `、>、<、/、-  
 の順に切り替わります。

- 7** JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

- 8** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、**6～7**の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）

**選択したファイルNo.にデータを書き込むには**

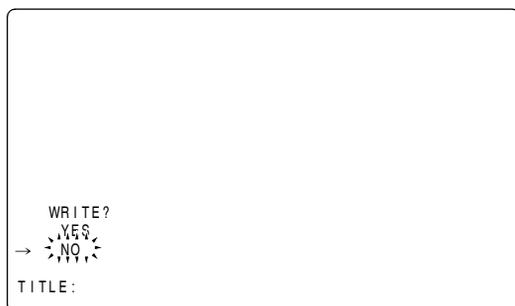
- 9** タイトルの入力が終わると JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。



- 10** JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「TITLE:」の項目に戻ります。

- 11** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WRITE」の項目に移動します。

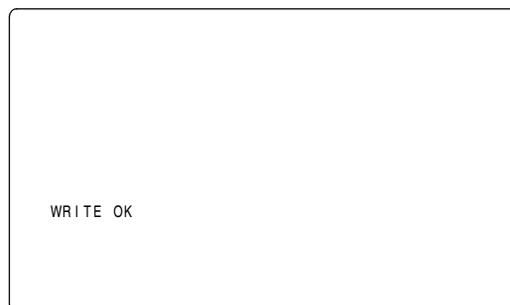
- 12** JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを書き込むことができません。

エラーメッセージ	対策
WRITE NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
WRITE NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードです。カードを交換します。
WRITE NG ERROR (書き込みができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換します。
WRITE NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
WRITE NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度書き込みを行ってください。
WRITE NG CARD FULL (記録残量がありません)	SDメモリーカードに記録残量がなく、書き込みができません。不要なファイルを消去するか、新しいSDメモリーカードと交換してください。

- 13** JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
 データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。



- 14** メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。  
 設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

<ノート>

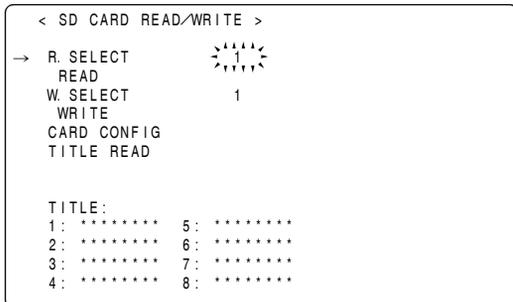
- <SD CARD R/W SELECT>画面でSDメモリーカードに書き込むメニューの種類を選択することができます。
- 本機以外の他の機器で設定したセットアップファイルが既に存在する場合は、上書きされますのでご注意ください。
- それぞれの機器ごとで、SDメモリーカードを管理することをお勧めします。

SDメモリーカードに書き込まれているデータを読み出すには

1 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「SD CARD READ/WRITE」項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。

**ファイルNo.を選択するには**

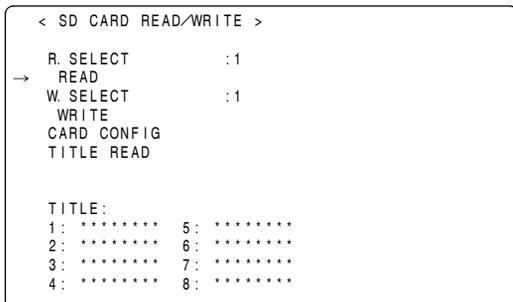
2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「R. SELECT」項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。



3 JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

**選択したファイルNo.のデータを読み出すには**

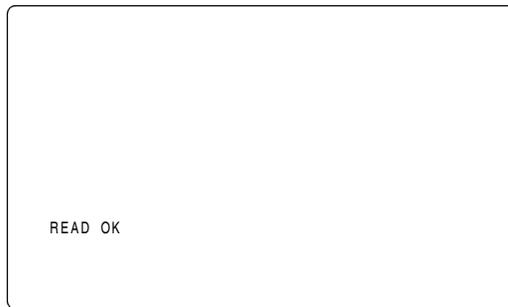
4 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「READ」の項目に移動します。



5 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



6 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。データの読み出しが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができません。

エラーメッセージ	対策
READ NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
READ NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードです。カードを交換します。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	ファイルデータを書き込みます。
READ NG ERROR (読み出しができません)	本機以外で書き込まれたデータは読み出せません。
READ NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度読み出しを行ってください。

7 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。設定メニューが消え、本機の状態表示に戻ります。

### 4-10-3 ユーザーデータの使い方

本機の内部メモリーのユーザーエリアに、設定データの内容の書き込みや書き込まれたデータの読み出しをすることができます。  
このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

データの書き込み操作は、メニュー操作で FILE ページから <INITIALIZE> 画面を開いて行います。また、書き込まれたユーザーデータの読み出しは、メニュー操作で FILE ページから <SCENE> 画面を開いて行います。

```
→ < INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
RESET LENS FILES
```

```
→ < SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
WRITE
RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

#### 設定データをユーザーエリアに書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、<INITIALIZE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITE USER DATAの項目に移動します。

```
< INITIALIZE >
READ FACTORY DATA
→ WRITE USER DATA
RESET LENS FILES
```

- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE?
YES
→ NO
```

- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
設定したデータが本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれます。
- 5 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

#### 書き込まれたユーザーデータを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREAD USER DATA項目に移動します。

```
< SCENE >
→ READ USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
WRITE
RESET

TITLE1 : *****
TITLE2 : *****
TITLE3 : *****
TITLE4 : *****
```

- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
READ?
YES
→ NO
```

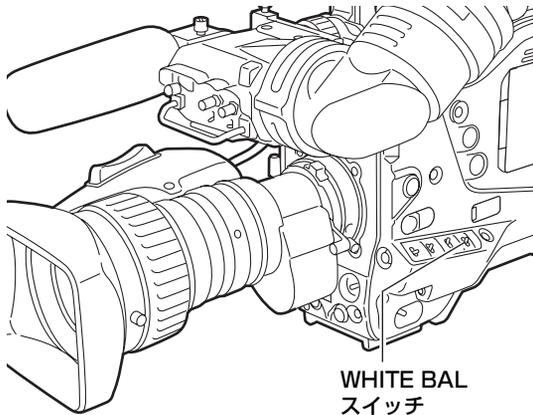
- 4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれたデータが読み出され、設定が完了します。

5 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

登録したユーザーデータを、メニュー操作をなしに読み出すことも可能です。

1 POWERスイッチをOFFにします。

2 WHITE BALスイッチを「PRST」の位置にします。



3 AUTO W/B BALスイッチを押し上げながら、POWERスイッチをONにします。  
USERメニューの各項目の設定が、一度に標準のUSER DATAに戻ります。

#### 4-10-4 シーンファイルデータの使い方

本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに、設定データの内容の書き込み、または書き込まれたデータの読み出しをすることができます。なお、シーンファイルは、4種類登録可能です。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

出荷時 TITLE1 ~ 3 には本機の出荷状態が、TITLE4 には FILMLIKEのパラメータが設定されています。TITLE4の内容を変えすることも可能です。

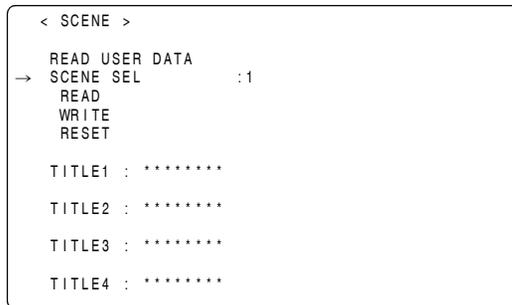
操作は、メニュー操作で FILE ページから <SCENE> 画面を開いて行います。

##### シーンファイル用設定データを書き込むには

1 メニュー操作を行い、SCENE画面を開きます。

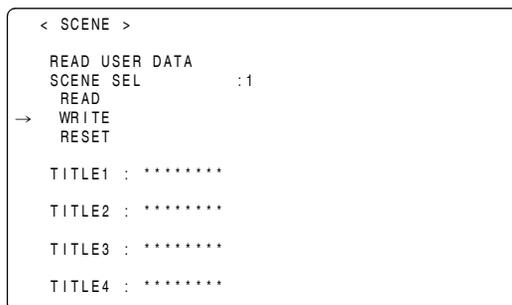
2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)をSCENE SEL項目に移動します。

3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して記録するシーンファイルを選択します。

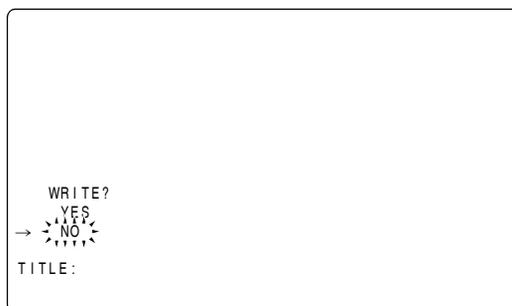


4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。

5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)をWRITEの項目に移動します。



6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



7 JOGダイヤルボタンを回して矢印(カーソル)をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
設定したデータが本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されます。

8 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

## シーンファイル用設定データを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)をSCENE SELの項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すシーンファイルを選択します。

```
< SCENE >
  READ USER DATA
  → SCENE SEL      :1
    READ
    WRITE
    RESET

  TITLE1 : *****
  TITLE2 : *****
  TITLE3 : *****
  TITLE4 : *****
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確定します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)をREADの項目に移動します。

```
< SCENE >
  READ USER DATA
  SCENE SEL      :1
  → READ
    WRITE
    RESET

  TITLE1 : *****
  TITLE2 : *****
  TITLE3 : *****
  TITLE4 : *****
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
  READ?
  YES
  → NO
```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印(カーソル)をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されたデータが読み出され、設定が完了します。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

## シーンファイル用設定データを工場出荷状態にするには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)をSCENE SEL項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回してリセットするシーンファイルを選択します。

```
< SCENE >
  READ USER DATA
  → SCENE SEL      :1
    READ
    WRITE
    RESET

  TITLE1 : *****
  TITLE2 : *****
  TITLE3 : *****
  TITLE4 : *****
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確定します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回し、矢印(カーソル)を「RESET」の項目に移動します。

```
< SCENE >
  READ USER DATA
  SCENE SEL      :1
  → RESET

  TITLE1 : *****
  TITLE2 : *****
  TITLE3 : *****
  TITLE4 : *****
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
  RESET?
  YES
  → NO
```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印(カーソル)をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記憶されたデータがリセットされて工場出荷状態に戻ります。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

## シーンファイル用設定データにタイトルをつけるには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をタイトルを付けるシーンファイル「TITLE 1～4」の項目に移動します。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
WRITE
RESET
→ TITLE1 : .....
TITLE2 : .....
TITLE3 : .....
TITLE4 : .....
```

- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がタイトル入力エリアに移動して入力モードになります。

```
< SCENE >
READ USER DATA
SCENE SEL      :1
READ
WRITE
RESET
↓
TITLE1 : .....
TITLE2 : .....
TITLE3 : .....
TITLE4 : .....
```

- 4 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。  
JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が  
スペース :□  
↓  
アルファベット :A～Z  
↓  
数字 :0～9  
↓  
記号 :、>、<、/、—  
の順に切り替わります。
- 5 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4～5の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）
- 7 タイトルの入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。
- 8 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がTITLE 1～4の項目に戻ります。
- 9 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITEの項目に移動します。

- 10 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE?
YES
→ NO
TITLE:
```

- 11 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
タイトルが本機の内部メモリのシーンファイルエリアに記憶されます。
- 12 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

## 4-10-5 メニュー設定状態の工場標準設定値への復帰方法

本機のメニューの設定状態を工場出荷の標準設定値の状態に戻すことができます。  
操作は、メニュー操作でFILEページから<INITIALIZE>画面を開きREAD FACTORY DATA項目を選択し、実行します。  
すべてのメニューの設定値が、工場出荷時の設定に戻ります。

```
< INITIALIZE >
→ READ FACTORY DATA
WRITE USER DATA
RESET LENS FILES
```

### <ノート>

シーンファイルやレンズファイル、およびユーザーデータとして保存しているデータは、この操作を行っても削除されません。

## 4-10-6 レンズファイルデータ

本機は、レンズのホワイトシェーディング補正機能を持っています。このレンズのホワイトシェーディング補正データをレンズファイルデータとして8個まで記憶することができます。レンズファイルデータを使えば、レンズを取り替えても素早く適切なホワイトシェーディング調整を再現することができます。データの記録/読み出しなど、詳しくは「5-3 レンズの取り付けおよびフランジバック調整とホワイトシェーディング調整」を参照してください。

# 第5章 準備

## 5-1 電源の供給

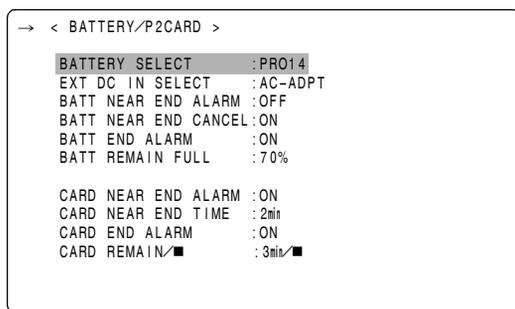
本機の電源には、バッテリーパックまたは外部DC電源が使用できます。

### バッテリーパックを使用するには

バッテリーパックは、  
・ アントンパワー製  
・ IDX製  
・ PACO製  
・ ソニー製  
のバッテリーが使用できます。

### <ノート>

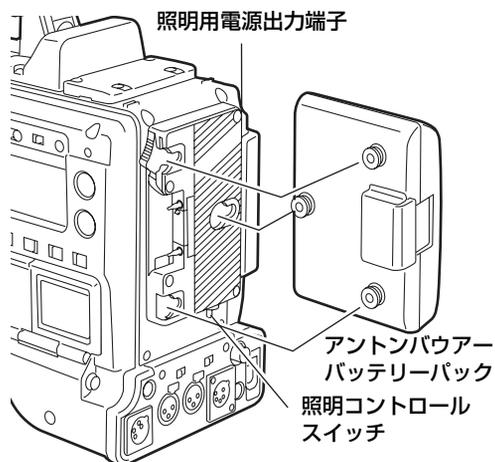
- 他のバッテリーについても、設定メニューを変更することにより対応が可能ですが、本機とのシステム保証はしておりません。
- バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。(充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をお読みください)



### 5-1-1 バッテリーの取り付け および設定

#### アントンパワー製バッテリーパックをご使用の場合

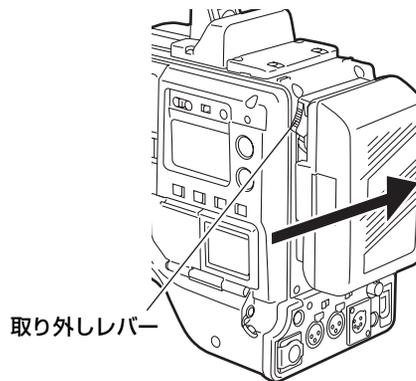
- 1 アントンパワーバッテリーパックを取り付けます。



### <ご参考>

アントンパワーバッテリーホルダーには、照明用の電源出力端子と照明コントロールスイッチがついていますので、手軽にライトを取り付けることができます。照明システムの詳細については、アントンパワー社にお問い合わせください。

- 2 矢印の方向に差し込んでから、スライドさせてください。



### <ご参考> バッテリーパックを取り外すには

バッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを取り付け時とは逆の方向にスライドさせてください。

- 3 バッテリーの種類を設定します。  
BATTERY SELECT 項目でバッテリーの種類を選択します。BATTERY SELECT項目はMAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択します。詳しくは「8-6-2 BATTERY SETTING 1」を参照してください。

### 使用できるアントンパワー製バッテリー

- ・ PRO14
- ・ TRIM14
- ・ HYTRON50
- ・ HYTRON100
- ・ HYTRON120
- ・ DIONIC90
- ・ DIONIC160

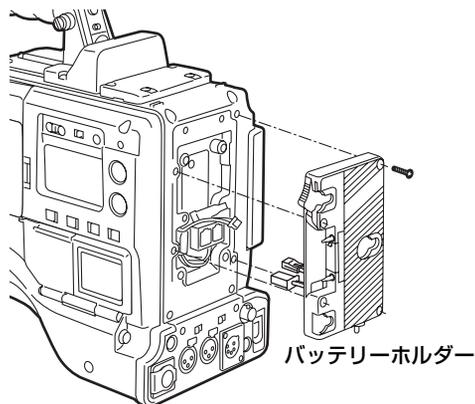
### <ノート>

DIONICは、DIONIC90の設定で使用してください。

## BP-90タイプバッテリーパックをご使用の場合

バッテリーホルダーを交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 1 バッテリーホルダーを、取り外します。

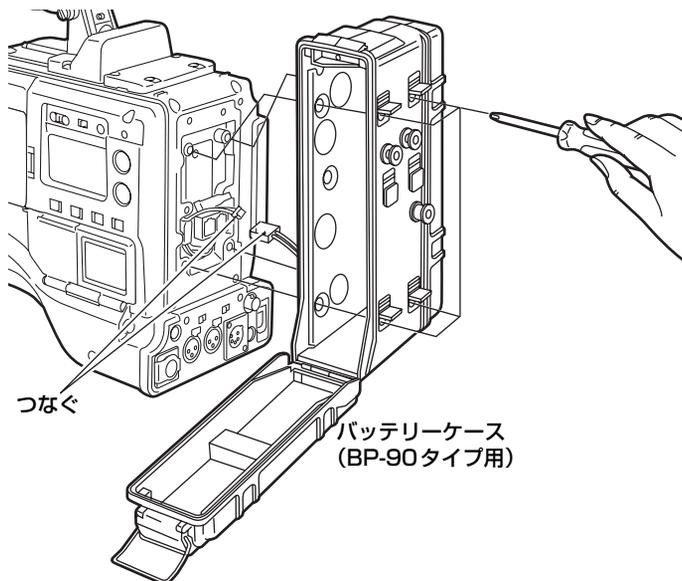


### 2 本機にバッテリーケースを装着します。

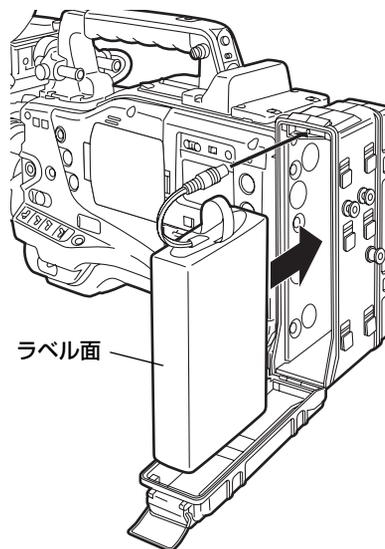
- ① 本機のケーブルをバッテリーケース (BP-90タイプ用) のケーブルとつなぎます。
- ② ドライバーでバッテリーケース (BP-90タイプ用) を本機に装着します。  
フタを開け、ゴムキャップを上を持ち上げると、ネジを締めるための穴が見えます。ドライバーでネジを締め、バッテリーケースを本機に装着してください。ネジは、最後まで確実に締めてください。

#### <ノート>

- ゴムキャップは、強く引っ張らないでください。
- ケーブルをかみ込まないように、十分注意してください。



### 3 バッテリーケース内の端子にバッテリーパックのプラグをつなぎ、バッテリーパックをケースに入れます。



#### <ノート>

プラグの抜き差しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。

### 4 バッテリーの種類を設定します。

BATTERY SELECT 項目でバッテリーの種類を選択します。BATTERY SELECT項目はMAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。詳しくは「8-6-2 BATTERY SETTING 1」を参照してください。

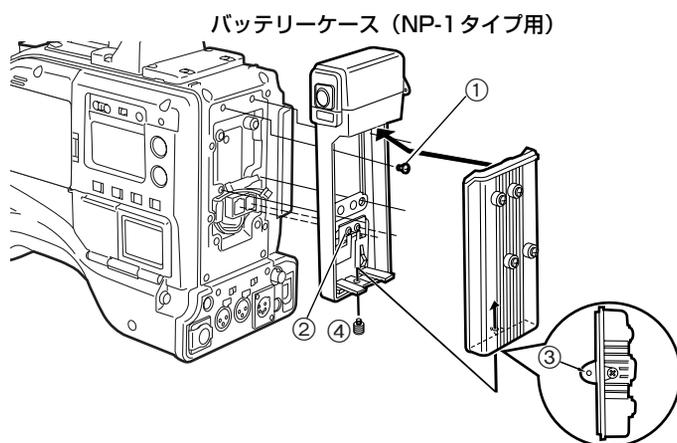
## NP-1 タイプバッテリーパックをご使用の場合

バッテリーホルダーを交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 1 バッテリーホルダーを、取り外します。
- 2 本機にNP-1 タイプバッテリーケースを取り付けます。
  - ① 取り付け用ネジを締めます。
  - ② 電源接触用ネジを締めます。
  - ③ 取り外したフタの上部を、矢印の方向に差し込みます。
  - ④ フタ下部（金属部分）の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付けます。

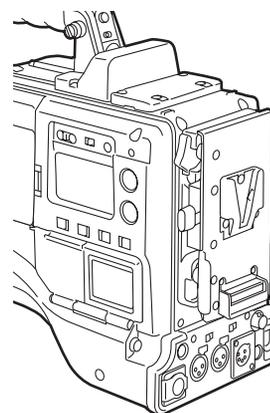
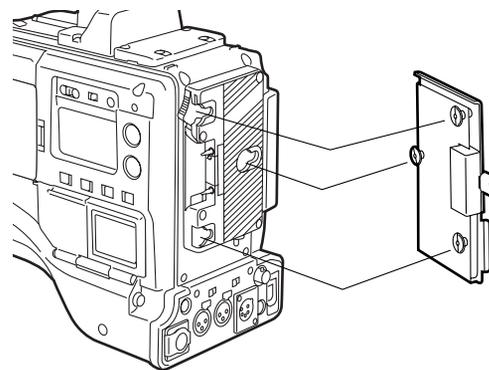
### <ノート>

バッテリーホルダーを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。



## Vマウント式バッテリーパックをご使用の場合

V-マウントアダプタープレートを取り付けます。矢印の方向に差し込んでからスライドさせてください。



- 3 バッテリーの種類を設定します。

BATTERY SELECT 項目でバッテリーの種類を選択します。BATTERY SELECT 項目はMAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。BATTERY SELECT 項目にないバッテリーをご使用の場合、ニッケルカドミウムバッテリーは“NiCd14 (14V)” / “NiCd13 (13V)” / “NiCd12 (12V)” のいずれかを電圧に合わせて選択して、特性に合わせて各項目を設定してください。ニッケルカドミウムバッテリー以外のバッテリーはTYPE A、またはTYPE Bを選択して、特性に合わせて各項目を設定してください。

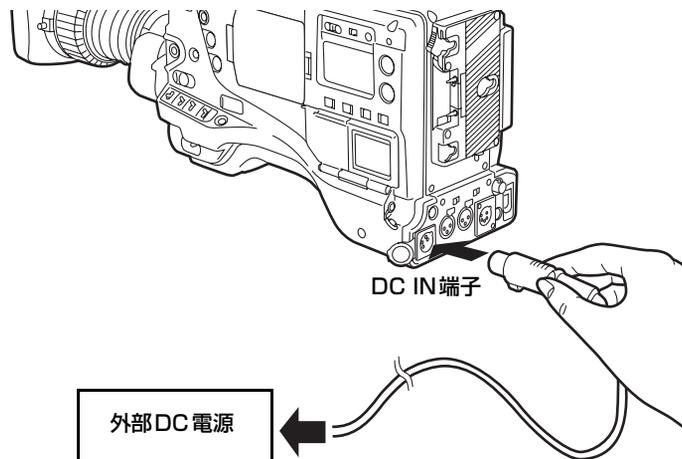
詳しくは「8-6-3 BATTERY SETTING2」を参照してください。

### <ノート>

V-マウントアダプタープレートに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店までお願いします。

## 5-1-2 外部DC電源の使用

1 本機のDC IN端子と外部DC電源を接続します。



2 外部DC電源の電源スイッチをONにします。  
(外部DC電源に電源スイッチがある場合)

3 本機のPOWERスイッチをONにします。

本機の電源投入時には、突入電流が発生します。ビューファインダーやライトなど、本機に接続している機器の全消費電力の2倍以上を確保できる外部DC電源のご使用をお勧めします。また、DCケーブルも10 A以上の容量のものをお選び下さい。

外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。



DC IN 端子

ピン No.	信号
1	GND
2, 3	—
4	+12V

### <ノート>

- バッテリーパックと外部DC電源の両方を接続した場合、外部DC電源からの電源供給が優先されます。外部DC電源の使用中は、バッテリーの着脱も可能です。
- 外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにした後、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の操作を行った場合、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
- DC IN端子にバッテリーを接続する場合は、EXT DC IN SELECT項目でバッテリーの種類を選択してください。EXT DC IN SELECT項目はMAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択します。ただしこの場合、デジタルバッテリーでも%表示はできません。

## 5-2 ビューファインダーの取り付けおよび位置調整

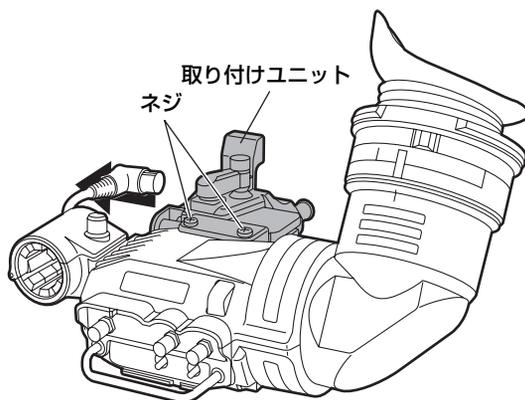
ビューファインダーの取扱説明書を参照してください。ただし、AJ-VF15BまたはAJ-VF20WB以外のビューファインダー(AJ-VF15またはAJ-VF20W)を取り付ける場合は、スライドレールが必要になります。

- スライドレールをお買い求めになる場合は、補修部品として、お買い上げの販売店にお申し付けください。

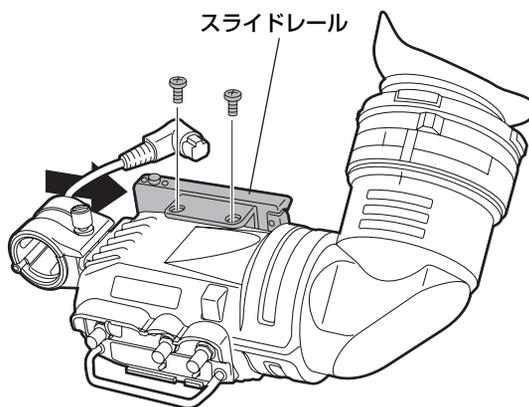
スライドレール (VFC3995)  
取り付けネジ (XSB3+8VZ)

### スライドレールの取り付け

1 AJ-VF15またはAJ-VF20Wの上部のネジ2本を外し、取り付けユニットを外します。このときネジは、取り付けユニットについたままになります。



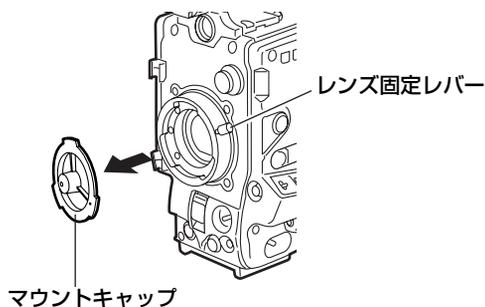
2 スライドレールを取り付け、ネジ2本で止めます。



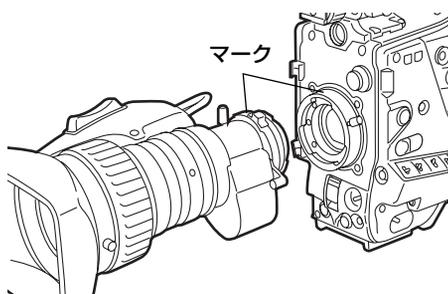
## 5-3 レンズの取り付けおよび フランジバック調整と ホワイトシェーディング調整

### レンズの取り付け

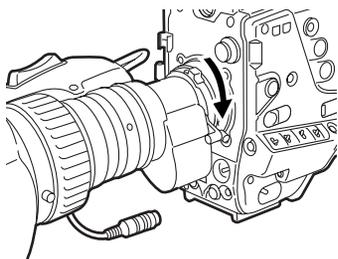
- 1 レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外します。



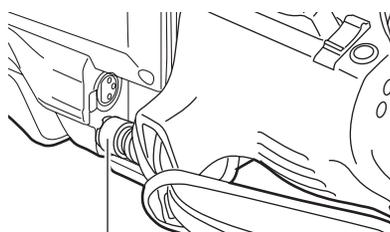
- 2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付けます。



- 3 レンズ固定レバーを下げて、レンズを固定します。



- 4 ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS 端子に接続します。



- 5 レンズのフランジバックの調整を行います。

#### <ノート>

- レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書をお読みください。
- レンズを取り外しているときは、機器保護のためにマウントキャップを取り付けてください。

### レンズのフランジバック調整

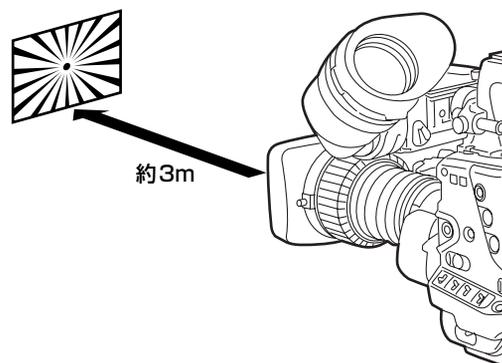
ズーム操作の際に望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。

一度調整すると、レンズの交換をしない限り再調整の必要はありません。

#### <ノート>

調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。

- 1 カメラにレンズを取り付けます。  
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 レンズの絞りを手動にし、絞りを開放にします。



- 3 フランジバック調整用チャートから3m ぐらい離れた距離で、適正な映像出力レベルが得られるように照明を設定します。  
映像レベルが高すぎるときは、フィルターやシャッターを使用してください。

- 4 F.f (フランジフォーカス) リングの固定ネジをゆるめます。

#### <ノート>

レンズによって、F.b (フランジバック) リングと表示されている場合もあります。

- 5 手動または、電動でズームリングを望遠の位置にします。
- 6 フランジバック調整用チャートを写し、距離リングを回して焦点を合わせます。
- 7 ズームリングを広角の位置にし、F.f リングを回して焦点を合わせます。  
このとき、距離リングは動かさないように注意します。
- 8 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで、5～7の操作を繰り返します。
- 9 F.f リングの固定ネジを、しっかりと閉めます。

## レンズのホワイトシェーディング調整

ホワイトシェーディングの調整は以下のように行います。

### <ノート>

ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放（open）付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象はレンズや光学系の特性で、故障ではありません。

- 1 カメラにレンズを取り付けます。  
レンズケーブルも取り付けてください。
- 2 電子シャッターを「OFF」に、ゲインを「L (0dB)」に、ASPECT項目を「16:9」に設定します。ASPECT項目はSYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE> 画面から選択します。
- 3 レンズにエクステンダがついている場合は、エクステンダ機能を外してください。
- 4 メニュー操作で PAINT ページから<GAMMA> 画面を開き、GAMMA MODE SEL 項目が「STD」であることを確認し、さらにVFページから<VF DISPLAY> 画面を開き、ZEBRA1 DETECT 項目、ZEBRA2 DETECT 項目、ZEBRA2項目が下図の通りであるか確認し、違っている場合は変更してから、メニュー画面を閉じます。

→ < VF DISPLAY >	
DISP CONDITION	: NORMAL
DISP MODE	: 3
VF OUT	: Y
VF DTL	: 3
ZEBRA1 DETECT	: 070%
ZEBRA2 DETECT	: 085%
ZEBRA2	: SPOT
LOW LIGHT LVL	: 35%
ECU MENU DISP.	: OFF
50M INDICATOR	: OFF
MARKER/CHAR LVL	: 50%

- 5 ビューファインダーのZEBRAスイッチを「ON」にします。
- 6 色ムラの無い白い紙を撮影します。

### <ノート>

蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー（ちらつき現象）が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどの、フリッカーが発生しにくい光源を用いてください。

- 7 レンズ絞りをマニュアルにして、画面全体にZEBRAがかかるように、レンズ絞りを調整します。  
レンズ絞りが、F4～F11の間になっていることを確認してください。

### <ノート>

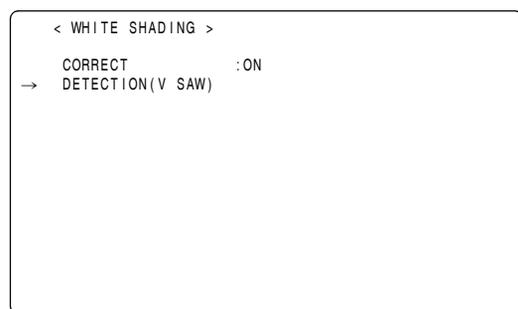
- 照明にムラがあると、画面の一部にZEBRAがかからなくなりますので、照明の位置などを調整してください。
- レンズ絞りが、F4～F11の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- 電子シャッターは、必ず「OFF」のままにしておいてください。

- 8 ① WHITE BAL 切り替えスイッチを「A」または「B」にして、AUTO W/B BAL スwitchでオートホワイトバランス（AWB）を行います。  
② AUTO W/B BAL スwitchでオートブラックバランス（ABB）を行います。  
③ 再度 AUTO W/B BAL スwitchでオートホワイトバランス（AWB）を行います。

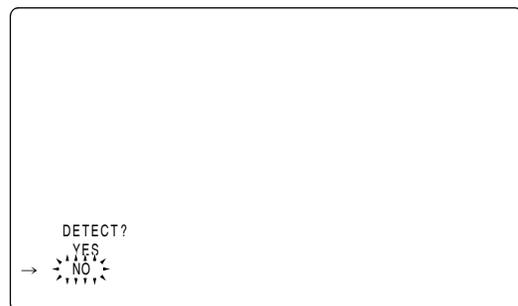
- 9 再度7の操作を行います。

- 10 メニュー操作を行い、MAINTENANCE ページから<WHITE SHADING> 画面を開きます。

- 11 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「DETECTION (V.SAW)」の項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押してホワイトシェーディング補正を実行します。



- 12 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- 13 JOGダイヤルボタンを回して、カーソルを「YES」の位置に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
画面上に「ACTIVE」が表示され、ホワイトシェーディングの自動調整を行っていることを示します。  
調整が終了すると「W-SHD OK」が表示されます。

### <ノート>

KNEEの設定によっては「LEVEL OVER」が表示され、補正できない場合があります。その際はレンズを絞るか、OUTPUTスイッチのAUTO KNEEをOFFにし、メニュー操作でPAINT画面から、<KNEE/LEVEL> 画面を開き、MANUAL KNEE項目を「OFF」にして、再度4～9の操作を行ってください。

「W-SHD OK」と表示された後は、再度MANUAL KNEE項目を「ON」に再設定してください。

- 14** レンズにエクステンダがついている場合は、エクステンダ機能を入れて、またレシオコンバータがついている場合はレシオコンバータ機能を入れ、それぞれの場合で再度 7～13の操作を行います。  
レンズエクステンダがある場合、レシオコンバータがある場合、どちらもない場合の3パターンの補正値が1つのレンズファイルデータとして本機に記憶されます。

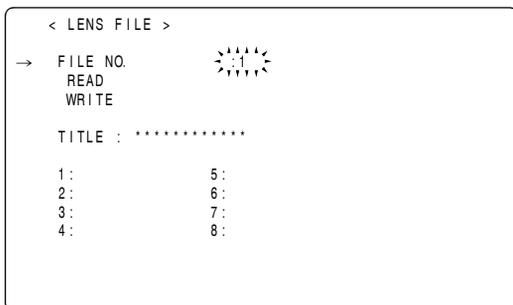
以上でホワイトシェーディング調整が完了します。  
調整値は、本機の内部メモリーに保存されますので、本機の電源を切っても、再度ホワイトシェーディング調整を行う必要はありません。

### レンズファイルデータを記憶するには

ホワイトシェーディングの調整値は、レンズファイルデータとして本機の内部メモリーに記憶可能です。

#### ファイルNO.を選択するには

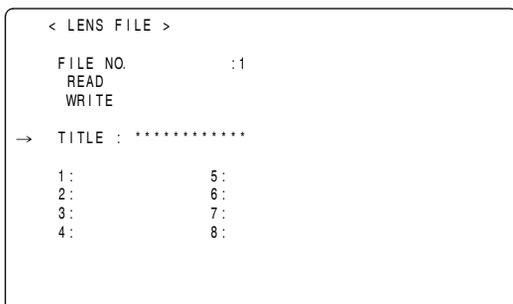
- 1 メニュー操作を行い、FILE ページから<LENS>画面を開き、JOGダイヤルボタンを回して矢印(カーソル)をFILE NO.項目に移動します。
- 2 JOGダイヤルボタンを押すと、ファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して記憶するレンズファイル(1～8)を選択します。



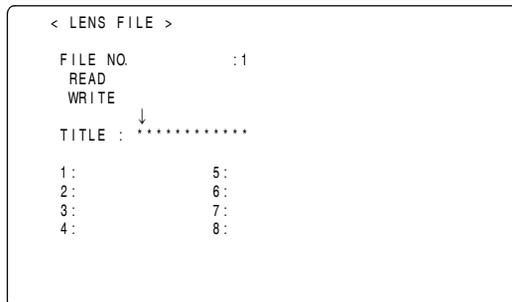
- 3 JOGダイヤルボタンを押して、レンズファイルを確認します。

#### 選択したファイルNO.にタイトルを付けるには

- 4 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)を「TITLE:」項目に移動します。



- 5 JOGダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印(カーソル)が移動して入力モードになります。



- 6 再度ダイヤルボタンを押し設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。  
JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が  
スペース : □  
↓  
アルファベット : A～Z  
↓  
数字 : 0～9  
↓  
記号 : '、>、<、/、—  
の順に切り替わります。
- 7 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 8 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)を次の位置(右)に移動し、6～7の操作を繰り返して、文字を設定します。(12文字以内)
- 9 タイトルの入力が終わると JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)を「:」の位置に移動します。
- 10 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印(カーソル)が「TITLE:」項目に戻ります。
- 11 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)を「WRITE」項目に移動します。

- 12** JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- 13** JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を「YES」に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
書き込みが終了すると「WRITE OK」が表示され、設定したデータとタイトルが、本機の内部メモリのレンズファイルエリアに記憶されます。

- 14** メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

#### レンズファイルデータを読み出すには

- 1** 「レンズファイルデータを記憶するには」の**1**～**3**を参照して、読み出すレンズファイルNo.を選択します。
- 2** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「READ」項目に移動します。
- 3** JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



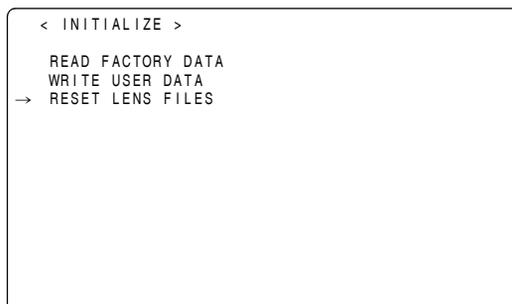
- 4** JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を「YES」に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
読み出しが終了すると「READ OK」が表示され、記憶されているレンズファイルのデータが読み出されます。
- 5** メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

#### レンズファイルデータの工場標準設定値への復帰方法

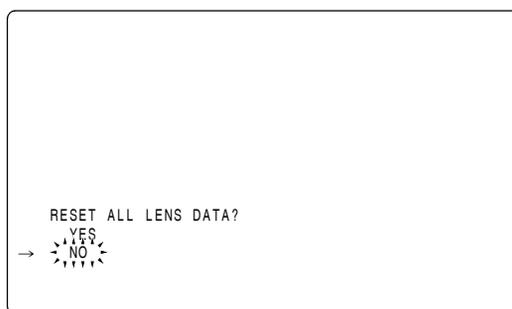
レンズファイルデータを工場出荷の標準設定値の状態に戻すことができます。

操作は、FILEページから<INITIALIZE>画面を開き行います。

- 1** <INITIALIZE>画面から「RESET LENS FILES」を選択します。



- 2** JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



- 3** JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を「YES」に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。  
「OK」と表示され、レンズファイルのデータが工場出荷時の値に戻ります。

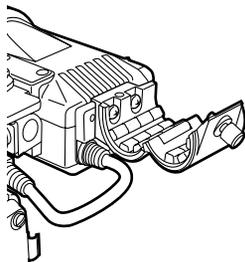
## 5-4 音声入力の準備

本機に入力する音声機器の接続の準備をします。

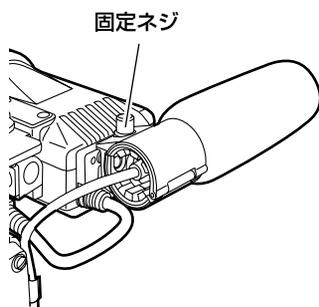
### 5-4-1 フロントマイクを使用する場合

マイクキットAJ-MC700P（別売品）のマイクを取りつけることができます。

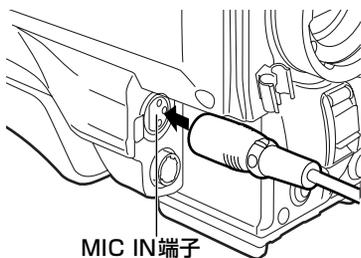
- 1 マイクホルダーを開きます。



- 2 マイクを取りつけ、固定ネジを締めます。



- 3 マイクの接続ケーブルをカメラのMIC IN 端子に接続します。



- 4 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO IN スイッチを「FRONT」に切り替えます。

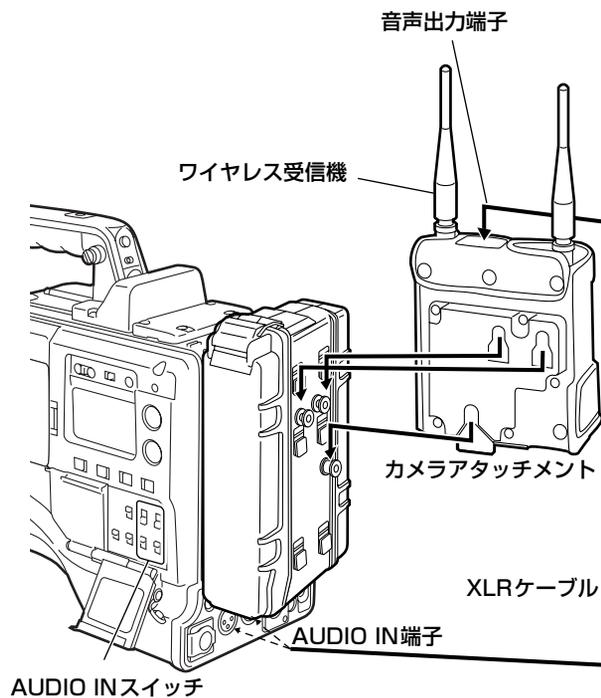


### 5-4-2 ワイヤレスレシーバーを使用する場合

#### 外付けワイヤレスレシーバーを使用する場合

ワイヤレスシステムを使用するときは、ワイヤレス受信機を取り付けます。

- 1 ワイヤレス受信機をカメラアタッチメントに取り付けます。
- 2 バッテリーケース等のピンにカメラアタッチメントの溝に合わせて、ワイヤレス受信機を取り付けます。



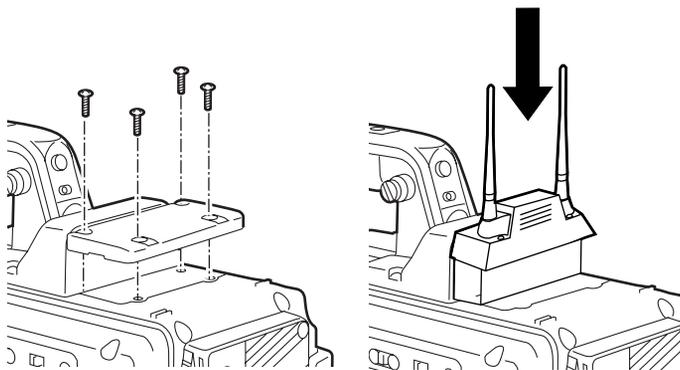
- 3 ワイヤレス受信機とカメラのAUDIO IN端子をXLRケーブルで接続します。
- 4 XLRケーブル接続したチャンネルのAUDIO INスイッチを「REAR」に切り替えます。
- 5 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを「MIC」に切り替えます。  
ワイヤレス受信機を取り外すときは、カメラアタッチメント底面のレバーを押し上げて取り外します。

#### <ノート>

ワイヤレス受信機の操作などについては、ワイヤレス受信機の取扱説明書をお読みください。

## Unislotワイヤレスレシーバーを使用する場合

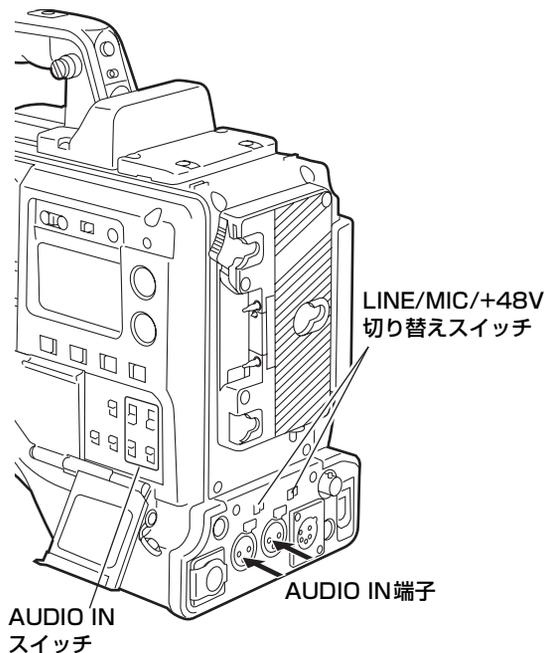
- 1 ふたを取り外してワイヤレスレシーバーを挿入し、ビス止めします。



- 2 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO IN スイッチを「W.L.」に切り替えます。

## 5-4-3 オーディオ機器を使用する場合

- 1 オーディオ機器とカメラのAUDIO IN端子をXLRケーブルで接続します。
- 2 XLRケーブルを接続したチャンネルのAUDIO INスイッチを「REAR」に切り替えます。
- 3 後面のLINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを「LINE」に切り替えます。



## 5-5 USB 2.0 端子を用いたパーソナルコンピュータとの接続について

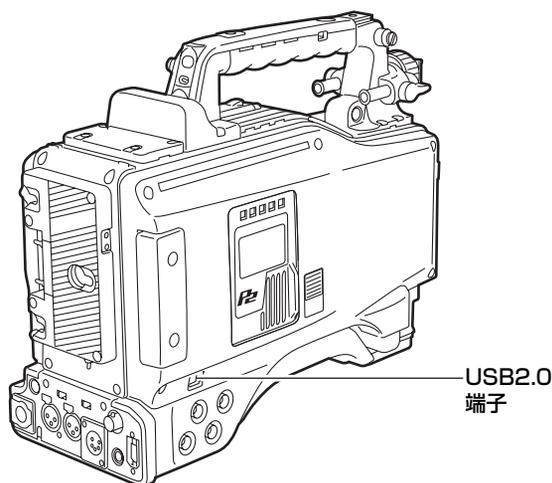
外部パーソナルコンピュータなどとUSB2.0で接続することにより、本機に接続されたP2カードをマストレージとして扱うことができます。

### パーソナルコンピュータとの接続手順

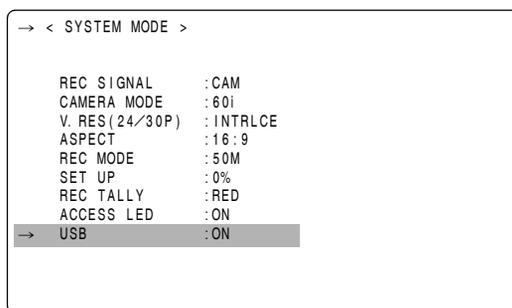
- 1 USB2.0端子にUSBケーブルを接続します。

#### <ノート>

- 本機にUSB2.0ケーブルは同梱されていません。市販のUSB2.0対応ケーブル（シールドおよびフェライトコア付き）をご用意ください。
- USBケーブルの長さは5メートルまで対応していますが、なるべく3メートル以内のケーブルを使用することをお勧めします。



- 2 メニュー操作でSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面を開き、USB項目をONに設定します。



#### <ノート>

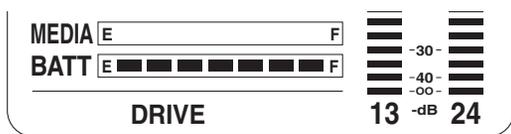
USER MAIN SW/USER1 SW/USER2 SW 項目で、USB項目をそれぞれのUSERボタンに割り付けることができます。各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択できます。

USB接続を初めて行うときには、本機付属のCD-ROMからP2ソフトウェアをパーソナルコンピュータにインストールしてください。詳しくはインストールマニュアルを参照してください。

### <ノート>

- パーソナルコンピュータには USB 専用ドライバーをインストールしている必要があります。
- USB2.0対応のパーソナルコンピュータを使用してください。
- パーソナルコンピュータとUSB接続する場合は本機1台のみにしてください。
- USBを接続してご使用の際には、P2カードを抜かないでください。
- USB接続中はP2カードアクセスLEDは、アクセス中以外は消灯します。
- USB項目を“ON”にすると、記録・再生動作やクリップのサムネール操作はできません。

USB 接続状態中は、表示窓の状態表示部に「DRIVE」表示が点灯します。また、ビューファインダー内のシステム情報/警告エリアに「USB DRIVE」と表示されます。なお、正常に接続できていない場合はこれらの表示は両方も点滅になります。

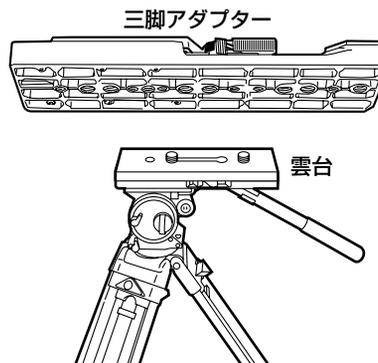


- 3 USB モードを終了するには以下の 2 通りの方法があります。
- 本機のPOWERスイッチをOFFにします。
  - メニュー操作でUSB項目を“OFF”に設定します。

## 5-6 三脚への取り付け

本機を三脚へ取り付ける場合は、付属の三脚アダプターを使います。

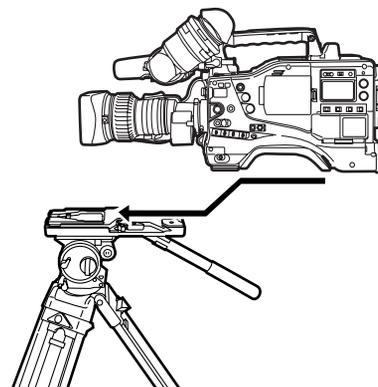
- 1 三脚アダプターを、三脚に取り付けます。



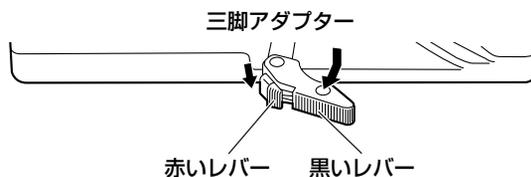
### <ノート>

本機と三脚アダプターの重心を考慮して、アダプターの穴を選んでください。また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。

- 2 本機を三脚アダプターに取り付けます。溝に沿って、カチッと音がするまで本機を前方へ滑らせませす。



### 三脚アダプターから取り外す

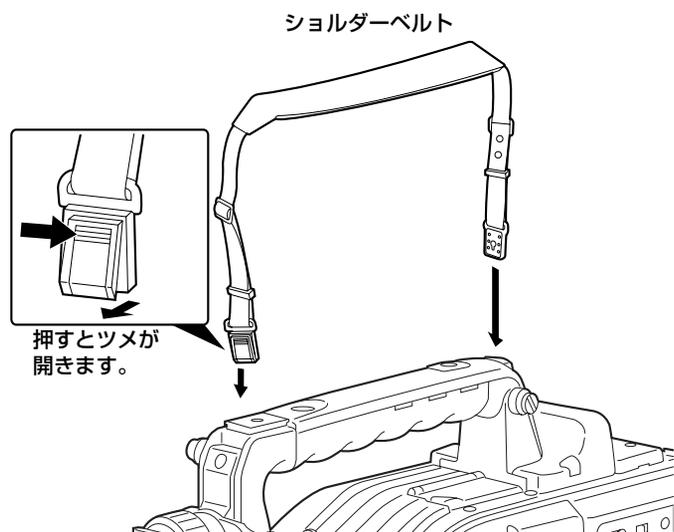


赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、本機を後方に滑らして外します。

### <ノート>

本機を取り外した後、三脚アダプターのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。ピンが中央に残ったままでは、本機の取付ができませんのでご注意ください。

## 5-7 ショルダーベルトの取り付け



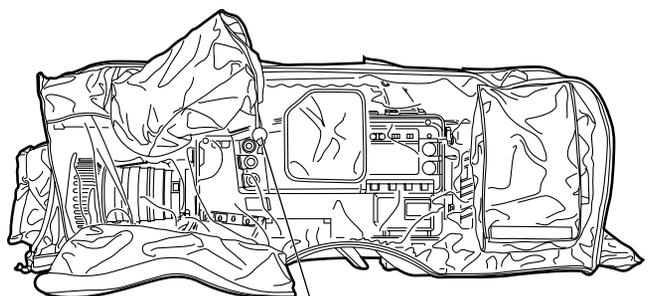
ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを開いてから外します。

### <ノート>

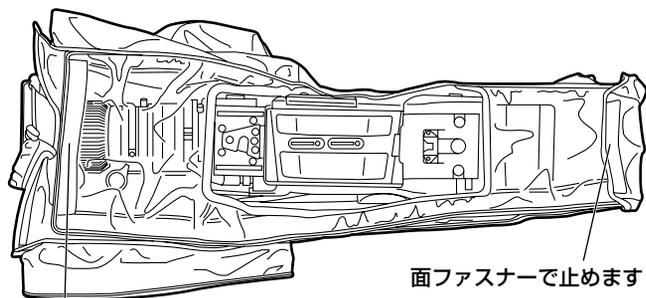
ショルダーベルトがしっかりと取り付けられていることを、確認してください。

## 5-8 レインカバーの取り付け

### レインカバー SHAN-RC700の使用例



ひもを締めます

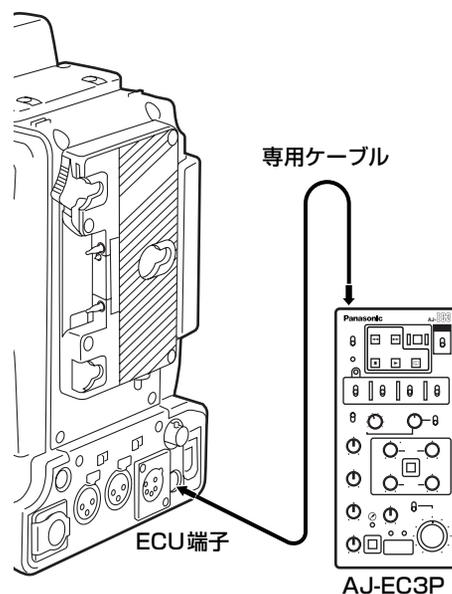


面ファスナーで止めます

## 5-9 エクステンションコントローラ (AJ-EC3P) の接続

エクステンションコントロールユニットAJ-EC3P (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

AJ-EC3Pを接続して本機および、AJ-EC3PのPOWERスイッチを「ON」にすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。



5

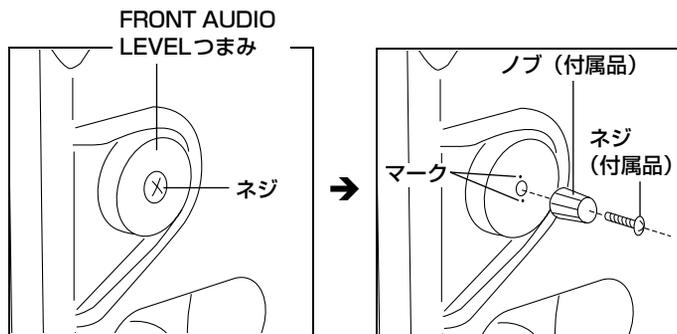
### <ノート>

- 専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機とAJ-EC3PのPOWERスイッチを必ず「OFF」にしてください。
- ECU DATA SAVE項目の設定が「OFF」の場合、AJ-EC3Pを使って行った調整や設定は、本機のPOWERスイッチを「OFF」にするとカメラ関連の設定値は取り消されます。また、SDメモリーカードへの設定値の書き込みもできません。ただしAJ-EC3Pを使って行ったメニュー内容の設定は、SDメモリーカードへの書き込みが可能です。再度、AJ-EC3Pと接続されると、AJ-EC3Pの設定値に戻ります。ECU DATA SAVE項目はCAM OPERATIONページの<SW MODE>画面で選択できます。
- ECU DATA SAVE項目の設定が「ON」の場合、AJ-EC3Pを使って行った調整や設定は、本機のPOWERスイッチを「OFF」にしても消えません。
- 本機のUSERボタン機能はAJ-EC3P接続時には動作できません。
- AJ-EC3P からシャッターをコントロールしたとき、シャッタースピードはAJ-EC3Pに刻印されたシャッタースピードではなく、本機のメニューで設定されたシャッタースピードに対応します。対応は以下の通りです。

AJ-EC3P シャッタースピード表示	本機シャッタースピード
100 (60)	POSITION1
120	POSITION2
250	POSITION3
500	POSITION4
1000	POSITION5
2000	POSITION6

## 5-10 FRONT AUDIO LEVEL つまみノブの取り付け

FRONT AUDIO LEVELつまみを頻繁に使用する場合、付属のノブを取り付けて、つまみをより操作しやすくすることができます。



FRONT AUDIO LEVELつまみ中央のネジを外し、本機に付属のノブを、同じく付属品のネジで止めます。このとき、つまみ側のマークと、ノブ側のマークを合わせてください。

# 第6章 クリップのサムネール操作

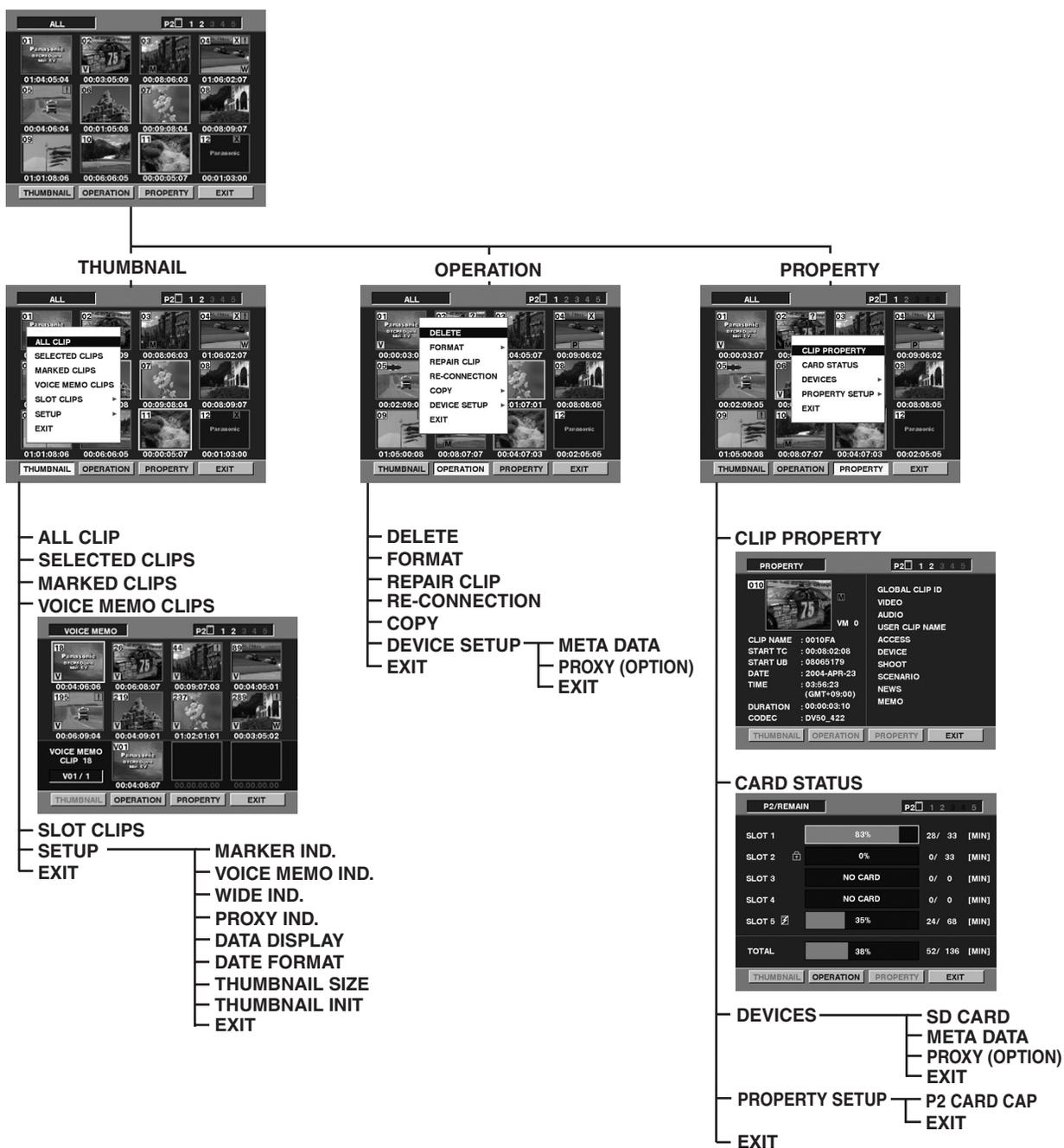
クリップとは、一回の撮影によって生成される画像、音声、およびボイスメモ・メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。

本機は、液晶モニターに表示されるクリップのサムネールを確認しながら、カーソル・SET ボタンを使って以下の操作を行うことができます。

- クリップの再生、削除、コピー、および修復
- クリップにボイスメモを追加する
- クリップのサムネールにショットマークを付加、および消去する
- P2カード、SDメモリーカードのフォーマット
- クリップメタデータのSDメモリーカードからのアップロード

## 6-1 サムネール操作の概要

サムネール画面は以下のような構成になっています。



## 6-2 サムネール画面

サムネールボタンを押すと、液晶画面にサムネール画面を表示します。もう一度サムネールボタンを押すと、通常の表示に戻ります。なお、通常の表示からサムネール画面表示に変わったときは、すべてのクリップがサムネール画面に表示されます。また、サムネール画面からメニューバーボタンを押すと、ポインターがメニューバーに移動し、サムネールのメニュー操作が可能になります。

### <ノート>

TCGスイッチを「SET」にして、タイムコードやユーザーズビットを設定しているとき、またはカメラのメニューを操作しているときはサムネール操作はできません。



サムネール画面

### 1 表示状態

画面に表示するサムネールの種類を表示します。

**ALL:** すべてのクリップを表示しています。

**SELECT:** 任意に選択したクリップを表示しています。

**MARKER:** ショットマークが付加されたクリップを表示しています。

**VOICE MEMO:**

ボイスメモデータがあるクリップを表示しています。

**SLOT n:** 特定のP2カード内のクリップを表示しています。  
(n: スロット番号の1～5が入ります)

詳しくは「6-5 サムネール表示の切り替え」を参照してください。

### 2 スロット番号

ポインターが合わされているクリップが、どのP2カードに記録されているかを表示します。クリップが記録されたP2カードのスロット番号が、黄色く表示されます。クリップが複数のP2カードにまたがって記録されている場合は、そのクリップが記録されたP2カードのスロット番号のすべてが表示されます。また、P2カードが挿入されているスロット番号は白く表示されます。

### 3 クリップ番号

P2カードに正しく認識されているすべてのクリップに、本機が設定した番号です。番号は、撮影日時が早い順に割り振られます。

記録フォーマットが異なるクリップなど、再生できないクリップは赤色で表示されます。

### 4 サムネール

クリップの撮影開始直後の画像を、サムネールとして表示します。

### 5 時間表示

設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード/クリップの記録開始時点のユーザーズビット/撮影時刻/撮影日/撮影日時のいずれかを表示します。詳しくは「6-16 サムネールの表示設定」を参照してください。

工場出荷時はクリップの記録開始時点のタイムコードを表示します。

### 6 メニューバー

クリップの操作、サムネール表示の切り替え/設定などを行うメニューが配置されています。

メニューバーの操作をするには、サムネール画面で、メニューバーボタンを押してください。カーソル(<|>)・SETボタンでメニューを選択します。

### THUMBNAIL:

サムネール表示の切り替えや、表示方法の設定を行います。

### OPERATION:

クリップの削除や、P2カードのフォーマットを行います。

### PROPERTY:

クリップのプロパティや、P2カードの状態を表示します。

### EXIT:

ポインターがサムネールに戻ります。

### 7 不完全クリップインジケータ

複数のP2カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかのP2カードがP2カードスロットに挿入されていない場合、表示されます。

### 8 ボイスメモインジケータ

ボイスメモが付加されたクリップに表示されます。ボイスメモについて、詳しくは「6-7 ボイスメモ」を参照してください。

### 9 ワイドインジケータ

16:9の画角で記録されたクリップに表示されます。

### 10 ショットマークインジケータ

サムネールにショットマークが付加されたクリップに表示されます。ショットマークについて、詳しくは「6-6 ショットマーク」を参照してください。

**11** **不良クリップインジケータ**

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。

黄色い不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復が可能です。詳しくは「6-9 クリップの修復」を参照してください。

赤い不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できない場合は、P2カードをフォーマットしてください。

フォーマットなどが異なるクリップの場合、**?**の代わりに**?**が表示されます。

**12** **プロキシ付きクリップインジケータ**

プロキシが付加記録されているクリップに表示されます。

**13** **エディットコピークリップインジケータ**

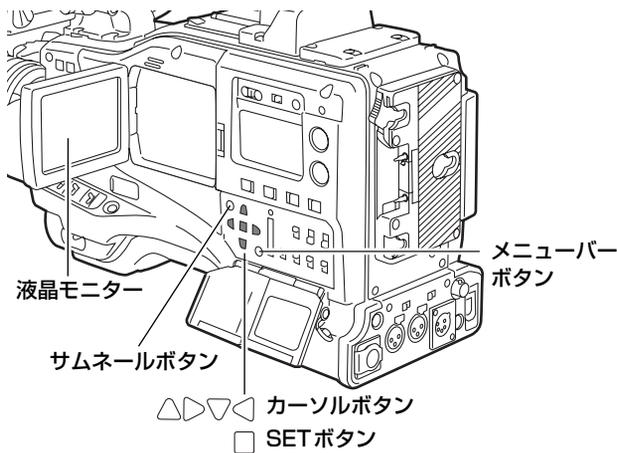
P2 デッキでエディットコピーを行ったクリップに表示されます。エディットコピーについて、詳しくはAJ-SPD850の取扱説明書を参照してください。

## 6-3 サムネールの選択

サムネール画面では、複数のサムネールを任意に選択できます。

- 1 ポインター（黄色い枠）をカーソルボタンで動かして、選択したいクリップに合わせ、SET ボタンを押します。選択されたクリップのサムネールには青色の枠が表示されます。再度SET ボタンを押すと、選択は解除されます。
- 2 さらに選択したいクリップがある場合は、1の操作を繰り返してください。

選択したクリップのみをサムネール画面に表示し、再生することが可能です。詳しくは「6-5 サムネール表示の切り替え」を参照してください。



## 6-4 クリップの再生

- 1 サムネールボタンを押します。液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、再生したいクリップに合わせます。
- 3 PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ポインターが合わされたクリップが、液晶モニター上で再生されます。カーソルが合わされたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが撮影時刻順に再生され、最後のクリップの再生が終わった時点でサムネール画面に戻ります。

### <ノート>

- クリップを再生する際は、クリップを選択する（サムネールに青色の枠が表示された状態にする）必要はありません。
  - クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。
- 4 クリップの再生中に、REW ボタンを押すと4倍速逆再生、FF ボタンを押すと4倍速再生を行います。通常の再生に戻すにはPLAY/PAUSE ボタンを押します。

- 5 クリップの再生中に、PLAY/PAUSE ボタンを押すと再生を一時停止します。再生の一時停止中、REW ボタンを押すと、そのクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。さらにREW ボタンを押すと、一つ前のクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。再生の一時停止中、FF ボタンを押すと一つ後のクリップの先頭で、再生を一時停止した状態になります。
- 6 クリップの再生中にSTOP ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。

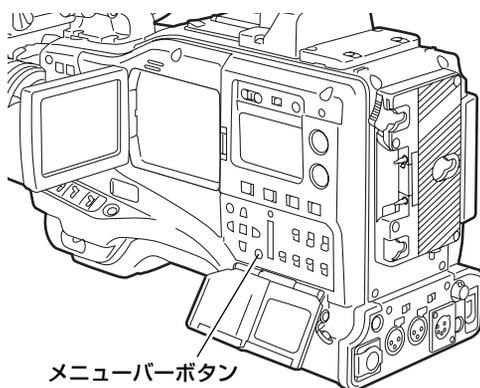
### <ノート>

再生を停止時、ポインターは再生開始時の位置にかかわらず、再生していたクリップのサムネールに合わされています。ただし、THUMBNAIL ボタンを押してサムネール画面を閉じると、それまで表示していたポインタ位置のクリップではなく、先頭の（全クリップ中、記録日時が最も早い）クリップにポインターは合わされます。

## 6-5 サムネール表示の切り替え

サムネール画面に表示されるクリップを、特定の条件に当てはまるクリップのみに切り替えることができます。

- 1 サムネールボタンを押します。  
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 メニューバーボタンを押します。ポインターがメニューバーに移動します。



- 3 ポインターをTHUMBNAILに合わせ、SETボタンで選択すると、サブメニューが表示されます。それぞれの項目を選択して、サムネール表示を切り替えることができます。



### ALL CLIP:

すべてのクリップを表示します。

### SELECTED CLIPS:

任意に選択したクリップを表示します。

### MARKED CLIPS:

ショットマークが付加されたクリップを表示します。

### VOICE MEMO CLIPS:

ボイスメモデータがあるクリップを表示します。

### SLOT CLIPS:

特定のスロットに挿入された P2 カードに記録されたクリップを表示します。  
この項目を選択すると、さらにサブメニューとして SLOT1 から SLOT5 が表示されますので、表示したいスロットを選択します。

### SETUP:

この項目については「6-16 サムネールの表示設定」を参照してください。

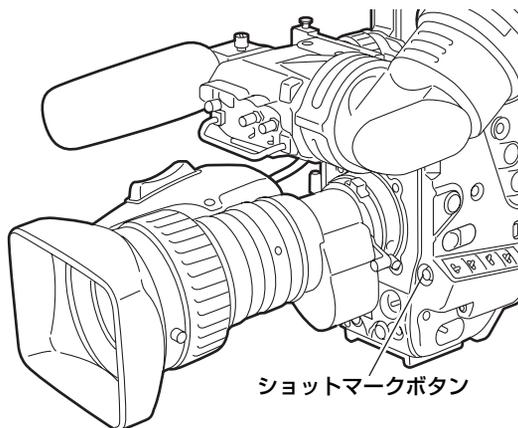
### EXIT:

サブメニューを閉じます。

## 6-6 ショットマーク

本機は、他のクリップと区別するために、クリップのサムネールにショットマークを付加することができます。

- 1 サムネールボタンを押します。  
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、ショットマークを付加したいクリップに合わせます。
- 3 ショットマークボタンを押します。



- 4 ポインターが合わされたクリップのサムネールに、ショットマークが付加されます。  
ショットマークを削除するには、もう一度ポインターを合わせてショットマークボタンを押します。

### <ノート>

- ショットマークは記録中にも付加することができます。詳しくは「3-11 ショットマーク機能」を参照してください。
- 複数のP2カードにまたがるクリップに、ショットマークを付加 / 削除する場合、そのクリップが記録されたすべてのP2カードを挿入した状態で行ってください。

## 6-7 ボイスメモ

ボイスメモとは、記録時の音声とは別に、独立してクリップに付加できる音声データです。

### <ノート>

ボイスメモは記録中にも付加することができます。詳しくは「3-10 ボイスメモ機能」を参照してください。

### 6-7-1 ボイスメモの再生

- サムネールボタンを押します。  
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- メニューバーボタンを押します。ポインターがメニューバーに移動します。
- メニューバーから THUMBNAIL → VOICE MEMO CLIPS を選択します。  
液晶モニター上段には、ボイスメモが付加されたクリップのサムネールが表示されます。液晶モニター下段には、ポインターで選択されているクリップのボイスメモに関する情報が表示されます。



サムネール表示部

クリップに付加されたボイスメモの総数を表示

ボイスメモが関連付けられた静止画像を表示

- ポインターを、再生したいボイスメモのあるクリップに合わせ、SETボタンを押します。  
ポインターが液晶モニター下段に移ります。



ポインターが移動します。

- カーソルボタンの左右 (<I>) で、ポインターを再生したいボイスメモが関連付けられた静止画像に合わせ、SETボタンを押します。

- ボイスメモが再生されます。  
ボイスメモの再生中は、液晶モニター、ビューファインダー、ビデオ出力の映像は、ボイスメモが関連付けられた静止画像になります。  
ボイスメモの再生を途中で停止するときは、STOPボタンを押します。

- ボイスメモの再生を終了し、サムネール表示部にポインターを戻すには、メニューバーボタンを押してメニューバーにポインターを移動させ、EXITを選択してください。

### <ノート>

ボイスメモの再生音声は、本機のスピーカーと PHONES 端子に出力されます。AUDIO OUT 端子からは出力されません。

6

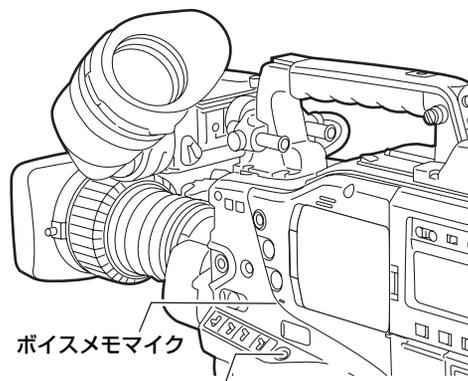
### 6-7-2 ボイスメモの記録

サムネール表示中に、ポインターを合わせたクリップにボイスメモを付加することができます。

- サムネールボタンを押します。  
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- ポインターをカーソルボタンで動かして、ボイスメモを付加したいクリップに合わせます。
- ボイスメモボタンを押し、ボイスメモマイクからボイスメモを記録します。  
画面上部に“VOICE REC”と表示されます。

### <ノート>

- サムネール表示中にボイスメモを付加すると、そのボイスメモは、クリップの先頭静止画像に関連付けられます。詳しくは「3-10 ボイスメモ機能」を参照してください。
- クリップを再生中にボイスメモを記録しているとき、電源が急にOFFになると、クリップには影響がありませんが、ボイスメモは記録されません。



ボイスメモマイク

ボイスメモボタン

- もう一度ボイスメモボタンかSTOPボタンを押して、記録を終了します。

### 6-7-3 ボイスメモの削除

- 1 「6-7-1 ボイスメモの再生」の1~4の操作を行い、クリップ内のボイスメモを選択します。
- 2 削除したいボイスメモにポインターを合わせ、メニューバーボタンを押します。ポインターがメニューバーに移動します。
- 3 メニューバーからOPERATION→DELETEと選択します。本当に削除するか、YES/NOで確認してきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。ボイスメモが消去されます。

### 6-8 クリップの削除

- 1 サムネイルボタンを押します。液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、削除したいクリップに合わせます。SETボタンを押して、クリップを選択します。
- 3 メニューバーボタンを押し、メニューバーからOPERATION→DELETEと選択します。
- 4 下の画面が表示されますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。



- 5 クリップが削除されます。このとき選択された（青色の枠で囲まれた）クリップはすべて削除されます。

#### <ノート>

SETボタンを押すと、途中で削除を中止できます。

### 6-9 クリップの修復

記録中、急に電源が切れる、またはアクセス中のP2カードを取り出したなどの原因で発生した、不具合のあるクリップを修復します。

#### <ノート>

修復が可能なのは、黄色い不良クリップインジケータがついたクリップのみです。赤い不良クリップインジケータがついたクリップは削除してください。削除できない場合はP2カードをフォーマットしてください。

ただし修復中に、不良クリップインジケータが黄色から赤色になり、修復ができない場合があります。

- 1 サムネイルボタンを押します。液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、修復したいクリップ（不具合のあるクリップには不良クリップマークが表示されています）に合わせます。SETボタンを押して、クリップを選択します。
- 3 メニューバーボタンを押し、メニューバーからOPERATION→REPAIR CLIPと選択します。
- 4 本当に修復を行うか聞いてきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。

#### <ノート>

- LOOP REC中にP2カードを抜いてできた不完全クリップは、元の連結したクリップを構成する全てのクリップをそろえていない場合、修復できません。
- ボイスメモ記録を行っている最中に不具合が発生した場合、このクリップを修復すると、記録中のボイスメモは削除されることがあります。

### 6-10 不完全クリップの連結

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップ（連結したクリップ）がカードごとに別々にコピーされるなどで、それぞれが不完全クリップになることがあります。このとき連結機能を使って、1つのクリップ（元の連結したクリップ）にすることができます。

- 1 サムネイルボタンを押します。液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 2 カーソルボタンとSETボタンで、連結する不完全クリップを選択します。通常、不完全クリップ（表示のついたクリップ）のサムネイルは並んで表示されています。
- 3 メニューバーボタンを押し、メニューバーからOPERATION→RE-CONNECTIONと選択します。
- 4 本当に連結を行うか聞いてきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。

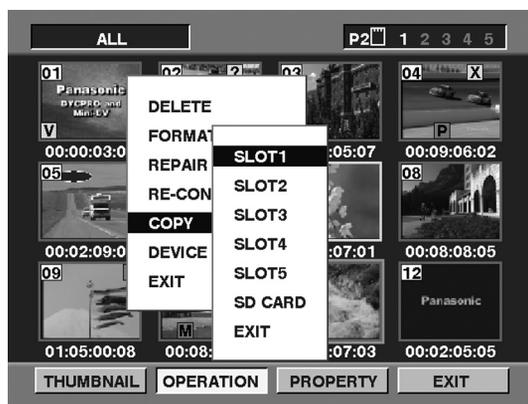
#### <ノート>

一部のクリップだけ連結しても、元の連結したクリップを構成するすべてのクリップがそろわない場合は、表示がついたままになります。

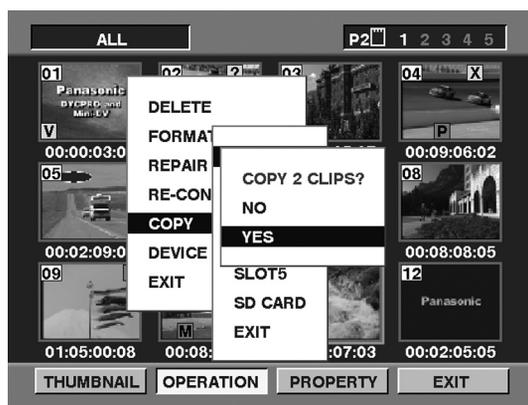
## 6-11 クリップのコピー

クリップを選択し、任意のロットのP2カードやSDメモリーカードにコピーすることができます。

- 1 サムネールボタンを押します。  
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、コピーしたいクリップに合わせ、SETボタンを押してクリップを選択します。
- 3 メニューバーボタンを押し、メニューバーからOPERATION→COPYと選択します。  
コピー先としてロット1～5、またはSDメモリーカードを選択します。



- 4 本当にコピーを行うか聞いてきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。



### <ノート>

- コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差しをしたりしないでください。誤って上記のような動作を行った場合、不良クリップができますので、削除してから、再度コピーを行ってください。
- P2カードへのコピーは、クリップの情報がすべてコピーされますが、SDメモリーカード\*1へのコピーは映像・音声情報はコピーされず、サムネール、クリップメタデータ、アイコン、ボイスメモ、プロキシ、リアルタイムメタデータのみのコピーとなります。
- コピー先の記憶容量が不足している場合、“LACK OF REC CAPACITY”と表示され、コピーは行われません。コピーするクリップに不良クリップが含まれている場合は“CANNOT ACCESS”と表示され、コピーは行われません。また選択したクリップの中に、コピー先のP2カードと同一のカードに記録されたものが含まれる場合もコピーは行われません。
- 途中でコピーを中止する場合は、SETボタンを押してください。コピー先でコピー中だったクリップは削除されます。
- コピー先に同一のクリップが存在するときは“OVER WRITE?”と表示されます。重ね書きを行う場合はYESを、行わない場合はNOを選択してください。

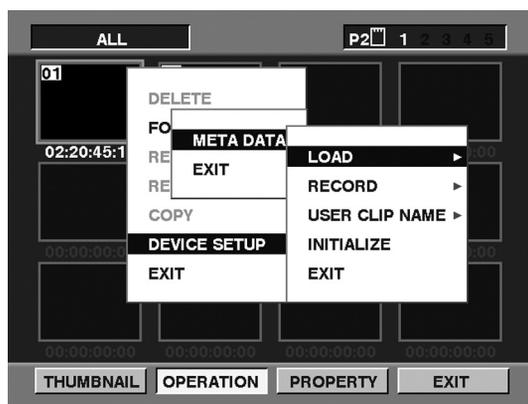
\*1 使用するSDメモリーカードについては<SDメモリーカード 使用上の注意> (19 ページ) を参照してください。

## 6-12 クリップメタデータの設定

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報をSDメモリーカードから読み込んで、クリップメタデータとして記録することができます。

### クリップメタデータの読み込み（メタデータアップロード）

- 1 クリップメタデータを記述したファイル（メタデータアップロードファイル）が入ったSDメモリーカードを本機に挿入します。
- 2 サムネールボタンを押します。  
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。  
**<ノート>**  
サムネール画面が表示されている状態で、MODE CHECK ボタンとMENU BAR ボタンを同時に押しすと手順5へ移ります。
- 3 メニューバーボタンを押します。ポインターがメニューバーに移動します。
- 4 メニューバーから OPERATION → DEVICE SETUP → META DATA → LOAD と選択し、SET ボタンを押します。



- 5 SDメモリーカードにあるメタデータアップロードファイルのファイル名が表示されます。カーソルボタンで読み込むファイルを選択してYESを選択すると、読み込みが開始されます。  
読み込んだメタデータは電源をOFFにしても保持されます。  
読み込んだデータの確認は「6-17-4 メタデータアップロードの確認」を参照してください。

### クリップメタデータ項目

クリップメタデータには下記の項目があります。下線の入った項目は、SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は、撮影時に自動的に設定されます。メタデータアップロードファイルは、パーソナルコンピュータ上でP2ビューア最新アップデート版を使用することで、SDメモリーカードに書き込むことができます。P2ビューア最新アップデート版は下記のURLからパーソナルコンピュータにインストールしてください。

<http://panasonic.biz/sav/>

また、使用するSDメモリーカードについては <SDメモリーカード使用上の注意>（19ページ）を参照してください。

#### <ノート>

P2ビューア以外で編集したファイルは、「UNKNOWN DATA」と表示され、読み込めない場合があります。

#### GLOBAL CLIP ID:

クリップの撮影状態を示すグローバルクリップIDを表示します。

**VIDEO:** [FRAME RATE]（クリップのフレームレート）、[PULL DOWN]（プルダウン方式）、[ASPECT RATIO]（アスペクト比）を表示します。

**AUDIO:** [SAMPLING RATE]（記録音声のサンプリング周波数）、[BITS PER SAMPLE]（記録音声の量子化ビット数）を表示します。

#### USER CLIP NAME:

ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。\*1

**ACCESS:** [CREATOR]（クリップの収録者名）、[CREATION DATE]（クリップの収録日時）、[LAST UPDATE DATE]（クリップの最終更新日）、[LAST UPDATE PERSON]（クリップの最終更新者）を表示します。

**DEVICE:** [MANUFACTURER]（収録した機材のメーカー名）、[SERIAL NO.]（収録した機材のシリアルナンバー）、[MODEL NAME]（収録した機材のモデル名）を表示します。

**SHOOT:** [SHOOTER]（撮影者名）、[START DATE]（撮影開始日時）、[END DATE]（撮影終了日時）、[LOCATION] ALTITUDE/LONGITUDE/LATITUDE/SOURCE/PLACE NAME（撮影地の高度/経度/緯度/それらを得た情報源/場所の名前）を表示します。

#### SCENARIO\*2:

[PROGRAM NAME]（番組名）、[SCENE NO.]（シーンナンバー）、[TAKE NO.]（テイクナンバー）を表示します。

**NEWS:** [REPORTER]（リポーター名）、[PURPOSE]（取材目的）、[OBJECT]（取材対象）を表示します。

**MEMO\*3:** [OFFSET]（テキストメモが付加されるクリップ先頭からのフレーム位置）、[PERSON]（クリップに付加されたテキストメモの記録者）、[TEXT]（テキストメモの内容）を表示します。なお、本機で記録できるテキストメモは、1つのクリップに1つだけです。

- \*1 USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。
- \*2 SCENARIO を入力するときは PROGRAM NAME を必ず入力してください。SCENE NO.、TAKE NO. のみの記録はできません。
- \*3 MEMO を入力するときは TEXT を必ず入力してください。PERSON、OFFSET のみの記録はできません。

<ノート>

本機では、印刷可能なASCII文字のみ表示が可能です。

読み込んだメタデータの記録する/しないを設定

メニューバーから OPERATION → DEVICE SETUP → META DATA → RECORD 項目で ON/OFF を設定します。

USER CLIP NAME の記録方法の選択

メニューバーから OPERATION → DEVICE SETUP → META DATA → USER CLIP NAME 項目で、USER CLIP NAME の記録方法を、TYPE1 と TYPE2 の二通りから選択することができます。

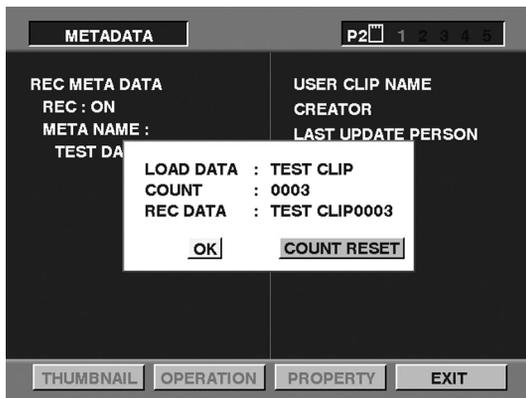
● TYPE1

	記録される USER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	GLOBAL CLIP ID と同じ (UMID データ)

● TYPE2

	記録される USER CLIP NAME
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ + COUNT 値*
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	CLIP NAME と同じ

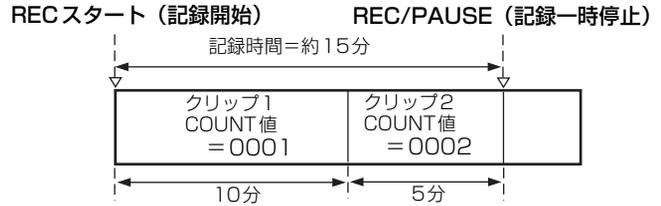
\* COUNT 値は、4桁の数字で表示されます。COUNT 値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ記録方法をTYPE2に設定した状態のとき、撮影を行って新しいクリップを生成するごとに、1ずつ増えます。またCOUNT値は、以下の方法でリセットできます。メニューバーからPROPERTY→DEVICE→META DATAと選択し、さらにUSER CLIP NAME項目を選択すると、下記の画面が表示されます。「COUNT RESET」にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと、COUNT 値が1にリセットされます。



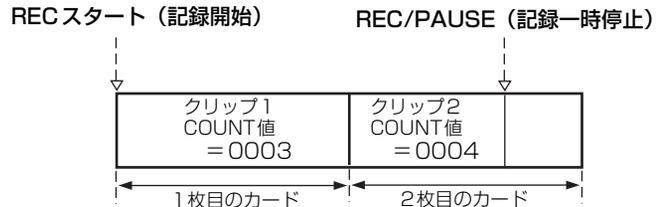
<ノート>

本機で8GB以上のP2カードを使用し、1回の連続記録時間が一定時間(DVCPRO50時:約10分/DVCPROまたはDV時:約20分)を超える場合、また1回の記録が複数のP2カードにまたがって行われた場合、自動的に別のクリップとして記録されます。このとき、COUNT 値はそれぞれのクリップにつけられます。

P2カード1枚での記録(DVCPRO50)の例



P2カード2枚にまたがって記録する例



なお、P2機器で上記例のようなクリップのサムネール表示、およびプロパティ表示を行った場合、クリップ1のサムネールおよびCOUNT値が表示されます。

読み込んだメタデータのクリア

メニューバーから OPERATION → DEVICE SETUP → META DATA → INITIALIZE と選択し、SET ボタンを押します。確認画面が表示されますので YES を選択します。

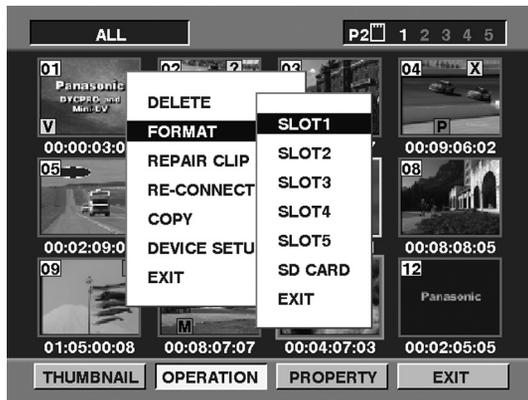
6-13 プロキシ機能の設定 (オプション)

ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) をオプションスロット、またはスロット5に装着すると、プロキシ記録に関する設定を行うことができます。本機の電源がONの状態ではビデオエンコーダーカードを挿入しても認識されません。本機の電源をOFFにしてから、ビデオエンコーダーカードを装着してください。設定は、メニューバーから OPERATION → DEVICE SETUP → PROXY と選択し、行います。設定内容は、ビデオエンコーダーカードの取扱説明書を参照してください。

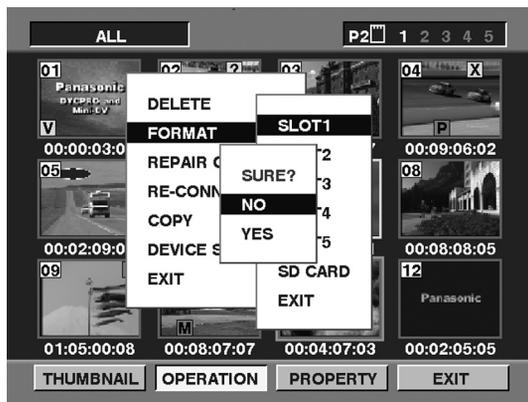


## 6-14 P2カードのフォーマット

- サムネールボタンを押します。  
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- メニューバーボタンを押します。ポインターがメニューバーに移動します。
- メニューバーから OPERATION → FORMAT と選択します。  
下記のような画面が表示されますので、フォーマットしたいP2カードが挿入されたスロット番号を選び、選択します。  
フォーマットしない場合はEXITを選択してください。



- 下記の画面が表示されますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。

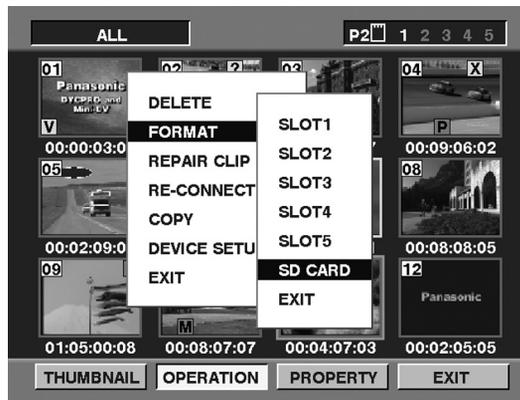


- 選択したP2カードがフォーマットされます。

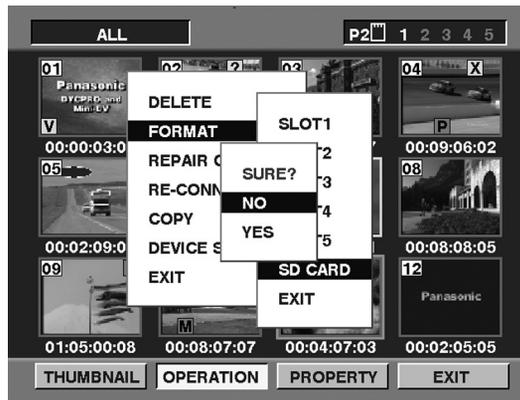
## 6-15 SDメモリーカードのフォーマット

サムネール画面から、SDメモリーカードをフォーマットすることもできます。本機にSDメモリーカードを挿入した状態で、以下の作業を行ってください。

- サムネールボタンを押します。  
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- メニューバーボタンを押します。ポインターがメニューバーに移動します。
- メニューバーから OPERATION → FORMAT と選択します。  
下記のような画面が表示されますので、“SD CARD”を選び、選択します。  
フォーマットしない場合は“EXIT”を選択してください。



- 下記の画面が表示されますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。



- SDメモリーカードがフォーマットされます。

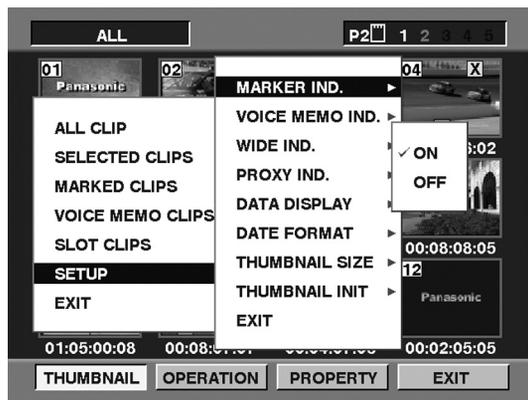
### <ノート>

SDメモリーカードは、メニュー画面からフォーマットすることもできます。詳しくは「4-10-2 SDメモリーカードの操作」を参照してください。

## 6-16 サムネールの表示設定

用途に合わせ、サムネールの表示方法をカスタマイズすることができます。

- 1 サムネールボタンを押します。  
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 メニューバーボタンを押します。ポインターがメニューバーに移動します。
- 3 メニューバーから THUMBNAIL → SETUP と選択します。  
下記のような画面が表示されます



### MARKER IND. :

ショットマークインジケータの表示 / 非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

### VOICE MEMO IND. :

ボイスメモインジケータの表示 / 非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

### WIDE IND. :

ワイドインジケータの表示 / 非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

### PROXY IND. :

プロキシインジケータの表示・非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

### DATA DISPLAY:

クリップの時間表示の部分、タイムコード (TC) / ユーザーズビット (UB) / 撮影時刻 (TIME) / 撮影日 (DATE) / 撮影日および時刻 (DATE TIME) のいずれかから選択できます。工場出荷時はタイムコードに設定されています。

### DATE FORMAT:

記録日時の表示順を、年月日 (YMD) / 月日年 (MDY) / 日月年 (DMY) のいずれかから選択できます。工場出荷時は年月日に設定されています。

この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、および DATA DISPLAY で DATE を選択したときに表示される記録日時に反映します。

### THUMBNAIL SIZE:

1 画面に表示されるサムネールを、LARGE (サムネールを 3 × 2 で表示) / NORMAL (サムネールを 4 × 3 で表示) のいずれかから選択できます。工場出荷時は NORMAL に設定されています。

### THUMBNAIL INIT:

上記サムネールの表示設定を、工場出荷状態にします。カーソルをこの項目にあわせ、SET ボタンを押します。確認画面が表示されますので YES を選択します。

### EXIT:

1 つ前のメニューに戻ります。

## 6-17 プロパティ

クリップのプロパティ、P2カードの状態を表示します。

### 6-17-1 クリップのプロパティ

メニューバーからPROPERTY→CLIP PROPERTYを選択します。下記のような画面が表示されます



#### 1 クリップ番号

#### 2 サムネール

#### 3 クリップ情報

クリップに付加された各種インジケータや、付加されたボイスメモの数を表示します。

また、クリップが記録されたP2カードに、ライトプロテクトがかかけられているとき、マークが表示されます。

#### 4 スロット番号

#### 5 クリップ情報

クリップに関するさまざまな情報が表示されます。

##### CLIP NAME:

クリップ名を表示します。

##### START TC:

記録開始時のタイムコードの値を表示します。

##### START UB:

記録開始時のユーザーズビットの値を表示します。

DATE: 記録した日付を表示します。

TIME: 記録開始時の時刻を表示します。

##### DURATION:

クリップの長さを表示します。

CODEC: クリップの記録フォーマットを表示します。

#### 6 クリップメタデータ

クリップに関する、より詳しいデータを表示します。ポインターをカーソルボタンで動かして、SET ボタンを押して詳しい内容を確認できます。表示されるメタデータについて、詳しくは「6-12 クリップメタデータの設定」を参照してください。

## 6-17-2 P2カードの状態表示

### P2カードの状態表示設定

メニューバーからPROPERTY→CARD STATUSと選択することで表示されるP2カードの状態表示を、P2カードの記録残量で表示するか使用容量で表示するか選択できます。

- 1 サムネールボタンを押します。  
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 メニューバーボタンを押します。ポインターがメニューバーに移動します。
- 3 メニューバーからPROPERTY→PROPERTY SETUP→P2 CARD CAPと選択します。  
下記のような画面が表示されますので、P2 CARD CAP項目より、P2カードの状態表示の設定を選択します。



#### REMAIN:

P2カードの状態表示を、P2カードの記録残量で表示します。

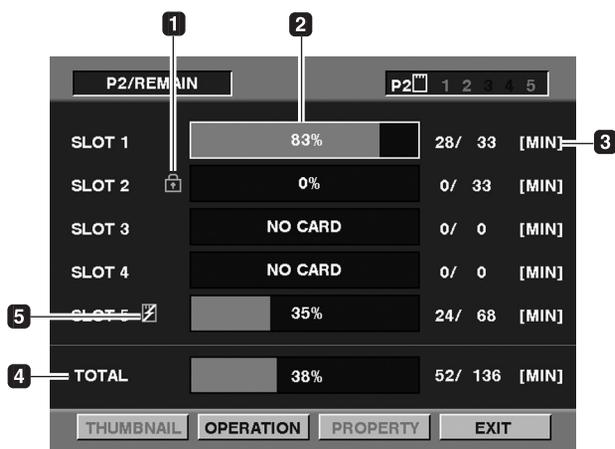
#### USED:

P2カードの状態表示を、P2カードの使用容量で表示します。

## P2カードの状態表示設定内容

メニューバーからPROPERTY→CARD STATUSと選択します。下記のような画面が表示されます。

REMAINを選択した場合:



### 1 書き込み禁止マーク

P2 カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

### 2 P2カード状態（記憶残量）

P2カードの記憶残量を、メーターとパーセントで表示します。記憶残量が減るとともに、メーターが左に減っていきます。またカードの状態によって、以下のような表示になります。

#### FORMAT ERROR:

フォーマットされていない P2 カードが挿入されています。

#### NOT SUPPORTED:

本機に対応していないカードが挿入されています。

#### NO CARD:

P2カードが挿入されていません。

また、カーソルボタンでデータを見たいP2カードにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カード詳細情報が表示され、シリアル番号やユーザー IDなどの固有情報を確認できます。

### 3 P2カード残量/総容量

P2カードの記憶残量/総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの記憶残量の合計と総容量が一致しないことがあります。

### 4 スロット記憶残量合計

5つのスロットの記憶残量を総合計した数値を表示します。ただし、ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

### 5 警告カードマーク

P2カードが以下である場合に マークを表示します。

#### RUN DOWN CARD:

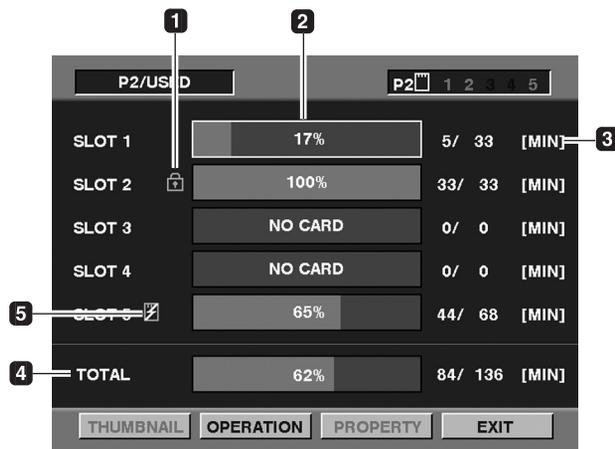
カードの書き換え回数が規格を越えています。

#### DIR ENTRY NG CARD:

ディレクトリの配置が規格に準拠していません。

警告内容は「2.P2カード状態（記憶残量）」のP2カード詳細情報表示で確認できます。

USEDを選択した場合:



### 1 書き込み禁止マーク

P2 カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

### 2 P2カード状態（使用容量）

P2カードの使用容量を、メーターとパーセントで表示します。使用容量が増えるとともに、メーターが右に増えていきます。またカードの状態によって、以下のような表示になります。

#### FORMAT ERROR:

フォーマットされていない P2 カードが挿入されています。

#### NOT SUPPORTED:

本機に対応していないカードが挿入されています。

#### NO CARD:

P2カードが挿入されていません。

また、カーソルボタンでデータを見たいP2カードにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カード詳細情報が表示され、シリアル番号やユーザー IDなどの固有情報を確認できます。

### 3 P2カード使用容量/総容量

P2カードの使用容量/総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの使用容量の合計と総容量が一致しないことがあります。

また、ライトプロテクトがかかっているP2カードの使用容量は、100%使用したものと表示されます。

### 4 スロット使用容量合計

5つのスロットの使用容量を総合計した数値を表示します。

### 5 警告カードマーク

P2カードが以下である場合に マークを表示します。

#### RUN DOWN CARD:

カードの書き換え回数が規格を越えています。

#### DIR ENTRY NG CARD:

ディレクトリの配置が規格に準拠していません。

警告内容は「2.P2カード状態（使用容量）」のP2カード詳細情報表示で確認できます。

### 6-17-3 SDメモリーカードの状態表示

SDメモリーカードのフォーマットの状態や、空き容量などを確認できます。

メニューバーからPROPERTY→DEVICES→SD CARDを選択します。

SD規格準拠のフォーマットの場合

**SD STANDARD: SUPPORTED**

と表示されます。

SD規格に準拠していないフォーマットの場合

**SD STANDARD: NOT SUPPORTED**

と表示されます。この場合、正常な読み出し／書き込みができません。本機でフォーマットを行ってください。SDメモリーカードのフォーマットについては、「6-15 SDメモリーカードのフォーマット」を参照してください。



#### <ノート>

表示されるSDメモリーカードの残量（PROXY REM）はプロキシの記録残量の目安になりますが、実際の空き容量とは異なる場合があります。特にClass表記のあるSDまたはSDHCメモリーカードの場合、短い記録を繰り返すと、記録可能な時間は空き容量に比べ大きく減少することがあります。また残量が999minを超えた場合、999minと表示します。

なお、残量はSDメモリーカードにプロキシ記録を行う設定になっているときのみ表示します。設定方法は、ビデオエンコーダーカード（AJ-YAX800G・別売品）の取扱説明書を参照してください。

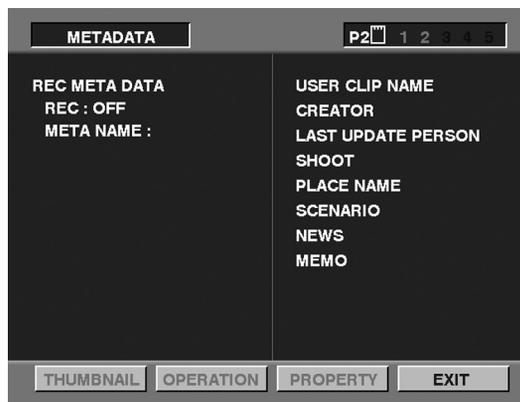
### 6-17-4 メタデータアップロードの確認

SDメモリーカードから読み込んだメタデータアップロードファイルの内容を確認できます。

メニューバーからPROPERTY→DEVICES→META DATAを選択します。下記のような画面が表示されます。

各項目の内容については「6-12 クリップメタデータの設定」を参照してください。

なお、META NAMEは、メタデータアップロードファイル内に書かれているメタデータの名前です。クリップには記録されません。



### 6-17-5 ビデオエンコーダーカードの状態表示（オプション）

ビデオエンコーダーカード（AJ-YAX800G・別売品）を装着して、メニューバーからPROPERTY→DEVICES→PROXYを選択します。

ビデオエンコーダーカードの挿入されているスロットが表示されます。

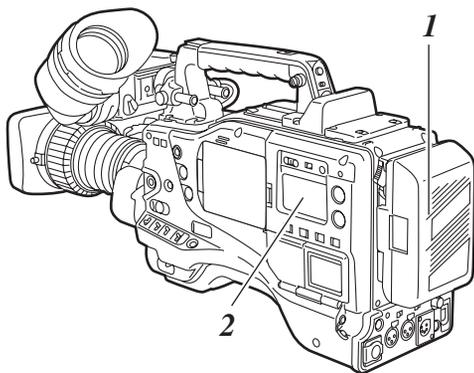
# 第7章 保守・点検

## 7-1 撮影前の点検

撮影に出発する前に次の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。カラービデオモニターを使って画像のチェックをすることをおすすめします。

### 7-1-1 点検の準備

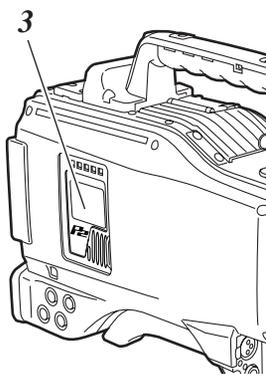
- 1 充電済みのバッテリーパックを取り付けます。
- 2 POWERスイッチをONにし、BATT表示が5個以上点灯していることを確認します。
  - BATT表示が5個以上点灯していないときは、十分に充電したバッテリーと交換します。



- 3 P2カードをカードスロットに挿入し、スライドとびらを閉めます。

P2カードを挿入したカードスロットのP2カードアクセスLEDが、オレンジ色に点灯したか確認します。複数のカードスロットにP2カードを挿入した場合、最初に挿入したP2カードのP2カードアクセスLEDのみがオレンジ色に点灯し、それ以降に挿入したP2カードのP2カードアクセスLEDは、緑色に点灯します。

P2カードを挿入したP2カードスロットのP2カードアクセスLEDが緑色に点滅したままか、あるいは消灯している場合、そのP2カードに記録を行うことはできません。



### 7-1-2 カメラ部の点検

- 1 ズームを電動ズームモードにして、電動ズームの確認をします。

画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 2 ズームを手動ズームモードにし、手動ズームの確認をします。

手動ズームレバーを回し、画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 3 絞りを自動調整モードにし、明るさの違う被写体にレンズを向け、自動絞り調整が働くことを確認します。
- 4 絞りを手動調整モードにし、絞りリングを回し、手動絞りの調整を確認します。
- 5 瞬間絞り自動調整ボタンを押しながら、明るさの違う被写体にレンズを向け、瞬間絞り自動調整機能の確認をします。
- 6 絞りを自動調整モードに戻し、GAINスイッチの設定をL、M、Hと切り替えて次の点を確認します。
  - 設定の切り替えに応じて、同じ明るさの被写体に対し絞りが調整されます。
  - 設定の切り替えに応じて、ビューファインダー画面のゲイン値表示が切り替わります。
- 7 エクステンダ付きのレンズを装着しているときは、エクステンダを使用位置にし、正常に働くことを確認します。

### 7-1-3 メモリー記録部の点検

「1. P2カード記録の点検」から「4. イヤホン、スピーカーの点検」までは連続して行ってください。

#### 1. P2カード記録の点検

- 1** ビューファインダー内の表示で、P2カードの記録残量が充分か確認します。P2カードの記録残量については「P2カード残量/容量表示」(55 ページ)を参照してください。
- 2** TCGスイッチを「R-RUN」にします。
- 3** DISPLAYスイッチを「TC」にします。
- 4** 本機のREC START/STOP ボタンを押し、次の項目を確認します。
  - P2アクセスLEDがオレンジ色に点滅する。
  - ビューファインダー内のRECランプが点灯する。
  - ビューファインダー内にSYSTEM警告が表示されない。
- 5** 本機のREC START/STOPボタンをもう一度押します。P2アクセスLEDがオレンジ色の点灯になり、ビューファインダー内のRECランプが消えることを確認します。
- 6** ハンドル部のRECボタンを使って、**4**~**5**と同じ動作を確認します。レンズのVTR ボタンについても同様に確認します。
- 7** LIGHT ボタンを押し、表示窓の表示が明るくなることを確認します。
- 8** PLAY ボタンを押し、今撮影したクリップが最初から再生されるか確認します。  
記録・再生が正常に動作することを確認します。
- 9** P2カードを複数、P2カードスロットに挿入している場合は、USER MAIN ボタンを押し、記録対象のP2カードを切り替えます。  
**4**~**5**、**8**の動作を行い、記録・再生が正常に動作することを確認します。

#### 2. 音声レベル自動調整機能の点検

- 1** AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「AUTO」にします。
- 2** AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「FRONT」にします。
- 3** MIC IN端子に接続したマイクを適当な音源に向け、CH 1/CH 2 両方のレベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。

#### 3. 音声レベル手動調整機能の点検

- 1** AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「FRONT」にします。
- 2** AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「MAN」にします。
- 3** AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみを回します。  
右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。

#### 4. イヤホン、スピーカーの点検

- 1** MONITORつまみを回し、スピーカーの音量が変わることを確認します。
- 2** イヤホンをPHONES端子に接続します。  
スピーカーからの音が消え、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 3** MONITORつまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認します。

#### 5. 外部マイクを使う場合の点検

- 1** 外部マイクをAUDIO IN CH1、CH2コネクタに接続します。
- 2** AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「REAR」にします。
- 3** 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを、外部マイクの電源供給方式に応じて「MIC」と「+48V」に切り替えます。  
**MIC** : 内部電源供給方式のマイク  
**+48V** : 外部電源供給方式のマイク
- 4** マイクを音源に向け、表示窓の音声レベルメーターやビューファインダー内の音声レベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。  
↑ 本のマイクを各チャンネルに接続して、チャンネルごとに点検することもできます。

## 6. 時計、タイムコード、ユーザーズビットに関する点検

- 1 必要に応じてユーザーズビットを設定します。  
設定のしかたについては「4-5-1 ユーザーズビットの設定」をお読みください。
- 2 タイムコードを設定します。  
設定のしかたについては「4-5-3 タイムコードの設定」をお読みください。
- 3 TCGスイッチを「R-RUN」にします。
- 4 REC START/STOPボタンを押します。  
記録が開始するとともに、カウンター表示部の数値が変わることを確認します。
- 5 再度、REC START/STOPボタンを押します。  
記録が停止し、カウンター表示部の数値が変わらなくなることを確認します。
- 6 TCGスイッチを「F-RUN」にします。  
カウンター表示部の数値が、記録に関係なく変わることを確認します。
- 7 DISPLAYスイッチを「UB」にします。  
HOLDボタンを押すごとにVTCG→DATE→TIME→無表示(タイムゾーン)→TCGの値が表示されるか、またその数値が正確かを確認します。  
DATE、TIME、タイムゾーンが正確でない場合は、「4-5-2 内蔵時計の日付/時刻の設定」を参照して、正しく設定してください。

### <ノート>

DATE、TIME、タイムゾーンの設定による日時データは、クリップに記録され、サムネール操作時の再生順などに影響しますのでご注意ください。

## 7-2 メンテナンス

### 7-2-1 ビューファインダー内のクリーニング

- 汚れを取るとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- レンズを拭くときは、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- ミラーは絶対拭かないでください。ゴミなどが付着しているときは、市販のエアーブローで取り除いてください。

### 7-2-2 CCDカメラ特有の現象について

#### スマア

高輝度の被写体を撮影した場合に発生することがあります。この現象は、電子シャッタースピードが速くなるほど発生しやすくなります。

### 7-2-3 バックアップ電池の交換

バックアップ電池は、すでに取り付けた状態で出荷しています。電池が消耗すると、POWERスイッチをONにしたとき、ビューファインダー画面に「BACK UP BATT EMPTY」の表示が5秒間表示されます。

電池が消耗すると、内蔵された時計が動作しなくなります。また、TCGのタイムコード値が「00:00:00:00」になり、タイムコード値のバックアップができなくなりますので、バックアップ電池の交換が必要です。

販売店にご相談のうえ、新しい電池(CR2032)と交換してください。

なお、バックアップ電池は液晶モニターがある側(正面から見て右側)のパネルを外した裏側にあります。

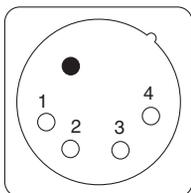
#### <ノート>

電池交換の際は、必ず販売店にご相談ください。

## 7-2-4 コネクタ信号の内容

DC IN	
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V

松下品番 K1AA104H0038  
 メーカー品番 HA16RX-4P (SW1)  
 (ヒロセ電機)

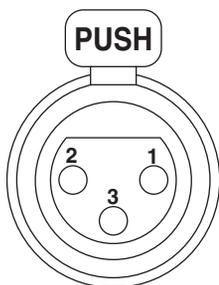


### <ノート>

外部からの供給電源は、極性を正しくご使用ください。

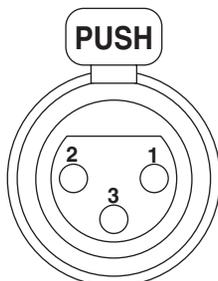
FRONT MIC IN	
1	GND
2	AUDIO IN (H)
3	AUDIO IN (C)

松下品番 K1AB103B0013  
 メーカー品番 NC3FBH2  
 (ノイトレック)



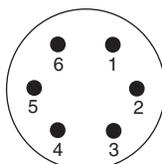
AUDIO IN	
1	GND
2	AUDIO IN (H)
3	AUDIO IN (C)

松下品番 K1AB103A0007  
 メーカー品番 HA16PRM-3SG  
 (ヒロセ電機)



GPS	
1	GPS TXA
2	GPS RXA
3	GPS VBAT
4	START
5	GPS VCC
6	GPS GND

松下品番 K1AY106J0001  
 メーカー品番 HR10A-7R-6SC  
 (ヒロセ電機)

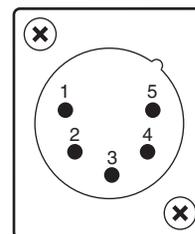


### <ノート>

4番端子には本機のREC START/STOPを割り付けています。

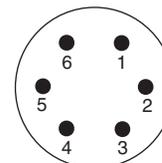
AUDIO OUT	
1	GND
2	L CH OUT (H)
3	L CH OUT (C)
4	R CH OUT (H)
5	R CH OUT (C)

松下品番 K1AA105H0016  
 メーカー品番 HA16RD-5P  
 (ヒロセ電機)



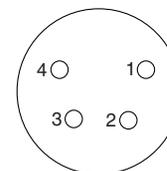
ECU	
1	CAM CONT
2	CAM DATA
3	NC
4	ECU ON
5	UNREG 12V
6	GND

松下品番 K1AY106J0001  
 メーカー品番 HR10A-7R-6SC  
 (ヒロセ電機)



DC OUT	
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V

松下品番 K1AY104J0001  
 メーカー品番 HR10A-7R-4SC  
 (ヒロセ電機)



## 7-3 警告システム

### 7-3-1 警告内容一覧

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、WARNING ランプ、ビューファインダー内のランプ、およびアラームが異常発生を知らせます。

#### <ノート>

各項目は WARNING ランプ、タリールランプ、アラームの優先順となっていて、同時に複数のエラーが起こった場合、順位が上のものが表示されます。ただし「WIRELESS RF」はメニュー設定により、表示されない場合があります。

#### 1. システムエラー

表示窓内の表示	エラーコードが点灯します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリールランプ	1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	SYSTEM ERROR 表示とエラーコードが点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	基準信号や通信の異常です。
記録・再生の動作	停止します。
対 策	「7-3-2 エラーコード」を確認し、販売店にご相談ください。

#### 2. カード取り出し異常

表示窓内の表示	エラーコードE-30が点灯します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリールランプ	1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“TURN POWER OFF” 表示が点滅します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	アクセス中のP2カードを取り出したため、本機の内部メモリーに異常が発生しています。
記録・再生の動作	動作できません。
対 策	本機の電源を切ってください。取り出したP2カードのクリップに異常がある場合は、修復を行ってください。

#### 3. バッテリーエンド

表示窓内の表示	バッテリー残量を示すバー表示が7つとも点滅します。
WARNINGランプ	点灯します。
タリールランプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT LEDが点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗です。
記録・再生の動作	停止します。
対 策	バッテリーを交換します。

#### 4. ライトプロテクト

表示窓内の表示	MEDIA 残量バーが7つとも点滅します。
WARNINGランプ	何らかの操作を行うまで点灯し続けます。
タリールランプ	何らかの操作を行うまで1秒間に4回点滅し続けます。
ビューファインダー	“WP” 表示が点滅します。
アラーム	何らかの操作を行うまで連続して鳴り続けます。
警告内容	挿入されているP2カードがライトプロテクトされています。
記録・再生の動作	記録できません。
対 策	ライトプロテクトを解除するか、P2カードを交換してください。

#### 5. P2カードエンド

表示窓内の表示	MEDIA 残量バーが7つとも点滅します。
WARNINGランプ	何らかの操作を行うまで点灯し続けます。
タリールランプ	何らかの操作を行うまで1秒間に4回点滅し続けます。
ビューファインダー	“END” 表示が点滅します。
アラーム	何らかの操作を行うまで連続して鳴り続けます。
警告内容	P2カードの記録容量がなくなりました。
記録・再生の動作	記録を停止します。
対 策	P2カード内のクリップを消去するか、新しいP2カードを挿入してください。

#### 6. 記録異常

表示窓内の表示	タイムコード表示部に“00:00:00:11”と表示されます。記録停止後も、次の操作を行うまで点滅し続けます。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
タリールランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“REC WARNING” 表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	P2カード記録、または記録回路の設定の異常です。1枚のP2カードにクリップ総数の上限(1000個)を超えて記録しようとした場合などに表示します。
記録・再生の動作	記録を継続する場合と、停止する場合があります。
対 策	一度電源をOFFにし、再びONにしてから記録/再生の確認を行ってください。正常に記録できない場合はP2カードを交換してください。

## 7. ワイヤレス受信低下

表示窓内の表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。(待機中、記録中)
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	記録を継続中は“WIRELESS RF”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	ワイヤレスオーディオの受信状態が悪いことを示します。
記録・再生の動作	動作を継続しますが、ワイヤレスマイク受信ができていません。
対 策	マイクの電源や、レシーバーの受信状態をチェックしてください。

## 8. 1394 (AJ-YAD800G装着時)

表示窓内の表示	1394 E-**の表示が点灯します。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	エラーコード92の場合、1394 INITIAL ERROR表示が点灯します。(待機中、記録中) エラーコード92以外のときや、メニュー設定のREC SIGNAL項目で“1394”の場合、ビューファインダーにエラー表示をしません。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	DVCPRO/DV端子の信号異常です。
記録・再生の動作	動作を継続しますが、DVCPRO/DV端子に入力されている信号に異常があります。
対 策	IEEE1394 ケーブルと、DVCPRO/DV 端子の接続状態、外部機器やメニューの設定などを確認して、電源を再投入してください。 警告表示が消えない場合は、IEEE1394 インターフェイスボード (AJ-YAD800G・別売) の取扱説明書の「エラーコード」を確認し、販売店にご相談ください。

## 9. バッテリーニアエンド

表示窓内の表示	バッテリー残量を示すバー表示のうち1つが点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT LEDが点滅します。
アラーム	1秒間に4回鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗間近です。
記録・再生の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、バッテリーを交換します。

## 10. P2カードニアエンド

表示窓内の表示	MEDIA 残量バーのうち1つが点滅します。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	P2カード残量表示が点滅します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に1回鳴ります。
警告内容	すべてのP2カードの記憶残量の合計が残り2分以下です。
記録・再生の動作	動作を継続します。
対 策	カードを交換します。カードスロットに空きがある場合は新しいカードを挿入してください。

## 11. P2カードエラー

表示窓内の表示	記録時に発生すると、タイムコード表示部に“00:00:00:11”と表示されます。記録停止後も、次の操作を行うまで点滅し続けます。再生時に発生した場合は、表示されません。
WARNINGランプ	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間点滅します。再生時に発生した場合は、点灯しません。
タリーランプ	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間点滅します。再生時に発生した場合は、点灯しません。
ビューファインダー	“CARD ERR *”表示が点滅します。*には、エラーが発生したP2カードのスロット番号が表示されます。
アラーム	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間鳴ります。再生時に発生した場合は、鳴りません。
警告内容	記録または再生中に、P2カードのエラーが発生しました。
記録・再生の動作	停止します。停止後は、エラーが発生したP2カードはライトプロテクト状態になっています。
対 策	P2カードを交換してください。

## 7-3-2 エラーコード

何らかの原因で本機にエラーが発生したときには、表示窓のタイムコード表示部に下記のエラーコードを表示します。警告の種類を確認し、「7-3-1 警告内容一覧」の内容にしたがって対処してください。

コード No.	内 容	警告の種類
E-11	ビデオ初期化異常	1. システムエラー
E-27	記録制御の異常	1. システムエラー
E-30	P2カードの取り出し異常	2. カード取り出し異常
E-34	LCDマイコンの異常	1. システムエラー
E-38	P2ストリームマイコンの異常	1. システムエラー
E-3F	カメラ部制御のマイコンの異常	1. システムエラー
E-6F	基準信号の異常	1. システムエラー
00:00:00:11	P2カードへの記録異常	6. 記録異常、11. P2カードエラー

## 7-3-3 カード警告コード

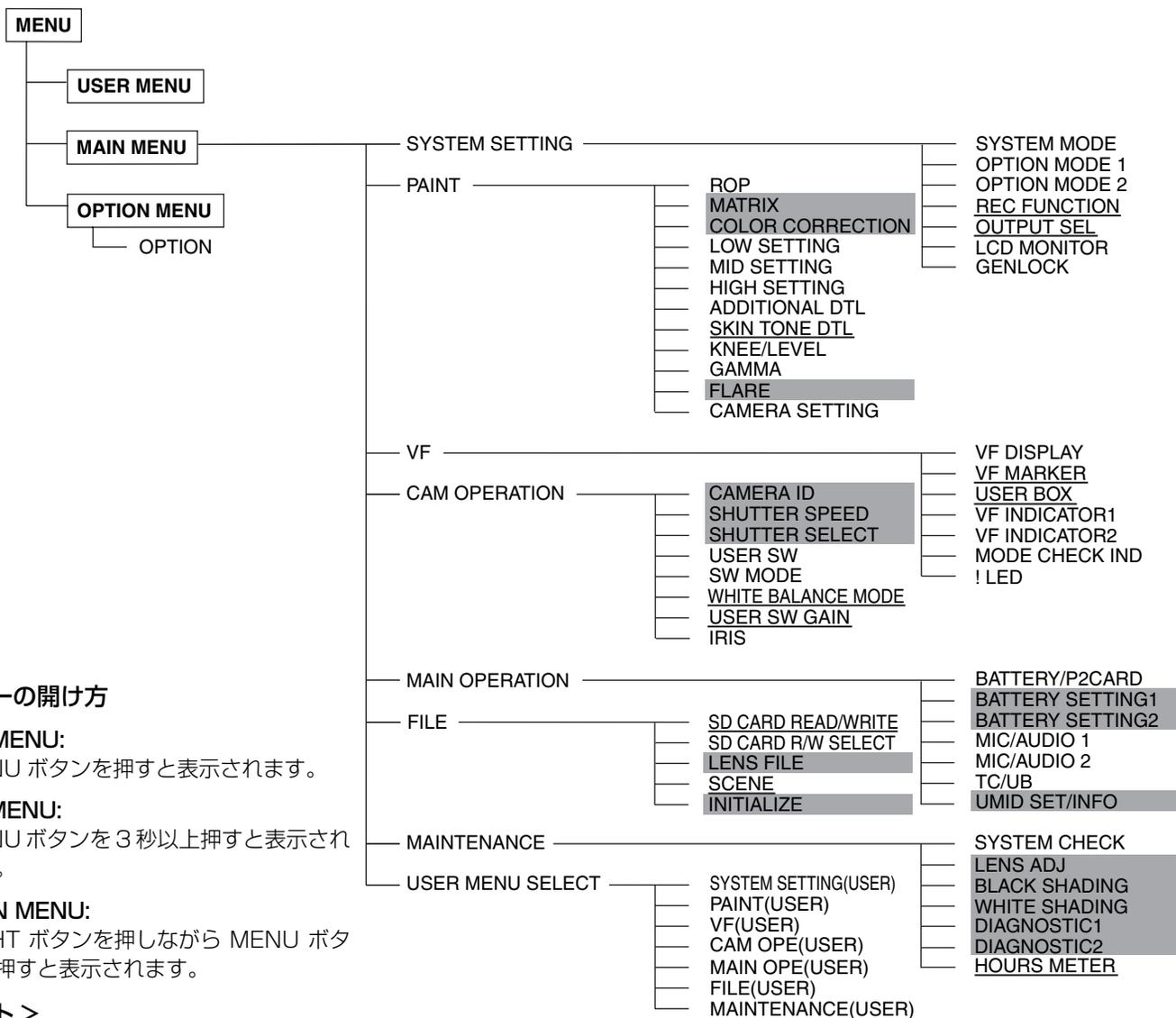
コード No.	内 容	記録動作	表示窓内の表示
E-70	ディレクトリの配置が規格に準拠していないP2カードが挿入されています。(ビューファインダーには「DIR NG CARD (スロット番号)」と表示します)	各種記録動作は動作しますが、正常に記録できないことがあります。速やかに本機でフォーマットを行ってください。	表示窓のタイムコード表示部に警告コードを2秒に1回の点滅で表示します。
E-71	書き換え回数が規格を超えたP2カードが挿入されています。(ビューファインダーには「RUN DOWN CARD (スロット番号)」と表示します)	各種記録動作は動作しますが、正常に記録できないことがあります。交換をお勧めします。	

### 7-3-4 サムネール操作での警告/エラー表示

メッセージ	内容	対応
CANNOT ACCESS!	コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。	メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。
WRITE PROTECTED!	P2、SDカードがライトプロテクトされています。	書き込み可能なメディアを挿入してください。
CARD FULL!	P2、SDカードが一杯です。	空き領域のあるメディアを挿入してください。
NO CARD!	P2、SDカードが入っていません。	対応メディアを挿入してください。
CANNOT FIND FILE!	指定されたファイルが存在していません。	ファイルを確認してください。
CANNOT COPY!	コピーができません。	コピーの条件を確認してください。
CANNOT DELETE !	コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
CANNOT FORMAT!	P2カードなどの問題でフォーマットができません。	P2カードを確認してください。
CANNOT REPAIR!	修復できないコンテンツを選んでいるなどで修復ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
CANNOT RE-CONNECT!	複数枚のP2カードにまたがって記録したクリップではないコンテンツを選んでいるなどでクリップの再結合ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
UNKNOWN DATA!	メタデータの文字コードが不正規です。	メタデータの文字コードはUTF-8となっています。ビューアーなどで正しい文字を入力してください。
USER CLIP NAME MODIFIED!	クリップ名にカウンター値を付加するときに文字削除が必要となりました。	カウンター付加の設定でユーザークリップ名とカウンターは合わせて100バイトまでしか保存できませんので、文字を自動的に削除します。
TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップ数を減らしてください。
LACK OF REC CAPACITY!	カードの記録容量が不足しています。	記録容量の十分あるカードを挿入してください。
MISSING CLIP!	複数枚のP2カードにまたがって記録されたクリップに、すべてのP2カードが挿入されていない状態でショットマークをつけようとしています。	またがって記録されたすべてのP2カードを挿入し、クリップの  不完全クリップインジケータを表示しなくなるのを確認してからショットマークをつけてください。

# 第8章 MENU一覧

## 8-1 メニュー構成



### メニューの開け方

#### USER MENU:

MENU ボタンを押すと表示されます。

#### MAIN MENU:

MENU ボタンを3秒以上押すと表示されます。

#### OPTION MENU:

LIGHT ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと表示されます。

### <ノート>

- 設定可能な項目はカメラ関連が3ページ分、14 × 3 = 42項目と、記録関連1ページ分14項目となります。
- 灰色で囲まれた項目は、<USER MENU SELECT> で選択できません。
- 下線のついた項目は、<USER MENU SELECT> で項目全体(1ページ分)でのみ選択できます。各項目別で個別に選択できません。

### メニュー一覧の見方

メニュー変更した内容が、それぞれのデータに記憶、またはデータから読み出しがされるかどうかを示します。  
 ー の場合は、記憶/読み出しできません。

- S** = シーンファイルデータとして記憶/読み出し可能です。
- C** = SD CARD READ/WRITEで記憶/読み出し可能です。
- U** = ユーザーデータとして記憶/読み出し可能です。  
 「8-7-4 SCENE」と「8-7-5 INITIALIZE」を参照してください。
- F** = READ FACTORY DATAで読み出し可能です。  
 「8-7-5 INITIALIZE」を参照してください。
- E** = ECU DATA SAVEで記憶が可能です。  
 「5-9 エクステンションコントローラ (AJ-EC3P) の接続」を参照してください。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
REC SIGNAL	CAM VIDEO 1394	ビデオ入力信号を切り換えます。 <b>CAM:</b> カメラからの信号を記録 <b>VIDEO:</b> GENLOCK IN端子からの信号を記録 <b>1394:</b> 1394入力の信号を記録します。 (AJ-YAD800G・オプション装着時)
C U F E		

この項目の設定値の可変範囲や、選択できる設定項目を示します。

この項目で設定できる内容の説明です。

## 8-2 SYSTEM SETTING

### 8-2-1 SYSTEM MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
REC SIGNAL	CAM VIDEO 1394	ビデオ入力信号を切り換えます。 <b>CAM:</b> カメラからの信号を記録 <b>VIDEO:</b> GENLOCK IN端子からの信号を記録 <b>1394:</b> 1394入力の信号を記録します。 (AJ-YAD800G・オプション装着時) <ノート> ●一度電源をOFFにすると、次回電源ON時は必ずCAMに設定されます。 ●VIDEOを選択した場合、GENLOCK IN端子に入力したビデオ信号(VBS)に本機を同調させるためには「8-2-7 GENLOCK」のGENLOCK項目をEXTに設定する必要があります。
—C U F E		
CAMERA MODE	60i 30P 24P 24PA	カメラの動作モードを切り換えます。 <b>60i:</b> カメラが60iで動作します。 <b>30P:</b> カメラが30Pで動作します。 <b>24P:</b> カメラが24Pで動作します。(2:3) <b>24PA:</b> カメラが24PAで動作します。(2:3:3:2)
S C U F E		
V.RES (24/30P)	INTRLC PROG.	24P、24PA、30P選択時の垂直解像度を設定します。 <b>INTRLC:</b> ラインミックスします。自然な画像が得られます。 <b>PROG.:</b> ラインミックスしません。撮影後の編集時に完全なプログレッシブ映像が得られます。 <ノート> PROG.が選択された場合、プログレッシブセグメントフレーム画像となり、完全なプログレッシブ編集が可能です。ただし垂直方向の詳細(V.DTL)を付加すると不自然な画になりますので、V.DTLを0にして使用されることをおすすめします。(V.DTLが0でも、プログレッシブ編集後の画像には十分な垂直レスポンスが確保されています)
S C U F E		
ASPECT	16:9 4:3	記録する画角を選択します。 <b>16:9:</b> <16:9>の画角で記録します。 <b>4:3:</b> <4:3>の画角で記録します。
—C U F E		
REC MODE	50M 25M DV	記録モードを選択します。 <b>50M:</b> DVCPRO50フォーマットで記録します。 <b>25M:</b> DVCPROフォーマットで記録します。 <b>DV:</b> DVフォーマットで記録します。
—C U F E		
SET UP	0% 7.5%A	セットアップの切り換えを行います。 <b>0%:</b> カメラ出力、記録上ともセットアップ0%になります。 <b>7.5%A:</b> カメラ出力はセットアップ7.5%、記録上はセットアップ0%になります。
—C U F E		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
REC TALLY	RED GREEN CHAR	26ピン延長装置やトライアックスを接続して使用時や、26PIN CONTROL項目、または1394CONTROL項目をBOTHに設定して外部VTRをコントロール時、本機側の記録状態を表示する方法を選択します。26PIN CONTROL項目は、SYSTEM SETTINGページの<OPTION MODE 2>画面から、1394 CONTROL項目は、SYSTEM SETTINGページの<OPTION MODE 1>画面から選択します。 <b>RED:</b> 赤色タリールンプが点灯します。 <b>GREEN:</b> 緑色タリールンプが点灯します。 <b>CHAR:</b> ビューファインダーにキャラクターで「REC」を表示します。 <ノート> 1394 CONTROL項目は、IEEE1394インターフェースボード(AJ-YAD800G・別売品)装着時のみ表示されます。詳しくは次ページを参照してください。
—C U F E		
ACCESS LED	ON OFF	P2カードアクセスLEDを点灯するかどうかを選択します。 <b>ON:</b> P2カードアクセスLEDを点灯してカードの状態を知らせます。 <b>OFF:</b> 常に消灯します。
—C U F E		
USB	ON OFF	本機をパーソナルコンピューターなどとUSB2.0接続して、P2カードをマストレージとして使用するUSBドライブモードを選択します。 <b>ON:</b> USBドライブモードにします。本機の操作による記録再生やサムネール操作はできません <b>OFF:</b> USBドライブモードを停止し、通常動作を行います。 <ノート> 一度電源をOFFにすると、次回電源ON時は必ず「OFF」に設定されます。
— — U F —		

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-2-2 OPTION MODE 1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
P.OFF GPS DATA	HOLD CLEAR	電源OFF時、UMIDのGPS位置情報を保持 しておいて、次に電源をONにしてから新た に測定できるまでの間、保持したデータを 記録するかどうかを選択します。 <b>HOLD:</b> 保持して記録します。 <b>CLEAR:</b> 電源OFFと同時にクリアし、次の電 源ONから測定までの間はゼロ (No- Info) を記録します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
SDI METADATA	ON OFF	SDIにメタデータ (UMID) を出力する/し ないを設定します。(AJ-YA902AG・別売 品を装着時)
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
SDI EDH	ON OFF	SDI出力にエラーディテクションフラグを付 けるかどうかを設定します。(AJ- YA902AG・別売品を装着時)
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
SAVE SW (AUD OUT)	ON OFF	SAVE ON/OFFスイッチを「ON」にした とき、オーディオ出力を強制的に止めるか どうかを選択します。 <b>ON:</b> オーディオ出力を止めます。 <b>OFF:</b> オーディオ出力を止めません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
SAVE SW (LCD)	ON OFF	SAVE ON/OFFスイッチを「ON」にした とき、液晶モニターを強制的に停止するか どうかを選択します。 <b>ON:</b> 液晶モニターを停止します。 <b>OFF:</b> 液晶モニターを停止しません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
SAVE SW (SDI)	ON OFF	SAVE ON/OFFスイッチを「ON」にした とき、SDI出力を強制的に止めるかどう かを選択します。(AJ-YA902AG・別売品を 装着時) <b>ON:</b> SDI出力を止めます。 <b>OFF:</b> SDI出力を止めません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

### <ノート>

IEEE 1394 インターフェイスボード (AJ-YAD800G・別売品) 装着時は、1394 設定メニュー項目が表示されます。詳しくは AJ-YAD800G の取扱説明書を参照してください。ただし本機においては、以下の項目がさらに追加されます。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
1394 CONTROL	OFF BOTH	DVCPRO/DV端子に、バックアップ記録用 の外部機器を接続して記録を行う場合の制 御方法を選択します。 <b>OFF:</b> 外部機器を制御しません。 <b>BOTH:</b> 本機と外部機器の両方で記録を行 います。 <b>&lt;ノート&gt;</b> インターバル記録中は、本項目を“BOTH” に設定していても、外部VTRに対する制御 は行いません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
1394 CMD SEL	REC_P STOP	REC START/STOP ボタンを押したとき に、バックアップ用の外部機器が行う記録 動作を決定します。 <b>REC_P:</b> 記録/記録一時停止になります。 <b>STOP:</b> 記録/停止になります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

## 8-2-3 OPTION MODE 2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COMPONENT OUT	OFF BETACAM M2	トライアックス、26ピン、外部VTRへの アナログコンポーネント出力レベルを設定 します。 <b>OFF:</b> パワーセーブし、出力を停止します。 ただし、26ピン延長装置、外部 VTR、トライアックスを接続して使 用しているときは、自動的に BETACAMレベルで出力します。 <b>BETACAM:</b> β-CAMレベルで出力します。 <b>M2:</b> MⅡレベルで出力します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
26PIN CONTROL	OFF BOTH	26ピンカメラアダプタ (AJ-CA905G・別 売品) を装着して、外部VTRを接続して使 用するとき、外部VTRと本機の記録制御を 設定します。 <b>OFF:</b> 本機だけの記録を行い、外部VTRの 記録は行いません。 <b>BOTH:</b> 本機と外部VTRの両方で記録を行 います。 <b>&lt;ノート&gt;</b> ● このときタリランプは外部VTRの状態 を表示します。本機の記録状態は SYSTEM MODEのREC TALLY項目で 選択できます。 ● 本項目を“BOTH”に設定していても、 1394 CONTROL項目を“BOTH”に設 定している場合、そちらの設定が優先さ れ、本項目の設定は“OFF”で動作しま す。 ● インターバル記録中は、本項目を “BOTH”に設定していても、外部VTR に対する制御は行いません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
26PIN CTL DEFAULT	NORMAL SPECIAL	26ピンカメラアダプタ (AJ-CA905G・別 売品) を装着して、外部VTRを制御する とき、26ピン端子のNo.12から出力する VTR制御信号 (記録スタート/ストップ) のタイプを選択します。 <b>NORMAL:</b> 記録ストップ“LOW”、記録スタート “HIGH” (AJ-D92用) <b>SPECIAL:</b> 記録ストップ“HIGH”、記録スタート “LOW”
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-2-4 REC FUNCTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
INTERVAL REC MODE	ON ONE SHOT OFF	INTERVAL REC機能を設定します。 <b>ON:</b> 本機の内蔵メモリーを使用して、間欠記録を行います。 <b>ONE SHOT:</b> REC TIMEに設定された時間、1回だけ記録し、停止します。 <b>OFF:</b> INTERVAL RECを行いません。 <ノート> この項目は一度電源をOFFにすると、次回電源をONにしたときは必ず“OFF”に設定されます。また、LOOP REC MODE項目で“ON”が選択されているときは、この項目は変更できません。
	— — — F —	
REC TIME	00s01f : 59s29f	記録時間 (1カット) を設定します。 <ノート> 24P、24PAのときは5フレーム単位に切り捨てた動作になります。最短動作は5フレーム (設定値が9フレーム以下の場合) です。
	— C U F —	
PAUSE TIME	00h00m00s01f : 00h04m59s29f : 23h59m59s29f	記録の一時停止時間を設定します。 <ノート> 24P、24PAのときは5フレーム単位に切り捨てた動作になります。最短動作は5フレームです。
	— C U F —	
TAKE TOTAL TIME	NONE : 5day	撮影に要する時間の設定をします。 NONE (手で停止するまで続ける) から5day (5日間) の中から選択します。
	— C U F —	
TOTAL REC TIME	00m00s01f : 99m59s29f OVER100min NONE	総記録時間を表示します。ここでの設定変更はできません。REC TIME、PAUSE TIME、TAKE TOTAL TIMEから計算した記録時間 (必要なP2カードの記録時間) を表示します。 <ノート> 24P、24PAのときは5フレーム単位に切り捨てた動作になります。5フレーム単位の実動作に基づいた値を表示します。
	— — — — —	
AUDIO REC	ON OFF	音声記録の有無を選択します。
	— C U F —	
START DELAY	0SEC : 10SEC	INTERVAL RECでRECスタートを押してから、記録を開始するまでの時間を設定します。
	— C U F —	
PRE REC MODE	ON OFF	PRE RECORDINGを行うかどうかを選択します。 <b>ON:</b> PRE RECORDINGを行います。 <b>OFF:</b> PRE RECORDINGを行いません。 <ノート> PRE RECORDINGを行う時間の設定は、PRE REC TIME項目で行います。
	— C U F —	
PRE REC TIME	1SEC : 8SEC : 15SEC	PRE RECORDINGの設定をします。 <b>1-15SEC:</b> REC START ボタンを押してから、さかのぼって記録できる時間の設定をします。 <ノート> <SYSTEM MODE>画面のREC MODE項目を50M (DVCPRO50) に設定している場合、選択範囲の上限は8秒になります。
	— C U F —	

項目/ データ保存	可変範囲	備考
LOOP REC MODE	ON OFF	LOOP RECを行うかどうかを選択します。PRE RECORDINGと併用することもできます。 <b>ON:</b> LOOP RECを行います。 <b>OFF:</b> LOOP RECを行いません。 <ノート> この項目は、一度電源をOFFにすると、次回電源をONにしたときは必ずOFFに設定されます。またINTERVAL REC MODE項目“ON”または“ONE SHOT”が選択されているときは、この項目は変更できません。
	— — — F —	
VOICE MEMO RESERV	ON OFF	P2カードで、ボイスメモのために空けておくメモリー領域を設定します。 <b>ON:</b> 10分以上のボイスメモ領域を、映像記録容量とは別に確保します。このボイスメモ領域はP2カードの記録容量がFULLと表示されていても、利用可能です。 <b>OFF:</b> ボイスメモ領域は確保しません。 <ノート> 本項目がOFFに設定され、P2カードの記録容量がFULLと表示されていても、カードの状態によってはボイスメモが記録可能なことがあります。
	— C U F —	
REC START	ALL NORMAL	記録開始の受け付けを選択します。 <b>ALL:</b> 停止中、記録一時停止中、再生中に記録開始を受け付けます。 <b>NORMAL:</b> 停止中、記録一時停止中に記録開始を受け付けます。 <ノート> INTERVAL REC MODEを“ON”または“ONE SHOT”に設定しているときは、本項目を“ALL”に設定していても“NORMAL”の動作になります。
	— C U F —	
P.ON REC SLOT SEL	HOLD SLOT1	電源をONにしたとき、記録対象になるスロットの順序を選択します。 <b>HOLD:</b> 前回、電源をOFFにしたときの記録スロットから記録します。 <b>SLOT1:</b> 電源をONにするたびに、スロット1から順に記録対象カードになります。
	— C U F —	

### <ノート>

REC TIME、PAUSE TIME および TOTAL REC TIME は、ドロップフレーム動作中はドロップフレーム換算に、ノンドロップフレーム時はノンドロップフレーム換算になります。  
TAKE TOTAL TIME は実時間です。したがって設定によっては TOTAL REC TIME に端数がつきます。

### ドロップフレーム時の例

REC TIME	02s00f
PAUSE TIME	02s00f
TAKE TOTAL TIME	40min
TOTAL REC TIME	19m59s06f

可変範囲の \_\_\_\_\_ はプリセットモードです。

## 8-2-5 OUTPUT SEL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
VIDEO OUT SEL	VBS VF Y SDI	VIDEO OUT 端子の出力信号を選択します。 <b>VBS:</b> 通常のコンポジット信号を出力します。 <b>VF:</b> VFのY信号を出力します。ステータスの表示も重畳されます。 <b>Y:</b> コンポーネントのY信号を出力します。 <b>SDI:</b> 拡張ボードAJ-YA902AG (別売品)を装着時のみ選択可能で、SDI信号を出力します。
	—C U F—	
OUTPUT CHAR	MENU ONLY TC STATUS	VIDEO OUT 端子 (ANALOGまたはSDI)、およびMON OUT 端子の出力信号に重畳するキャラクターの内容を設定します。 <b>MENU ONLY:</b> メニューの時のみ表示します。通常は何も表示しません。 <b>TC:</b> タイムコードを表示します。 (メニューの時はメニューを表示) <ノート> TC表示位置はカメラIDの位置に応じて上下します。 <b>STATUS:</b> VFに重畳しているキャラクターと同じものを全て表示します。(メニューの時はメニューを表示)
	—C U F—	
MONITOR OUT CHAR	ON OFF	本機のVIDEO OUT CHARACTERスイッチとは独立して、MON OUT端子にキャラクターを重畳するかどうかを選択します。(キャラクタの内容はビデオ出力信号と同一です) <b>ON:</b> 重畳します。 <b>OFF:</b> 重畳しません。
	—C U F—	
LCD MON CHAR	ON OFF	液晶モニターにキャラクタを重畳するかどうかを選択します。(キャラクタの内容はビデオ出力信号と同一です) <b>ON:</b> 重畳します。 (VIDEO OUT CHARACTERスイッチには連動しません) <b>OFF:</b> 重畳しません。 (VIDEO OUT CHARACTERスイッチには連動しません)
	—C U F—	
VF MODE	EE/PB EE	ビューファインダーに表示される画像を選択します。 <b>EE/PB:</b> 再生モードでは再生画になります。 <b>EE:</b> 常にカメラ画像になります。
	—C U F—	
THUMBNAIL OUT	ON OFF	液晶モニターに表示されるクリップのサムネールをビデオ出力信号やモニター出力信号にも出力するか選択します。 <b>ON:</b> 出力します。 <b>OFF:</b> 出力しません。
	—C U F—	

## 8-2-6 LCD MONITOR

項目/ データ保存	可変範囲	備考
BRIGHTNESS	-7 : +0 : +7	液晶モニターの輝度を調整します。
	—C U F—	
COLOR LEVEL	-7 : +0 : +7	液晶モニターの色の濃度を調整します。
	—C U F—	
CONTRAST	-7 : +0 : +7	液晶モニターのコントラストを調整します。
	—C U F—	
BACKLIGHT	NORMAL HIGH	液晶モニターの輝度を常に高くするかどうかを選択します。 <b>NORMAL:</b> BRIGHTNESS項目で設定した輝度になります。 <b>HIGH:</b> 常に輝度を高めます。
	—C U F—	
SELF SHOOT	NORMAL MIRROR	液晶モニターの画像を左右反転するかどうかを選択します。 <b>NORMAL:</b> 左右反転しません。 <b>MIRROR:</b> 左右反転します。
	—C U F—	
ASPECT CONV.	SQUEEZE LT.BOX	液晶モニター表示の画面比を選択します。 <b>SQUEEZE:</b> スクイーズサイズで表示します。 <b>LT.BOX:</b> レターボックスサイズで表示します。 <ノート> この項目は、「8-2-1 SYSTEM MODE」のASPECT項目で、「16:9」を選択しているときのみ有効です。
	—C U F—	

可変範囲の\_\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-3 PAINT

### 8-2-7 GENLOCK

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GENLOCK	INI EXT 26P EXT	カメラ信号の同期信号を切り換えます。 <b>INT:</b> GENLOCK IN端子に入力された基準信号に関係なく内部の基準信号に同期します。 <b>EXT:</b> GENLOCK IN端子に入力された基準信号に同期します。 <b>26P EXT:</b> 26ピン端子に入力された信号に同期します。
— C U F E		
H PHASE COARSE	—50 : +00 : +50	システムを組む際に水平同期の位相合わせの粗調整を行ないます。
— — — — —		
H PHASE FINE	—160 : +000 : +160	システムを組む際に水平同期の位相合わせの微調整を行ないます。 <ノート> 本調整でSC位相も同時に動きます。
— — — — —		
SC PHASE COARSE	0 1 : 3	GENLOCK時のSC PHASEの粗調整を行ないます。
— — — — —		
SC PHASE FINE	—75 : +00 : +75	GENLOCK時のSC PHASEの微調整を行ないます。 <ノート> 本機のGENLOCK調整は、H PHASE調整後SC PHASEの調整を行ってください。
— — — — —		

### 8-3-1 ROP

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER PED	—200 : +020	マスターペDESTALのレベル設定をします。
S C U F E	+200	
MASTER DTL	—31 : +00 : +31	Hディテール/Vディテールのレベル設定をします。
S C U F E	+31	
MASTER GAMMA	0.35 : 0.45 : 0.75	マスターガンマの設定を0.01STEPで行います。
S C U F E	0.75	
KNEE POINT	70.0% : 85.0% : 107.0%	KNEE POINTの位置設定を0.5% STEPで行います。
S C U F E	107.0%	
KNEE SLOPE	0 : 50 : 99	KNEEの傾きを設定します。
S C U F E	99	
R GAIN	—200 : +000 : +200	Rchのゲイン設定を行います。
S C U F E	+200	
G GAIN	—200 : +000 : +200	Gchのゲイン設定を行います。
S C U F E	+200	
B GAIN	—200 : +000 : +200	Bchのゲイン設定を行います。
S C U F E	+200	
R PEDESTAL	—100 : +000 : +100	RchのペDESTALレベルの設定をします。
S C U F E	+100	
G PEDESTAL	—100 : +000 : +100	GchのペDESTALレベルの設定をします。
S C U F E	+100	
B PEDESTAL	—100 : +000 : +100	BchのペDESTALレベルの設定をします。
S C U F E	+100	

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-3-2 MATRIX

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MATRIX TABLE	A B	色補正テーブルを選択します。AとBの2種類のテーブルを記憶できます。
S C U F E		
MATRIX R-G	-31 : +00 : +31	色調整を行います。
S C U F E		
MATRIX R-B	-31 : +00 : +31	色調整を行います。
S C U F E		
MATRIX G-R	-31 : +00 : +31	色調整を行います。
S C U F E		
MATRIX G-B	-31 : +00 : +31	色調整を行います。
S C U F E		
MATRIX B-R	-31 : +00 : +31	色調整を行います。
S C U F E		
MATRIX B-G	-31 : +00 : +31	色調整を行います。
S C U F E		
■MATRIX TABLE	OFF A B	選択しているGAINスイッチ (L/M/H) に適用する色補正テーブルを選択します。
S C U F E		

### <ノート>

名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。  
詳しくは「8-7-2 SD CARD R/W SELECT」を参照してください。

## 8-3-3 COLOR CORRECTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	赤の色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
R-Mg (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	赤とマゼンタの間の色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
Mg (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	マゼンタの色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
Mg-B (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	マゼンタと青の間の色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
B (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	青の色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
B-Cy (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	青とシアンの間の色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
Cy (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	シアンの色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
Cy-G (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	シアンと緑の間の色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
G (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	緑の色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
G-YI (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	緑と黄色の間の色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
YI (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	黄色の色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
YI-R (SAT/PHASE)	-63 : +00 : +63	黄色と赤の間の色補正 (飽和度・色相) を行います。
S C U F E		
■COLOR CORRECT	ON OFF	選択しているGAINスイッチ (L/M/H) に対して、色補正を有効にするかどうかを選択します。 ON: 有効にします。 OFF: 有効にしません。
S C U F E		

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

### 8-3-4 LOW SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-3dB : 0dB : 30dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30dBから選択します。
S C U F E		
H.DTL LEVEL	00 : 17	H.DTL LEVELの設定を行います。
S C U F E	63	
V.DTL LEVEL	00 : 24	V.DTL LEVELの設定を行います。
S C U F E	31	
DTL CORING	00 : 02	DTL CORINGの設定を行います。
S C U F E	15	
H.DTL FREQ.	00 : 20	H.DTLをつける周波数 (DTLの太さ) を設定します。数値が大きいほど周波数が高く (DTLが細く) なります。
S C U F E	31	
LEVEL DEPEND.	0 1 : 5	DTLの有効輝度レベルを設定します。設定値以下の輝度の部分にはDTLが付加されません。GAMMA MODE SEL項目がSTDに設定されている場合、各設定値は以下の輝度を表します。0=約0%、1=約4%、2=約8%、3=約12%、4=約16%、5=約20%
S C U F E		
MASTER GAMMA	0.35 : 0.45	MASTER GAMMAの設定を0.01 STEPで行います。
S C U F E	0.75	
BLACK STRETCH	-3 : OFF : +3	暗部のガンマカーブの設定を行います。
S C U F E		
■MATRIX TABLE	OFF A : B	色補正 TABLEの選択を行います。
S C U F E		
■COLOR CORRECT	ON OFF	色補正のON/OFFの選択を行います。
S C U F E		

### 8-3-5 MID SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-3dB : 9dB : 30dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30dBから選択します。
S C U F E		
H.DTL LEVEL	00 : 14	H.DTL LEVELの設定を行います。
S C U F E	63	
V.DTL LEVEL	00 : 20	V.DTL LEVELの設定を行います。
S C U F E	31	
DTL CORING	00 : 03	DTL CORINGの設定を行います。
S C U F E	15	
H.DTL FREQ.	00 : 20	H.DTLをつける周波数 (DTLの太さ) を設定します。数値が大きいほど周波数が高く (DTLが細く) なります。
S C U F E	31	
LEVEL DEPEND.	0 1 : 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。設定値以下の輝度の部分にはDTLが付加されません。GAMMA MODE SEL項目がSTDに設定されている場合、各設定値は以下の輝度を表します。0=約0%、1=約4%、2=約8%、3=約12%、4=約16%、5=約20%
S C U F E		
MASTER GAMMA	0.35 : 0.45	MASTER GAMMAの設定を0.01 STEPで行います。
S C U F E	0.75	
BLACK STRETCH	-3 : OFF : +3	暗部のガンマカーブの設定を行います。
S C U F E		
■MATRIX TABLE	OFF A : B	色補正 TABLEの選択を行います。
S C U F E		
■COLOR CORRECT	ON OFF	色補正のON/OFFの選択を行います。
S C U F E		

#### <ノート>

名前の先頭に ■ が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面の PAINT MENU SW(■) R/W 項目の設定対象です。■ が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W 項目の設定対象になります。詳しくは「8-7-2 SD CARD R/W SELECT」を参照してください。

可変範囲の \_\_\_\_ はプリセットモードです。

### 8-3-6 HIGH SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-3dB : 18dB : 30dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30dBから選択します。
S C U F E		
H.DTL LEVEL	00 : 12 : 63	H.DTLの設定を行います。
S C U F E		
V.DTL LEVEL	00 : 17 : 31	V.DTL LEVELの設定を行います。
S C U F E		
DTL CORING	00 : 08 : 15	DTL CORINGの設定を行います。
S C U F E		
H.DTL FREQ.	00 : 20 : 31	H.DTLをつける周波数 (DTLの太さ) を設定します。数値が大きいほど周波数が高く (DTLが細く) なります。
S C U F E		
LEVEL DEPEND.	0 : 3 : 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。設定値以下の輝度の部分にはDTLが付加されません。GAMMA MODE SEL項目がSTDに設定されている場合、各設定値は以下の輝度を表します。 0=約0%、1=約4%、2=約8%、3=約12%、4=約16%、5=約20%
S C U F E		
MASTER GAMMA	0.35 : 0.55 : 0.75	マスターガンマの設定を0.01 STEPで行います。
S C U F E		
BLACK STRETCH	-3 : OFF : +3	暗部のガンマカーブの設定を行います。
S C U F E		
■MATRIX TABLE	OFF A B	色補正 TABLE の選択を行います。
S C U F E		
■COLOR CORRECT	ON OFF	色補正のON/OFFの選択を行います。
S C U F E		

#### <ノート>

名前の先頭に ■ が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT> 画面の PAINT MENU SW(■) R/W 項目の設定対象です。■ が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W 項目の設定対象になります。  
詳しくは「8-7-2 SD CARD R/W SELECT」を参照してください。

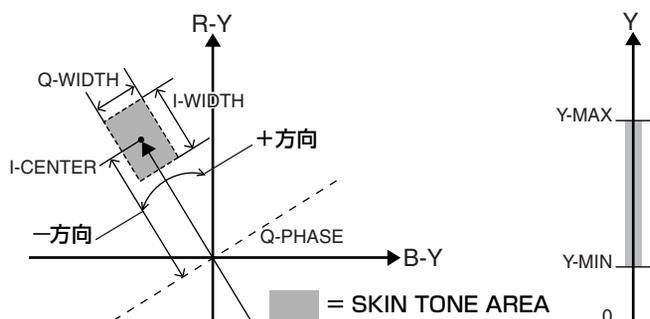
### 8-3-7 ADDITIONAL DTL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
KNEE APE LVL	OFF 1 2 : 5	KNEE APE LEVEL の設定を行います。
S C U F E		
CHROMA DTL	OFF 1 : 5	クロマディテールの設定を行います。クロマエッジを検出し、それをYにのせてH.DTLを強調します。数値が大きいほど、補正が大きくなります。
S C U F E		
DTL GAIN(+)	-31 : +00 : +31	ディテールの+(上)方向のレベルを変えます。
S C U F E		
DTL GAIN(-)	-31 : +00 : +31	ディテールの-(下)方向のレベルを変えます。
S C U F E		
DTL CLIP	00 : 63	ディテール信号の+方向のクリップを変えます。
S C U F E		
DTL SOURCE	(R+G)/2 (G+B)/2 2G+R+B /4 (3G+R)/4 R G	ディテール信号成分の信号源の設定を行います。
S C U F E		
H.DTL LINE MIX	1H 2H	H.DTL 信号を生成する為の走査線の設定を行います。
S C U F E		
■CORNER DTL	ON OFF	画面周辺の解像度を向上させるモードのON/OFFの選択を行います。
S C U F E		

可変範囲の \_\_\_\_\_ はプリセットモードです。

### 8-3-8 SKIN TONE DTL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■SKIN TONE DTL SCUFE	ON OFF	肌色DTLのON/OFFの選択を行います。
■SKIN TONE ZEBRA SCUFE	ON OFF	SKIN TONE範囲でのZEBRAのON/OFFの選択を行います。
SKIN DTL CORING SCUFE	0 5 7	SKIN TONE DTL CORINGの効果設定を行います。
SKIN TONE GET SCUFE		SKIN TONE DTLのターゲットになる色相を取得するときに使用します。センターマーカと、ターゲットになる被写体を合わせてください。
Y MAX SCUFE	000 190 255	SKIN TONEを効かせる輝度信号最大値の設定を行います。
Y MIN SCUFE	000 010 255	SKIN TONEを効かせる輝度信号最小値の設定を行います。
I CENTER SCUFE	000 022 255	I軸上の中心位置の設定（SKIN TONEを効かせるエリアの設定）を行います。
I WIDTH SCUFE	000 010 255	I CENTERを中心としたI軸上のSKIN TONEを効かせるエリア幅の設定を行います。
Q WIDTH SCUFE	000 005 255	I CENTERを中心としたQ軸上のSKIN TONEを効かせるエリア幅の設定を行います。
Q PHASE SCUFE	-128 +000 +127	Q軸を基準としたSKIN TONEを効かせるエリアの位相の設定を行います。



### 8-3-9 KNEE/LEVEL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER PED SCUFE	-200 +020 +200	マスターペダスタルの設定を行います。
■MANUAL KNEE SCUFE	ON OFF	AUTO KNEEスイッチがOFF時のモード設定を行います。ON時にKNEE POINT/SLOPEの設定値が有効になります。
KNEE POINT SCUFE	70.0% 85.0% 107.0%	KNEE POINTの位置設定を0.5%ステップで行います。
KNEE SLOPE SCUFE	00 50 99 (98)	KNEEの傾き設定を行います。0でKNEE OFFと同じになります。 <ノート> AJ-EC3Pからの可変範囲は00～98になります。
■WHITE CLIP SCUFE	ON OFF	WHITE CLIP機能のON/OFFを選択します。ON時にWHITE CLIP LVLの設定値が有効になります。
WHITE CLIP LVL SCUFE	90% 105% 109%	WHITE CLIP LEVELの設定を行います。
A.KNEE POINT SCUFE	80% 85% 107%	AUTO KNEE POINTの位置設定を0.5%ステップで行います。OUTPUT/AUTO KNEE選択スイッチがCAM.AUTO KNEE ONの時に有効になります。
A.KNEE LVL SCUFE	100 105 109	AUTO KNEE LEVELの設定を行います。
A.KNEE RESPONSE SCUFE	1 4	AUTO KNEE 応答速度の設定を行います。設定値が小さいほど応答速度が速くなります。

#### <ノート>

名前の先頭に ■ が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面の PAINT MENU SW(■) R/W 項目の設定対象です。■ が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W 項目の設定対象になります。  
詳しくは「8-7-2 SD CARD R/W SELECT」を参照してください。

可変範囲の \_\_\_\_\_ はプリセットモードです。

### 8-3-10 GAMMA

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER GAMMA	0.35 : 0.45 : 0.75	マスターガンマの設定を0.01ステップで行います。
S C U F E		
R GAMMA	-15 : +00 : +15	Rchのガンマ設定を行います。
S C U F E		
B GAMMA	-15 : +00 : +15	Bchのガンマ設定を行います。
S C U F E		
GAMMA MODE SEL	STD NEWS FILM LIKE1 FILM LIKE2	ガンマの選択を行います。 <b>STD:</b> 標準のビデオガンマ特性です。 <b>NEWS:</b> ハイライト部が部分的にあるような被写体を撮影する場合、白つぶれや黒つぶれを押さえ、階調を効果的に再現できるビデオガンマ特性です。特にAUTO KNEEモードの場合、有効です。 <b>FILM LIKE1:</b> ビデオ用シネマガンマ特性です。工場出荷時にシーンファイル4に設定されています。 <b>FILM LIKE2:</b> ビデオ用シネマガンマ特性です。FILM LIKE1に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 <ノート> ● NEWSを選択すると、「8-3-9 KNEE/LEVEL」のKNEE SLOPE項目、KNEE POINT項目、およびA.KNEE POINT項目の設定が無効になります。USERスイッチを使ってニュースガンマに切り替えた場合も同様です。 ● FILELIKE1または2が選択されると、「8-3-9 KNEE/LEVEL」のKNEE SLOPE項目の設定値が00~50までは変化せず、一定のカーブになります。
S C U F E		

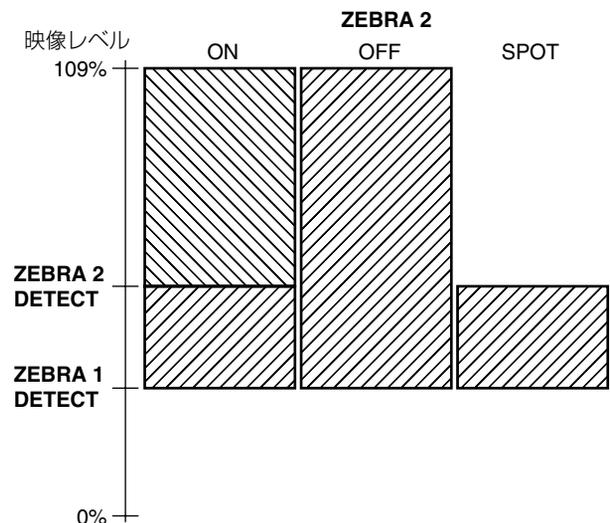
### 8-3-11 FLARE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R FLARE	000 : 100	R FLAREの設定を行います。
S C U F E		
G FLARE	000 : 100	G FLAREの設定を行います。
S C U F E		
B FLARE	000 : 100	B FLAREの設定を行います。
S C U F E		

### 8-3-12 ■CAMERA SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DETAIL	ON OFF	DTL (H, V) のON/OFFの選択を行います。
S C U F E		
2D LPF	ON OFF	クロスカラーを低減させる2次元LPFのON/OFFの選択を行います。
S C U F E		
HIGH COLOR	ON OFF	色のダイナミックレンジを拡大するモードのON/OFFの選択を行います。
S C U F E		
GAMMA	ON OFF	ガンマ回路のON/OFFの選択を行います。
S C U F E		
TEST SAW	ON OFF	テスト信号のON/OFFの選択を行います。
S C U F E		
FLARE	ON OFF	フレア補正のON/OFFの選択を行います。
S C U F E		
H-F COMPE.	ON OFF	高域のDTLをあげるモードのON/OFFの選択を行います。
S C U F E		

#### ゼブラパターンの表示



#### <ノート>

CAMERA SETTING は、すべての項目が <SD CARD R/W SELECT> 画面の PAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象になります。

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-4 VF

### 8-4-1 VF DISPLAY

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DISP CONDITION — C U F E	NORMAL HOLD	NORMAL:ステータスを常時表示 HOLD:MODE CHECK SWを押し時のみ表示
DISP MODE — C U F E	1 2 3	DISP MODEの設定を行います。 カメラの警告/通報表示を切り替えます。詳しくは「4-7-4 表示モードと設定変更/調整結果 メッセージ」を参照してください。
VF OUT — C U F E	Y NAM R G B	VF出力の選択を行います。 Y: 輝度信号 NAM: R,G,Bの中で一番レベルの大きい信号を出力します R: Rch信号 G: Gch信号 B: Bch信号
VF DTL — C U F E	0 : 3 : 5	VF DTLの選択を行います。 VF用信号のDTLをさらに強調します。0の場合は本線と同じDTLになります。
ZEBRA1 DETECT — C U F E	0% : 70% : 109%	ZEBRA1 検出レベル(IRE 値)の設定を行います。
ZEBRA2 DETECT — C U F E	0% : 85% : 109%	ZEBRA2 検出レベル(IRE 値)の設定を行います。
ZEBRA2 — C U F E	ON SPQT OFF	ZEBRA2のON/OFF切換え、およびSPOTの選択を行います。
LOW LIGHT LVL — C U F E	OFF 10% 15% 20% 25% 30% 35%	カメラの入力光量がどのくらい低い時に、"LOW LIGHT"を表示するかの設定を行います。
ECU MENU DISP. — C U F E	ON OFF	ECU接続時、VF上へのMENU表示のON/OFFの選択を行います。
50M INDICATOR — C U F E	ON OFF	50M録画時の表示のON/OFFの選択を行います。
MARKER/ CHAR LVL — C U F E	50% 60% 70% 80% 90% 100%	VFのマーカとキャラクタの輝度設定を行います。

### 8-4-2 VF MARKER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TABLE — C U F E	A B	VF MARKER設定テーブルの選択を行います。 以下の項目で選択した A/B の現在の値と設定を行います。
CENTER MARK — C U F E	OFF 1 2 3 4	センターマークの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
SAFETY ZONE — C U F E	OFF 1 2	セフティゾーンの枠の種類を選択します。 OFF: 表示しません。 1: BOX 2: コーナー枠
SAFETY AREA — C U F E	80% : 90% : 100%	セフティゾーンの位置の設定を行います。
FRAME SIG — C U F E	4:3 13:9 14:9 VISTA	フレームマーカの設定を行います。 ただしREC MODEが16:9の時のみ有効になります。 VISTAは16:8.65です。
FRAME MARK — C U F E	ON OFF	フレームマーカのON/OFFの選択を行います。
FRAME LVL — C U F E	0 : 15	フレームマーカの外側のレベルの設定を行います。 0: 信号OFFに相当 15: 中央部と同じ明るさになります。ただしFRAME SIGでVISTAを選択していると動作しません。

### 8-4-3 USER BOX

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER BOX — C U F E	ON OFF	USER BOXを表示するかどうかの設定を行います。
USER BOX WIDTH — C U F E	1 : 13 : 100	USER BOXの横幅の設定を行います。
USER BOX HEIGHT — C U F E	1 : 13 : 121	USER BOXの縦幅の設定を行います。
USER BOX H POS — C U F E	-50 : +00 : +50	USER BOXのセンターの水平位置の設定を行います。
USER BOX V POS — C U F E	-121 : +000 : +121	USER BOXのセンターの垂直位置の設定を行います。

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-4-4 VF INDICATOR1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
EXTENDER —C U F E	ON OFF	エクステンダ表示のON/OFFの選択を行います。
SHUTTER —C U F E	ON OFF	シャッタースピード表示のON/OFFの選択を行います。
FILTER —C U F E	ON OFF	フィルター No.表示のON/OFFの選択を行います。
WHITE —C U F E	ON OFF	AWB PRE/A/B表示のON/OFFの選択を行います。
GAIN —C U F E	ON OFF	現在の選択ゲイン、S.GAIN、DS.GAIN表示のON/OFFの選択を行います。
IRIS —C U F E	OFF IRIS S+IRIS S	<b>OFF:</b> スーパーアイリスON状態、絞り値両方を表示しません。 <b>IRIS:</b> 絞り値のみを表示します。 <b>S+IRIS:</b> スーパーアイリスON状態、および絞り値を表示します。 <b>S:</b> スーパーアイリスON状態を表示します。 (絞り値の表示とアイリスオーバーライドの表示する/しないは連動します)
CAMERA ID —C U F E	BAR CAM ALWAYS OFF	記録時のIDミックスの設定を行います。 <b>BAR:</b> カラーバーの時に記録します。 <b>CAM:</b> カメラ映像の時に記録します。 <b>ALWAYS:</b> 常に記録します。 <b>OFF:</b> 記録しません。 <ノート> カメラ映像にIDをMIXするには「8-9-1 OPTION」のID MIX INHをOFFに設定しておく必要があります。 なおEEモードではIDは重畳されませんが、P2カードには記録されます。
ID POSITION —C U F E	UPPER R UPPER L LOWER R LOWER L	カメラIDを記録する場所を設定します。 <b>UPPER R:</b> 右上 <b>UPPER L:</b> 左上 <b>LOWER R:</b> 右下 <b>LOWER L:</b> 左下
DATE/TIME —C U F E	ON OFF	CAMERA IDを記録するとき、年月日、時分秒を同時にミックスして記録するかどうかの選択を行います。
ZOOM LVL —C U F E	ON OFF	ズームポジション表示のON/OFFの選択を行います。
COLOR TEMP —C U F E	ON OFF	色温度表示のON/OFFの選択を行います。
CAMERA MODE —C U F E	ON OFF	カメラの動作モード表示のON/OFFの選択を行います。

## 8-4-5 VF INDICATOR2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
P2CARD REMAIN —C U F E	OFF ONE-CARD TOTAL	P2カードの記録残量をどう表示するか選択します。 <b>OFF:</b> 残量を表示しません。 <b>ONE-CARD:</b> 現在記録対象になっているP2カードの残量を表示します。 <b>TOTAL:</b> スロットに挿入された、すべてのP2カードの残量を合計して表示します。
BATTERY —C U F E	ON OFF	バッテリー電圧表示のON/OFFの選択を行います。
AUDIO LVL —C U F E	ON OFF	オーディオレベルメーター表示のON/OFFの選択を行います。
TC —C U F E	OFF TCG TCR TCG/TCR	表示するタイムコードの選択を行います。 <b>OFF:</b> タイムコードを表示しません。 <b>TCG:</b> E-E時にタイムコードジェネレータ値を表示します。 <b>TCR:</b> V-V時にタイムコードリーダー値を表示します。 <b>TCG/TCR:</b> E-E時はタイムコードジェネレータ値を表示し、V-V時はタイムコードリーダー値を表示します。
SYSTEM INFO —C U F E	OFF ALWAYS NORMAL	システム情報と警告の表示方法を選択します。 <b>OFF:</b> “TURN POWER OFF” と “SYSTEM ERROR” 以外は表示しません。 <b>ALWAYS:</b> 警告情報が常に表示されます。 <b>NORMAL:</b> 発生したときのみ、3秒間警告情報を表示します。
SAVE LED —C U F E	SAVE P2CARD	SAVEランプの動作を設定します。 <b>SAVE:</b> SAVE ON/OFFスイッチをONにし、「8-2-2 OPTION MODE 1」で割り当てられた出力系統が、セーブ状態になっているとき、点灯します。 <b>P2CARD:</b> P2カードの記録残量がわずかになると、警告メッセージに連動して点滅します。
DV —C U F E	ON OFF	DVフォーマットに設定されているとき、DV表示を行うかどうかを選択します。 <b>ON:</b> DV表示を行います。 <b>OFF:</b> DV表示を行いません。
VOICEMEMO —C U F E	ON OFF	ボイスメモ記録中に、 <b>V</b> 表示を行うかどうかを選択します。 <b>ON:</b> <b>V</b> 表示を行います。 <b>OFF:</b> <b>V</b> 表示を行いません。

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-4-6 MODE CHECK IND

項目/ データ保存	可変範囲	備考
REC STATUS	ON OFF	本機の記録中、ビューファインダーおよび液晶モニターに“REC”表示を行うかどうかを選択します。 <b>ON:</b> REC表示を行います。 <b>OFF:</b> REC表示を行いません。 <ノート> この項目は、本機を単体で使用する場合に有効です。26ピン延長装置、外部VTR、トライアックス使用時は、SYSTEM MODEのREC TALLY項目の設定に従います。
- C U F E		
PROXY REC	ON OFF	ビデオエンコーダーカード（AJ-YAX800G別売品）を装着して使用するとき、記録開始時にプロキシの記録情報を表示します。 <b>ON:</b> プロキシ記録をP2カードのみに行うか、P2カードとSDメモリーカードの両方に行うかを表示します。 <b>OFF:</b> プロキシ記録情報を表示しません。
- C U F E		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
STATUS	ON OFF	MODE CHECKの時、ステータス表示を出すかどうかを設定します。
- C U F E		
!LED	ON OFF	MODE CHECKで、!LED点灯しているときの要因表示画面を出すかどうかを設定します。
- C U F E		
FUNCTION	ON OFF	MODE CHECKで、FUNCTION表示画面を出すかどうかを設定します。
- C U F E		
AUDIO	ON OFF	MODE CHECKの時、AUDIO表示画面を出すかどうかを設定します。
- C U F E		
P.ON IND	ON OFF	電源ON後にステータス表示画面を出すかどうかを選択します。
- C U F E		

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-5 CAM OPERATION

### 8-5-1 CAMERA ID

### 8-4-7 !LED

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GAIN(0dB)	ON OFF	GAINが0dB以外の時に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
GAIN(-3dB)	ON OFF	GAINが-3dB以外の時に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
DS.GAIN	ON OFF	DS.GAIN (蓄積ゲイン) が入っている時に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
SHUTTER	ON OFF	シャッター ON時に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
WHITE PRESET	ON OFF	WHITE BALスイッチがPRSTの位置の時に、点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
EXTENDER	ON OFF	レンズがEXTENDERモードの時に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
BLACK STR	ON OFF	BLACK STRECHが使用されている時に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
MATRIX	ON OFF	MATRIXがONの時に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
COLOR CORRECTION	ON OFF	COLOR CORRECTIONがONの時に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
FILTER	ON OFF	フィルター 1 (3200K) が3200K以外の時に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
SUPER V	ON OFF	SUPER VがONの時に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
50M/25M/ DV	OFF W/O 50M W/O 25M W/O DV	記録モードによって、点灯するかどうかを選択します。 <b>OFF:</b> どの記録モードでも点灯しません。 <b>W/O 50M:</b> DVCPR050以外のモードのときに、点灯します。 <b>W/O 25M:</b> DVCPR0以外のモードのときに、点灯します。 <b>W/O DV:</b> DV以外のモードのときに、点灯します。
—C U F E		
ATW	ON OFF	WHITE BALスイッチのBに、オートトラッキングホワイトバランス機能を割り当てているときに、点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		
D.ZOOM	ON OFF	デジタルズーム動作中に点灯するかどうかの選択を行います。
—C U F E		

#### <ノート>

GAIN (0 dB) 項目、GAIN (-3 dB) 項目の両方を ON に設定したときは、GAINが0 dB、-3 dB以外のときに点灯します。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ID1		カラーバーに記録するCAMERA IDの設定1です。10文字まで設定できます。
—C U F —		
ID2		カラーバーに記録するCAMERA IDの設定2です。10文字まで設定できます。
—C U F —		
ID3		カラーバーに記録するCAMERA IDの設定3です。10文字まで設定できます。
—C U F —		

#### <ノート>

READ FACTORY DATA を選択すると、内容がクリアされます。

### 8-5-2 SHUTTER SPEED

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYNCHRO SCAN	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッター速度としてSYNCHRO SCANを割り付けます。
—C U F E		
SUPER V	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッター速度としてSUPER Vを割り付けます。
—C U F E		
POSITION1	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION1 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
—C U F E		
POSITION2	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION2 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
—C U F E		
POSITION3	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION3 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
—C U F E		
POSITION4	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION4 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
—C U F E		
POSITION5	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION5 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
—C U F E		
POSITION6	ON OFF	シャッタースイッチで選択するシャッター速度として、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION6 SELECT項目で設定した速度を割り付けます。
—C U F E		

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

### 8-5-3 SHUTTER SELECT

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SUPER V MODE	FRM1 FRM2	SUPER Vのモード切換えの選択を行います。 <b>FRM1</b> : 通常モード <b>FRM2</b> : 残像低減モード <ノート> SUPER VはCCDの垂直方向のフォトダイオードの信号を混合せずに出力させて垂直方向の解像度を向上させるモードです。 FRM1は1/30秒の蓄積、FRM2は1/60秒の蓄積となり、感度が半分になります。
- C U F E		
POSITION1 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	POSITION1に割り付けるシャッタースピードを選択します。
- C U F E		
POSITION2 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	POSITION2に割り付けるシャッタースピードを選択します。
- C U F E		
POSITION3 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	POSITION3に割り付けるシャッタースピードを選択します。
- C U F E		
POSITION4 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	POSITION4に割り付けるシャッタースピードを選択します。
- C U F E		
POSITION5 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	POSITION5に割り付けるシャッタースピードを選択します。
- C U F E		
POSITION6 SEL	1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000	POSITION6に割り付けるシャッタースピードを選択します。
- C U F E		

### 8-5-4 USER SW

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER MAIN SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.STR D.ZOOM ATW Y GET NEWS-G. AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW RET SW SLOT SEL PRE REC USB	USER MAIN ボタンの割り付けを行います。
- C U F E		
USER1 SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.STR D.ZOOM ATW Y GET NEWS-G. AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW RET SW SLOT SEL PRE REC USB	USER1 ボタンの割り付けを行います。
- C U F E		
USER2 SW	INH S.GAIN DS.GAIN S.IRIS I.OVR S.BLK B.STR D.ZOOM ATW Y GET NEWS-G. AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW RET SW SLOT SEL PRE REC USB	USER2 ボタンの割り付けを行います。
- C U F E		

#### <ノート>

USER スイッチの各機能については「4-9-4 USER MAIN、USER1 および USER2 ボタンへの機能割り付け」を参照してください。

可変範囲の\_\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-5-5 SW MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
RET SW	REC CHECK CAM RET	RETスイッチの機能を選択します。 <b>REC CHECK:</b> REC REVIEW動作を行います。 <b>CAM RET:</b> リターン信号出力の動作を行います。
—C U F E		
S.BLK LVL	OFF -10 -20 -30	スーパーブラックのレベルを設定します。
—C U F E		
AUTO KNEE SW	ON OFF	AUTO KNEEスイッチを使用するかしないかの選択を行います。
S C U F E		
SHD.ABB SW CTL	ON OFF	ABBスイッチの長押し（5秒以上）でブラックシェーディングを自動調整させるか、させないかの選択を行います。
—C U F E		
COLOR BARS	SMPTE FULL BARS SPLIT ARIB	使用するカラーバーの選択を行います。 <b>SMPTE:</b> SMPTEカラーバー <b>FULL BARS:</b> フルカラーバー <b>SPLIT:</b> SPLITカラーバー <b>ARIB:</b> ARIBマルチフォーマットカラーバー
—C U F E		
S.GAIN OFF	L/M/H S.GAIN	スーパーゲインモードを解除する方法を選択します。 <b>L/M/H:</b> ゲイン切り換えスイッチの変化で解除します。 <b>S.GAIN:</b> S.GAINスイッチ（USERボタン）でのみ解除します。
—C U F E		
DS.GAIN OFF	L/M/H DS.GAIN	デジタルスーパーゲインモード（蓄積ゲイン）を解除する方法を選択します。 <b>L/M/H:</b> ゲイン切り換えスイッチの変化で解除します。 <b>DS.GAIN:</b> DS.GAINスイッチ（USERボタン）でのみ解除します。
—C U F E		
ECU DATA SAVE	ON OFF	<b>ON:</b> ECUをカメラレコーダーから切り離れた時、ECUでコントロールした設定値を記憶します。 <b>OFF:</b> カメラ関連の設定値は記憶されません。
—C U F E		
ECU REC CHK SW	R.REVIEW PLAY	ECUのRECチェックボタンを押したときの本機の動作を選択します。 <b>R.REVIEW:</b> REC REVIEWを行います。 <b>PLAY:</b> 最後に記録したクリップを最初から再生します。
—C U F E		

## 8-5-6 WHITE BALANCE MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FILTER INH	ON OFF	各フィルターごとにホワイトバランスのメモリー（A/B）のデータを持つか持たないかの選択を行います。 <b>ON:</b> フィルターに無関係にA/Bメモリー（2メモリー）でデータを持ちます。 <b>OFF:</b> 各フィルターごとに持ちます。
—C U F E		
SHOCKLESS AWB	OFF FAST NORMAL SLOW1 SLOW2 SLOW3	SHOCKLESS AWBのON（FAST/NORMAL/SLOW1-3）/OFFの選択を行います。 SHOCKLESS AWBは、WHITE BALスイッチのPRST/A/Bを切換えた時のショックがありません。また、切り替え時間を選択できます。
—C U F E		
AWB AREA	25% 50% 90%	AWB検出エリアの切換えを行います。 <b>25%:</b> 画面中央付近25%のエリアを検出します。 <b>50%:</b> 画面中央付近50%のエリアを検出します。 <b>90%:</b> 画面の90%のエリアを検出します。
—C U F E		
AWB & ABB OFFSET	ON OFF	AWB、ABB実行時にROPメニューのGAINとPEDの値をRESETするかしないかの選択を行います。 <b>ON:</b> RESETしません。 <b>OFF:</b> RESETします。
—C U F E		
COLOR TEMP PRE	3200K : 5600K	AWB PREの色温度を設定します。
—C U F E		
AWB A	MEM VAR	WHITE BALスイッチのAに割り当てる機能を選択します。 <b>MEM:</b> オートホワイトバランスを行ったときに、設定値を記憶する機能を割り当てます。 <b>VAR:</b> COLOR TEMP A項目で設定した色温度を適用する機能を割り当てます。
—C U F E		
COLOR TEMP A	3200K : 5600K	AWB A項目で、VARを選択したときの色温度を設定します。
—C U F E		
AWB B	MEM VAR ATW	WHITE BALスイッチのBに割り当てる機能を選択します。 <b>MEM:</b> オートホワイトバランスを行ったときに、設定値を記憶する機能を割り当てます。 <b>VAR:</b> COLOR TEMP B項目で設定した色温度を適用する機能を割り当てます。 <b>ATW:</b> オートトラッキングホワイトバランス機能を割り当てます。
—C U F E		
COLOR TEMP B	3200K : 5600K	AWB B項目で、VARを選択したときの色温度を設定します。
—C U F E		
ATW SPEED	NORMAL SLOW FAST	オートトラッキングホワイトバランスの制御スピードの選択を行います。
—C U F E		

可変範囲の\_\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-5-7 USER SW GAIN

項目/ データ保存	可変範囲	備考
S.GAIN 30 dB	* .	SUPER GAINに、30 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
36 dB	* .	SUPER GAINに、36 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
42dB	* .	SUPER GAINに、42 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
48 dB	* .	SUPER GAINに、48 dBを有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
DS.GAIN 6 dB ↑ (1/30)	* .	DS.GAINに、6 dB ↑ (1/30) を有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
12 dB ↑ (1/15)	* .	DS.GAINに、12 dB ↑ (1/15) を有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
20 dB ↑ (1/6)	* .	DS.GAINに、20 dB ↑ (1/6) を有効にするかどうかの選択を行います。 *：有効にします。 ・：無効にします。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		

## 8-5-8 IRIS

項目/ データ保存	可変範囲	備考
A.IRIS LEVEL	000 : 050 : 100	オートアイリスの目標値の設定を行います。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
A.IRIS PEAK/ AVE	000 : 040 : 100	オートアイリスの基準に対するピークの占める割合を決定します。 大きいほど、IRIS 検出ウィンドウ内のピークに対して反応し、小さいほど、IRIS 検出ウィンドウ内の平均値に対して反応します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
A.IRIS MODE	NORM1 : NORM2 : CENTR	オートアイリス検出ウィンドウを選択します。 <b>NORM1</b> : 画面中央よりのウィンドウ <b>NORM2</b> : 画面下よりのウィンドウ <b>CENTR</b> : 画面中央のスポット状のウィンドウ
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
S.IRIS LEVEL	000 : 080 : 100	スーパーアイリスの目標値を設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
IRIS GAIN	CAM : LENS	IRIS GAIN 調整側の選択を行います。 <b>&lt;ノート&gt;</b> FUJINON製のDIGI POWERタイプ以前に発売されたエクステンダー付き (×2、×0.8など) のレンズでは、エクステンダーを入れた状態のままレンズ側でIRIS補正制御を動作させるため、CAM側に設定すると本機のIRIS制御が正常に動作しなくなります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		
IRIS GAIN VALUE	01 : 08 : 20	IRIS GAIN 調整値の設定を行います。IRIS GAINがCAMを選択時、この設定は有効になります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> E		

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-6 MAIN OPERATION

### 8-6-1 BATTERY/P2CARD

項目/ データ保存	可変範囲	備考
BATTERY SELECT	PR014 TRIM14 HYTRON50 HYTRON100 HYTRON120 DIONIC90 DIONIC160 HP-90L BP-H120 NP-L50 ENDURA50 ENDURA80 BP-L60/90 NiCd14 NiCd13 NiCd12 TYPE A TYPE B	使用するバッテリーを選択します。また、 選択したバッテリーに合わせた残量検出が 行われます。 選択できるバッテリーの種類は「8-6-2 BATTERY SETTING1」、および「8-6-3 BATTERY SETTING2」の設定により、 変化します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
EXT DC IN SELECT	AC ADPT PR014 TRIM14 HYTRON50 HYTRON100 HYTRON120 DIONIC90 DIONIC160 HP-90L BP-H120 NP-L50 ENDURA50 ENDURA80 BP-L60/90 NiCd14 NiCd13 NiCd12 TYPE A TYPE B	DC IN端子バッテリーを接続する場合に、 残量検出の種類を設定します。また、選択 した種類に合わせた残量検出が行われます。 選択できるバッテリーの種類は「8-6-2 BATTERY SETTING1」、および「8-6-3 BATTERY SETTING2」の設定により、 変化します。 <ノート> DC IN端子にデジタルバッテリーを接続し た場合、%表示は行いません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
BATT NEAR END ALARM	ON OFF	バッテリーニアエンドで警告音を鳴らすか どうかを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
BATT NEAR END CANCEL	ON OFF	ONに設定すると、バッテリーニアエンドで MODE CHECK ボタンを押すことにより、 出力されている警告音や警告表示をキャン セルすることができます。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
BATT END ALARM	ON OFF	バッテリーエンドで警告音を出力するかど うかを設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
BATT REMAIN FULL	70% 100%	デジタルバッテリー使用時に、表示窓の バッテリー残量表示バーの表示内容を設定 します。 70%: 70%でFULL表示します。 100%: 100%でFULL表示します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CARD NEAR END ALARM	ON OFF	P2カードニアエンドで、警告音を出力する かどうかを設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
CARD NEAR END TIME	2min 3min	P2カードニアエンド警告を出す残量時間を 設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
CARD END ALARM	ON OFF	P2カードエンドで警告音を出力するかど うかを設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
CARD REMAIN/■	3min/■ 5min/■	表示窓のP2カード残量表示バーの1セグメ ント(■)の時間を設定します。 3min/■: 1セグメントが3分 5min/■: 1セグメントが5分
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-6-2 BATTERY SETTING 1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
PR014	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 13.7 :	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
TRIM14	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 13.6 :	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
HYTRON50	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 13.1 :	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
HYTRON100	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 13.2 :	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
HYTRON120	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 13.1 :	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DIONIC90	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 13.6 :	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
DIONIC160	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 13.3 :	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
HP-90L	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 12.4 :	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
BP-H120	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 11.5 :	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	
NP-L50	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 13.0 :	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	15.0	

可変範囲の\_\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-6-3 BATTERY SETTING2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ENDURA50	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 13.1 : 15.0	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<b>C U F</b>		
ENDURA80	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 13.5 : 15.0	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<b>C U F</b>		
BP-L60/90	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	MANUAL AUTO	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 <b>MANUAL:</b> 手動で設定します。 <b>AUTO:</b> 自動的に設定します。
	11.0 : 11.2 : 15.0	上記メニューでMANUAL選択時、ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<b>C U F</b>		

### <ノート>

デジタルバッテリー（PRO14/TRIM14/HYTRON50/HYTRON100/HYTRON120/DIONIC90/DIONIC160/NP-L50/ENDURA50/ENDURA80）では、ビューファインダーに表示されるバッテリー残量は、%表示になります。ただし、ニアエンド警告は%表示にかかわらず、<BATTERY SETTING1> 画面での設定にしたがって行われます。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
NiCd14	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	NEAR END	ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
	11.0 : 13.6 : 15.0	
END	上記メニューでMANUAL選択時、エンド電圧を0.1 Vステップで選択します。	
11.0 : 13.2 : 15.0		
<b>C U F</b>		
NiCd13	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	NEAR END	ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
	11.0 : 12.7 : 15.0	
END	上記メニューでMANUAL選択時、エンド電圧を0.1 Vステップで選択します。	
11.0 : 12.2 : 15.0		
<b>C U F</b>		
NiCd12	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	NEAR END	ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
	11.0 : 11.5 : 15.0	
END	上記メニューでMANUAL選択時、エンド電圧を0.1 Vステップで選択します。	
11.0 : 11.2 : 15.0		
<b>C U F</b>		
TYPE A	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	FULL	FULL表示する電圧を0.1 Vステップで選択します。
	12.0 : 15.0 : 17.0	
NEAR END	ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。	
11.0 : 13.6 : 15.0		
END	上記メニューでMANUAL選択時、エンド電圧を0.1 Vステップで選択します。	
11.0 : 13.2 : 15.0		
<b>C U F</b>		

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-6-4 MIC/AUDIO1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TYPE B	*	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 •: 選択不可
FULL	12.0 13.5 17.0	FULL表示する電圧を0.1 Vステップで選択します。
NEAR END	11.0 11.8 15.0	ニアエンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
END	11.0 11.1 15.0	上記メニューでMANUAL選択時、エンド電圧を0.1 Vステップで選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

可変範囲の\_\_\_\_\_はプリセットモードです。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FRONT VR CH1	OFF FRONT W.L. REAR ALL	オーディオCH1に選択された入力信号に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみを有効にするかどうか選択します。 <b>OFF:</b> どの入力も選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。 <b>FRONT:</b> FRONTが選択された時のみ有効です。 <b>W.L.:</b> WIRELESSが選択された時のみ有効です。 <b>REAR:</b> REARが選択された時のみ有効です。 <b>ALL:</b> どの入力も選択されても有効です。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
FRONT VR CH2	OFF FRONT W.L. REAR ALL	オーディオCH2に選択された入力信号に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみを有効にするかどうか選択します。 <b>OFF:</b> どの入力も選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。 <b>FRONT:</b> FRONTが選択された時のみ有効です。 <b>W.L.:</b> WIRELESSが選択された時のみ有効です。 <b>REAR:</b> REARが選択された時のみ有効です。 <b>ALL:</b> どの入力も選択されても有効です。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
MIC LOWCUT CH1	OFF FRONT W.L. REAR	マイクロカットフィルターを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
MIC LOWCUT CH2	OFF FRONT W.L. REAR	マイクロカットフィルターを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
MIC LOWCUT CH3	OFF FRONT W.L. REAR	マイクロカットフィルターを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
MIC LOWCUT CH4	OFF FRONT W.L. REAR	マイクロカットフィルターを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
LIMITER CH1	ON OFF	リミッタを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
LIMITER CH2	ON OFF	リミッタを選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
AUTO LEVEL CH3	ON OFF	レベル設定方法を選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
AUTO LEVEL CH4	ON OFF	レベル設定方法を選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
REC CH3/CH4	SW CH1/2	CH3/4に記録する信号を選択します。 <b>SW:</b> 本機のCH3、CH4セレクトスイッチに従います。 <b>CH1/2:</b> CH1/2と同じものを、CH3/4に記録します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
25M REC CH SEL	2CH 4CH	DVCPRO、およびDVフォーマット時、記録するオーディオCHを選択します。 <b>2CH:</b> CH1、CH2のみを記録します。 <b>4CH:</b> 1~4チャンネルすべてを記録します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

## 8-6-6 TC/UB

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TEST TONE	OFF NORMAL ALWAYS CHSEL	テスト信号を選択します。 <b>OFF:</b> テストトーンは出力しません。 <b>NORMAL:</b> OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチをBARSに、AUDIO INスイッチのCH1をFRONTに切り替えたとき、CH1/2にテストトーンを出力します。 <b>ALWAYS:</b> OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチをBARSに切り替えたとき、常にCH1/2にテストトーンを出力します。 <b>CHSEL:</b> OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチをBARSに切り替えたとき、AUDIO INスイッチのCH1、またはCH2がFRONTに設定されているチャンネルにテストトーンを出力します。CH3、CH4には出力しません。
-C U F-		

## 8-6-5 MIC/AUDIO2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FRONT MIC POWER	ON OFF	フロントマイクのファントム電源の選択をします。
-C U F-		
REAR MIC POWER	ON OFF	リアマイクのファントム電源の選択をします。
-C U F-		
AUDIO OUT	ON OFF	オーディオ出力回路の設定をします。 <b>ON:</b> 出力します。 <b>OFF:</b> 出力回路をパワーダウンし、出力しません。
-C U F-		
MONITOR SELECT	STEREO MIX	モニターに出力する信号形式を選択します。
-C U F-		
FRONT MIC LEVEL	-40dB -50dB	フロントマイクの入力レベルを選択します。
-C U F-		
REAR MIC CH1 LVL	-50dB -60dB	リアマイクの入力レベルを選択します。
-C U F-		
REAR MIC CH2 LVL	-50dB -60dB	リアマイクの入力レベルを選択します。
-C U F-		
REAR LINE IN LVL	0dB +4dB	リアライン入力レベルを選択します。
-C U F-		
AUDIO OUT LVL	0dB +4dB	オーディオ出力レベルを選択します。
-C U F-		
HEADROOM	18dB 20dB	ヘッドルーム（基準レベル）を設定します。
-C U F-		
WIRELESS WARN	ON OFF	ワイヤレスレシーバーの受信状態が悪い時、警告を出すかどうかを選択します。
-C U F-		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TC MODE	DE NDF	タイムコードモードを選択します。 <b>DF:</b> ドロップフレーム <b>NDF:</b> ノンドロップフレーム <b>&lt;ノート&gt;</b> 本機が24P、24PAで動作時は、この項目に関係なく、常にノンドロップフレームで動作します。
-C U F-		
UB MODE	USER TIME DATE EXT TCG FRM RATE REGEN	ユーザーズビットモードを選択します。 <b>USER:</b> LCD部で設定したUB値を選択します。 <b>TIME:</b> ローカル時刻を選択します。（時、分、秒） <b>DATE:</b> ローカル日時を選択します。（西暦下2桁、月、日、時） <b>EXT:</b> SYSTEM MODE画面のREC SIGNAL項目で“CAM”または“VIDEO”を選択しているときは、TC IN端子に入力されているユーザーズビットを基準にします。 “1394”を選択しているときは、DVCPRO/DV端子に入力されている信号のユーザーズビットを基準にします。 読みとれない場合はUSER値を保持します。 <b>TCG:</b> TCGの値がそのままUBに入ります。 <b>FRM RATE:</b> VAUXのUB（VITC UB）と同じカメラの撮像情報（フレームレートなど）を選択します。 <b>REGEN:</b> カードに記録されている値を読み出し、その値を継続して記録します。
-C U F-		
VITC UB MODE	USER/EXT TIME DATE TCG FRM RATE REGEN	VAUX TC（VITC）のユーザーズビットモードを選択します。 <b>USER/EXT:</b> UB MODE項目がEXTのときはその値に従い、EXT以外のときはUBで設定されたUSER値を記録します。 <b>TIME:</b> ローカル時刻を選択します。（時、分、秒） <b>DATE:</b> ローカル日時を選択します。（西暦下2桁、月、日、時） <b>TCG:</b> TCGの値がそのままUBに入ります。 <b>FRM RATE:</b> VAUXのUB（VITC UB）と同じカメラの撮像情報（フレームレートなど）を選択します。 <b>REGEN:</b> カードに記録されている値を読み出し、その値を継続して記録します。 <b>&lt;ノート&gt;</b> 本機が24P、24PAで動作時はFRM RATE固定になります。詳しくは24P VITC UB項目を参照してください。24P VITC UB項目は、OPTION MENUページの<OPTION>画面から選択します。
-C U F-		
TCG SET HOLD	ON OFF	電源OFFする前にTCGを設定した場合、再度電源ONして記録した時、必ずその設定した値から記録する機能のON/OFFを切り換えます。
-C U F-		

可変範囲の\_\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-6-7 UMID SET/INFO

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FIRST REC TC	PRESET REGEN	電源 ON、P2 カード挿入、記録対象の P2 カード切り替え後の最初の記録で、タイムコードを P2 カード上の値にリジエネさせるかどうかを選択します。 <b>PRESET:</b> 本機内部のタイムコードを使用します。 <b>REGEN:</b> 記録対象の P2 カードに記録されたクリップのうち、日時が最も新しいクリップのタイムコードにリジエネします。 <ノート> ● 日時の設定は正確に行ってください。設定方法は「4-5-2 内蔵時計の日付/時刻の設定」を参照してください。 ● 本機が 24P、24PA で動作時は、ドロップフレームで記録されたカードの値には、リジエネできません。
P.OFF LCD DISPLAY	ON OFF	電源 OFF 状態で、液晶モニターのタイムコード設定やカウント表示を行うかどうかを選択します。 <b>ON:</b> 電源 OFF 中でもタイムコードの設定や表示をします。 <b>OFF:</b> 電源 OFF 中は液晶モニターをパワーダウンします。設定や表示はできません。
TC OUT	TCG TCG/TCR	タイムコード出力端子に出力されるタイムコードを選択します。 <b>TCG:</b> 常にタイムコードジェネレーター値を出力します。 <b>TCG/TCR:</b> 記録時はタイムコードジェネレーター値を出力し、再生時はタイムコードリーダー値を出力します。
TC DISP SEL	30F 24F	タイムコードのフレーム桁の表示形式を選択します。 <b>30F:</b> タイムコードのフレーム桁を 30 フレームで表示します。 <b>24F:</b> タイムコードのフレーム桁を 24 フレームに変換して表示します。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COUNTRY	NO-INFO	ユーザーの属する国家を入力します。入力されるまでは NO-INFO と表示されます。
ORGANIZATION	NO-INFO	ユーザーの属する組織名・会社名を入力します。入力されるまでは NO-INFO と表示されます。
USER	NO-INFO	ユーザー名を入力します。入力されるまでは NO-INFO と表示されます。
DEVICE NODE		製品の ID 番号を表示します。

### <ノート>

UMID 情報の設定は「4-5-6 UMID 情報の設定」を参照してください。

## 8-7 FILE

### 8-7-1 SD CARD READ/WRITE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R.SELECT	1 : 8	読み出す (READ) ファイルの番号を選択します。
READ		SD メモリーカードのデータを読み出します。
W.SELECT	1 : 8	書き込む (WRITE) ファイルの番号を選択します。
WRITE		本機のメニューデータを SD メモリーカードへ書き込みます。
CARD CONFIG		SD メモリーカードをフォーマットします。
TITLE READ		SD メモリーカードのデータに付けられているタイトルを読み出します。
TITLE1~8:		8 文字までのタイトル名が設定できます。

### <ノート>

USB 項目を「ON」に設定している場合、SD CARD READ/WRITE の各項目を実行しても SD メモリーカードにアクセスできないため、エラーになります。USB 項目を「OFF」にしてから実行してください。

可変範囲の \_\_\_\_ はプリセットモードです。

## 8-7-2 SD CARD R/W SELECT

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ID READ/ WRITE [ ] [ ] [ ] [ ] F [ ]	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、CAMERA IDを、取り扱うかどうかを選択します。
USER MENU SELECT R/W [ ] [ ] [ ] [ ] F [ ]	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、FILE MENUの設定を、取り扱うかどうかを選択します。
SYSTEM MENU R/W [ ] [ ] [ ] [ ] F [ ]	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、SYSTEM SETTINGページの設定値を、取り扱うかどうかを選択します。
PAINT MENU LEVEL R/W [ ] [ ] [ ] [ ] F [ ]	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、PAINTページの調整値を、取り扱うかどうかを選択します。
PAINT MENU SW(■) R/W [ ] [ ] [ ] [ ] F [ ]	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、PAINT MENUページの設定値を、取り扱うかどうかを選択を行います。
VF MENU R/W [ ] [ ] [ ] [ ] F [ ]	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、VFページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
CAM OPE MENU R/W [ ] [ ] [ ] [ ] F [ ]	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、CAM OPERATIONページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
MAIN OPE MENU R/W [ ] [ ] [ ] [ ] F [ ]	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、MAIN OPERATIONページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
MAINTE MENU R/W [ ] [ ] [ ] [ ] F [ ]	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、MAINTENANCEページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。

## 8-7-3 LENS FILE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FILE NO. [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	1 : 8	レンズファイルの番号を選択します。
READ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		レンズファイルのデータを読み込み(READ)ます。
WRITE [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		レンズファイルのデータを書き込み(WRITE)ます。
TITLE1-8 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		12文字までのタイトル名が設定できます。

## 8-7-4 SCENE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
READ USER DATA [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		メモリーのユーザーエリアデータを読み込みます。
SCENE SEL [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	1 : 4	シーンファイルを選択します。
READ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		シーンファイルを読み込みます。
WRITE [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		シーンファイルを書き込みます。
RESET [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		シーンファイルの値を初期値に戻します。
TITLE 1-3 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		シーンファイルのタイトルを作成します。
TITLE 4 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	FILMLIKE	シーンファイルのタイトルを作成します。初期値およびリセット後は、データも含めフィルムライクに設定されています。

## 8-7-5 INITIALIZE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
READ FACTORY DATA [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		MENU (USER MENU、MAIN MENU、OPTION MENU) 値が全て工場出荷状態になります。
WRITE USER DATA [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		ユーザ固有のメニューデータを本機の内部メモリーにセーブします。
RESET LENS FILES [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]		レンズファイルデータを工場出荷時の状態に戻します。

可変範囲の\_\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-8 MAINTENANCE

### 8-8-1 SYSTEM CHECK

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COLOR CHECK	ON OFF	カメラレコーダが正常かどうかのチェックのON/OFFを切り換えます。センターのYとRGBのレベルをVFに表示し、それぞれの系統が正常に光学系からデジタル系まで伝送され処理されているかどうかを示します。
— — — — —		

### 8-8-2 LENS ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
F2.8 ADJ	ON OFF	ONになっている時のみアイリスをF2.8にします。
— — — — —		
F16 ADJ	ON OFF	ONになっている時のみアイリスをF16にします。
— — — — —		

### 8-8-3 BLACK SHADING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CORRECT	ON OFF	デジタルブラックシェーディング補正のON/OFFを切り換えます。
— C U F E		
DETECTION (DIG)	—	デジタルブラックシェーディング補正を実行します。
— — — — —		

### 8-8-4 WHITE SHADING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CORRECT	ON OFF	ホワイトシェーディング補正のON/OFFを切り換えます。
— C U F E		
DETECTION (V SAW)	—	ホワイトシェーディング補正を実行します。
— — — — —		

### 8-8-5 DIAGNOSTIC1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAMSOFT (IN)		カメラマイコンソフトのバージョンを表示します。
— — — — —		
CAMSOFT (OUT)		カメラマイコンソフトのバージョンを表示します。
— — — — —		
CAM TABLE		カメラブロック設定テーブルのバージョンを表示します。
— — — — —		
FONT ROM		キャラクタのフォントのバージョンを表示します。
— — — — —		
CAM DSP FPGA1		カメラブロック信号処理FPGA (Field Prgramable Gate Array) のプログラムバージョンを表示します。
— — — — —		
CAM DSP FPGA2		カメラブロック信号処理FPGAのプログラムバージョンを表示します。
— — — — —		
CAM SYS FPGA		カメラブロック信号処理FPGAのプログラムバージョンを表示します。
— — — — —		
PULSE FPGA		CCD駆動用FPGAのプログラムバージョンを表示します。
— — — — —		

可変範囲の\_\_\_\_はプリセットモードです。

## 8-9 OPTION MENU

### 8-8-6 DIAGNOSTIC2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYS CON SOFT		システム制御マイコンのソフトバージョンを表示します。
LCD SOFT		LCDマイコンのソフトバージョンを表示します。
P2CS OS		ストリーム制御のOSバージョンを表示します。
P2CS AP		ストリーム制御のアプリケーションのバージョンを表示します。
MSC FPGA		ストリーム制御FPGAのプログラムバージョンを表示します。
FLT FPGA		記録/再生信号処理FPGAのプログラムバージョンを表示します。 <b>&lt;ノート&gt;</b> 本体内部基板のバージョンによっては、表示されない場合があります。
SIF FPGA		シリアルインターフェイスFPGAのプログラムバージョンを表示します。
DIF FPGA		IEEE1394インターフェイス用FPGAのプログラムバージョンを表示します。(AJ-YAD800G装着時)

### 8-8-7 HOURS METER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
OPERATION		本機の電源が入っていた時間の総合計を表示します。
LCD BACKLIGHT		液晶モニターのパックライトの電源が入っていた時間の総合計を表示します。
P.ON TIMES		本機の電源を入れた回数の総合計を表示します。

### 8-9-1 OPTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ENG SECURITY	ON OFF	メニュー画面の開閉に制限をかけるかどうかの選択をします。 <b>ON:</b> MENU画面が開けなくなります。解除するには、販売店にご相談ください。 <b>OFF:</b> 開閉に制限はありません。
P.HALF SHUT	ON OFF	プログレッシブ動作の時、シャッター OFFでも1/2シャッターを入れるかどうかの選択を行います。 <b>ON:</b> 1/2シャッターを入れます。 <b>OFF:</b> シャッターを入れません。
ID MIX INH	ON OFF	カメラ映像にIDをミックスする機能を禁止するかどうかを選択します。 <b>ON:</b> 禁止します。カメラ映像にはIDはミックスされません。 <b>OFF:</b> 禁止しません。VF INDICATOR1のCAMERA IDの設定内容が反映されます。
24P VITC UB	FRM RATE MENU	カメラモードが24P、24PAのとき、VITC UBをフレームレート以外で使用するかどうかを選択します。 <b>FRM RATE:</b> フレームレート固定 <b>MENU:</b> VITC UB MODEにしたがった動作を許可します。 <b>&lt;ノート&gt;</b> 本機が24P、24PA以外で動作時は、この項目の設定には関係なく、VITC UB MODE項目の設定に従います。VITC UB MODE項目は、MAIN OPERATIONページの<TC UB>画面から選択します。
AUDIO OUT DELAY	DELAYED THROUGH	オーディオ出力やヘッドホン/スピーカーの音声出力を遅らせるか設定します。 <b>DELAYED:</b> 映像出力に合わせて、音声出力を遅らせます。 <b>THROUGH:</b> 音声入力をそのまま遅らせずに出力します。音源が近くにあり、音源と出力音が2重に聞こえるのを回避できます。

#### <ノート>

IEEE1394 インターフェイスボード (AJ-YAD800G・別売品) 装着時は、1394 設定メニュー項目が表示されません。詳しくは AJ-YAD800G の取扱説明書を参照してください。

可変範囲の\_\_\_\_\_はプリセットモードです。

# 第9章 カメラアダプタ端子での接続

## 9-1 26ピン延長装置との接続

本機に、別売の26ピンカメラアダプター、AJ-CA905Gを装着すると、リモートコントロールユニット AJ-RC905 との間を26ピンマルチケーブルで接続し、システムカメラとしての運用が可能となります。

詳しくは AJ-CA905G および、AJ-RC905 の取扱説明書を参照してください。

### <ノート>

この接続で本機を使用するときは、本機は自動的に26ピン延長装置に同期します。GENLOCKメニューの設定を変更する必要はありません。

## 9-2 外部VTRとの接続

外部VTRとは、26ピンカメラアダプタ AJ-CA905G を装着して、ダビング用26ピンケーブルで接続可能です。

本機メニューで26PIN CONTROL項目をBOTHにすると、本機の記録に合わせて、外部VTRの記録スタート、ストップのコントロールを行うことが可能です。

このとき、外部VTRの記録状態はTALLY LEDで表示します。本機のP2カードへの記録状態は、REC TALLY項目の設定にしたがって行われます。REC TALLY項目は、SYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE>画面から選択できます。

## 9-3 デジタルトライアックスとの接続

本機に別売のデジタルトライアックス用カメラアダプター AJ-CA901 を装着すると、ベースステーション AJ-BS901 と組み合わせて、システムカメラとしての運用が可能です。

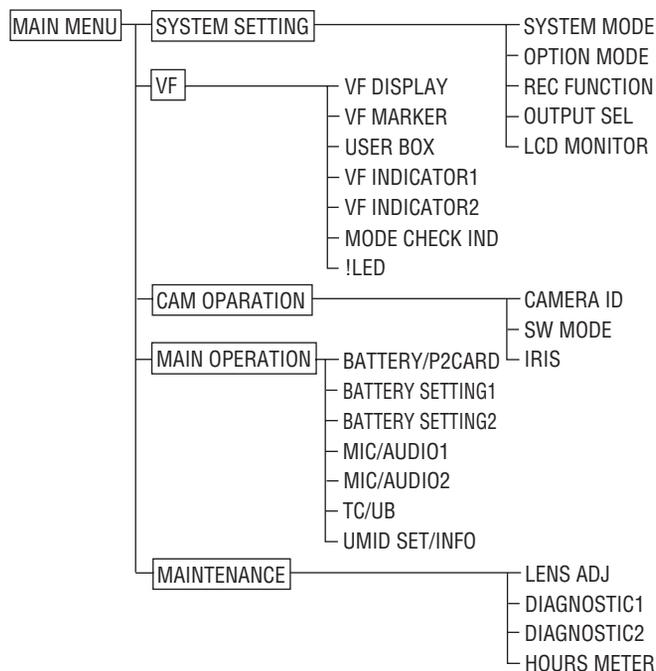
本システムは、カメラレコーダーの撮影映像を、非圧縮ワイドバンド360Mbpsのシリアルコンポーネント信号で高画質のまま伝送することができます。

詳しくは、AJ-CA901 および AJ-BS901 の取扱説明書をご覧ください。なお、上記説明書の「カメラ」、「カメラレコーダー」または「AJ-SDX900」の記述は、そのまま本機「AJ-SPX800」に置き換えることが可能です。ただし、以下の箇所を除きます。

### AJ-CA901 取扱説明書「カメラレコーダーのメニュー構成について」

リモートメニュー構成

本機をデジタルトライアックス用カメラアダプター AJ-CA901 と接続してシステムを構成した場合、カメラレコーダーのメニューは以下のようになります。



なお、ベースステーション AJ-BS901 での設定メニューのうち、FLARE/GAMMA画面のGAMMA MODE項目は、本機に装備している“NEWS”を選択することはできません。本機のGAMMA MODE SEL項目が“NEWS”に設定されている場合、AJ-BS901 に接続すると、“STD”（スタンダード）になります。

### <ノート>

- カメラアダプターAJ-CA901 を装着すると、バッテリー残量検出はEXT DC IN SELECT項目で選択されたバッテリーの種類に従います。出荷状態では“AC-ADPT”（ACアダプター）になっています。
- この接続で本機を使用するときは、本機は自動的にデジタルトライアックスに同期します。GENLOCKメニューの設定を変更する必要はありません。

# 第10章 本機搭載ファームウェアのアップデート

---

ファームウェアに関する最新情報は、下記ウェブサイトよりP2のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

ファームウェアをアップデートするとき、メニューでMAINTENANCE→DIAGNOSTIC1およびDIAGNOSTIC2画面で本機のバージョンを確認の上、上記のサイトにアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、上記サイトをご覧ください。

## <ノート>

本機で使用するSDメモリーカードは、SD規格に準拠したものをお使いください。

また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。パーソナルコンピュータでフォーマットする必要があるときは、専用ソフトウェアを上記のサイトからダウンロードしてご使用ください。

なお、アップデートにSDHCメモリーカードは使用できません。

故障・修理・お取扱い  
などのご相談は、まず、  
**お買い上げの販売店**  
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。  
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

## ●保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

**保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間**

## ●補修用性能部品

当社では、メモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ●保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

### ◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

### ◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

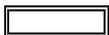
### ご連絡いただきたい内容

品 名	メモリーカードカメラレコーダー
品 番	AJ-SPX800
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

# 第12章 定 格

## 【総合】

電源： DC 12 V (11.0 V~17.0 V)  
消費電力：  
24 W (本体のみ、液晶モニター OFF時)  
27 W (SDI・1394オプション装着時、液  
晶モニター ON時)

 は安全項目です。

### 動作温度：

0 °C~+ 40 °C

### 保存温度：

-20 °C~+ 60 °C

### 動作湿度：

10%~85%以下 (相対湿度)

### 連続動作時間：

約120分 (本体のみ、液晶モニター OFFでアン  
ト Hytron50 使用時)

### 外形寸法 (幅×高さ (ハンドル・オプションカバー含 ま ず) ×奥行き)：

137 mm × 209 mm × 318 mm

### 質量：

4.2 kg (本体のみ、VF取り付け部を除く)

## 【カメラ部】

### 撮像素子：

2/3型52万画素IT CCD × 3

### CC/NDフィルター：

1 : 3200K  
2 : 5600K + 1/8ND  
3 : 5600K  
4 : 5600K + 1/64ND

### 量子化：

14ビット線形/18 MHz

### デジタル信号処理：

36 MHz

### 水平駆動周波数：

18 MHz

### プログラブルゲイン：

-3/0/+3/+6/+9/+12/+15/+18/+21/+24/  
+27/+30 dBより3ポジションを設定可能 (L/M/H)

### スーパーゲイン (S.GAIN) 機能：

+30/+36/+42/+48 dBから選択可能

### デジタルスーパーゲイン (DS.GAIN) 機能：

+6/+12/+20 dBから選択可能

### シャッタースピード：

1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、  
1/2000

### シンクロスキャンシャッター：

1/60.3~1/249.7

### レンズマウント：

2/3インチバヨネット型

### 色分解光学系：

プリズム方式 (F1.4)

### 感度：

F13 (2000 lx、89.9%反射)

### 最低被写体照度：

0.01 lx  
(F1.4、+48 dB (S.GAIN)、+20 dB (DS.GAIN))

### 映像S/N：

65 dB (標準)

### 水平解像度：

750本 (中心、標準)

### 垂直解像度：

400本/450本 (SUPER Vモード)

### 液晶モニター：

3.5インチ液晶カラーモニター、20万画素

## 【メモリーカード部】

### 映像記録フォーマット：

DVCPRO50/DVCPRO/DVより切り換え

### 音声記録フォーマット：

48 kHz 16ビット 4ch (DVCPRO50)  
48 kHz 16ビット 2ch/4ch切り換え (DVCPRO)

### 記録・再生時間：

約8分： AJ-P2C002SGを1枚使用し、  
DVCPRO、音声2chで記録時  
約16分： AJ-P2C004HGを1枚使用し、  
DVCPRO、音声2chで記録時  
約32分： AJ-P2C008HGを1枚使用し、  
DVCPRO、音声2chで記録時

### <ノート>

上記の時間は、P2カードに1ショットを連続記録した場  
合のものです。記録するショット数によっては、記録で  
きる時間は上記の時間より短くなる場合があります。

\* P2 カードについて、取扱説明書に記載された情報以外  
の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポー  
トページをご覧ください。

日本語： <http://panasonic.biz/sav/>

英語： <https://www.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

## 映像系

### アナログコンポーネントアウト

#### 帯域：

Y： 30 Hz~5.75 MHz+1.0/-3.0 dB  
(DVCPRO50)

P<sub>B</sub>/P<sub>R</sub>： 30 Hz~2.75 MHz+1.0/-3.0 dB  
(DVCPRO50)

#### SN：

55 dB以上

## 音声系

### サンプリング周波数:

48 kHz (ビデオに同期)

### 量子化:

16ビット

### 周波数特性:

20 Hz~20 kHz ± 1.0 dB (基準レベルにて)

### ダイナミックレンジ:

85 dB以上 (1 kHz、AWTDにて)

### 歪率:

0.1%以内 (1 kHz、基準レベルにて)

### ヘッドルーム:

20 dB

## 【入出力部】

### 映像入力

#### GEN LOCK IN:

BNC、1.0 V<sub>P-P</sub>、75Ω

(メニュー切り換えでVIDEO INが選択可能)

### 映像出力

#### MON OUT:

BNC、1.0 V<sub>P-P</sub>、75Ω

#### VIDEO OUT:

BNC、1.0 V<sub>P-P</sub>、75Ω

### 音声入力

#### AUDIO IN CH1/CH2:

XLR × 2、3ピン

LINE/MIC/MIC + 48 V切り換え方式

LINE: +4 dBu

(0/+4 dBuのメニュー選択可)

MIC: -60 dBu

(-60/-50 dBuのメニュー選択可)

MIC + 48V: ファントム + 48V対応

-60 dBu

(-60/-50 dBuのメニュー選択可)

#### MIC IN:

XLR、3ピン

ファントム + 48V: メニュー選択でON/OFF可、

平衡3 kΩ、-50/-40 dBu

のメニュー選択可

#### WIRELESS IN:

25ピン、D-SUB、-40 dBu

### 音声出力

#### AUDIO OUT CH1/CH2:

XLR、5ピン、+4 dBm

(0/+4 dBmのメニュー選択可)

平衡ローインピーダンス

#### イヤホン:

ステレオミニジャック × 2

## タイムコード入力

### TC IN:

BNC、0.5 V<sub>P-P</sub>~8 V<sub>P-P</sub>、10kΩ

## タイムコード出力

### TC OUT:

BNC、ローインピーダンス、2.0 ± 0.5 V<sub>P-P</sub>

## その他

### DC IN:

XLR、4ピン、DC 12 V (DC 11 V~17 V)

### DC OUT:

4ピン、DC 12 V (DC 11 V~17 V)、

最大定格電流 1 A

### LENS:

マルチ 12ピン

### EVF:

マルチ 20ピン

### GPS:

6ピン (AJ-GPS900G用端子)

### ECU:

6ピン (AJ-EC3P用端子)

### USB:

Type-Bコネクタ (USB ver.2.0)

### DVCPRO/DV:

6ピン (IEEE1394規格に準拠)

(IEEE1394インターフェースボード・AJ-

YAD800Gの装着が必要)

## 【付属品】

ショルダーベルト

FRONT AUDIO LEVELつまみノブ

つまみノブ用ネジ × 1

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。



---

# 松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06) 6901-1161

